

 acdsee™ Photo Studio
Ultimate 2018



目次

CHAPTER 1: はじめに	15
ACDSee Photo Studio Ultimate 2018 へようこそ	15
ACDSeeのユーザー インターフェイスについて	15
管理モード	15
写真モード	16
表示モード	16
現像モード	16
編集モード	16
365 モード	16
ダッシュボード モード	17
ACDSeeでモードを切り替える	17
管理モードを使用する	17
管理モード ペインについて	17
管理モード ドロップダウン メニュー	18
管理モード ペインの使い方	19
ペインを移動する	19
ペインを固定する	19
ペインを重ねてタブとして表示する	19
ペインのサイズを変更する	20
レイアウトを既定設定に戻す	20
写真モードを使用する	20
画像を表示する	20
カタログ化	21
表示モードを使用する	21
フルスクリーンモードで画像を表示する	22
表示モード ペインを使用する	22
画面下のツールバーを使用する	23
表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する	23
管理モードに切り替える	24
現像および編集モードを使用する	24
ワークフロー	24
365 モードを使用する	26
画像をアップロードする	26
ダッシュボード モードを使用する	26
ファイルのカタログ化	26
ダッシュボード モード	26
CHAPTER 2: ヘルプを使用する	28
クイックスタート ガイドを使用する	28

その他のリソースとサポートについて	28
CHAPTER 3: 管理モード	29
ACDSee でファイルをインポートする	29
デバイスから写真をインポートする	30
スキャナから写真をインポートする	34
CD または DVD から写真をインポートする	34
ディスクから写真をインポートする	35
名前の変更テンプレートを作成する	35
Lightroom® データベースをインポートする	36
モバイルで画像を扱う	37
ACDSee Mobile Sync を使用してモバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する	38
ファイル一覧 ペインでファイルを参照する	39
フォルダ ペインでファイルを参照する	42
日時またはイベントごとにファイルを参照する	43
お気に入りファイルを参照する	45
カタログ ペインを使用する	46
RAW ファイルを参照する	46
表示を変更する	47
ファイルにフィルタを適用する	48
ファイルをグループ化する	48
ファイルを並べ替える	50
ファイルを選択する	51
画像をプレビュー表示する	51
画像を回転する	52
画像を比較する	53
画像バスケットに画像を集める	55
ACDSee でファイルのカタログを作成、管理する	55
カタログ ペインを使って整理する	56
カテゴリを作成する	58
カテゴリと重要度を設定する	59
カラーラベルを割り当てる	62
コレクションの作成	65
プロパティ ペインを使用する	68
マップ ペインを使用する	70
ファイルにメタデータを追加する、プリセットを使用する	71
メタデータ表示とプリセットを管理する	74
階層キーワードを作成、割り当てる	75
ファイルをコピーまたは移動する	76
画像をクリップボードにコピーする	77
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	78

ファイルを置き換える / 上書きする	78
ファイル名やフォルダ名を変更する	78
プライベート フォルダにファイルを格納する	79
画像にタグを付ける	80
ファイルからメタデータを削除する	81
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する	82
画像プロパティの日時を変更する	82
ファイルを別のコンピュータにバックアップする	83
ACDSee で検索する	84
クイック検索バーを使用する	85
検索ペインを使用する	86
ファイル名のパターンで検索する	88
ブラウズ検索を使用する	88
自動カテゴリで検索する	89
重複ファイルを検索する	90
画像をすばやく検索する	91
ACDSee で共有する	92
スクリーンキャプチャを実行する	92
電子メールで画像を送信する	93
ACDSee 365 で共有、メール送信する	94
デスクトップ スクリーンセーバーを作成する	94
スライドショーを表示、設定する	96
スライドショーとスクリーンセーバーを共有する	98
デスクトップ スライドショーを作成する	99
PDF を作成する	100
PowerPoint プレゼンテーションを作成する	100
HTML アルバムを作成する	101
Web サイトに画像をアップロードする	102
Facebook に画像をアップロードする	102
コンタクトシートを作成する	104
アーカイブファイルを作成する	105
アーカイブされたファイル (.zip) を展開する	106
画像を印刷する	106
プリンタ オプションを設定する	107
画像サイズと位置を設定する	108
ページにテキストを追加する	109
コンタクトシート オプションを設定する	109
編集の一括処理を使用する	110
一括エクスポートを使う	110
複数の画像を別のフォーマットに変換する	114

複数の画像を回転/反転する	114
回転/反転済みファイルのオプションを設定する	115
複数の画像サイズを変更する	116
複数の画像の露出を調整する	117
一括露出オプションを調整する	118
複数ファイルの名前を変更する	119
複数画像のカラープロファイルを変更する	120
編集の一括処理を使用する	121
一括処理: 回転	123
一括処理: トリミング	124
一括処理: サイズ変更	124
一括処理: カラー	126
一括処理: チャンネルミキサー	126
一括処理: セピア	127
一括処理: 露出	127
編集の一括処理: ライト EQ™ オプション	129
一括処理: ノイズ除去	129
一括処理: シャープネス	130
一括処理: ヴィネット	130
一括処理: テキストのオーバーレイ	131
一括処理: 透かし	133
現像の一括処理を使用する	134
ACDSee データベースについて	137
データベースからフォルダを除外する	139
ファイルをカタログ化する	139
ACDSee インデクサーについて	140
複数のデータベースを作成して切り替える	140
旧バージョンのデータベースを変換する	141
データベース情報をインポートする	141
その他のソースからファイル情報をインポートする	142
データベース情報をエクスポートする	143
ファイル一覧を作成する	143
データベース情報をバックアップする	144
データベース バックアップのヒント	145
バックアップからデータベース情報を復元する	145
データベースのメンテナンス	145
データベースを最適化する	146
取り込もうとしているデータベース用にドライブをマップする	146
サムネイルとメタデータの再構築	147
ファイルを隔離する	147

プラグインについて	147
プラグインを管理する	148
プラグインのプロパティとヘルプを表示する	148
ACDSee SeeDrive™	149
フォルダを非公開または公開にする	150
ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする	151
CHAPTER 4: 写真モード	154
写真モードを使用する	154
画像を表示する	154
カタログ化	155
CHAPTER 5: 表示モード	156
オート レンズで画像をプレビューする	156
RAW 画像を表示する	157
画像を回転する	157
ヒストグラムを使用する	157
画像を自動表示する	158
表示モードで画像にテキストを表示する	158
表示モードとフォルダを同期する	159
オフライン画像を表示する	160
ACDSee Quick View を使用する	160
外部アプリケーションでファイルを表示する	162
画像をデスクトップの壁紙に設定する	162
ブラシ ファイルを表示する/使用する	163
オーディオとビデオ ファイルを再生する	164
ビデオのフレームを画像として保存する	164
画像にオーディオを追加/編集する	165
画像の一部を選択する	166
表示モードでプリセットを適用する	166
表示モードでファイル プロパティを表示する	167
画像を表示モードで印刷する	167
オリジナルの表示	168
変更の確定	168
画像をズームする	168
ズーム レベルを設定する	169
画像を自動拡大/自動縮小する	169
拡大された画像のサムネイルを表示する	170
拡大された画像のパンニング	171
画像の特定領域を拡大表示する	171
CHAPTER 6: 現像モード	172

現像モードを使用する	172
画像を現像する	172
保存とキャンセル	172
オリジナルの設定に戻す	173
ヒストグラムと画像の表示コントロールについて	173
画像を表示する	174
表示をカスタマイズする	175
画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする	175
現像設定を共有する	178
オリジナルファイルを復元する	178
現像設定をコピー & 貼り付けする	178
現像スナップショットを取得する	179
スナップショットの閲覧	180
現像でプリセットを使用する	181
プリセットを作成して適用する	181
1つの画像にプリセットを適用する	183
複数の画像にプリセットを一括適用する	184
プリセットの名前を変更する	184
プリセットを削除する	184
現像で画像を保存する	185
画像を保存する	185
ACDSee が画像の変更を保存する方法	186
新しい RAW 処理エンジンを使用する	186
現像ブラシを使用する	187
スマート ブラシ	189
グラデーション ツールを使用する	190
放射状グラデーション ツールを使用する	192
調整タブについて	193
保存とキャンセル	193
全般調整を使用する	194
eV に関するテクニカル解説	195
ホワイトバランスを調整する	195
ライティングを調整する	196
ベーシックライト EQ™	197
標準のライト EQ™	197
高度なライト EQ™	197
カラーを調整する	199
トーンカーブを調整する	204
ソフト フォーカスを調整する	204
現像モードの効果を適用する	205

写真効果	205
カラーオーバーレイ	205
グラデーション マップ	205
グレインを追加	206
クロス処理効果	206
現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する	206
不透明度	206
ブレンドモード	206
スプリットトーンを調整する	207
切り抜き後の周辺光量補正を調整する	208
RAW ファイル用に出力色空間を選択する	208
ディテール タブについて	209
保存とキャンセル	209
シャープ	210
ノイズを除去する	210
スキントーンを微調整する	211
色収差の補正	211
ジオメトリタブについて	212
保存とキャンセル	213
レンズの歪みを補正する	213
回転と傾きを直す	215
透視を補正する	216
トリミング	216
トリミング ウィンドウのサイズを変更する	217
レンズのヴィネット補正	218
修復タブについて	218
保存とキャンセル	218
赤目を補正する	219
画像を修復する	220
CHAPTER 7: 編集モード	222
【編集】モードでは次の作業が可能です:	222
編集モードを使用する	222
現像モードから編集モードへの切り替え	222
画像を編集する	222
現像設定またはオリジナルの設定に戻す	223
元に戻す、やり直し	223
ヒストグラムと画像の表示コントロールについて	224
編集でプリセットを使用する	225
元に戻す/やり直しボタンを使用する	226
オリジナルの設定または現像済み設定に復元する	226

オリジナルの画像に復元する	226
現像済みの設定に復元する	227
編集モードで画像を保存する	227
画像を保存する	227
ACDSee が画像の変更を保存する方法	228
Photoshop® プラグインを適用する	229
ACDSee アクションで調整を記録・適用する	229
記録カテゴリを管理する	231
記録を適用する	232
カラーまたはトーンを調整する対象	235
ピクセルターゲット パネル	235
編集ブラシを使用する	236
編集ブラシ	236
スマート ブラシ	237
グラデーション ツールを使用する	238
放射状グラデーション ツールを使用する	239
ブレンドモードと不透明度について	240
不透明度	240
ブレンドモード	240
レイヤーを使用する	242
調整レイヤーを使用する	245
調整レイヤーと設定	245
レイヤーでマスクを使用する	249
マスクのプロパティ	251
マスクの柔軟性	252
特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する	254
周波数分離でリタッチする	254
画像をリタッチする	255
選択範囲を使用する	255
選択範囲 ツール	256
オーバーレイ オプション	256
選択範囲 ツールを使う	257
ツールを組み合わせて使用する	260
選択範囲を絞り込む	261
選択範囲の編集または効果を適用する	262
スマート削除ツールを使用する	262
赤目を補正する	263
画像を修整する	263
スキントーンを調整する	265
色収差の補正	265

画像にテキストを追加する	266
描画ツールを使う	268
画像に透かしを追加する	273
枠を追加する	274
ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する	277
ヴィネットを追加する	278
チルトシフト効果を追加する	280
グレイン効果を追加する	280
特殊効果フィルタについて	281
特殊効果: 曇ガラス	281
特殊効果: ブラインド	282
特殊効果: ブルースチール	283
Bob Ross	284
特殊効果: 膨張	285
特殊効果: マンガ	286
特殊効果: ノスタルジア	286
特殊効果: 雲	287
特殊効果: コラージュ	288
特殊効果: カラーエッジ	289
特殊効果: 等高線	289
特殊効果: クレヨン画	290
特殊効果: クロスハッチ	291
特殊効果: ペンキ画	291
特殊効果: ドラマチック	292
特殊効果: エッジ検出	293
特殊効果: エンボス	293
特殊効果: 柔毛エッジ	294
特殊効果: グルूम	295
特殊効果: ネオン効果	296
特殊効果: グラデーションマップ	297
特殊効果: グラナイト	297
特殊効果: グランジ	298
特殊効果: 揺れ	299
特殊効果: ロモ	300
特殊効果: ミラー	300
特殊効果: ネガティブ	301
特殊効果: オイルペイント	302
特殊効果: アンティーク	302
特殊効果: オートン効果	303
特殊効果: 輪郭	304

特殊効果:鉛筆画	305
特殊効果:写真	305
特殊効果:ピクセル爆発	306
特殊効果:モザイク	307
特殊効果:ポスタライズ	307
特殊効果:霞み	308
特殊効果:光線ぼかし	308
特殊効果:雨	309
特殊効果:波紋	310
特殊効果:飛散タイル	311
特殊効果:セピア	312
特殊効果:70年代	313
特殊効果:金属シート	313
特殊効果:シフト	314
特殊効果:アングル	315
特殊効果:ソーベル	316
特殊効果:ソラリゼーション	316
特殊効果:くすみ	317
特殊効果:スタンドグラス	318
特殊効果:太陽スポット	318
特殊効果:渦巻き	319
特殊効果:しきい値	320
特殊効果:地形図	321
特殊効果:ウォーター	321
特殊効果:ウォータードロップ	322
特殊効果:波	323
特殊効果:織り	324
特殊効果:風	325
特殊効果:カスタム(ユーザー定義の特殊効果)	326
ブレンドモードについて	327
画像を回転する	328
画像を反転する	329
画像をトリミングする	330
トリミングウィンドウのサイズを変更する	330
透視歪みの補正	331
歪みの補正	332
レンズの歪みを自動補正する	332
画像のサイズを変更する	333
サイズ変更オプション	334
歪みツールを使用して歪み処理とリタッチ処理を実行する	335

画像の露出を調整する	336
画像のレベルを調整する	337
レベルを自動調整する	339
トーンカーブを調整する	340
ライティングを調整する	340
[1-ステップ] タブを使用する	341
[ベーシック] タブを使用する	341
[標準] タブを使用する	342
[アドバンス] タブを使用する	343
霞みを除去する	346
覆い焼きと焼きこみ	347
画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する	347
ホワイトバランスを調整する	348
カラーを調整する	349
スプリットトーンを調整する	352
カラーバランスを調整する	352
グレースケールの画像を作成する	353
ヒストグラムを使用する	354
画像の色深度を変更する	355
色の設定 ダイアログボックスを使用する	355
標準タブ	356
カスタムタブ	356
カラーを選択する/調整する	356
画像をシャープにする	357
画像をぼかす	358
ノイズとノイズ除去について	360
ノイズを除去する	360
ノイズを追加する	362
ディテールを調整する	363
透明度を調整する	363

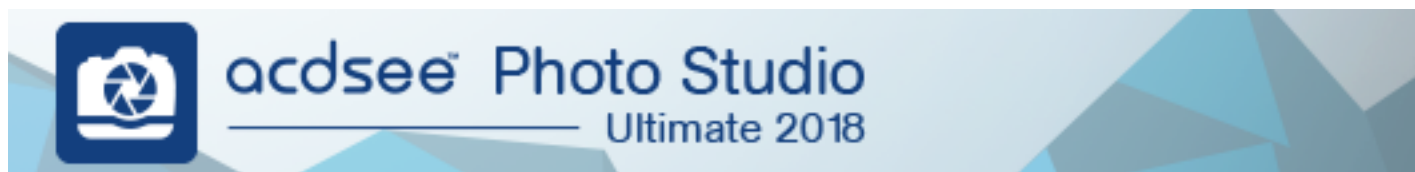
CHAPTER 8: 365 モード 365

365 モードを使用する	365
365.acdsee.com アカウントの作成	366
365.acdsee.com に画像をアップロードする	366
フォルダを設定して自動的に Web に同期する	367
公開または非公開のフォルダを作成する	368
重要度を変更する	369
画像をダウンロードする	369
転送 マネージャを使用する	370

CHAPTER 9: ダッシュボード モード	371
ダッシュボード モードを使用する	371
ファイルのカタログ化	371
ダッシュボード モード	371
CHAPTER 10: PICAVIEW	372
ACDSee PicaViewについて	372
CHAPTER 11: オプションと設定	373
全般オプションを設定する	373
モード オプションを設定する	373
管理モード オプションを設定する	374
クイック検索オプションを設定する	374
ファイル一覧ペイン オプションを設定する	375
サムネイル情報オプションを設定する	377
サムネイルのスタイル オプションを設定する	378
詳細表示オプションを設定する	379
プレビュー ペイン オプションを設定する	379
フォルダ ペイン オプションを設定する	380
カタログ ペイン オプションを設定する	381
カレンダー ペイン オプションを設定する	381
CD/DVD 管理 オプションを設定する	382
プロパティ ペイン オプションを設定する	382
ファイル管理 オプションを設定する	383
カラーマネージメント オプションを設定する	383
データベース オプションを設定する	385
写真モードのオプションを設定する	385
表示モードのオプションを設定する	386
表示 オプションを設定する	387
現像および編集モードオプションの設定	388
ACDSee 365 オプションを設定する	389
ACDSee Showroom オプションを設定する	390
ACDSee Quick View オプションを設定する	391
JPEG オプションを設定する	392
メディア オプションを設定する	392
ACDSee インデクサー オプションを設定する	393
ACDSee PicaView オプション:	393
ACDSee Mobile Sync オプションを設定する	394
ACDSee を複数のモニターで使用する	394
カスタムの作業領域を作成する	395
ペインやパネルを自動非表示にする	396

タスクペインを使用する	396
ツールバーをカスタマイズする	396
ツールバーとペインの位置をカスタマイズする	398
カスタムメニューを作成する	399
画像エディタを設定する	400
キーボードショートカットのカスタマイズ	401
表示テーマの変更	402
CHAPTER 12: ショートカット	403
管理モードのキーボードショートカット	403
管理モードのマウスショートカット	406
表示モードのキーボードショートカット	407
表示モードのマウスショートカット	416
カレンダーペインのショートカット	416
現像/編集モードのキーボードショートカット	416
現像/編集モードのマウスショートカット	427
365モードのキーボードショートカット	428
365モードのマウスショートカット	429
ACDSee PicaViewのキーボードショートカット	430
CHAPTER 13: ファイルフォーマット	431
RAWファイルについて	431
ファイルの関連付け	431
用語集	432
索引	442

Chapter 1: はじめに



ACDSee Photo Studio Ultimate 2018 へようこそ

ACDSee へようこそ。業界をリードするデジタル写真管理ソフトウェアです。

ACDSee は、デジタルカメラで撮影された写真やその他のメディア ファイルをインポート、管理、整理、表示、編集、共有するために不可欠なアプリケーションです。

ACDSee を使用して、カメラからコンピュータに画像をインポートしたり、ファイルのカテゴリ化や重要度で分類できるだけでなく、あらゆるサイズの画像コレクション、数百から数十万もの画像を管理することができます。サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えたり、という作業も瞬時に可能です。探している画像が見つからない？ といった場合も ACDSee では問題ありません。様々な検索ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。

写真ワークフローの統合的な管理を実現し、より早く撮影現場に戻りましょう。ACDSee は、プロ写真家のための総合管理ソリューションです。

ACDSee での写真ワークフローを構築して違いを実感してください。ACDSee の柔軟なカタログ機能、比類なき高速表示、強力な写真編集機能は、多忙なプロ写真家にもハイエンドアマチュアにも最適です。RAW 現像処理の強化、フルセットのメタデータ ツール、高速な表示速度、完全な写真編集および管理機能をお楽しみください。ACDSee はワークフローを効率化しますので、あなたは本来の作業である「よい写真を撮ること」に集中できるのです。

特許技術の Light EQ™ 画像処理技術を搭載した ACDSee の Light EQ™ ツールは、シングル露出で HDR 画像を作り出すアルゴリズムによって、写真のダイナミックレンジを正確に引き伸ばし、現実的で雰囲気のある画像に仕上げます。

表示モードでは、高速・高画質な画像の表示が可能です。スライドショーや埋め込みオーディオの再生、マルチページ画像の表示だけでなく、50 種類以上の画像およびマルチメディア ファイル フォーマットがサポートされています。

さらに、ACDSee は、広範に渡る画像処理ツールを備え、デジタル イメージの作成、編集、修整が可能です。赤目修整、トリミング、シャープネス、ぼかしなどのツールや写真の修復、修整ツールを是非お試しください。画像処理ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。

ユーザー インターフェイスをお好みに合わせてカスタマイズをすることで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウトや画像の順番、ツールバーの表示 その他数多くのオプションをお好みに合わせてカスタマイズ可能です。ACDSee には、アプリケーションのいたるところで状況依存型ヘルプが用意されています。

ACDSee は、ビギナーからプロまで、デジタルカメラ愛用者が簡単に楽しみながら使用できる、高速でパワフルな画像管理ソフトです。

ACDSeeのユーザー インターフェイスについて

多数の便利なツールや機能が搭載されている ACDSee ユーザー インターフェイスを使うと、画像やメディアファイルを簡単に参照、表示、編集、管理することができます。ACDSee は、次の 7 つのモードで構成されています: 管理モード、写真モード、表示モード、現像モード、編集モード、365 モード、ダッシュボード モード。

管理モード

1 管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカット アイコンをクリックして ACDSee を起動する際、常に表示されます。ほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズが可能です。

管理モードは 15 のペインで構成されますが、不使用時にはそのほとんどが閉じられています。[ファイル一覧ペイン](#)は常時表示されており、現在のフォルダの内容、最後の検索結果、フィルタ適用の条件に一致するデータベース内のファイルなどが表示されます。管理モードの一番下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、またはカテゴリの情報が表示されます。

表示モードでは、メディアファイルの再生を再生したり、フル解像度の画像を 1 枚ずつ表示したりすることができます。また、画像プロパティペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示したりすることも可能です。

画像を選択し、表示モードタブをクリックして表示モードで開いたり、フィルムストリップを活用して、フォルダ内の画像を素早く行き来して表示したりすることができます。表示モードには、頻繁に使用するコマンドへのショートカットを含むツールバーと、ウィンドウに下にあるステータスバーが搭載されています。ステータスバーには、現在選択されている画像またはメディアファイルに関する情報が表示されます。

写真モード

2 写真モードは、画像コレクション全体を日付別に表示できるツールです。画像を年別、月別、日別に表示できます。Microsoft OneDrive™ がある場合、OneDrive 画像コレクションをハードディスクの画像コレクションと一緒に表示するか、ハードディスクのコレクションのみを表示するかを切り替えることができます。写真モードでは[カタログ化](#)された画像のみが表示されます。[写真]モードでは、画像の EXIF データに示される撮影の日付別に画像が表示されます。

写真モードは、日付ペインとタイムラインペインという 2 つのペインで構成されます。日付ペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。タイムラインペインには写真の年と月、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。各画像を選択して、別のモードで立ち上げることもできます。

表示モード

3 表示モードでは、一度に 1 ファイルずつ、フル解像度でメディアファイルを再生したり、画像を表示したりすることができます。現像モードでは画像の露出、ホワイトバランス、カラープロファイル、シャープネス、ノイズ除去など数多くの非破壊編集処理が可能です。

表示モードを開くには、画像を選択し、表示モードタブをクリックします。表示モードのフィルムストリップを使用すると、フォルダ内の全ファイルをすばやく切り替えて表示することができます。表示モードには、一般的に使用されているコマンドのショートカットが表示されているツールバーがあり、ウィンドウの下部には、現在のイメージやメディアファイルに関する情報が表示されるステータスバーがあります。

現像モード

4 画像すべてに変更を適用する場合、画像調整のほとんどは現像モードで実行します。その後画像を編集モードにし、画像の一部を選択、固定します。画像の露出、ホワイトバランス、カラープロファイルを調整したり、画像をシャープにしたり、ノイズ除去をしたりするには、現像モードの非破壊編集ツールを使用します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。編集はその順番通りに変換された RGB データに個別に適用されます。この編集方式によりユーザーは、ピクセルを完全にコントロールし、正確な調整を適用し、創造性の自由を得ることができます。RAW ファイルを扱う場合、可能な限り RAW 画像データを使用して調整を適用します。

編集モード

5 現像モードで画像全体に変更を適用した後、編集モードで赤目補正などのピクセルベースの編集ツールを使い、画像を微調整します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。編集はその順番通りに変換された RGB データに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なものの編集モードの特徴です。

365 モード

6 365 モードを使うと、365.acdsee.com に簡単に画像をアップロードして、自分の連絡先と共有したり、公開したりすることができます。365 モードでは、画像をコンピュータで選択し、365.acdsee.com に直接ドラッグアンドドロップできます。

ダッシュボード モード

7 ダッシュボード モードでは、ファイル、カメラ、ACDSee データベースと EXIF 情報に基づいたデータベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。ダッシュボード モードはお使いのデータベースに由来する情報に依存しているため、このモードを最大限に活用するにはカタログの作成が重要になります。

ACDSeeでモードを切り替える

ACDSee では、管理、写真、表示、現像、編集、365、ダッシュボードという 7 つのモードを素早く切り替えることができます。

モード ボタンは ACDSee ウィンドウの右上にあります。



次のいずれかのモードボタンをクリックします:

関連トピック:

- **管理**: 画像のインポート、管理、比較、検索、印刷などを行うためのモードです。
- **写真**: 画像コレクション全体が日付別に表示されます。
- **表示**: 画像を表示したり、拡大表示して細かい部分を確認するためのモードです。
- **現像**: 現像ツールの非破壊的能力を使用してすべての画像を調整します。
- **編集**: ピクセルベースの編集ツールを使用して写真の修整や画質の向上を行います。
- **365**: 365.acdsee.com に画像をアップロードして、友人や世界中のユーザーと画像共有するためのモードです。
- **ダッシュボード**: ファイル、カメラ、データベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。

管理モードを使用する

管理モードでは、ファイルや画像の参照、並べ替え、カタログ作成、操作、共有を行うことができます。異なるツールやペインを組み合わせ、高度な検索やフィルタオプションを設定したり、画像やメディアファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

スクリーン右上部にあるボタンをクリックして、他のモードに素早く切り替えることも可能です。

管理モード内のペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

表示したいペインが表示されていない場合は、メインツールバー左上の【ペイン】をクリックしてペインを選択してください。

管理モード ペインについて

管理モードは次のペインで構成されています。

ファイル一覧	このペインには現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダツリーのような、コンピュータのフォルダ構成が表示されます。フォルダペインからフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイーजीーセレクトボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできるカレンダーが表示されます。
ショートカット	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダをショートカットペインにドラッグすると、ショートカットが作成されます。オリジナルの画像には何の影響も与えません。
検索	このペインでは、パワフルな検索機能にアクセスすることができます。[検索ペイン]では、検索の種類を選択し、フィールドに検索項目を入力するだけです。 また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカタログペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウンリストから保存済み検索を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カタログペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名前をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディアファイルのサムネイルプレビューとヒストグラムが表示されます。サムネイルのサイズ変更はプレビューペインのサイズを変更することで可能です。また、プレビューペインでメディアファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。
ブラウズ検索	このパネルでは、フォルダ/カタログ/カレンダーペインに入力されている情報を元に、特定の検索条件と一致するファイルを絞り込んで検索し、ファイル一覧ペインに表示することができます。[ブラウズ検索ペイン]の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。[ブラウズ検索]パネルには[表示]メニューからアクセスできます。
カタログ	このペインにあるカテゴリ、自動カテゴリ、重要度、カラーラベル、保存済み検索を使用して、ファイルの並べ替えや管理をスムーズに行うことができます。また、カタログペインの「スペシャル アイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未カテゴリファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、頻繁に使われているボタンやコマンドのメニューが表示されます。このメニューは、ACDSee 内で現在選択されているフォルダや選択ファイルによって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダのプロパティとデータベース情報が表示されます。プロパティペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータのデータベース情報を表示および編集することができます。
マップ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルのマップ上の場所が表示されます。マップを使用して場所を表示したり、ファイルの地図上の場所をマークしたりすることができます。
画像バスケット	ファイルやフォルダを参照する際、バスケット内に気に入った画像を一時保存することができます。これらの画像をすべて1つのフォルダに移動させなくても、これらの画像の編集、印刷、共有を実行できます。

管理モード ドロップダウン メニュー

管理モードのドロップダウンメニューから、頻繁に使用するタスクにアクセスすることができます。ドロップダウンメニューは次の6つにグループ分けされています：

- **作業領域**：カスタマイズした作業領域のレイアウトを保存したり、既定の作業領域にリセットすることができます。
- **インポート**：カメラやその他のデバイスから画像をインポートすることができます。
- **一括**：一括編集に必要な処理を実行することができます。
- **作成**：ここでスライドショーファイル、PowerPoint プレゼンテーション、オンラインアルバム、アーカイブを作成することができます。
- **スライドショー**：スライドショーを実行したり、スライドショーの設定を行うことができます。

- **送信:** オンラインのフォト サイトや FTP サイトに画像をアップロードしたり、写真を電子メールで共有したりすることができます。
- **外部エディタ:** 外部エディタプログラムに素早くアクセスすることができます。

管理モード ペインの使い方

ユーザーの好みに合わせて管理モード ペインを開いたり閉じたりすることができます。また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、管理モード ウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることも可能です。

管理モード内で、ペインを開いたり閉じたりするには:

[ペイン] をクリックし、表示/非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティング ペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。



デュアル モニタをご利用の場合、ペインをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

ペインを固定する

管理モード内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

管理モード内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
3. ファイラー 一覧ペイン、また他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインを重ねてタブとして表示する

ワークフローに合わせて、カスタムの順序に重ねて表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンを放します。

- ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの中心でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
- 2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
- 3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、管理モード内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。
2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

レイアウトを既定設定に戻す

管理モード、表示モード、現像モードでは、すべてのペインをいつでも既定の設定に戻すことができます。

レイアウトをリセットするには:

【表示】メニューから**【既定のレイアウト】**を選択します。

写真モードを使用する

写真モードは、画像コレクション全体を日付別にすばやく簡単に表示できるツールです。[写真]モードでは[カタログ化](#)された画像が表示されます。[写真]モードでは、画像のEXIFデータに示される撮影の日付別に画像が表示されます。EXIFデータに撮影日が含まれない場合、[写真]モードでは更新日時に基づいて画像が表示されます。



【更新日時の一括変更】を使用することで撮影日を更新することができます。

[写真]モードには2つのエリアがあります。

日付ペイン:このペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。

タイムラインペイン:このペインには写真の年と月、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。

画像を表示する

[写真]モードでは、画像は日付別に表示されます。年、月、日による表示を切り替えるには、次のいずれかを行います。

- 日付ペインの右下にある**【年】**、**【月】**、または**【日】**ボタンをクリックします。
- 左上にある前後の矢印を使用して、[年]から[月]、[日]表示へと移動します。
- **【表示】** | **【年/月/日】**を選択します。
- 画像をクリックして[年]から[月]、[日]表示へと移動します。
- タイムラインペインにある[年/月]の項目をクリックして、その時間から画像へと移動します。

Microsoft OneDrive® 写真コレクションだけを表示するには:

[フィルタド롭ダウン]メニューをクリックし、**【OneDrive】**を選択します。

すべての写真コレクションを表示するには (OneDriveを含む):

[フィルタド롭ダウン]メニューをクリックし、**【すべて】**を選択します。

Pictures フォルダの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[Pictures]**を選択します。

デスクトップの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[デスクトップ]**を選択します。

写真コレクション内でオーファンになったファイルを表示するには:

日付ペインの一番上にある**【オーファン ファイルを選択する】**ボタンをクリックします。オーファン ファイルはセピア色で表示されます。

大きな画像を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [表示] モードで画像を**ダブルクリック**して開きます。
- 画像を選択して **Enter** を押し、[表示] モードと[写真] モードを切り替えます。

別のモードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [日] 表示で画像を**右クリック**してコンテキストメニューからオプションを選択します。
- 年または月表示で画像を **[Ctrl + 右クリック]** して、コンテキスト メニューからオプションを選択します。

Windows Explorer® で画像を表示するには:

- 日表示で画像を **[右クリック]** してコンテキスト メニューから**【ファイル エクスプローラで表示】**を選択します。
- 年または月表示で画像を **[Ctrl + 右クリック]** して、コンテキスト メニューから**【ファイル エクスプローラで表示】**を選択します。

カタログ化

[写真] モードではカタログ化された画像のみが表示されます。画像をカタログ化するには:

- **[管理] モード**でフォルダを参照します。
- [写真] モードの一番上にある **[カタログ]** ボタンを使用します。

表示モードを使用する

表示モードでは、画像やメディアファイルを実寸のサイズで、または**拡大または縮小**して表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

表示モードは、次の4つのメイン領域で構成されています。

- **表示領域:** 表示モードのメイン領域で、現在選択されている画像またはメディアファイルが表示されます。拡大、縮小表示など、表示方法をカスタマイズすることができます。
- **画面下のツールバー:** 表示領域の下にあるツールバーは、ズームやスクロールツールといった頻繁に使用されるツールやコマンドへのショートカット ボタンを搭載しています。大きいまたは小さいアイコンをツールバーに使用するか、またはツールバーを表示しないかなどカスタマイズが可能です。
- **フィルムストリップ:** メインの表示領域の下に位置して、現在選択されているフォルダ内、または管理モードで選択された画像グループのサムネイルが表示されます。スクロールバーを使って画像間を素早く移動したり、「前へ」または「次へ」ボタンを使って前後の画像に移動したりします。
- **ステータス バー:** ウィンドウの最下段に位置するステータス バーには、現在選択されている画像またはメディアファイルの情報とプロパティが表示されます。編集が可能な、重要度やカラーラベル、タグのアイコンも表示されます。

画像またはファイルの **EXIF、IPTC および ACDSee メタデータ情報**を表示モードのプロパティ ペインに表示することもできます。また、**ナビゲータ**、**虫めがね**、**ヒストグラム ペイン**を表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

表示モードで画像またはメディアファイルを開くには:

管理モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、<Enter> キーを押します。
- ファイルを選択して【表示】モード ボタンをクリックします。
- ファイルをダブルクリックします。
- 画像またはメディアファイルを右クリックし、【表示】を選択します。

表示モードで複数の画像を開くには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインから複数の画像を選択します。
2. <Enter> キーを押します。
3. 連続した画像を表示するには、次の操作を行います:
 - 連続した画像の次の画像を表示するには、【次へ】をクリックします。
 - 連続した画像の前の画像を表示するには、【前へ】をクリックします。

フルスクリーンモードで画像を表示する

モニタの画面全体に画像を表示することができます。フルスクリーンモードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像だけが表示されます。フルスクリーンモードで画像を常に表示したい場合は、このオプションを表示モードの既定値として設定することができます。

フルスクリーンモードで画像を表示する

1. 表示モードで、1 つ以上の画像を開きます。
2. 【表示】メニューから【フルスクリーン】を選択します。
3. 画像を右クリックして、表示モードのツールおよびオプションのコンテキストメニューを表示します。

フルスクリーンモードを終了するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- <F> キーを押します。
- 画像を右クリックして、【表示】メニューから【フルスクリーン】を選択します。



表示モードでショートカットキーの F キーを使用すると、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

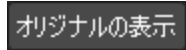
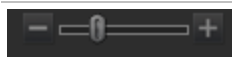
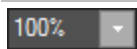
表示モード ペインを使用する**表示モード ペインを開くには:**

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 【ペイン】から【ヒストグラム】をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
 - 【ペイン】から【虫めがね】をクリックして、マウスカーソルの場所を拡大表示します。
 - 【ペイン】から【ナビゲータ】をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
 - 【ペイン】から【プロパティ】をクリックして、画像の IPTC、EXIF、ACDSee メタデータ、を表示します。

画面下のツールバーを使用する

画面下のツールバーを使用すれば、よく使うツールにすばやくアクセスできます。

画面下のツールバー

	画像バスケットに追加	画像を画像バスケットに追加します。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転
	スクロール	表示モード ウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。
	選択	画像の一部を四角形で選択します。
	ズーム	画像をズーム表示します。クリックすると拡大表示に、右クリックすると縮小表示に切り替わります。
	フル スクリーン	画像をフル スクリーンで表示します。F キーを押してフル スクリーン表示に切り替えます。
	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	オリジナルの表示	オリジナル画像と編集済み画像を切り替えて表示します。
	ナビゲータ	拡大表示された画像の上にクイックナビゲータ ペインが表示されます。(このボタンは、スクリーンサイズより大きく画像が拡大表示された場合にのみ有効になります。)
	ズーム スライダー	表示モードで表示される画像のサイズをコントロールします。スライダーをドラッグして調整します。
	ズーム ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。
	実際のサイズ	画像の実寸サイズで表示します。
	イメージに合わせて表示	表示モードのサイズに合わせて画像を表示します。
	RAW デコード / 埋め込みプレビュー	現像されていない RAW 画像を表示する場合、ツールバーで [RAW デコード / 埋め込みプレビュー] スイッチを利用できます。RAW 表示については「 RAW 画像を表示する 」を参照してください。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、表示モードから Windows Touch Gestures™ を使用して画像を素早く表示することができます。

表示モードで Windows Touch Gestures™ を使用するには:

表示モードで画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を 1 枚ずつスクロールします。この方法は、表示モードの左下にあるフィルムストリップからも使用することができます。
- 一方方向にゆつくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップして ACDSee の管理モードに戻ります。
- 画面に指を 2 本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2 本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。

- 画像を 100 % 以上縮小したあとは、画像を指でパンすることができます。
- もし画像を実際のサイズ (1:1) で表示したときでも、スワイプして画像を次々に表示できます。その場合、画像はすべて 100% のズームレベルで表示されます。

管理モードに切り替える

表示モードから、いつでも管理モードに戻ることができます。

表示モードから管理モードに戻るには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 画像をダブルクリックします。
- **【管理】** モード ボタンをクリックします。

現像および編集モードを使用する

現像モードは非破壊、パラメトリック編集の RAW 現像を行います。パラメトリック編集とは、現像モードで画像編集を行う際、編集モードで行うように実際の画像ピクセルを調整するのではなく、調整の指示を作成することです。現像モードの非破壊処理は完全に相互作用し、決まった順番で適用されることによって最高の画像品質を引き出します。RAW ファイルを扱う場合、可能な限り RAW 画像データを使用して調整を適用します。

編集モードはすでに RGB にレンダリングされている画像データを扱います。RAW ファイルを現像モードから編集モードに切り替えると、フル解像度の画像データは、現像の指示が適用された 16 ビット RGB 画像に変換されます。編集モードでは各操作は完全に独立しています。編集はその順番通りに変換された RGB データに個別に適用されます。この編集方式により、ユーザーはピクセルを完全にコントロールし、自由な創造性によって正確な調整を適用することができます。選択範囲やブレンドモードなどの利用が可能なものの編集モードの特徴です。

ワークフロー

RAW 画像は [現像] モードで調整を行うことをお勧めします。編集モードでは RGB 画像データの微調整を行うことができます。

例えば、現像モードで RAW 画像のホワイトバランスを調整すると、RAW 変換時に適用される色温度をコントロールすることになります。編集モードでホワイトバランスを調整した場合は、すでにレンダリング済みに RGB データに色かぶりの調整するだけとなり、結果画像品質を下げたポストライゼーションを引き起こす可能性もあります。

現像モード、編集モードの処理機能

まずは現像モードで作業

[現像] モードでは RAW、JPEG およびその他の形式ファイルを非破壊編集することが可能です。

- 画像の修整はまず現像モードで行ってください。現像モードは画像調整において最高の能力を引き出します。行った変更は、画像全体に適用されます。
- 以前に行った画像調整をいつでも再調整することができます。現像済みの画像を再度現像モードで開くと、前回の設定がそのまま残っています。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。
- 変更を行うと、それらは別個のファイルに記録され、オリジナルファイルには一切変更を加えません。現像モードで画像を開くと、その都度オリジナルの画像に変更を適用することになります。これにより、画像の非破壊編集が可能になっています。
- 現像設定はいつでも破棄してオリジナルの状態に戻すことができます。オリジナル画像はあらゆる形式で保存されます。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- 画像の調整：露出、ホワイトバランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフトフォーカス、効果、切り抜き後の周辺光量補正などのツールの使用や、RAW 画像の出力色空間の設定を行います。
- ディテールの調整：シャープネス、ノイズ除去、スキントーン、色収差の補正などのツールを使用します。
- ジオメトリの修正：レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、透視、トリミング、ヴィネット補正などのツールを使用します。
- 修復：赤目補正ツールを使用します。

その後編集モードで作業

画像の一部だけ編集したい場合には、編集モードの各ツールを使用します。画像の一部を選択するには選択範囲ツールを使用します。

- 各編集ツールを使用して、画像の一部に調整を適用します。
- 調整の最後の処理として、画像の境界線やテキスト、透かし、特殊効果などを追加できます。
- 赤目修整などのピクセル編集ツールも用意されています。
- 編集結果はいつでも破棄して現像設定やオリジナルの設定に戻すことができます。現像モードに戻れば、設定は最後に使用したものが残っています。

[編集] モードでは次の作業が可能です：

- 選択範囲ツールまたは編集ブラシを使用して、画像の一部に編集を適用します。
- レイヤーペインを使用して、レイヤーを使った複雑な加工を画像に施すことができます。
- ピクセルターゲットを使用して特定のピクセルのカラーとトーンを調整します。
- 画像の修整、スキントーンの調整、色収差の補正、または赤目補正。
- テキスト、透かし、枠、ヴィネット、チルトシフト、グレイ効果、特殊効果、および描画の追加。
- トリミング、反転、サイズ変更、回転、ゆがみ、透視の補正およびレンズの歪み補正。
- 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、かすみ除去、および覆い焼きと焼きこみツールを使用したライティング調整。
- ホワイトバランス、カラー EQ、カラーバランス、モノクロ、またはスプリットトーンツールを使用して調整します。
- シャープネス、ノイズ除去、ノイズ追加、詳細ブラシ、ぼかし、または 明瞭度 ツールを使用した調整。



管理モードでは画像を簡単にグループ化できますので、現像済みや編集済みの画像を見つけるのも簡単です。**グループド** ロックダウンメニューから **処理状況** を選択したり、カラーラベルを使用してワークフローを確認できます。



現像モードや編集モードを終了するにはキーボードの **Esc** を押します。

365 モードを使用する

365 モードを使用して、365.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。365.acdsee.com は、ACDSee ユーザーを対象にした画像共有 & 画像保存サービスです。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。

365 モードには次の 2 つがあります：365.acdsee.com と転送です。「365.acdsee.com」では、ユーザーの 365.acdsee.com アカウントで画像を参照したり、アカウントの設定を変更したりすることができます。[転送] のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の 365.acdsee.com アカウントが表示されます。スクリーンの下半分に表示されている画像を選択して、365.acdsee.com アカウントの領域にクリック & ドラッグするだけでアップロードが完了します。



365 モードの画像を、「現像」または「編集」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「現像」または「編集」モードで開きます。

画像をアップロードする

365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードするには：

1. 365 モードで、**[ログイン]** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **[転送]** をクリックします。

上下に分割されたスクリーンが表示されます。下半分の領域にはコンピュータに保存されている画像が表示されます。

4. アップロードする画像を選択します。複数の画像を選択するには、**Shift** または **Ctrl** キーを押しながらクリックして選択します。
5. スクリーンの上半分の領域に画像をクリック & ドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。



365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。

ダッシュボード モードを使用する

ダッシュボード モードでは、ファイル、カメラ、データベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。カメラ統計情報は画像のメタデータから読み出され、ファイル情報は ACDSee データベースから分析されます。そのため、このモードを最大限に活用するには [\[カタログ\]](#) の作成が重要になります。

ファイルのカタログ化

カタログ化を行うには、以下のいずれかの操作を行います：

- **[ツール]**、**[データベース]**、**[ファイルのカタログ化]** の順に選択します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボード モード

ダッシュボード モードには、以下のタブがあります：

- **[概要タブ]**：概要タブは、その他のタブに表示される情報のまとめを表示します。月ごとまたは年ごとの写真数詳細を示したグラフも表示します。タブの最上部にある、月を範囲とするか年を範囲とするかの表示を切り替えるドロップダウンメニューが使用できます。前へまたは次へのボタンを使用して、時系列を後ろの方または前の方に移動することができます。

- **【データベース タブ】**: データベース タブは、場所、サイズ、バックアップ情報、アセットの内訳、など、データベースに関するデータを表示します。
- **【カメラ タブ】**: カメラ タブは、最も多く使用したカメラはどれか、よく使う ISO 設定、など、カメラの使用に関するデータを表示します。
- **【ファイル】** タブ: ファイル タブは、最も多く使用したビット深度、画像解像度、など、画像およびビデオファイルに関するデータを表示します。

Chapter 2: ヘルプを使用する

クイックスタート ガイドを使用する

クイックスタート ガイドの左手にはリンクが設定されていて、これらをクリックして ACDSee のメイン機能を示したツアーをはじめ、重要な設定を行うことができるようにデザインされています。

クイックスタートを閉じるには:

ダイアログボックスの左下にある **【起動時に常に表示する】** オプションからチェックマークを解除して **【閉じる】** をクリックします。

クイックスタート ガイドを再表示するには:

メニューバーの **【ヘルプ】** メニューから **【クイックスタート ガイド】** をクリックします。

クイックスタート ガイドを使って、その他の情報にアクセスするには:

クイックスタート ガイドの左手にある各リンクをクリックするか、**【次へ】** ボタンをクリックしてツアーをお楽しみください。

オプションを設定するには:

1. **【既定の開始フォルダ】** をクリックして、起動時に開くフォルダを指定します。
2. **【配色】** をクリックして、ウィンドウの配色を選択します。
3. **【バックアップ アラーム】** をクリックして、データベースのバックアップ用に表示するリマインダーの間隔を指定します。

その他のリソースとサポートについて

ACDSee メニューバーの **【ヘルプ】** メニューには、プラグイン ヘルプファイルを開いたり、ACDSee Web サイトを開いたりするリンクが含まれています。

サポートページ、登録ページのリンク、コミュニティにサインして ACDSee フォーラムに参加することができるコミュニティ ホームページのリンクなど、その他のリンクもお楽しみいただけます。

【ヘルプ】 メニューには、ライセンスコードを入力して ACDSee の体験版を製品版に変換するためのオプションも備えられています。

【ヘルプ】 をクリックすると、以下のメニュー オプションが表示されます。

- プラグイン ヘルプ
- [ACDSee 365 ヘルプ](#)
- [acdID アカウントの管理](#)
- アップデートとメッセージを確認
- クイックスタート ガイド
- [製品 のサポートとリソース](#)
- [カスタマーサポート](#)
- [ACDSee 製品](#)
- [ACDSee コミュニティ](#)
- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- About ACDSee のバージョン情報

Chapter 3: 管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカット アイコンをクリックして ACDSee を起動する際、常に表示されます。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます：

- デバイス、CD または DVD、ディスクから [写真をインポート](#) する
- [ファイルやフォルダを参照する](#)
- ファイルにタグを加えたり、カテゴリ、カラー ラベル、重要度、キーワードやその他のメタデータを追加したりして、[ファイルをカタログ化する](#)
- [ファイルを検索](#) して、検索条件を保存済み検索として作成し、再利用する
- 電子メールで画像を送信したり、スライドショーを作成したり、お気に入りの Web サイトに画像をアップロードしたりするといった、[ファイルの公開や共有](#) をする
- [画像を印刷する](#)
- ファイルの [一括編集または一括現像](#)
- [ACDSee データベース](#)

ACDSee でファイルをインポートする

ACDSee を使用して、デジタルカメラ、フラッシュデバイス、CD や DVD、モバイル、その他のリムーバブルデバイスから画像をダウンロードすることができます。[管理] モードで、**【ファイル】** メニューから **【インポート】** そして[ディスクから] オプションを使用して、ネットワークやマップ可能なディスクやドライブにあるファイルをインポートすることもできます。この方法ではオリジナルのフォルダやサブフォルダは保持されたままの状態になります。

Windows [自動再生] ダイアログボックスを使用してファイルをインポートする

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示されます。

- **ACDSee を使用して画像をインポートする**：このオプションを選択すると、読み込みダイアログが表示されます。ここでファイルの名前を変更したり、バックアップ、保存先を指定します。インポートの設定に名前を付けて保存し、後でそれを再度使用することも可能です。RAW と JPEG の両方のフォーマットで撮影可能なカメラを使っている場合には、取り込み日と RAW + JPEG オプションの詳細設定を作成することができます。また、特定のファイルやプロジェクト用に、名前の変更テンプレートを作成することも可能です。
- **ACDSee を使用して画像を管理する**：このオプションを選択すると、ACDSee のファイルを参照することができます。ファイルをインポートするか、デバイスから直接ファイルをコピー/貼り付けすることができます。
- **Windows を使用してピクチャとビデオをインポートする**：Windows を使用してファイルをインポートする場合、このオプションを選択します。

ご利用になっているコンピュータにインストールされているアプリケーションによって、上記以外のオプションから選択することが可能な場合があります。



コンピュータがデバイスをドライブとして認識しない場合は、デバイスの取扱説明書を参照してドライブとしてマウントする方法を確認するか、カードリーダーを使用してメモリーカードにアクセスします。

特定デバイスの種類からファイルをインポートする

詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください：

- [デバイスから写真をインポートする](#)
- [CD または DVD から写真をインポートする](#)

- [ディスクから写真をインポートする](#)

リムーバブル デバイスについて

ACDSee には、デジタルカメラ、スキャナ、USB 大容量記憶装置から画像を取り込む方法がいくつかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです：

- **USB リムーバブル デバイス：**リムーバブル デバイスには、USB カードリーダーを使ってコンピュータと接続できるメモ리카ード、コンピュータのスロットに直接挿入できるカメラのメモ리카ード、フラッシュドライブが含まれます。USB リムーバブル デバイスはご利用になっているコンピュータによって検出され、リムーバブルドライブとして表示されます。
- **WIA (Windows Image Acquisition)：**ご利用になっているカメラやスキャナの種類によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピュータとコミュニケーションするものがあります。Canon カメラを含むカメラの種類の中にも WIA を使用するものがあります。



オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、DirectX 9.0c および QuickTime が必要です。

デバイスから写真をインポートする

[インポート] ダイアログボックスは、カメラ、カードリーダー、フラッシュドライブやその他の大容量記憶装置からインポートする様々なオプションを備えています。数回のクリックでファイルを手軽にインポートすることも、いくつかのオプションから選択してワークフローを効率化したり、インポートごとに複数のタスクを実行したりすることもできます。

[インポート] ダイアログボックスでは、日付またはファイルの種類別に、デバイス上に存在するファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルのサイズを変更して、希望するファイルとデバイスに残しておくファイルを区別し、選択したものだけを表示します。

ファイルのインポート先フォルダやサブフォルダを選択したり、インポート中にファイルのバックアップを作成したり、名前を変更したり、カメラにオプションがある場合には自動回転させたりすることができます。[詳細設定] では、使用する日付を変更したり、RAW と JPEG ファイルの両方のフォーマットを扱うカメラを使用している場合、これらのファイルの保存先を指定したりすることが可能です。

カテゴリを追加したり、IPTC、ACDSee メタデータなどを追加して、ファイルを整理しながらインポートすることも可能です。

また、これらの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。



カメラがリムーバブルドライブとして接続される場合、ACDSee はフォルダペインに検出されたリムーバブル デバイスを表示するため、ファイル一覧およびフォルダペイン から直接画像をコピーすることができます。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、[ACDSee でファイルをインポートする](#) の「リムーバブル デバイスについて」の項目をご覧ください。



一部のキャノン製カメラなど、ご利用になっているカメラの機種によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピュータとコミュニケーションするものがあります。ご利用のデバイスがこれらのプロトコルを使用する場合、**【ファイル】**メニューの**【インポート】**の**【デバイスから】**をクリックしてファイルをインポートすることが可能です。ACDSee はこれらのプロトコルを自動検出します。

【インポート】ダイアログを使って写真をダウンロードするには：

1. カメラまたはデバイスとコンピュータを接続します。カメラの電源が入っているか、およびケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、**ACDSee を使って画像をインポートしてください。**
 - デバイス検出がオンになっていて、デバイスが検出されると [ACDSee デバイス検出] ダイアログが表示されます。**【ファイル】**メニューの**【インポート】**の**【デバイスから】**を選択して **OK** をクリックします。
 - 複数のデバイスがコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**OK** をクリックします。
 - 管理モードで **【ファイル】**メニューから**【インポート】**、**【デバイスから】**をクリックします。
3. 以下で解説されているように、インポート ダイアログボックスのオプションを設定します。

4. **【インポート】**をクリックします。
5. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**【はい】**をクリックします。



カメラからオーディオやビデオ ファイルをダウンロードする際、DirectX 9.0c および QuickTime が必要です。

インポート オプション

	インポートする項目を選択	次のいずれかを選択してインポートする項目をコントロールします。
		● 新規:過去にインポートされたことのないファイルのみをインポートします。 ● すべて:すべてのファイルをインポートします。 ● カスタマイズ:選択したファイルをインポートします。ファイルのチェックボックスを有効または無効にすることでインポートするファイルをコントロールします。
日付	日付	作成されたすべての日付け別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。日付の横にあるチェックボックスをクリックすると、その日の選択を解除することができます。すべての日付を解除するには、 【すべての日付】 チェックボックスをクリックします。
	ファイルの種類	ファイルの種類別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。ファイルの種類横にあるチェックボックスをクリックすると、そのファイルの種類を選択を解除することができます。すべてのファイルの種類を解除するには、 【すべてのファイルの種類】 チェックボックスをクリックします。
	すべて表示	デバイス上に含まれる、すべてのファイルのサムネイルが表示されます。
	選択されたものを表示	インポート用に選択されたファイルのサムネイルのみが表示されます。
インポート プリセットを選択	【インポート設定】ドロップダウン メニュー	最近使用されたインポート設定の名前が表示されます。次から1つ選択します: ● 現行:現在の設定をインポート用に使用します。 ● 最終使用:最後にインポートされた時の設定を使用します。 ● なし:現在選択されているインポート設定をすべてクリアします。
	インポート設定の保存 	現在選択されているインポート設定に名前を付けて保存しますので、後で同じ設定を使うことができます。インポート設定を保存する(あるいは編集する)には、【保存】アイコンをクリックし新規名を入力します。(または既存の設定を再度保存します。) インポート設定の新規名が、ドロップダウンメニューに表示されるようになります。
	インポート設定の削除 	[インポート設定]ドロップダウンメニューで現在選択されているインポート設定を削除します。
場所	【保存先を選択】ドロップダウン メニュー	最近使用された保存先の名前が表示されます。次から1つ選択します: ● 最終使用:最後にインポートされた時の保存先を使用します。 ● なし:現在選択されている保存先の設定をすべてクリアします。
	【サブフォルダに格納する】ドロップダウン メニュー	次の定義済みサブフォルダオプションを表示します: ● シングルフォル[名前] フィールドに入力した名前が付いている新しいサブフォルダを作成します。このオプションは選択すると有効になります。新規に入力された名前のフォルダ内に、すべてのファイルが格納されます。 ● シングルフォルダ - 今日の日付:今日の日付のフォルダを作成し、すべてのファイルがその中に格納されます。 ● 入れ子フォルダ - 今日の日付別:このオプションを選択すると[フォーマット]フィールドが有効になります。今日の日付を【フォーマット】フィールド内で選択されたフォーマットで表示し、複数の入れ子フォルダを作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、すべてのファイルは一番下のフォルダに格納されます。 ● 入れ子フォルダ - ファイルの日付別:このオプションを選択すると[フォーマット]フィールドが有効になります。【フォーマット】フィールド内で選択されたフォーマットで、ファイルの日付に基づいて複数の入れ子フォルダを作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、ファイルは各日付の付いた一番下のフォルダに格納されます。

		• フォルダの分け方 - ファイルの日付別:【フォーマット】ドロップダウンオプションで選択されたフォーマットで、個々のファイルの日付に基づいて別個のフォルダを作成します。 • サブフォルダ名を保持する:インポート用に【ディスクから】オプションを使用する場合、既存のフォルダ名を保持します。例えば、フラッシュドライブやCDに複雑に構成されたサブフォルダが含まれている場合、フォルダツリーを変更せずにそのままインポートされます。
	フォーマット	入れ子になったフォルダオプション用のフォーマットが表示されます（上記を参照ください）。
	例	現在選択されている設定でフォルダを作成した場合の、入れ子フォルダの例が表示されます（上記を参照ください）。
	【バックアップ先】ドロップダウンメニュー	【格納先】で選択したサブフォルダと全く同じ複製フォルダを使用して、バックアップファイルのセットを作成します。 次のいずれかの操作を行います: • 【参照】をクリックして既存フォルダを参照し、バックアップ先として使用するフォルダを指定します。 • 【参照】そして【フォルダの新規作成】をクリックして、バックアップ先となるフォルダを新規作成します。  既存の ACDSee メタデータはバックアップコピーに含まれますが、インポート時に追加されたすべてのカタログ設定（IPTC または ACDSee メタデータ）は含まれませんのでご注意ください。
ファイル	【ファイル名を変更する】ドロップダウンメニュー	定義済みの名前の変更テンプレートを使用して、インポート時に名前が変更されます: • 日付/時間 - ファイル名:画像ファイルの撮影日と時間にオリジナルのファイル名を付けた形で、ファイルの名前が変更されます。 • 日付/時間:画像ファイルの撮影日と時間を使って、ファイルの名前が変更されます。 • カメラ - 連番:カメラの名前に1から始まる連番をつけた形で、ファイルの名前が変更されます。 • 日付/時間 - 連番:画像の撮影日と時間にオリジナルのファイル名を追加したファイル名に変更します。 • カメラ - ファイル名:カメラの名前とオリジナルファイル名をつけた形で、ファイルの名前が変更されます。 カスタムの変更テンプレートを作成し保存した場合も、このリストに表示されます。
	編集	カスタムの変更テンプレートを作成して保存する ことができる [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。
	【メタデータを適用】ドロップダウンメニュー	保存されたメタデータのプリセット名を選択するか、管理のプリセットを選択して [メタデータプリセットの管理] ダイアログを開きます。
	カスタマイズ	プロパティ ペイン メタデータ タブ:ACDSee と IPTC メタデータをフィールドに入力して、インポートするファイルに追加します。 プロパティ ペイン カテゴリ タブ:インポートされたファイルに、このタブで選択されたカテゴリが適用されます。カテゴリは複数選択することができます。
	画像を自動回転する	ご利用になっているカメラが、このオプションに必要な情報を作成する機種の場合、インポート時に画像が自動回転されます。
	インポート後にソースから項目を削除する	インポート後に、インポートした項目を元の場所から削除します。
詳細設定	ACDSee データベースの日付	ファイルの日付や RAW と JPEG ファイルの格納先などを指定することができる [アドバンス インポート オプション] ダイアログボックスが開かれます。 ACDSee データベースを設定するには、次のうちの1つをファイルの日付と

して使用する必要があります:

- **EXIF 日付**: カメラが画像に埋め込んだ EXIF の日付を使用します。
- **ファイルの更新日時**: ファイルが最終更新された日付を使用します。
- **日付指定**: カレンダーのドロップ ダウン矢印をクリックして、日付を指定します。

RAW+JPEG

RAW と JPEG ファイルの格納先を、次から 1 つ選択します:

- **両方のファイルを指定先に格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの【保存先】で選択されたフォルダに、RAW と JPEG ファイルの両方を格納します。
- **JPEG ファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの【保存先】で選択されたフォルダに、JPEG ファイルを格納します。このオプションを選択すると、フィールドが有効になります。このフィールドに入力された名前のサブフォルダを作成します。すべての JPEG ファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。
- **RAW ファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの【保存先】で選択されたフォルダに、RAW ファイルを格納します。このオプションを選択すると、フィールドが有効になります。このフィールドに入力された名前のサブフォルダを作成します。すべての RAW ファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。



IPTC フィールドに設定された値は、対応する EXIF フィールドに反映されます。

スキャナから写真をインポートする

ACDSee を使って画像をスキャンし、それをアクセス可能な特定の場所にインポートします。

スキャンした画像の保存先フォルダを指定するには:

1. [ツール]、[オプション]、[管理モード] の順にクリックします。
2. 管理モード ページの [スキャン保存先] セクションで、[フォルダの参照] ボタンをクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログで、スキャンした画像の保存先フォルダを選択します。
4. [OK] を押下します。

画像をスキャンするには:

1. 管理モードで、[ファイル]、[インポート]、[スキャナから] の順にクリックします。
2. スキャン設定を自由に構成します。スキャン ダイアログが Windows によりコントロールされているため、これらの設定はお使いの OS と ACDSee のバージョンにより異なります。
3. フォルダ ペインを使ってスキャン済み画像の保存先として設定した場所に進みます。

CD または DVD から写真をインポートする

[インポート] ダイアログまたは [フォルダ ペイン](#) を使用して、CD または DVD に保存されている写真をダウンロードすることができます。インポートする前に、他のフォルダを参照するように CD を参照して、どの写真をインポートするか確認してから、新しい場所にコピー & 貼り付けすることができます。

[インポート] ダイアログを使用すると、サブフォルダオプションを設定して、フォルダ名を含む複雑なフォルダ構造をそのままインポートすることが可能です。インポートしながら画像を整理したり、バックアップ フォルダを作成したりすることもできます。

CD または DVD から写真をインポートするには:

1. ドライブに CD または DVD を挿入します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、**ACDSee を使って画像をインポートしてください。**
 - 複数の CD または DVD がコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**[OK]** をクリックします。
 - 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、をクリックします。
3. [インポート] ダイアログボックスで、使用する [インポート オプション](#) を選択し、をクリックします。
4. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**[はい]** をクリックします。

ディスクから写真をインポートする

ACDSee を使用すると、他のストレージデバイス、コンピュータ、ネットワークなどから、簡単に写真をインポートできます。コンピュータがマップできるあらゆるデバイスに対応しています。リムーバブルドライブやネットワーク、ディスクやその他のコンピュータと接続すると、ACDSee は [フォルダ] ペインにリムーバブルドライブとしてそれを表示するため、参照したり確認したりすることが可能です。それから、ACDSee にインポートしたいファイルをコピー & ペーストするだけで完了です。

複雑なフォルダ構造のディスクやドライブから写真をインポートしようとしている、あるいはインポートしながら名前変更やバックアップファイルを作成して整理したい場合には、[インポート] ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスには、インポート中に行うことができるタスクの設定が備えられています。

ディスクから写真をインポートするには:

1. ディスクとコンピュータを接続します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - Windows の [自動再生] ダイアログボックスが表示されたら、**ACDSee を使って画像をインポートしてください。**
 - 複数のディスクまたはドライブがコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**[OK]** をクリックします。
 - 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[ディスクから]** をクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログから、リムーバブルドライブまたはデバイスをナビゲートし、**[OK]** をクリックします。
4. [インポート] ダイアログボックスで、使用する [オプション](#) を選択し、をクリックします。
5. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**[はい]** をクリックします。

名前の変更テンプレートを作成する

[インポート] ダイアログを使って、ハードドライブに画像がコピーされている間、各ファイルに固有の名前を付けるテンプレートを作成したり、それに名前を付けて保存したりすることができます。画像をインポートする度に、テンプレートを再利用することも可能です。名前の変更テンプレートは、連番、カスタムの名前、各ファイル特定の情報を含むことができます。異なる種類のファイルに、異なる名前変更テンプレートを作成・保存できます。例えば、異なるカメラや異なるタイプのファイルに、異なる名前変更テンプレートを設定できます。

ファイル名変更のテンプレートを作成するには:

1. [インポート] ダイアログボックスから、**[次に名前を変更する]** を選択します。
2. ドロップダウンリストをクリックして、次のいずれかを選択します：
 - **日付/時間 - ファイル名**: 画像ファイルの撮影日と時間にオリジナルのファイル名を付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **日付/時間**: ファイルの撮影日と時間を使った形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **カメラ - 連番**: カメラ名と連番を使った形で、ファイルの名前が変更されます。

- **日付/時間 - 連番**: ファイルの撮影日と時間に連番が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
 - **カメラ - ファイル名**: カメラ名と各ファイルのオリジナル名が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
3. カスタムのテンプレートを作成する、あるいはシステムのテンプレートに追加するには、**【編集】**をクリックします。
 4. [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスで、以下の表で解説されているオプションから選択します。
 5. **OK** をクリックします。



【ビデオとオーディオ ファイルはスキップ】 チェックボックスを選択すると、インポート中にビデオまたはオーディオ ファイルの名前は変更されません。

名前の変更テンプレート オプション

システム テンプレートのドロップダウン リスト	ドロップダウン リストをクリックして、定義済みのシステム テンプレートを選択します。
新規の名前の変更テンプレート 	[新規の名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。カスタムのテンプレートに使用する名前を入力します。テンプレートの使用目的、または含んでいる情報がすぐにわかるようなテンプレートの名前を付けるように注意します。例えば、カメラ名_撮影者 のような名前を付けます。 【保存】 をクリックすると、システム テンプレートのドロップダウン リストにその名前が追加されます。
削除 	現在選択されているテンプレートをドロップダウン リストから削除します。定義済みのシステム テンプレートは削除できませんのでご注意ください。
名前の変更テンプレート	このフィールドを使用して、名前の変更テンプレートを作成します。撮影者の名前を入力した後にアンダースコアを入れて、その次に続くエレメントから区別しやすいように、また読みやすいように気をつけます。 次のプレースホルダを使って、各ファイルが固有名を持つようにします: • * (アスタリスク) を挿入する。ファイルの名前が変更される際、* (アスタリスク) がオリジナルのファイル名になります。 • # (シャープ記号) を挿入する。ファイルの名前が変更される際、# (シャープ記号) が連番になります。ファイルの数が多い場合には、# を複数挿入するようにします。例えば、### と入力すると、最初のファイルは 0001、次のファイルは 002 という番号が付けられます。1000 以上のファイルをインポートする場合は、# を最低 4 つ (####) 挿入するようにします。 • メタデータのプレースホルダである < > を挿入します。これらの括弧内に指定されたデータが、名前の変更に置き換えられます。例えば、<カメラ:モデル名> を選択した場合、各ファイル名にカメラのモデル名が挿入されます。
メタデータの挿入	クリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開かれます。メタデータの一覧からテンプレートに使用するデータを選択します。
例	[名前の変更テンプレート] フィールドに入力する、あるいはプレースホルダを追加するにつれ、[例] に表示されるテンプレートが変わります。
ビデオとオーディオファイルはスキップ	名前の変更中、ビデオとオーディオ ファイルの名前は変更されません。

Lightroom® データベースをインポートする

Adobe® Lightroom® Database インポーターを使用して、コレクション、キーワード、重要度、カラーラベルを Lightroom® から ACDSee へインポートできます。キーワード階層は、インポートに選択された画像に埋め込まれているかどうかに関わらず、インポートを行います。



スマートコレクションをインポートすることはできません。



Lightroom® を開いたままインポートを開始することはできません。



ACDSeeにあるコレクションの階層がLightroom®にある階層と同じ場合、これらのコレクションは統合されます。

Lightroom® データベースをインポートするには:

1. [管理] モードで、[ツール] | [データベース] | [インポート] | [Lightroom データベース] を選択します。
2. Adobe Lightroom Database インポーターで [次へ] を押します。
3. 重要度、ラベル、コレクション、キーワードなど、ACDSee にインポートしたいデータベース情報のチェックボックスを選択します。
4. [場所] フィールドの隣にある [参照] ボタンを使用して、Lightroom® データベースファイルの場所に移動します。



デフォルトでは、フィールドにはLightroom® のデータベースが保存されている場所が表示されるため、参照が必要なのはデータベースを移動した場合のみです。

5. [次へ] を押します。
6. 概要をチェックして、表示されている情報が正しいことを確認します。間違っている場合は、[戻る] ボタンを使用して前のページに戻り、訂正します。
7. [次へ] を押します。正常に完了した項目の隣には緑のチェックマークが表示され、失敗した項目の隣には赤いチェックマークが表示されます。
8. [完了] を押します。

Lightroom は Adobe Inc の登録商標です。

モバイルで画像を扱う

ACDSeeを使えば、お使いの携帯電話上で、画像へのアクセス、画像の閲覧、表示、削除、コピー、貼り付けを実行できます。モバイルデバイス上で画像を編集または作成するには、画像をローカルフォルダにコピーする必要があります。

ACDSee を使って携帯電話上で画像にアクセスするには:



モバイル デバイスでファイル共有が有効になっていることを確認します。

1. 携帯電話のプラグインを使って、ACDSeeを開きます。
2. 管理モードで、フォルダペインを使用して、[この PC/コンピュータ] のお使いの電話に進みます。
3. フォルダペインまたはファイル一覧ペインを使用して、対象の画像に進みます。画像は通常、DCIM というフォルダに保存されています。



ACDSeeにより、プロパティペインに、お使いのデバイスから提供されたファイル情報が表示されます。

携帯電話に保存されている画像を表示するには:

ファイル一覧ペインで画像をダブルクリックします。



フィルムストリップを使うと、フォルダ内のその画像に進むことができます。

ACDSee で携帯電話に保存されている画像をフォルダにコピーするには:

ファイル一覧ペインで画像を選択し、次のいずれかを実行します:

- 右クリックして [コピー] を選択します。別のフォルダを参照し、右クリックして [貼り付け] を選択します。
- 右クリックして [フォルダにコピー...] を選択します。[フォルダにコピー] ダイアログで、保存先フォルダを選択して [OK] をクリックします。

- [編集] から [コピー] に進むか、または **CTRL + C** を押します。保存先フォルダで、[編集] から [貼り付け] に進むか、または **CTRL + V** を押します。

ACDSee を使って携帯電話から画像を削除するには:



お使いのモバイル デバイスの設定を、PC を使ってファイルを削除できるように変更する必要があります。

ファイル一覧ペインで画像を選択し、次のいずれかを実行します:

- 右クリックして [削除] を選択します。
- **DEL** を押します。
- [編集] から [削除] に進みます。

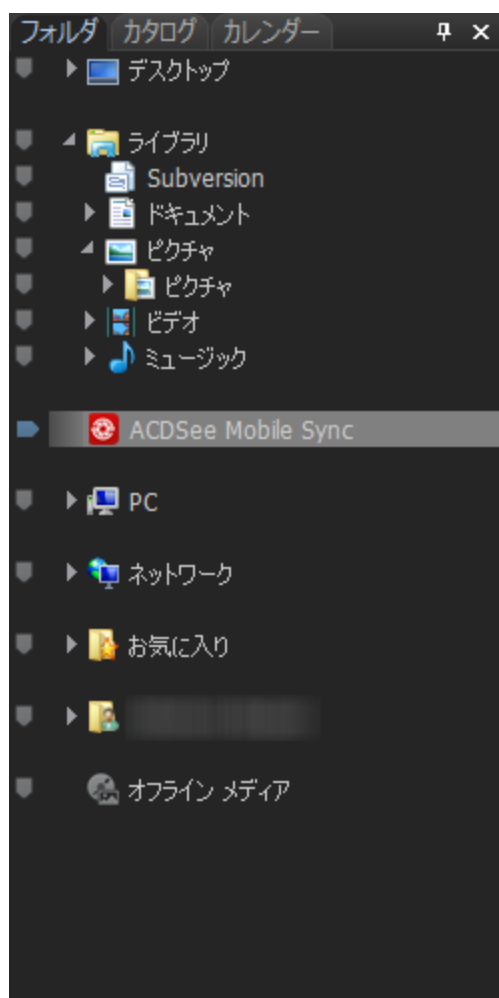
ACDSee Mobile Sync を使用してモバイルデバイスから ACDSee に画像を送信する

ACDSee Mobile Sync アプリを使って、モバイル デバイスから PC の ACDSee Photo Studio に写真やビデオを直接送信できます。この無料アプリは、iOS の場合は Apple App Store で、Android の場合は Google Play ストアで入手できます。



ACDSee Mobile Sync では、ACDSee への写真の送信が記録され、カラーボーダーを使って新規アイテムと未送信アイテムが表示されます。

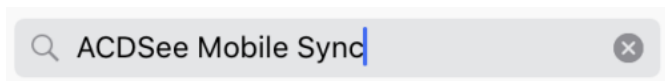
管理モードで、フォルダペインの ACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、ACDSee に送信した画像にアクセスできます。



はじめに

アプリを入手するには:

- iOS の場合は [Apple App Store](#) でダウンロードできます。App Store の検索バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。



- Android の場合は [Google Play ストア](#) でダウンロードできます。Play ストアの検索バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。

お使いのデバイスで ACDSee Mobile Sync アプリのインストールが完了したら、アプリを開きます。表示される指示に従って、アプリに写真へのアクセスを許可し、ターゲット (PC 上の ACDSee) を割り当てます。

- ! ACDSee Mobile Sync を使って写真やビデオを送信するには、ACDSee を実行している PC と同じ WiFi ネットワークに接続する必要があります。

画像とビデオを送信する

ACDSee Mobile Sync アプリから ACDSee に画像や動画を送信することができます。ACDSee Mobile Sync は、どのアイテムを既に送信したかを記録します。ACDSee により、送信したアイテムが受領された時点で、右下にポップアップが表示されて受領が通知されます。管理モードで、フォルダペインの ACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、受領されたファイルを確認できます。

新しいアイテムをすべて送信するには、[送信] ボタンを押します。

特定のアイテムを送信するには、そのアイテムを選択して [送信] ボタンを押します。



アプリ内のコンテキストメニューでさらに特殊な選択オプションを使用できます。



ハードドライブ上の ACDSee Mobile Sync フォルダの位置をカスタマイズできます。「[ACDSee Mobile Sync オプションを設定する](#)」を参照してください。

ファイル一覧ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧] ペインは、管理モードの中央に位置する大きなペインです。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウズ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

既定設定として、ファイル一覧ペインにはサムネイルが表示されます。ファイル一覧ペインは、サムネイルから詳細、一覧、アイコン、タイル、またはフィルムストリップの、希望の表示に変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧ペインを使用する

ファイル一覧ペインは、コンテンツバー、ファイル一覧ドロップダウンリスト、ファイル一覧ツールバーの 3 つのセクションで構成されています。サムネイル上に表示されるオーバーレイアイコンは、その画像に関する追加情報 (処理済、ジオタグ済みなど) を示し、また重要度、タグ、ラベルなどを設定することも可能です。

コンテンツバー

コンテンツバーはファイル一覧ペインの最上部に位置し、現在参照しているフォルダのパスが表示されます。[フォルダペイン] を使用している場合、コンテンツバーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カタログペイン] を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。

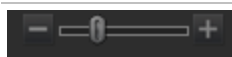
[重要度: 4] そして [ラベル: ブルー] そして [1 カテゴリ: 人物] ▼

[カレンダーペイン](#) を使用して参照する場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、[検索ペイン] を使用している場合、検索結果が表示されます。

ファイル 一覧 ドロップダウン リスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。[フィルタ オプションの設定] を選択してカスタム フィルタを作成することも可能です。
グループ	ファイル 一覧 ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
並べ替え	ファイル 一覧 ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	ファイル 一覧 ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル 一覧 ツールバー

	画像バスケットに追加	選択された画像を画像バスケットに追加します。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	ズーム スライダー	ファイル 一覧 ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダーをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。

オーバーレイアイコン

	サウンド / サウンドの再生	埋め込みオーディオまたは関連付けられたオーディオがある場合に表示されます。サウンド アイコンをクリックして、埋め込まれたサウンドの再生が開始されると2 番目のアイコンが表示されます。	右クリックして埋め込みオーディオを再生します。
	重要度	ACDSee データベースに保存されている重要度が存在する場合に表示されます。	
	カラーラベル	カラーラベルが設定されている場合に表示されます。	
	埋め込み保留中	ファイル内に、未書き込みの ACDSee データベース内に保存されている ACDSee メタデータがある場合表示されます。	右クリックして次のどちらかの操作を選択してください: • ACDSee メタデータをいつでも埋め込むには: メタデータをファイルへ書き込みます。 • 埋め込み保留中のフラグの解除: オーバーレイアイコンは解除しますが、メタデータをファイルに書き込むことはしません。
	ファイル フォーマット	ファイル フォーマットが表示されます。	クリックすると、プロパティ ペインのファイルタブにあるファイル情報、画像属性、および EXIF メタデータが表示されます。
	カテゴリ	カテゴリが適用されている場合に表示されます。	プロパティ ペインのカテゴリ タブにあるカテゴリをクリックして開きます。
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合に表示されます。	
	ショートカット	別のファイルへのショートカットが適用されている場合に表示されます。	
	オフライン	ファイルがオフライン デバイスに格納されている場合に表示されます。	
	除外された項目	ACDSee データベースから除外されている場合に表示されます。	
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に表示されます。	
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に表示されます。	
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に表示されます。	クリックしてマップ ペインを開きます。
	自動回転	ファイルが自動回転されている場合に表示されます。	左クリックしてオリジナル画像自体を回転し、EXIF 情報を更新します。
	現像済み	ファイルが現像されている場合に表示されます。	
	編集済み	ファイルが編集されている場合に表示されます。	

オーバーレイ アイコンの表示を変更する

オーバーレイ アイコンの表示、色で表示、どのアイコンを色で表示するかを変更できます。

オーバーレイ アイコンの表示を変更するには:

管理モードのファイル一覧ペインの一番上で、次のいずれかを実行します:

- [表示] メニューから [オーバーレイ モードの切替] を選択して、オーバーレイ アイコンの表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。] キーをクリックして、利用可能なモードを切り替えます。
- [表示] メニューから [オーバーレイのハイライト] をクリックして、どのアイコンをカラーで表示するかを選択します。] キーをクリックして、利用可能なオプションを選択します。



すべてのオーバーレイ アイコンには適用されませんのでご注意ください。どのアイコンを表示するかについての詳細は [サムネイル 情報オプション](#) を選択するをご確認ください。

ファイル一覧 ペインを最大化する

スクリーンのスペースを最大限に使用するために、管理モードの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化することができます。管理モードで表示される領域は、ファイル一覧ペインと現在使用中のツールバーのみになります。

ファイル一覧ペインを最大化するには:

1. [表示] メニューから [ファイル一覧の最大化] を選択します。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示するには、[表示] メニューから [フル スクリーン] を選択します。
3. 管理モードに戻るには、右上隅の [フル スクリーンを閉じる] ボタンをクリックします。

フォルダ ペインでファイルを参照する

フォルダ ペインには、Windows エクスプローラのフォルダ ツリーと同じスタイルでコンピュータのフォルダ構成が表示されます。フォルダ ペインで 1 つまたは複数のフォルダを選択し、そのフォルダの内容を [ファイル一覧](#) ペインに表示することができます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。特定のファイルを検索することなく、[ショートカット ペイン](#) ですばやくアクセスすることができます。

フォルダ ペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee データベースはそのフォルダ内の画像またはメディア ファイルをカタログ化します。

フォルダ ペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、[ペイン] をクリックして [フォルダ] をクリックします。

大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダ ペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダ ペイン内をクリックするだけで、デバイスとその内容を表示することができます。

複数のフォルダを選択する

イージーセレクト バーは、フォルダ ペインおよびカタログ ペインの左側にある縦列のバーです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダ、カテゴリ、重要度を選択し、ファイル一覧ペインに該当するファイルを表示することができます。

イージーセレクト バーを適用するには:

フォルダ ペインで、表示したいフォルダの左にあるチェックボックスをオンにします。

また、イージーセレクト バーを [ブラウズ検索 ペイン](#) で使用することも可能です。

フォルダの作成と管理

フォルダ ペインおよびファイル 一覧 ペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダ ペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 新規フォルダを作成するには、**【ファイル】** メニューから **【新規作成】** を選択し、**【フォルダ】** をクリックします。新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。
 - フォルダを削除するには、フォルダを選択して **<Delete>** キーを押します。
 - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、**【名前の変更】** を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。



ドライブ、あるいはCD-ROM のような読み取り専用のファイルの名前を変更することはできません。

日時またはイベントごとにファイルを参照する

カレンダー ペインでは、ファイルに関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダー ペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォトカレンダーが用意されています。フォトカレンダーは、各月で撮影された日付けに基づいてサムネイルを表示します。カレンダー ペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダー ペインを開くには:

管理モードで、**【ペイン】** から **【カレンダー】** をクリックします。

メインブラウザの左手、**【フォルダ】** と **【カタログ】** タブの間にカレンダー ペインが開かれます。



カレンダーペインに画像を表示するには、画像の含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイル ウィザードを使用してカタログ化を行っており、ACDSee データベースにその情報が含まれている必要があります。



【フォトカレンダー】 を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にものみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日は空白で表示されます。

カレンダー ペインの表示オプション

	イベントモード	カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像またはメディアファイルが表示されます。月の横には、画像またはメディアファイルが含まれている日数が表示されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。
	年モード	カレンダー ペインを年モードに切り替えます。年モードでは、年ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの年度が表示されます。年の横には、該当年に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示で区別されます。
	月モード	カレンダー ペインを月モードに切り替えます。月モードでは、月ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの月が表示されます。月の横には、該当月に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	日モード	カレンダー ペインを日モードに切り替えます。日モードでは、日ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの日が表示されます。日の横には、該当日に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	フォトカレンダー	カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダーは、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示します。サムネイル上にマウスを移動すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示されます。カレンダーの右上に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。タイトルバーをドラッグ、または逆三角の矢印をクリックして [フロート] を選択して別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更することができます。
	オプション	カレンダー ペイン オプションを使って、ファイルの管理に使用する日を指定します。例えば以下のよう に日付を設定し、表示を素早く切り替えることができます： - データベースの日付（ACDSeeがデータベースをカタログ化した日付） - 画像の撮影日時 - ファイルの更新日時 - ファイルの作成日時（コンピュータにロードされた日） [ACDSee オプション] を選択して [カレンダー] ダイアログを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定します。
	目次	イベント日の一覧を表示します。  イベントモードでのみ利用できます。

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。



カレンダー タイトル バーを右クリックして、**[フロート]** を選択してペインを新しい場所に移動できます。

イベントモードの特定日に説明を追加するには：

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. **【イベントの説明をここに入力します】** をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規入力された説明に置き換えます。
3. **<Enter>** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーにある特定のサムネイルを選択するには：

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。
3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック & ドラッグします。

マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、**【既定サムネイルの復元】**を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある **+/-** をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、**【全グループの展開】** または **【全グループの折りたたみ】** を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、**【ファイル一覧】** スクロールバーの下にある **【次のグループ】** または **【前のグループ】** ボタンをクリックします。
4. **【カレンダー】** ペインのスクロールバーの下にある **【目次】** ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

お気に入りファイルを参照する

お気に入りのファイルへすぐにアクセスできるショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインを開く

【ペイン】 から **【ショートカット】** をクリックします。

ショートカットを作成する

ショートカット ペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動したりすることができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee 内から別のアプリケーションを起動することもできます。**【ファイル】** 一覧ペインからファイル、フォルダ、実行ファイルをショートカットペインに直接ドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

ショートカット ペインにファイルを追加するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したアイテムを右クリックし、**【ショートカットに追加】** を選択します。
 - **【ファイル】** メニューの **【ショートカットに追加】** をクリックします。
3. 新規ショートカット名を入力し、**【OK】** をクリックします。

新規フォルダを作成する

ショートカットを管理しやすいように、ショートカット ペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することが可能です。

新規フォルダを作成するには:

1. ショートカット ペイン内で、ショートカットあるいは既に作成されているフォルダを右クリックし、**【新規作成】**、**【フォルダ】** を選択します。
2. 新規フォルダの名を入力し、**<Enter>** キーを押します。



ショートカットとして適用されているファイルまたはフォルダを移動するとリンクが壊れるため、それ以降ショートカット機能が適切に起動しないこととなります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

ショートカット ペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには:

ショートカット ペインで、ショートカットまたはフォルダを右クリックし、**【削除】**をクリックしてから**【はい】**をクリックして、ショートカットまたはフォルダの削除を確認します。

カタログ ペインを使用する

カタログ ペインは管理モードの中で最も便利なペインの 1 つで、ファイルの整理や管理に必要なツールを数多く搭載しています。ファイルをカタログ ペインのカテゴリや重要度、キーワード、カラーラベルにドラッグすることで素早くファイルの整理が可能になります。自動カテゴリを使えば、ファイルサイズやキーワード、シャッター速度などの特定の情報でファイルを検索することができます。保存済み検索では、検索を自由に作成して実行することが可能です。[イメージウェル] のようなスペシャルアイテムを使用すれば、コンピュータ内の全画像をワンクリックで表示できますし、またカテゴリ分けされていない画像もスペシャルアイテムの [未分類] をクリックすれば簡単に表示できます。

カタログ ペインを開くには:

管理モードで、[ペイン] から **【カタログ】** をクリックします。

メインブラウザの左手、[フォルダ] と [カレンダー] タブの間にカタログ ペインが開かれます。

イージーセレクトバー

イージーセレクトバーを使用して複数のアルバム、重要度、キーワード、ラベル、カテゴリを選択すると、選択した条件に合致するファイルをファイルリストペインで表示することができます。

イージーセレクトバーを適用するには:

カタログ ペインの各項目の左に表示されるインジケータ  を選択します。選択した条件に合致したファイルがファイルリストペインに表示されます。

ACDSee データベース

カタログ ペインまたはプロパティ ペインにあるカテゴリや重要度に関連する情報は、ACDSee データベースに保存されます。各ファイルにこの情報を埋め込むことで、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。

RAW ファイルを参照する

RAW ファイルはネガフィルムに似ているため、表示する前にフィルムの現像、つまり RAW 処理を行わなければなりません。参照する前に RAW ファイルをすべて処理しなければならないとすると、時間が無駄だけでなく大変不便です。ACDSee では、ACDSee がベーシックなプロセスを自動的にしてくれるため、ユーザーが RAW ファイルをいちいち処理する必要はありません。

RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合には、ACDSee はそのサムネイルを管理モードに表示します。埋め込まれているサムネイルの画質が低い場合には、ACDSee はまずそのサムネイルを管理モードで表示した後、高画質のサムネイルに変換してから再表示します。このプロセス状況は、ウィンドウの下にあるステータスバーで確認することができます。

高画質のサムネイル表示に時間がかかりすぎる場合、このオプションをオフに設定することができます。**【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択し、**【ファイル一覧】** にある **【高画質のサムネイルを作成する】** チェックボックスをクリアにします。RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれていない場合には、ACDSee は高画質のサムネイルを素早く作成し、管理モードに表示します。



【高画質のサムネイルを作成する】 オプションをオフにすると表示速度は向上しますが、RAW 画像のサムネイルが正確に表示されない可能性が高くなります。

ACDSee はデータベースを検索し、RAW ファイルが現像されているかを確認します。RAW ファイル用の設定が見つかったら、それらの設定を使用して管理モードに適切なサムネイルを表示します。

一度サムネイルが作成されると ACDSee データベース内にその情報が保存されるため、次回から再構築と表示時間が短縮されます。

表示を変更する

ファイル一覧ペインでは、サムネイルのプレビュー、ファイルの詳細を含む、様々な表示モードでファイルを表示することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、「詳細」モードで表示する情報を指定することができます。

ファイル一覧ペインを変更するには:

管理モードのファイル一覧ペインのメニューから次のいずれかを実行します:

表示

サムネイル+詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、「ファイル名」列にサムネイルが加わります。
フィルムストリップ	ファイル一覧ペインの下に、ファイルのサムネイルを横一列に表示します。拡大されたプレビューペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディアファイルのサムネイルを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイルとファイル情報を含んだ「タイル」として、ファイル一覧に表示します。ズームスライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。
アイコン	ファイル一覧ペインにあるファイルを、各ファイルの種類に適用されている既定の大きなアイコンで表示します。
ファイル一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細が表示されます。下記に説明されているように、「詳細」表示モードをカスタマイズしたり、ファイルに表示される情報を指定することができます。
オーバーレイモードの切替	オーバーレイアイコンの非表示、グレースケールで表示、カラーで表示を切り替えます。【キーを押して選択します。
オーバーレイのハイライト	どのオーバーレイアイコンをカラー表示するか選択します。【キーを押して選択します。

詳細表示モードをカスタマイズする

「詳細」表示モードの列を自動的にサイズ変更したり、グリッドラインを表示または非表示に切り替えたり、行のヘッダーを選択するとその行全体が選択されるように設定することができます。また、「詳細」表示モードの表示方法を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列を選択したり、列の順序を変更するには:

1. 管理モードでファイル一覧のドロップダウンで【表示】|【詳細表示の設定】を選択します。
2. [サムネイル表示情報の選択] ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います:
 - 列を追加するには、[選択可能な詳細] ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し【追加】をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細が追加されます。
 - 列を削除するには、[現在選択されている詳細] ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し【削除】をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの左に移動するには、[現在表示されている詳細] ペインで該当の列を選択し、【上に移動】をクリックします。
 - 列をファイル一覧ペインの右に移動するには、[現在表示されている詳細] ペインで該当の列を選択し、【下に移動】をクリックします。
3. **OK** をクリックします。



既定の列のみを [現在表示されている詳細] ペインに表示するには、【リセット】をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをそのままドラッグして移動することも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件 オプションを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

ファイル一覧ペインのフィルタを設定するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【表示】**メニューからをクリックし、フィルタ オプションを選択します。
- **【フィルタ】**ドロップダウンをクリックし、フィルタ オプションを選択します。



サムネイルが隠れてしまった場合には、**【フィルタ】** から **【すべて】** を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【表示】**メニューからそして
 - **【フィルタ】**ドロップダウンをクリックし、を選択します。
2. **【フィルタ適用の条件】**を選択します。
3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、ファイル一覧ペインに選択されたファイルの種類が表示 / 非表示されます:
 - **画像ファイルの表示**
 - **メディア ファイルの表示**
 - **フォルダを表示**
 - **アーカイブ ファイルの表示**
 - **【隠しファイルとフォルダを表示する】**を選択して、オペレーティング システムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
 - を選択してサムネイル ファイルを表示します。
 - **【XMPファイルを表示する】**を選択して、Adobe® が RAW フォーマット用に作成する XMP サイドカーファイルを表示します。
4. **OK** をクリックします。

ファイルをグループ化する

[ファイル一覧] で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、[グループ化] を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。グループ化することで、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数のカメラを使用する場合には、画像撮影に使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。



グループ化は、[サムネイル]、[サムネイル + 詳細]、[詳細]、[タイル]、[アイコン] 表示モードでのみ利用することができます。



「処理状況」でグループ分けすると、どのファイルが現像または編集済みかなどを区別することができるため大変便利です。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには:

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【表示】**メニューから**【グループ化】**をクリックし、グループ オプションを選択します。
 - **【グループ】**ドロップダウンをクリックし、グループ オプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには

特定グループを展開または折りたたむには:

グループヘッダーの左横にある**【展開】**または**【折りたたみ】**矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには:

【全グループの展開】または**【全グループの折りたたみ】**を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには:

グループのヘッダー上にマウスをポイントします。

複数のグループ間をスクロールするには:

【ファイル一覧】スクロールバーの下にある**【次のグループ】**または**【前のグループ】**ボタンをクリックします。

目次を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【表示】**メニューから**【グループ化】**そして**【目次】**をクリックします。
- **【グループ】**ドロップダウン リストから**【目次】**をクリックします。
- ファイル一覧 スクロールバーの下にある**【目次】**ボタンをクリックします。

特定のグループに素早くジャンプするには:

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替えるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【表示】**メニューの**【グループ化】**をクリックし、**【昇順】**または**【降順】**を選択します。
- **【グループ】**ドロップダウンをクリックし、**【昇順】**または**【降順】**を選択します。

ファイル一覧からグループを削除するには

1つのグループを削除するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【表示】**メニューから**【グループ化】**そして**【なし】**をクリックします。
- **【グループ】**ドロップダウン リストから**【なし】**をクリックします。

1つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには

グループ内のファイルを選択するには:

以下のいずれかの操作を行います：

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- **<Ctrl>** キーを押しながら、複数グループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

管理モードでは、異なるファイルプロパティによってファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには：

1. **【表示】**メニューから**【並べ替え】**をクリックし、並べ替えオプションを選択します：
 - ファイル名
 - サイズ (KB)
 - 画像タイプ
 - 更新日時 (M)
 - 画像プロパティ
 - キャプション
 - 重要度
 - タグ
 - 詳細 (メタデータ、EXIF、ファイルプロパティ、画像の属性、IPTC 情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)
2. 並べ替えの順序を設定するには、**【表示】**メニューから**【並べ替え】**をクリックし、次のいずれかを選択します：
 - 昇順に並べ替え
 - 降順に並べ替え



並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには：

1. 列のヘッダーをクリックします。矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します。
2. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

[カスタム並べ替え] を使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。[カスタム並べ替え] で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または [カスタム並べ替え] が削除されるまで ACDSee によって自動的に保持されます。

ファイルの並べ替え順序をカスタマイズするには：

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。



[カスタム並べ替え] を削除するには、**【表示】** メニューから **【並べ替え】** を選択し、**【カスタム並べ替えの削除】** を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。また、選択範囲をすべてクリアにすることもできます。

ファイル一覧に新しいファイルが追加される度にそれらのファイルを自動的に選択するオプションも用意されています。**【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】**、**【ファイル一覧】** を選択してください。

ファイルやフォルダを選択するには:

- ファイルを選択するにはサムネイルをします。
- 複数のファイルを選択するにはします。
- **Shift + クリック** すると連続した複数のファイルを選択します。



ファイル一覧ペインの端の部分をクリックすると選択を解除します。

メニューからファイルやフォルダを選択するには:

1. **【管理】** モードで **【編集】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **すべて選択**: 現行フォルダ内にあるすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
 - **すべてのファイルを選択**: 現行フォルダ内にあるすべてのファイルを選択します。
 - **すべての画像を選択**: 現行フォルダ内にあるすべての画像ファイルを選択します。
 - **タグの付いた画像を選択**: フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
 - **重要度で選択**: 重要度の一覧を表示し、選択された重要度が適用されているすべてのファイルを選択します。
 - **選択のクリア**: 現在の選択項目を解除します。
 - **選択範囲の反転**: 元の選択範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビュー ペインでは、画像、オーディオ、ビデオ ファイルのプレビューを表示することができます。デフォルト設定では、プレビュー ペインには画像の EXIF 情報の主要な部分が表示されます。プレビューペインで現在選択されている画像またはメディア ファイルのサムネイルを表示するよう設定することができます。プレビュー ペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。

プレビュー ペインを使って、選択した画像のヒストグラムを表示することも可能です。

プレビュー ペインを開くまたは閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【ペイン】** から、**【プレビュー】** をクリックします。
- **CTRL + Shift + P** を押します。

プレビュー ペインに表示する情報を選択するには:

画像を表示している時にプレビュー ペインに表示されているオプションをカスタマイズできます。(画像を表示するには、**【ツール】**、**【オプション】**、**【プレビュー】** の順に進み、**【画像を表示】** チェックボックスを有効にします。)プレビュー ペインで画像を右クリックし、**【画像と情報】** を選択して、次のいずれかを選択します:

- **画像の表示**: 画像のサムネイルプレビューが表示されます。
- **情報の表示**: 画像の EXIF 情報を表示します。これは情報パレットと呼ばれます。
- **ヒストグラムの表示**: 画像のヒストグラムを表示します。

情報パレット

情報パレットは、画像の EXIF 情報の最も有用な要素に素早くアクセスすることができます。含まれる情報:

- カメラ名とレンズモデル
- 大きさ
- ファイルサイズ
- 露出プログラム
- ホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW (RAW でないファイルの場合は空白)
- ISO
- 絞り値
- シャッター速度
- 露出補正
- 焦点距離



アイコンの意味がわからない場合は、その上にマウスポインタを移動すると説明がポップアップ表示されます。

プレビュー情報をカスタマイズするには:

プレビューペインの情報パレットの下に表示する情報をカスタマイズすることができます。既定では、画像の撮影日時が表示されます。

1. プレビューペインの情報パネルの下に表示されている日時を右クリックします。
2. をクリックします。
3. 詳細の選択ダイアログボックスで、現在表示されている詳細に表示されている項目を選択してボタンをクリックします。
4. 選択可能な詳細から表示したい項目にチェックを入れてボタンをクリックします。
5. **OK** をクリックします。

音楽または動画ファイルをプレビューするには:

1. **【ツール】**メニューから**【オプション】**を選択します。
2. **オーディオおよびビデオクリップのプレビュー**チェックボックスを選択します。
3. **OK** をクリックします。



情報パレットは表示モード、現像モードおよび編集モードでも表示されます。情報パレットをオフにするには、ペインメニューの**【情報パレット】**の選択を解除します。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある**【回転】**アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理の JPEG 画像を回転する際、ACDSee は可逆圧縮の回転を実行します。

画像を回転するには:

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの【左に回転】または【右に回転】ボタンをクリックします。

回転 アイコン

	反時計回り	画像を左に 90 度回転します。
	時計回り	画像を右に 90 度回転します。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの明るさを比較して、類似する部分や異なる部分をハイライトします。好きな方の画像をハードディスク上の新しい場所に保存したり、後で管理モードで作業するために画像にタグを付けたり、削除、移動、名前の変更、編集を行うことができます。

画像を比較するには:

1. ファイラー一覧ペインから、比較したい複数の画像を選択します。
2. 【ツール】メニューから【画像の比較...】を選択します。[画像比較ビューア]には最大 4 画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の 1 つ以上を実行します:
 - 比較リストの画像を右クリックし、【画像比較ビューアで表示】を選択します。(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)
 - 比較リストから、[画像比較ビューア]のボックスに画像を直接ドラッグします。
 - [画像比較ビューア]の画像を右クリックし、【次の画像】あるいは【前の画像】を選択します。
 - [画像比較ビューア]の画像を右クリックし、【ファイル】メニューから【画像の比較から削除】を選択するか、画像ツールバーから【削除】アイコンをクリックします。
4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します:
 - 比較リストで、画像の右手下にあるチェックボックスをクリックします。
 - [画像比較ビューア]で、画像を右クリックし、【タグ】を選択するか、画像ツールバーにある【タグ】アイコンをクリックします。
 - 左手下にある【すべてをタグ】をクリックして全画像にタグを追加するか、【すべてのタグを解除】をクリックして全画像からタグを解除します。
5. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、【重要度の設定】をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
6. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、【カテゴリの設定】をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
7. 右下隅にある OK をクリックします。

画像の比較 ツールバー

	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズームメニュー	ズームオプションのメニューを開きます。次のオプションを選択してください： • 実寸表示：オリジナルのサイズで画像を表示します。 • 画面に合わせて表示：画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 • 幅に合わせて表示：画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 • 高さに合わせて表示：画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 • ズーム固定：現在の画像のズームオプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズームレベルが適用されます。 • 倍率指定：ズームオプションを選択することができるダイアログボックスが開かれます。
	パンの固定	画像をズーム / パンする際、すべての画像の特定領域を固定して、画像比較ビューアで表示します。
	露出警告を表示する	ピクセルが露出オーバーまたはアンダーである領域を示します。
	プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。[メタデータの設定] ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
	ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
	メタデータの設定	[プロパティの比較設定] ダイアログボックスを開き、画像のメタデータを選択し画像比較ビューアに表示することができます。 
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
	3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。
	4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。

	プロパティ ペイン	1 画像が表示されている場合は、プロパティ、ヒストグラム、虫めがね、ナビゲータ ペインを表示します。
	ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。

画像 ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

	保存	新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存 することができるダイアログが登場します。
	前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
	次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	削除	ハードドライブから画像を削除します。
	削除	比較リストから画像を削除します。
	タグ	画像にタグを付けるため、画像の比較ツールを閉じて、画像が選択された状態になります。

画像 バスケットに画像を集める

画像バスケットを使うと、さまざまな場所やフォルダにある画像やメディアファイルを集めて維持することができます。画像バスケットにアイテムを入れると、それらのファイルの編集、共有、表示で、ACDSee のツールや機能を使用できるようになります。

バスケットを使用するには:

1. 画像バスケットを開くには、管理モードで、[ペイン] から **【画像バスケット】** をクリックします。
2. [ファイル一覧] ペインで追加したいファイルを選択します。アイテムを画像バスケットにドラッグするか、選択したアイテムを右クリックして、**【画像バスケットに追加】** を選択します。
3. 1つまたは複数のファイルを削除するには、対象ファイルを右クリックして **【画像バスケットから削除】** を選択します。
4. すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして **【バスケットを空にする】** を選択します。



Windows エクスプローラから画像をドラッグして画像バスケットに追加することもできます。

ACDSee でファイルのカatalogを作成、管理する

ACDSee には、参照、表示、編集機能のほかに、画像やメディアファイルの管理や並べ替えに便利な多数の管理ツールが搭載されています。管理ツールには、複数のファイルを同時に変更できる一括処理ツール、カテゴリや重要度、大切な画像情報を保有するデータベースなどが含まれます。

ACDSee の一括処理機能では、エクスポート、名前変更、サイズ変更、回転、EXIF 情報の追加、露出調整を 1 つ以上の画像またはフォルダ内のすべてのファイルに対して適用することができます。カテゴリやカラーラベル、重要度では、希望するファイル構造を作成することができるため、クリックするだけで関連した画像やメディアを検索できます。

ACDSee はファイルのプロパティ、画像情報をプロパティペインに表示し、ACDSee メタデータを含むファイル情報を直接追加、編集することができます。さらに、作成者、説明、メモ、キーワードをファイルに追加することが可能で、カテゴリの変更や重要度の設定もできます。

カタログ ペインを使って整理する

カタログ ペインは ACDSee の中で最も便利なペインの 1 つで、ファイルの整理、並べ替え、グループ分け、検索や管理に必要なツールを数多く搭載しています。

カテゴリ

カテゴリを使用すると、ファイルを簡単、合理的に管理することができます。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。ユーザーが一目ただけでわかるように、異なる種類のアイコンが用意されています。カテゴリとファイルが適用されたら、カテゴリ別に検索、並べ替え、グループ分けができるようになります。

ファイルをカテゴリに適用する方法の 1 つに、ファイル一覧からファイルを選択し、希望するカテゴリ上に直接ドロップする方法があります。カテゴリの適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にブルーのタブが表示されます。ファイルには複数のカテゴリを適用できますが、表示されるブルーのタブは 1 つのままになります。包括的な [カテゴリ](#) 管理を行うには、プロパティ ペインのカテゴリ タブを使用します。

キーワード

キーワードはファイルを効率的に整理する方法の一つです。階層構造を利用してスマートに整理できます。プロパティ ペインのカタログ タブで作成した [キーワード](#) の階層ツリーは、画像を選択しなくてもカタログ ペインのキーワードセクションに表示されます。右クリックのコンテキスト メニューを使用してキーワードを管理するためのグループを使用できます。画像にキーワードをドラッグしたり、キーワードを画像にドラッグすることによりすばやくキーワードの割り当てが可能です。

重要度

画像やファイルに 1 から 5 までの [重要度](#) を適用することができます。重要度を適用すると、重要度に基づいて検索、並べ替え、管理ができるだけでなく、重要度やカテゴリ、自動カテゴリと組み合わせてこれらの作業を行うこともできます。ファイルに複数の重要度を適用することはできませんのでご注意ください。重要度の適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示されます。

カラーラベル

[カラーラベル](#) はさまざまな使い方でファイルの管理に役立ちます。異なる色を使用して、ワークフローが異なるステージを示すこともできます。写真を確認する際にカラーラベルに割り当てて、それに従ってリネームすることができます。

自動カテゴリ

ほとんどのデジタルカメラは、写真撮影時に、そのファイルに関する情報を作成し埋め込みます。この情報はメタデータと呼ばれ、カメラ名や機種、ファイルのサイズ、シャッター速度、撮影時のカメラ設定などが含まれます。ACDSeeはこの情報を使用して、自動カテゴリを作成します。[自動カテゴリ](#) をクリックすると、ACDSee はそのメタデータに属している画像を検索します。例えば、特定のカメラで撮影された、特定サイズの画像のみを探すなど、複数の自動カテゴリを選択してファイルを検索することができます。また、プロパティ ペインを使用し、この情報を追加することが可能です。

保存済み検索

同じ検索条件を頻繁に使うような場合、その条件をプリセットとして保存し、後で使用すると便利です。[保存済み検索](#) は、検索ペインの上部およびカテゴリ ペインに表示されます。カテゴリ ペインでは、名前をシングルクリックする、あるいはイーजीセレクト バーの白いチェックボックスをクリックするだけで使用可能です。

カタログ ペインで保存済み検索を新規作成するには:

1. カタログ ペインの [保存済み検索] 領域にある **【新規の保存済み検索】** アイコンをクリックします。

[検索] ペインが開かれます。

2. 検索条件を入力したら **【保存済み検索】** アイコンをクリックします。

カタログ ペインの [保存済み検索] と、検索 ペインの [保存済み検索] ドロップダウン リストに新規の保存済み検索が表示されます。

スペシャル アイテム

スペシャル アイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像を素早く表示することができます。次のいずれかを選択します：

- **イメージ ウェル**：ACDSee データベース内でカタログ化されたすべての画像が表示されます。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **埋め込み保留中**：データベースが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。
- **未分類**：データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **キーワードなし**：データベース内にカタログ化された画像で、ACDSee キーワードのないものが表示されます。
- **タグ**：コンピュータ上の、タグが付けられているすべての画像が表示されます。

すべてのファイル タイプに重要度またはカテゴリを適用することができますが、スペシャル アイテム エリアのオプションは画像にのみ適用されます。

ACDSee データベースと埋め込まれたデータについて

ファイルに重要度やカテゴリを設定すると、この情報は ACDSee データベースに保存されます。各ファイルにこの情報を埋め込むことで、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。データベースでは、情報は特定のファイルと常に関連付けられています。Windows エクスプローラのように、ACDSee 以外のアプリケーションを使用して移動または名前の変更が行われると、そのファイルと ACDSee データベースのリンクが壊れてしまいます。各ファイルに情報を埋め込んでおけば、このような事態が発生しても、データベースを再構築して情報を取り込むことができます。

プロパティ ペインを使用して、キャプションやキーワードなどを ACDSee データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。

- ❗ ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があります。そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

イーजीセレクト バー

イーजीセレクト バーは、フォルダ ペインおよびカタログ ペインの左側にある縦列のバーです。イーजीセレクト バーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル 一覧 ペインにそれらの内容を表示することができます。カタログ ペインでイーजीセレクト バーを使用し、ユーザーの希望するカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索、スペシャル アイテムを選択することも可能です。例えば、重要度 1 の付けられている画像で [人物] カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

また、イーजीセレクト バーをブラウズ検索 ペインで使用することも可能です。

完全一致/部分一致 ボタンとイーजीセレクトを合わせて使用すれば、カタログ ペインは特定条件でファイルを探すことができるパワフルな検索ツールとなります。

イーजीセレクト バーを適用するには：

カタログ ペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。選択されるとインジケータの方向が変わりますので、項目を確認することができます。



カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、[戻る] をクリックします。

カテゴリが割り当てられたファイルを表示するには:

1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索またはスペシャル アイテムを選択します。カテゴリ ペインに割り当てられたファイルは、ファイル一覧 ペインで表示されます。

ファイル一覧 の上部にあるコンテンツ バーに、現在選択されているカテゴリやアイテムが表示されます。ブラウズ検索 ペインを使用して、特定のフォルダ内にある特定のカテゴリ、重要度またはアイテムに絞り込んでブラウズすることができます。

完全一致/部分一致

カタログ ペインには、完全一致/部分一致 ドロップダウン リストが 2 つ備えられています。ペインの上部にあるリストはカテゴリ用、中部にあるリストは保存済み検索用です。完全一致/部分一致 オプションを使用すると、ファイル一覧 に表示されるサムネイルが次のように絞り込まれます:

- 完全一致:** 選択されたカテゴリまたは検索のすべてに一致する画像のみが表示されます。カテゴリまたは検索の両方またはすべてと一致するファイルが、ファイル一覧 に表示されます。完全一致はより包括的です。完全一致を使用すれば、表示されるファイルの数を減らし、検索結果をより限定的な条件で絞ることができます。
- 部分一致:** 選択されたカテゴリまたは検索の と一致する画像のみが表示されます。ファイル一覧 には、選択されたカテゴリまたは検索に一致するあらゆるファイルが表示されます。部分一致はより包括的です。部分一致はより包括的です。

カタログ アイコン

	カテゴリ	カテゴリと適用されているファイルを識別します。
	重要度 1 ~ 5	ファイルの重要度を表示します。
	新規の保存済み検索	保存済み検索を新規作成することが可能な検索ペインが開かれます。
	保存済み検索	保存、新規保存のメニューが表示されます。
	イージーセレクト インジケータ (選択済み)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムを選択し、ファイル一覧 ペインに表示します。
	イージーセレクト インジケータ (選択解除)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムの選択を解除します。ファイル一覧 ペインには表示されません。
	部分一致/完全一致	ファイル一覧 ペインに表示される画像をコントロールします。



カタログ ペインでアイコンを非表示にするには、メニューからを選択します。[ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[カテゴリ、重要度、カラーラベル、特別項目用にアイコンを表示する]** のオプションを無効にします。

カテゴリを作成する

プロパティ ペインのカテゴリ タブでカテゴリを作成、管理することができます。ご自身の用途にあったカテゴリを簡単にカスタマイズすることができます。

プロパティペイン のカテゴリ タブを選択し、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。**[ペイン]** から **[カテゴリ]** を選択しても カテゴリ ペインにアクセスできます。

カテゴリを作成するには:

- 以下のいずれかの操作を行います:
 - カタログ ペインで、[カテゴリ] を右クリックし、**[新規カテゴリ]** を選択します。
 - 管理モードで、**[編集]** メニューから **[カテゴリの設定]** を選択し、**[新規カテゴリ]** をクリックします。

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- トップ階層に新規カテゴリを作成する
- 選択したカテゴリにサブカテゴリを作成する

3. サブカテゴリを作成した場合、ドロップダウンリストからトップ階層 (親となるカテゴリ)を選択します。(カタログペイン内のカテゴリを右クリックすると、既定設定として、新規サブカテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。)

4. **【名前】**フィールドに新規カテゴリ名を入力します。

5. **OK** をクリックします。



新規に上部階層のカテゴリを作成する場合、アイコンを選択するとカテゴリの識別が簡単になります。アイコンのドロップダウンは、[ACDSee オプション] ダイアログの [カタログ] サブメニューにある **【アイコンを表示する】** チェックボックスが選択されている場合に表示されます。管理モードでは、**ツール** メニューから **ACDSee オプション** を選択してから、**カタログ** サブメニューをクリックします。

カテゴリを管理する

カテゴリを管理するには:

カタログペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。
- 名前を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、**【編集】** を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、**【削除】** を選択します。

アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する

カテゴリのリストが長かったり、対象別にカテゴリを分けたい場合などは、カテゴリセットの作成機能が便利です。

カテゴリセットを作成するには:

1. セット内に必要なカテゴリを作成します。
2. プロパティペインで、クイックカテゴリドロップダウンリストをクリックし、**クイックカテゴリの管理** を選択します。
3. 通常使用するカテゴリを入力フィールドに入力します。サブカテゴリにはパイプキーを使用します。例:例:A|B|C
4. **【保存】** ボタンをクリックします。
5. **OK** をクリックします。このカテゴリはクイックカテゴリドロップダウンリストに表示されます。
6. 1 つ以上のファイルを選択してカテゴリセットのボタンをクリックします。そのカテゴリが選択したファイルに割り当てられます。現在選択されているファイルに割り当てられているカテゴリはボタンテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部 (すべてではない) にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。



カテゴリボタン名はカテゴリツリーのカテゴリ名と一致するようにしてください。

カテゴリと重要度を設定する

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、画像に重要度や 1 つまたは複数のカテゴリを適用することが可能です。

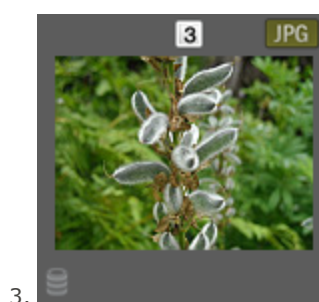
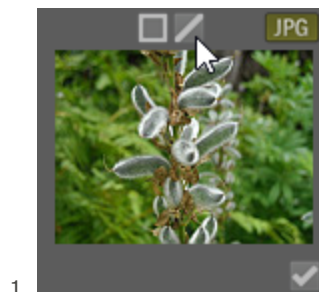


[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [カタログ] ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ]、または [ペイン] から [カタログ] を選択します。

重要度を素早く設定する

1. サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーの斜め線が入ったボックスを表示します。
2. グレーのボックスをクリックして重要度を選択します。

サムネイル上にマウスを移動してホバーアイコンから重要度を選択:



ホバーアイコンはサムネイル表示の場合にのみ表示されます。



キーボードショートカットを使用して重要度を設定するには **C** **trl**+ **0-5** を押します。



重要度の数字は他のアプリケーションでお気に入りの星を付けるようなものです。気に入った写真には高い重要度をそうでないものには低い重要度を設定するとよいでしょう。

[カタログ] ペインでカテゴリと重要度を設定する

[カタログ] ペインでは、カテゴリと重要度を適用したり、それらを元に検索することができます。

[カタログ] ペインでファイルにカテゴリと重要度を設定するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います:

- 選択されたファイルを、[カタログ] ペインのカテゴリまたは重要度上にドラッグする。
- 選択されたファイルに、[カタログ] ペインからカテゴリまたは重要度をドラッグする。
- 右クリックして **【カテゴリの設定】** をクリックして表示されるサブメニューから希望するカテゴリをクリックするか、**【重要度の設定】** をクリックして表示されるサブメニューから希望する重要度をクリックする。

2. [表示] モードで次のいずれかの操作を行います:

- **【編集】** メニューから **【カテゴリの設定】** をクリックし、希望するカテゴリをクリックする。
- ファイル上を右クリックし、**【カテゴリの設定】** を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
- **【編集】** メニューから **【重要度の設定】** をクリックし、希望する重要度をクリックする。
- ファイル上を右クリックし、**【重要度の設定】** を選択し、希望する重要度をクリックする。
- ステータスバーから、重要度アイコンをクリックし、希望する重要度をクリックする。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。

3. 複数の画像を比較した後、カテゴリ/重要度を設定したい場合には、次のいずれかを実行します:

- ファイルの 1 つを右クリックし、**【カテゴリの設定】** を選択し、希望するカテゴリをクリックする。
- ファイルの 1 つを右クリックし、**【重要度の設定】** を選択し、希望する重要度をクリックする。



ACDSee が埋め込んだ重要度は、xmp: 重要度をサポートしているその他のアプリケーションで開いたり、逆にその他のアプリケーションから ACDSee で開くことができます。1 つまたは複数の選択ファイルにメタデータを埋め込むには、**【ツール】 | 【メタデータ】 | 【ACDSee メタデータを埋め込む】 | 【選択されているファイル】** をクリックします。

カテゴリツリーで右クリックし、コンテキストメニューを使用して次のいずれかの操作を行います:

- 項目を適用する
- 項目を削除する
- 新規カテゴリ
- 検索
- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 削除
- 編集

【カタログ】ペインでカテゴリまたは重要度を使って検索するには:

カテゴリの名前、または重要度の数字をクリックするだけで、適用されているすべてのファイルがファイル一覧に表示されます。

【プロパティ】ペインでカテゴリと重要度を設定する

【プロパティ】ペインからもカテゴリと重要度を設定する方法が用意されています。

【プロパティ】ペインでファイルに重要度を設定するには:

1. 【ファイルリスト】ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. 【プロパティ】ペインでタブを選択します。
3. プロパティペイン上部の番号リストから設定した重要度をクリックします。

【プロパティ】ペインでファイルにカテゴリを設定するには:

1. 【ファイルリスト】ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. 【プロパティ】ペインで タブを選択します。
3. カテゴリリストから設定したいカテゴリをクリックします。



カテゴリセットボタンを使用して素早くカテゴリを設定することも可能です。[アクセスのしやすいカテゴリセットを作成する](#)の項を参照してください。

ファイルからカテゴリや重要度を削除する

ファイルからカテゴリや重要度を削除することができます。元のファイルを移動したり削除することはありませんし、同じカテゴリや重要度が割り当てられた他のファイルを変更することはありません。

ファイルからカテゴリや重要度を削除するには:

1. 【ファイルリスト】ペインで削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したファイルを右クリックし、**【重要度の設定】**から**【重要度のクリア】**を選択する。
 - ファイル上を右クリックして**【カテゴリの設定】**をクリックし、ファイルから削除したいカテゴリの名前をクリックする。ファイルからすべてのカテゴリを削除するには、**【すべての選択項目のカテゴリ解除】**をクリックする。
 - カタログ ペインから、カテゴリのチェックボックスまたはラジオ ボタンに付けられているチェックを解除する。
 - カタログ ペインで、[カテゴリ] または [重要度] を右クリックし、**【項目を削除する】**を選択する。

カラーラベルを割り当てる

カラーラベルを使用すると、画像を色分けして、どのような処理をするべきかが一目でわかるようになります。ワークフローの段階別に異なる色を使い分けてください。例えば、写真をチェックしている際に、アップロード、印刷、却下、再チェック、シャープネスをかける等、これからするべき処理を色で分けます。ファイルにカラーラベルを適用した後は、カタログペインでその色のラベルをクリックするだけで素早くそのラベルの画像をすべて表示します。

カラーラベルをグループと組み合わせ使用しても便利です。カラーラベルはタグ付けやカテゴリー分け、評価などと同様、写真を別のフォルダに移動することなく整理、グループ化することができます。



【管理】モードで【プロパティ】ペインまたは【カタログ】ペインが表示されていない場合は、**【ペイン】**から**【プロパティ】**、または**【ペイン】**から**【カタログ】**を選択します。

カラーラベルセットを作成する

ラベルセットを作成することにより、指定のラベルの選択、割り当てが素早く行えます。ラベルセットが利用できると、ワークフローに対応した適切なラベルを画像に割り当てることができます。

カラーラベル セットを作成するには:

1. 【カタログ】ペインで [ラベルセット] ボタン  をクリックし、**【ラベルセットの編集】**を選択します。
2. ラベルの名前を入力して [保存] アイコンをクリックします。
3. 【ラベルセットの保存】ダイアログで**【別名で保存】**をクリックします。
4. 新しいラベルセットの名前を入力します。
5. **OK** をクリックします。

作成したカラー ラベル セットは [カテゴリ] ペインでラベル設定 ボタンをクリックし、ドロップ ダウン リストから選択 できます。カラーラベルを割り当てる前に、正しいラベルセットを選択していることをご確認ください。現在 選択されているカラーラベルは、ラベル ヘッドに名 前が表示されています。

カラーラベルを割り当てる

次の場所からカラーラベルを割り当てるができます:

- サムネイル ビューのホバー アイコン
- カタログ ペイン
- プロパティ ペイン
- 管理および表示 モードの編集 メニュー
- コンテキスト メニュー
- キーボード ショートカット

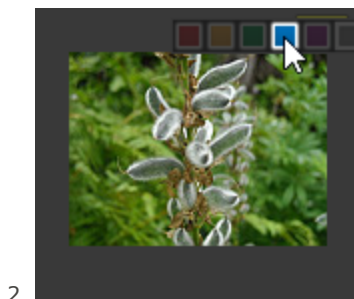
! ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があります、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

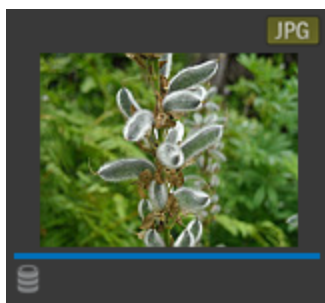
💡 表示、現像、編集モードのステータスバーからラベルを設定することも可能です。

サムネイル ビューのホバー アイコンのラベルラインを使用してカラーラベルを割り当てるには:

- サムネイル画像上にマウスポインタを移動してグレーのラインを表示します。 
- グレーのラベル アイコンをクリックして重要度を選択します。

サムネイルのラベルラインをクリックしてホバーアイコンからカラーラベルを選択:





3.



複数選択した画像のいずれか 1 つのオーバーレイアイコンを使用することにより、すべての画像にラベルを割り当てることができます。

【カタログ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. 【管理】モードで次のいずれかの操作を行います:
 - ファイルを【カタログ】ペイン内のカラーラベルにドラッグする。
 - 【カタログ】ペイン内のカラーラベルをファイルにドラッグする。

【プロパティ】ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. 【ファイルリスト】ペインでカラーラベルを割り当てたいファイルを選択します。
2. 【プロパティ】ペインの上部のボックスからカラーラベルを選択します。

管理、表示モードの編集メニューでカラーラベルを割り当てるには:

- 【編集】メニューから【ラベルの設定】を選択し、色を選択する。

コンテキストメニューでカラーラベルを割り当てるには:

- ファイルを右クリックし、【ラベルの設定】を選択し、ラベル名を選択する。

キーボードショートカットを使用してカラーラベルを割り当てるには:

- Alt + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。



ラベルが割り当てられた画像を検索する

データベース内でラベルが割り当てられた画像をすべて検索するには:

- 【カタログ】ペイン内のカラーラベルをクリックし、【ファイルリスト】ペイン内で該当するファイルを表示する。
- 検索ボックスを使用する。
- クイック検索を使用する。

ファイル一覧内でラベルが割り当てられた画像をすべて検索するには:

ファイル一覧ペインの **フィルタ** ドロップ ダウン リストをクリックしてラベル名を選択します。現在のファイルリストでそのラベルが割り当てられたすべての画像が選択されます。

ファイル一覧内でラベルが割り当てられた画像をすべて選択するには:

Alt + 1 から Alt + 5 で 5 つの色を指定し、Alt + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Alt を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。

カラーラベルとカラーラベルセットを削除する

ファイルからカラーラベルを削除するには:

1. [ファイルリスト] ペインでカラーラベルを削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 選択したファイルを右クリックし、**[ラベルの設定]** から **[ラベルの削除]** を選択する。
 - [プロパティ] ペインでグレーのラベル解除 アイコンをクリックする。

ラベルセットを削除するには:

1. [カタログ] ペインで、[ラベルセット] ボタンをクリックし、**[ラベルセットの編集]** を選択します。
2. [ラベルセット] ドロップダウンリストから削除したいラベルを選択します。
3. [削除] ボタンをクリックします。

コレクションの作成

コレクションは強力なグループ化および検索クエリーツールです。[コレクション] ペインで、使用カメラ、場所、サイズなどの一般的な変数に基づいて、まとめた写真をグループ化できます。また、コレクションで写真をグループ化して、選別、処理、共有などを行うこともできます。



コレクション



コレクション セット



スマート コレクション

コレクションを作成するには:

1. [管理] モードで、[フォルダ] ペインの下部に [カタログ] タブや [カレンダー] タブとともにある **[コレクション]** を選択します。
2. [コレクション] ペインで右クリックし、コンテキストメニューから **[コレクションを作成 ...]** を選択します。
3. [コレクションを作成] ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [作成] ボタンを押します。

[コレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	コレクションの名前を入力します。	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。画像を追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
オプション	選択した写真を含む	現在選択している写真をコレクションに含めるには、このチェックボックスにオンにします。
	ターゲット コレクションとして設定	写真を追加する画像のターゲットコレクションとしてこのコレクションを指定するには、このチェックボックスにオンにします。画像を選択して Ctrl+Alt+C を押すと、画像を直接このコレクションに素早く送信することができます。キーボードショートカットをカスタマイズするには、 キーボードショートカットのカスタマイズ を参照してください。

写真をコレクションに追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を選択してから上記の [コレクションを作成] コマンドを使用します。続いて、[コレクションを作成] ダイアログボックス内の [選択した写真を含む] チェックボックスをオンにします。
- [ファイル一覧] ペインで、画像 (複数可) を右クリックし、[コレクション] | [追加先] | [コレクションの名前] を選択します。
- [ファイル一覧] ペインから画像 (複数可) を [コレクション] ペイン内のコレクションにドラッグ & ドロップします。
- ファイル一覧ペインで画像を選択します。[プロパティ] ペインの [カテゴリ] タブにある [コレクション] グループで、コレクションの横にあるチェックボックスをオンにします。

コレクションをターゲットコレクションとして設定するには:

特定のコレクションをターゲットコレクションとして設定することができます。これにより、キーボードショートカットで画像をそのコレクションに素早く追加できるようになります。ターゲットコレクションでは、[コレクション] ペイン内でその横に青いサークルアイコンが表示されます。● スマートコレクションをターゲットとして設定することはできません。

以下のいずれかの操作を行います:

- コレクションを作成するときは、[コレクションを作成] ダイアログボックスで [ターゲットコレクションとして設定] チェックボックスをオンにします。
- [コレクション] ペインでコレクションを右クリックし、[ターゲットコレクションとして設定] を選択します。

画像をターゲットコレクションに追加するには:

画像を選択し、**Ctrl+Alt+C** キーを押します。



このキーボードショートカットはカスタマイズすることができます。[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)を参照してください。

コレクションを検索するには:

[コレクション] ペイン上部の [フィルタコレクション] フィールドで、コレクション、コレクションセット、およびスマートコレクションを検索することができます。

- 探しているコレクション、スマートコレクション、またはコレクションセットの名前 (または名前の一部) を入力します。検索しているコレクションがコレクションセットの一部である場合、[フィルタコレクション] フィールドに入力したテキストがサブコレクションのいずれかに含まれていれば、検索によりルートコレクションセットが返されます。

コレクションから画像を削除するには:

1. コレクションを選択します。
2. 画像を右クリックし、[コレクション] | [選択したコレクションから削除] を選択します。



この操作では、コレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、**[コレクション] | [選択したコレクションから削除]**を選択します。

すべてのコレクションから画像を削除するには:

すべてのコレクションから画像を削除するには、画像を右クリックし、**[コレクション] | [すべてのコレクションから削除]**を選択します。



この操作では、すべてのコレクションから画像が削除されるだけで、画像自体は削除されません。



一度に複数の画像をすべてのコレクションから削除するには、それらの画像をすべて選択して右クリックし、**[コレクション] | [すべてのコレクションから削除]**を選択します。

コレクションセット

コレクションセットを作成し、その中に他のコレクションフォルダを追加することができます。この方法で階層を作成することで、さらに詳細な整理が可能です。画像をコレクションセット自体に追加することはできません。画像はコレクションセット内のフォルダ(コレクション)にのみ追加することができます。コレクションセットのルートを選択すると、ルート内の全コレクションの画像がすべて表示されます。

コレクションセットを作成するには:

1. **[コレクション]** ペインで右クリックし、コンテキストメニューから**[コレクションセットを作成 ...]**を選択します。
2. **[コレクションセットを作成]** ダイアログボックスで、コレクションセットの名前を入力します。
3. 別のコレクションセット内にコレクションを追加したい場合には、**[コレクションセットの中]** チェックボックスをオンにします。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
4. **[作成]** をクリックします。

コレクションセットにコレクションを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **[コレクションセットの中]** チェックボックスをオンにするとともに、**[コレクションを作成]** ダイアログボックス内でコレクションを作成します。ドロップダウンメニューでコレクションセットを選択します。
- **[コレクション]** ペインで、コレクションをルートレベルからコレクションセットにドラッグ & ドロップします。

スマート コレクション

スマートコレクションは、指定した検索条件に基づいてクエリーが組み込まれたコレクションです。これらの検索クエリーはデータベースに保存されています。新しい画像を後でカタログ化すると、検索クエリーの条件を満たす画像が自動的にスマートコレクションに表示されます。ファイルがカタログ化された日付でファイルを探す検索クエリーを作成することもできます。

スマートコレクションを作成し、検索条件をクエリーに追加するには:

1. **[コレクション]** ペインで右クリックし、コンテキストメニューから**[スマートコレクションを作成 ...]**を選択します。
2. **[スマートコレクションを作成]** ダイアログボックスで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. **[OK]** ボタンを押します。

[スマートコレクションを作成] ダイアログボックスのオプション

名前	スマートコレクションの名前を入力します。	
	 スマートコレクションに名前を付ける際には、スマートコレクションに割り当てられた検索クエリーを反映した名前にすることをお勧めします。このようにすることで、スマートコレクションを開いてその内容を確認するのに必要な時間が節約されます。	
場所	コレクション セットの中	このコレクションを以前作成した別のコレクションセット内に配置して階層を作成する場合は、このチェックボックスを選択します。スマートコレクションを追加したいコレクションセットをドロップダウンメニューから選択します。
一致	[追加] ボタンを押して、クエリーの検索条件を選択します。[選択条件の追加] ダイアログボックスで、[+] をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスのオン/オフを切り替えてプロパティを選択することにより条件を選択します。[OK] を押下します。選択した条件は [一致] フィールドボックスに表示されます。各項目を絞り込むには、下線付きの変数をクリックし、ドロップダウンからオプションを選択するか、フィールドに番号を入力します。 例えば、検索条件として [サイズ] を選択した場合、[次の値に一致] をクリックし、[次の値以外]、[次の値より小さい]、[次の値以下]、[次の値より大きい]、[次の値以上]、[次の値の範囲内] のいずれかを選択します。続いて、[0] をクリックし、サイズの値を入力します。	

検索クエリーから条件を削除するには:

[一致] フィールドから条件を選択し、[削除] を選択します。

検索クエリーを編集するには:

1. [コレクション] ペインでスマートコレクションを右クリックし、[編集] を選択します。
2. [スマートコレクションを編集] ダイアログボックスで、上記のように検索条件を追加および削除します。
3. **OK** をクリックします。

プロパティ ペインを使用する

プロパティ ペインは、ファイルと関連付けられているすべてのメタデータを表示します。また、ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイルなど、ファイルのプロパティも表示します。プロパティ ペインでは、画像およびメディアファイルのメタデータを追加、変更、削除したりすることができます。

プロパティ ペインは管理モードのファイル一覧ペインの右側で開けます。プロパティ ペインは、365 モードと写真モード以外のすべてのモードで利用可能です。

4 つのモード内でプロパティ ペインを開くには:

[ペイン] から [プロパティ] をクリックします。



[メタデータ] パネルでは、メタデータ フィールドの幅を調整することができます。変更したいラベルとフィールドの間にマウスを置いて、双方向の矢印に変わるのを待ちます。その後クリック & ドラッグで幅を調整します。ダブルクリックで、グループ間の最も広い幅とペイン内の最も長いラベルの間を切り替えることができます。

プロパティ ペインの構成

プロパティ ペインは、管理タブ、カテゴリタブ、ファイル タブという3 つのタブに分かれています。



サムネイル上にマウスカーソルを移動すると表示されるオーバーレイアイコンをしようして、画像にタグを追加したり、重要度やカラーラベルを設定することができます。あるいは、**【ツール】**、**【オプション】**、**【プロパティ】**、**【ペイン】**の順にクリックして、**タグ付き、評価、カラーの各ラベルを表示**を選択することで、**【プロパティ】**ペインにこれらの設定を表示できます。

メタデータ タブ

[メタデータ] タブには、画像と一緒に保存されている重要度、カテゴリ、IPTC、EXIF、ACDSee メタデータが表示されます。ACDSee メタデータフィールドは、写真に関する説明をはじめ、日付、作者、注記などユーザーが入力することができます。キーワードフィールドは表示のみで、入力はカテゴリタブで行います。ラベルフィールドはここで入力したり、カタログペインのラベルセクションから選択できます。IPTC 情報は、画像に自動的に埋め込まれている情報であるのに対し、ACDSee メタデータはファイルに埋め込まれず、データベース内に保存されます。ACDSee メタデータは、**【ツール】**メニューから**【メタデータ】****【ACDSee メタデータを埋め込む】**コマンドを選択して、すべてのファイル、あるいは選択されているファイルだけに埋め込むことが可能です。

[IPTC] データフィールドには、説明、作者、著作権、キャプション、キーワード、日付、場所など、画像に追加されたり保存されたりしている、基本的な情報が表示されます。ACDSee は、IPTC Core 1.1 で定義されているフィールドをサポートします。

[EXIF] データフィールドには、シャッター速度、カメラの機種、GPS 情報など、カメラによって作成された情報が表示されます。

特定の EXIF フィールドは、既定で非表示に設定されるようになりました。EXIF アーティスト、著作権、画像の説明、オリジナルの日付フィールドは、IPTC フィールドが変更されると、自動的に修正されます（下の表を参照してください）。この変更は、Metadata Working Group (MWG) の推奨に従った形で導入されました。これらのフィールドを EXIF セクションで表示させたい場合には、**【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**を選択し、**【プロパティ ペイン】**をクリックして、**【メタデータペインのカスタマイズ】**ボタンをクリックします。

一致している IPTC と EXIF のフィールド

IPTC		EXIF
説明	次と一致	画像の説明
クリエイター	次と一致	アーティスト
著作権情報	次と一致	著作権
作成日	次と一致	オリジナルの日付



ACDSee がファイルからメタデータを解説する際、フィールドの内容はマップなしで表示されます。

[カテゴリ] タブ

カテゴリタブは、カテゴリ ツリーとキーワード ツリーを表示します。カテゴリツリーを右クリックしてコンテキストメニューを表示し、カテゴリやサブカテゴリの追加、削除ができます。カテゴリセットを作成するとファイルを素早くカテゴリ分けすることができます。キーワード ツリーを右クリックしても同様のオプションを使用できます。キーワード ツリーを使用して階層を作成し、ファイルをより簡単に整理することができます。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの情報および画像の属性が表示されます。読み取り専用/隠しファイル(フォルダ)の設定および変更や、ファイルの EXIF 情報の概要を確認することができます。

ACDSee メタデータをファイルに埋め込む



ファイルにメタデータ情報が埋め込まれていて、ACDSee 以外のプログラムを使用して、それらのファイルをコピー、移動、または名前を変更する場合、ファイルとデータベース間のリンクが失われてしまいが、ファイルに埋め込まれているデータを使用して、データベースを再構築することが可能です。



ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

マップ ペインを使用する

マップ ペインを使用して写真に撮影場所の情報を追加することができます。場所の情報はいつでも呼び出し、表示することができます。マップを使って、ファイルのグループを選択して次のワークフローに移ったり、写真を選択して表示モードで表示したりします。

マップ ペインに表示されるファイルの場所は、ファイルのプロパティに含まれている緯度と経度の情報に基づいています。ジオタグ機能を持ったカメラを使っている場合、地理的な位置がマップ上に自動伝達されます。マップ上に直接ファイルをドラッグしてボタンを押すと、座標を追加することができます。

ジオタグの付いている画像は、マップ上にピンとして表示されます。マップ上のピンをクリックして、地理的な場所の範囲にあるファイルを選択して、表示したり処理したりすることができます。ジオタグの付けられた画像のピンがマップ上に表示されない場合は、キーボードショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。



次のファイルフォーマットをマップに追加できます: 次のファイルフォーマットはマップに追加することができます: JPG、TIFF、RAW、DNG および PNG。



ジオタグを含むファイル情報は、ファイルを参照する際、データベースに自動追加されます。ファイルの数が多い場合には、まずファイルをカタログ化すると、マップ上のピンの読み込み時間を短縮することができます。ファイルをカタログ化するには、**【ツール】 | 【データベース】 | 【ファイルのカタログ化】** をクリックします。

マップ ペインを開くには:

管理モードで、**【ペイン】** から **【マップ】** (**Ctrl + Shift + M**) をクリックします。

マップ ペインは、既定設定では管理モードでファイル一覧ペイン上に表示されます。マップのタイトルバーをドラッグして新しい場所に移動したり、ACDSee の他の可動ペインのようにフロートしたり、別の場所にドックしたりすることが可能です。



管理モードで、キーボードショートカット **Ctrl + Shift + M** を押して、マップのオン/オフを切り替えることができます。

ドラッグしてマップにファイルを追加するには:

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にあるをクリックします。



画像を処理する前にジオタグを付けておくのが理想です。現像された後にジオタグが付けられた場合、「オリジナルに戻す」コマンドを使用するとそのジオタグが失われてしまうためです。

マップからピンの場所を削除するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、**【マップ】 | 【マップから削除】** を選択します。

マップ上でジオタグの付けられている画像を表示するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、**【マップ】 | 【マップで表示】** を選択します。

場所を検索するには:

特定の場所を検索するには、マップ ペインの右上に表示されているフィールドに場所の名前やランドマークを入力します。

既定の場所、ズーム、マップの種類を設定するには:

1. マップ上で希望する場所を表示し、希望するズームレベルに調整し、マップの種類 (地図、航空写真、地形) のいずれかを選択します。
2. **【ツール】** メニューから **【マップ】 | 【既定のマップ場所を設定】** をクリックします。



注意: マップは現在選択されているファイル一覧の内容に反映されます。ファイル一覧内に、既定設定とは異なる場所にマップされている画像が含まれている場合には、その場所が表示されますのでご注意ください。



特定の場所にパン+ズームするには、マップ検索フィールドに場所の名前を入力して **Enter** キーを押します。

Reverse Geocoding (逆ジオコーディング):

Reverse Geocoding コマンドを使うと、特定の IPTC フィールドに場所の情報を保存することができます。含まれる情報: 国、国別コード、州/県、場所。

1. 管理モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にあるをクリックします。
3. **Reverse Geocode** ボタンをクリックすると、場所の情報をプレビューできます。
4. **[保存]** をクリックすると、これらの情報を選択された画像の IPTC フィールドに保存します。



複数の異なる場所の画像が選択されている場合は、それらのうちの一つのみが使用されます。

マップ ペインを使用したワークフロー

特定の場所の画像がすべて選択されている状態で、次のようなワークフローを実行することが可能です:

- 処理モードを開いて、現像や編集を適用します。
- **[一括処理]** ツールを使用して、場所が同じ画像に同じ設定を適用します。
- **[スライドショー]** をクリックして、同じ場所の写真をスライドショーとして表示したり、提供したりします。
- 電子メールで、同じ場所にある画像をします。



ジオタグの付けられた画像が表示されない場合は、キーボード ショートカットの **F5** キーを使って、マップを更新します。

ピンの凡例



ジオタグの場所を示します。



このエリアに複数のジオタグの場所があることを示します。(ズームで場所を表示する)



選択されたジオタグの場所を示します。



任意の色のピンにドットがある場合、画像の場所が保存されていないことを示します。

ファイルにメタデータを追加する、プリセットを使用する

IPTC および ACDSee メタデータを使って画像に情報を追加することができます。IPTC 情報は画像に自動的に埋め込まれる情報である一方、ACDSee メタデータはファイルに埋め込んだり、データベースに格納したりすることができます。情報は、まとめて複数のファイルに追加することも可能です。頻繁に使用するメタデータの値をプリセットとして保存すると、入力する手間を省くことができます。

メタデータの入力や編集は、画像を処理する前に行うようにお勧めします。**[オリジナルに戻す]** コマンドを使用すると、処理前にメタデータを保存していない限りその情報が失われてしまうためです。(RAW ファイルはこの例外です)。



CD-ROM のような読み取り専用メディア上のファイルには、IPTC 情報、EXIF 情報を設定することはできません。



プロパティ ペインを開いていない場合は、**[ペイン]** から **[プロパティ]** を選択します。

1つまたは複数のファイルにメタデータを追加するには:

1. モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. [プロパティ] ペインで タブを選択します。
3. IPTC および ACDSee メタデータフィールドに情報を入力します。
4. **【適用】** をクリックまたは **Enter** を押して変更を適用します。



[管理] モード内で **【適用】** をクリックまたは **Enter** キーを押すと、フォーカスがファイル一覧 ペインに戻ります。



連続した番号をメタデータに含むには、ファイルを選択したらどのフィールドでも **<#>** として最初の番号を入力してください。例) **<5>** と入力すると、5 から始まる連番を付けられます。

メタデータタブのキーボードショートカット

ショートカット	操作
Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを前に移動します。
Ctrl + Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを次に移動します。
Ctrl + K	プロパティ ペインの [メタデータ] タブの ACDSee メタデータ キーワード フィールドにカーソルを置く
Alt + K	プロパティペインの [メタデータ] タブにある フィールドにカーソルを置きます。
ENTER	変更を適用します。
Esc	変更を破棄します。



プロパティ ペイン外をクリックすると、入力していたメタデータが失われてしまいます。**【適用】** をクリックまたは **Enter** を押し、変更を適用してから、移動またはクリックするようにしてください。

キーボードのショートカットを使用して、複数画像の同一フィールドにメタデータを入力するには:

1. 複数画像グループの最初の画像を選択して、メタデータフィールドに値や内容を入力します。
2. **PgDn** キーを押して次の画像に移動します。カーソルはプロパティペイン内の同じフィールドに置かれたままになりますので、複数の画像に同じフィールドの内容を素早く入力することができます。
3. フィールドの内容を入力したら、もう一度 **PgDn** キーを押して次の画像に移動します。
4. 必要に応じて手順 3 までを繰り返します。



このショートカットを使用する場合、**【適用】** ボタンをクリックする必要はありません。



PgUp キーを使用して、前の画像に戻ることができます。

メタデータをコピー & 貼り付けする

ファイルから GPS、IPTC、および ACDSee メタデータをコピーして、別のファイルへ貼り付けることが簡単にできて便利です。

この操作ではキーワードとカテゴリ情報が結合されます。

メタデータをコピーするには:

1. 管理モードのファイル一覧 ペインでファイルを選択し、次のいずれかを実行します:
 - **【ツール】** メニューの **【メタデータ】**、**【コピー】** をクリックします。
 - 画像を右クリックして、**【メタデータ】**、**【コピー】** をクリックします。
2. [メタデータをコピー] ダイアログボックスで、コピーしたいメタデータにチェックを入れます。
3. **【コピー】** をクリックします。

メタデータを貼り付けるには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインでファイルを選択し、次のいずれかを実行します:
 - **【ツール】メニューの【メタデータ】、【貼り付け】**をクリックします。
 - 画像を右クリックして、**【メタデータ】、【貼り付け】**をクリックします。

メタデータ プリセット**プロパティ ペインでメタデータプリセットを作成するには:**

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインからファイルを選択します。
2. [プロパティ] ペインでタブを選択します。
3. **【メタデータプリセット】** ドロップダウンリストをクリックして **【プリセットの管理】** をクリックします。
4. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。
詳細は、下の「**メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意**」を参照してください。
5. **OK** をクリックします。
6. **【名前を付けて保存】** をクリックします。
7. プリセットの名前を入力し、をクリックします**OK**。そのプリセットが、[プリセット] ドロップダウンリストに表示されるようになります。

メタデータメニューを使ってメタデータプリセットを作成するには:

1. 管理モードで、**【ツール】メニューの【メタデータ】、【メタデータプリセットの管理】** とクリックします。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスのフィールドに内容を入力します。
詳細は、下の「**メタデータのプリセット管理ダイアログボックスにデータを入力する際の注意**」を参照してください。
3. **OK** をクリックします。
4. **【名前を付けて保存】** をクリックします。
5. プリセットの名前を入力し、をクリックします**OK**。プロパティ ペイン内にあるメタデータタブのプリセットドロップダウンリストに、そのプリセットが表示されます。

ショートカットのプリセット (Ctrl + M) を設定するには:

1. **【メタデータのプリセット】** ドロップダウンリストをクリックし、**【プリセットの管理】** を選択します。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスで、ドロップダウン プリセットリストの横にある矢印ボタンをクリックします。
3. 保存されているメタデータのプリセット一覧から選択して、を設定します。
4. **OK** をクリックします。

既定のプリセットを設定したら、**Ctrl + M** キーを押すだけで、選択されたすべての画像のメタデータフィールドが自動的に入力されるようになります。既定のプリセットを設定しない場合は、ショートカットキーの **Ctrl + M** を押すと[メタデータのプリセットの管理] ダイアログボックスが表示されます。

メタデータのプリセットを適用するには:

1. ファイル一覧リストから画像を選択します。
2. [プロパティ] ペインでタブを選択します。
3. ドロップダウンリストをクリックして、既に作成されているプリセットから希望するものを選択します。
4. **適用** をクリックします。

【プリセットの管理】ダイアログでデータを挿入する際の注意:

- アスタリスク (*) は、各ファイルにデータが既に存在していることを表します。既存のデータを保持しながら情報を追加するには、アスタリスクの横に情報を追加します。またデータを削除して新しい情報を入力することも可能です。またデータを削除して新しい情報を入力することも可能です。例えば、IPTC キャプションのテキストを置き換えるのではなく修正したい場合、フィールドにアスタリスクを挿入し、スペース、テキストを入力します。
- [メタデータの挿入] コマンドを使用して、あるメタデータフィールドの値を別のフィールドに転送することができます。各フィールドの横にある [メタデータの挿入] 矢印をクリックし、メタデータのプレースホルダを選択します。例えば、ACDSee キーワードを IPTC キーワードに転送したい場合は <ACDSee メタデータ:、キーワード> を IPTC キーワード フィールドに入力します。

メタデータのプリセットをインポートおよびエクスポートする:

1. **管理** モードで、[ツール] メニューを選択したら、[メタデータ]、[メタデータプリセットの管理] とクリックします。
2. [メタデータのプリセット管理] ダイアログボックスで、[プリセット] ドロップダウンメニューの右横にある矢印をクリックします。
3. [インポート] または [エクスポート] を選択します。
4. 参照から XML ファイルを選択したら、[開く] をクリックします。

メタデータ表示とプリセットを管理する

メタデータの表示を選択するには:

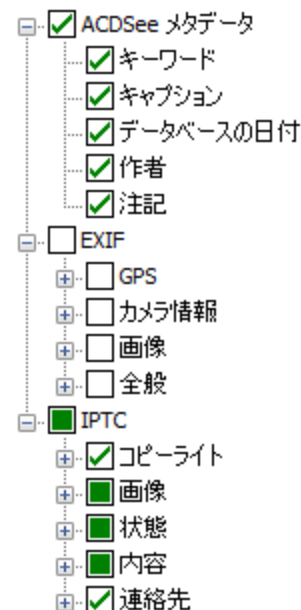
1. [ペイン] から [プロパティ] をクリックしてプロパティ ペインを開きます。
2. プロパティ ペインのメタデータ タブを選択します。
3. [メタデータ] タブの [メタデータの表示] ドロップダウンリストをクリックして、次のいずれかの表示オプションから 1 つ選択します: 既定のメタデータ表示 (最も一般的なフィールドを使用)、すべての EXIF、すべての IPTC、ACDSeeメタデータ、または保存されたカスタム表示。

カスタマイズされたメタデータの表示を作成するには:

1. [メタデータ] ペインの [メタデータの表示] ドロップダウンリストをクリックして、[メタデータ表示の管理] をクリックします。
2. [表示するメタデータの選択] ダイアログボックス内で、ドロップダウンリストから[新規のメタデータ表示] を選択します。
3. [+] 記号をクリックしてツリーを展開し、チェックボックスをオン/オフに切り替えて設定を選択します。メタデータ表示の管理オプションにつきましては、以下を参照してください。
4. [保存] ボタンをクリックして、カスタマイズされた表示の名前を入力します。
5. **OK** をクリックします。

メタデータ表示の管理オプション

- グループ内のすべての項目が選択されている場合、グループのチェックボックスがチェックされます。
 - グループ内で選択されている項目がない場合、グループのチェックボックスはチェックされません。
 - グループ内のすべての項目ではなく、一部の項目が選択されている場合、グループのチェックボックスが緑色の四角で表示されます。
- チェックボックスをオン/オフに切り替えて選択を行います。



【メーカーノートの表示】 チェックボックスを解除または選択して、メーカーノートを表示するか、非表示にするかを選択することができます。

階層キーワードを作成、割り当てる

ファイルにキーワードを設定し、キーワードを階層構造でグループ管理することができます。[プロパティ](#) ペインのカテゴリタブを選択し、キーワードの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。

【ペイン】から【キーワード】を選択してもキーワード ペインにアクセスできます。

キーワードを作成する

キーワードを作成するには:

ファイル一覧ペインの右にあるプロパティペインで、次のいずれかを実行します:

- カテゴリタブで、[キーワード] を右クリックし、**【新規キーワード】** を選択する。
- キーワード グループのフィールドにキーワードを入力してを押す。

既存のキーワードをファイルに適用するには、次のいずれかの操作を行います:

- 1 つ以上のファイルを選択し、キーワードをファイルにドラッグする。
- 1 つ以上のファイルを選択し、キーワードのチェック ボックスを有効にする。
- 1 つ以上のファイルを選択し、キーワードを右クリックする。**【項目を適用する】** を選択する。
- 1 つ以上のファイルを選択し、ファイルをキーワードにドラッグする。

階層を作成するには、次のいずれかを実行します:

- キーワード フィールドで、より具体的なキーワード < より幅広い一般的なキーワード、のように記述する。

例:

フクロウ < 鳥

または

マドリッド < スペイン < ヨーロッパ

- 既存のキーワードを右クリックして、を選択する。新しいキーワードは自動的に既存のキーワードの子供になります。



1 つのファイルに複数のキーワードを割り当てる場合、複数のキーワードをカンマで区切ってください (階層を作りません)。

キーワードを作成する

キーワードを管理するには:

カテゴリタブにあるキーワードを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- ファイルからキーワードを削除するには、選択されたキーワードを右クリックしてを選択するか、チェックボックスを無効にします。
- 名前を変更するには、キーワードを右クリックで選択し、**【編集】**を選択します。
- キーワードを削除するには、削除したいキーワードを右クリックし、**【削除】**を選択します。
- キーワード ツリーを編集するには、キーワードをドラッグして他の場所に移動します。
- キーワードを複製するには、選択されたキーワードを右クリックしてを選択し、コピーした場所で
- 重複したキーワードを結合するには、一方のキーワードを他方にドラッグします。
- 既存のカテゴリからキーワードを作成するには、カテゴリをキーワード ツリーにドラッグします。

クイックキーワードを作成する

キーワードを整理し、ワークフローを効率化するために、関連するキーワードのグループを作成して、クイックキーワードを使用できます。階層構造の中に埋もれてしまわないので、キーワードに簡単にアクセスできます。複数のグループを作成し、その時々に関連している写真に適したグループを切り替えて使うことができます。これらのキーワードをツリーに追加することも可能です。

例:

イタリア

フローレンス	ヴェニス	コモ湖
ローマ	ミラノ	ヴェローナ
ジェノア	ボローニャ	ナポリ

素早くアクセスできるクイック キーワードを作成するには:

- カテゴリタブのキーワード グループで、ドロップ ダウン メニューから を選択します。クイックキーワードを管理 ダイアログボックスが表示されます。
- ボタンをクリックして、セットの名 前を入力します。**OK** をクリックします。
- 9 つまでの関連キーワード、頻繁に使用するキーワードを空いているフィールドに入力できます。フィールド内に階層を作成するには、パイプ キーを使用します。例: 例 :A|B|C
- OK** をクリックします。
- ファイルを選択したらクイック キーワードの表から適切なキーワードを選択して、セットからキーワードを適用します。
- ダイアログが開き、このキーワードを作成するか確認されます。**【はい】** をクリックします。キーワードがツリーに追加されます。キーワード セットに階層を指定した場合、親キーワードがツリーに表示され、子はその下に格納されています。現在選択されているファイルに割り当てられているキーワードは、キーワードのテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部 (すべてではない) にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。

ファイルをコピーまたは移動する

[フォルダにコピー] および [フォルダに移動] コマンドを使用して、ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、重複ファイルの取り扱い方法を指定することができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。



ACDSeeを使用してファイルの場所を変更する場合、既定設定として、それらのファイルと関連付けられている ACDSee メタデータが新しい場所に自動的にコピーされます。関連付けられているファイルをコピーしたくない場合は、**RAW ファイル以外の関連付けられたファイルを含む** チェックボックスをクリアに設定します。



ACDSee を使用せずにファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れてしまいます。これは ACDSee がファイルを追跡できないために発生します。その結果、カテゴリやその他の重要なデータベース情報が失われます。これは **結合の変更** とデータベースの再構築を行うことで、この問題を解決することができます。ファイルそのものにデータベース情報が埋め込まれている場合、**【ツール】メニューの【データベース】、【ファイルのカatalog化】** をクリックして情報を取り込むことが可能です。



ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカーファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカーファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があります、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

ファイルをコピーまたは移動するには:

- 以下のいずれかの操作を行います:
 - ファイル一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、**【編集】メニューから【フォルダにコピー】** または **【フォルダに移動】** を選択します。
 - 表示モードで画像またはメディアファイルを表示しながら、**【編集】メニューから【フォルダにコピー】** または **【フォルダに移動】** を選択します。
- 【ファイルのコピー】** または **【ファイルの移動】** ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
 - 【フォルダ】** タブを選択し、保存先となるハードディスク上のフォルダを指定します。
 - 【履歴】** タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
 - 【フォルダの作成】** を選択してから、新規フォルダ名を入力します。
- 【重複ファイルを上書きする】** ドロップダウンリストをクリックし、次のいずれかのオプションを選択して、ACDSee のファイルの上書き方法を指定します:
 - 確認する:** ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
 - 名前を変更する:** ファイルの名前変更をする際、確認のメッセージを表示します。
 - 置き換え:** 同じファイル名と拡張子がついたファイルを上書きします。
 - スキップ:** 同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。
- OK** をクリックします。

画像をクリップボードにコピーする

画像をクリップボードにコピーし、他のアプリケーションに貼り付けることができます。画像のコピーコマンドを使うと、画像データのみがクリップボードにコピーされることになります。つまりデータベース、EXIF、IPTC 情報は保持されませんのでご注意ください。

画像をコピーするには:

- 管理モードまたは表示モードで、コピーしたい画像を選択します。
- 【編集】メニューから【画像のコピー】** を選択します。
- 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、ACDSee メタデータを失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには:

1. 管理モードで、一覧ペインまたはフォルダペインから 1 つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. **【編集】** メニューから **【コピー】** または **【切り取り】** を選択します。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. **【編集】** メニューから **【貼り付け】** を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える / 上書きする

同一のファイル名と拡張子が、コピー先または移動先に既に存在する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSee の [ファイル置換の確認] ダイアログボックスでは、関係する 2 つのファイルを表示し比較することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、ACDSee はサムネイルのプレビューを表示します。そして、重複するファイル名の取扱い方法を、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止のオプションから選択します。

【ファイル置換の確認】ダイアログボックスを使用する:

1. 複数のファイルを移動する際、起こりうる重複ファイル名すべての扱い方を同じ方法で設定するには、**【すべてに適用】** チェックボックスをオンにします。
2. 2 つのファイルの違いを比べるには、プレビューウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ソースファイルと保存先ファイルを置き換えるには、**【置換】** ボタンをクリックします。
 - ファイルを保存先フォルダに移動する前にファイル名の変更をするには、**【変更名】** フィールドに新規ファイル名を入力し、**【名前の変更】** をクリックします。
 - ファイルをスキップするには、両方のフィールドを空白に残し、**【スキップ】** をクリックします。
 - ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除するファイルの下にある **【削除】** ボタンをクリックします。
 - ファイルをコピーまたは移動する操作を中止するには、**【キャンセル】** ボタンをクリックします。

 「」はターゲットフォルダに既存するファイルを、「」はコピーまたは移動させようとしているファイルを指します。

ファイル名 やフォルダ名 を変更する

[フォルダ] ペインまたは[ファイル一覧] ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

ファイル名 またはフォルダ名 を変更するには:

1. 管理モードのファイル一覧 または フォルダペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. **【編集】** メニューから **【名前の変更】** をクリックします。
3. 「.jpg」のようなファイル拡張子を削除あるいは変更しないよう注意し、新規ファイル名を入力します。
4. **<Enter>** キーを押します。

 複数のファイル名をまとめて変更するには、名前の一括変更 ツールを使用します。

プライベート フォルダにファイルを格納する

プライベート フォルダは、秘密のファイルを格納することができるセキュリティ保護されたフォルダです。プライベートフォルダにファイルを格納すると、ACDSee は現在のフォルダまたは場所から、画像をプライベートフォルダに移動します。プライベート フォルダはパスワード保護されており、ACDSee 内でのみ表示することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追加すると、それらに関する全情報がデータベースから完全に削除されることになります。プライベートフォルダからファイルやフォルダを復元しても、情報がデータベースに復元されることはありません。ファイルやフォルダに関するデータベース情報を保存したい場合には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移動します。

プライベート フォルダ ペンを開くには:

管理モードで、**【ペイン】** から **【プライベート フォルダ】** をクリックします。

プライベート フォルダを作成するには:

1. 開かれているプライベート フォルダがある場合には全て閉じます。
2. **【プライベート フォルダ】** ペインにある **【プライベート フォルダ】** アイコンを右クリックし、**【プライベート フォルダを作成する】** を選択します。
3. **【パスワードの入力】** テキスト ボックスに、プライベート フォルダ用のパスワードを入力します。パスワードに使用できる最長文字数は 40 文字です。
4. **【パスワードの再入力】** テキスト ボックスに、同じパスワードを再入力します。
5. **OK** をクリックします。

新規作成されたフォルダは、プライベート フォルダ ペインには表示されません。プライベート フォルダは隠れているため、パスワードを入力することでのみ表示することができます。プライベート フォルダを開くと、そのフォルダ内に含まれているサブフォルダも表示されますが、プライベート フォルダとこれらのサブフォルダを区別するようにしてください。

プライベート フォルダを開くには:

1. 開かれているプライベート フォルダがある場合には全て閉じます。
2. **【ペイン】** から **【プライベート フォルダ】** をクリックします。
3. **【プライベート フォルダ】** ペインのヘッダーにある **【開く】** ボタンをクリックします。
4. **【パスワードの入力】** テキスト ボックスに、開こうとしているプライベート フォルダのパスワードを入力します。
5. **OK** をクリックします。



開かれているプライベート フォルダの内容は、そのフォルダを閉じるまで表示されます。コンピュータから離れる可能性があり、他の人にそのプライベート フォルダを見られたくない場合には、フォルダを閉じてから席を外すように気をつけてください。

プライベート フォルダを閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- **【プライベート フォルダ】** ペインのヘッダーにある **【閉じる】** ボタンをクリックします。
- **【ファイル】** メニューから **【終了】** をクリックして ACDSee を終了します。プライベート フォルダが自動的に閉じられます。

プライベート フォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. **【プライベート フォルダ】** ペインの **【プライベート フォルダ】** アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。警告メッセージが表示されます。
3. **【はい】** をクリックしてプライベート フォルダにファイルを移動します。



ファイルやフォルダをプライベート フォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベート フォルダに追加されることになります。パスワードを忘れてしまうと、プライベート フォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベート フォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. [プライベート フォルダ] ペインの [プライベート フォルダ] アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。
3. **【はい】** をクリックして、フォルダとその内容をプライベート フォルダに移動します。

プライベート フォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. フォルダまたはファイルを選択し、**【ファイル】** メニューから **【プライベート フォルダから復元する】** をクリックします。
3. **【参照】** ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、**【OK】** をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

ACDSee は、指定された場所にプライベートフォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベート フォルダ、またはプライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - プライベート フォルダそのものを削除するには、[プライベート フォルダ] アイコンを右クリックし、**【削除】** を選択します。
 - プライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、**【削除】** を選択します。

警告メッセージが表示されます。
3. **【はい】** をクリックしてプライベート フォルダとその内容を削除する、あるいはプライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。



プライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベート フォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベート フォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所へ移動して復元するようにしてください。

画像にタグを付ける

結婚式やマラソンなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットのみをまとめて選択しなければならない場合がほとんどです。タグは、ベストショットを素早く表示させる最も簡単な方法です。

サムネイルの右下に、タグが付けられたことを示すチェックボックスが備えられています。このチェックボックスをクリックして、写真のタグの設定と解除を切り替えます。タグをつけた写真は、このチェックボックスのチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

カタログ ペインのスペシャルアイテムにある **ワンクリック** のだけで、**タグの付いた** すべての写真を表示することができます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、写真をまとめて管理することができます。



タグは、画像を区別する一時的な手段として意図されています。画像を移動したり、カテゴリや重要度を適用する操作が完了したら、タグをクリアするようにします。長期間にわたって画像を管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

選択した画像にタグを付けるには:

- キーボードのショートカットキー \ を使用して、タグをオンに切り替えます。
- サムネイルの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 1 つまたは複数のサムネイル上を右クリックして、**【タグ】** を選択します。
- プロパティ ペインで **【メタデータ】** タブの左上隅にある **【タグ】** のチェックボックスを選択します。

選択した画像のタグを解除するには:

- キーボードのショートカットキー \ を使用して、タグを解除します。
- プロパティ ペインで **【メタデータ】** タブの左上隅にある **【タグ】** のチェックボックスのチェックを外します。

タグのついたすべての画像からタグを解除するには:

1. カタログ ペインのスペシャルアイテムにある **【タグ】** をクリックして、タグの付いたすべてのファイルをファイル一覧に表示します。
2. キーボードショートカットの **Ctrl + A** キーを押して、すべてのファイルを選択します。
3. \ キーを使用して、タグを解除します。

タグのついた画像を表示するには:

管理モードで、**【ペイン】** から **【カタログ】** をクリックしてカタログ ペインを開き、**【スペシャル アイテム】** セクションの **【タグ】** をクリックします。

タグの付いた写真がすべて、ファイル一覧ペインに表示されます。

表示モードで画像にタグを付けるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示モードで、ステータス バーの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードで、**【ペイン】** から **【プロパティ】** をクリックしてプロパティ ペインを開き、**【メタデータ】** タブをクリックして、左上隅にある **【タグ】** チェックボックスを選択します。

画像の比較中にタグを付けるには:

1. **【比較リスト】** で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをクリックします。
2. **OK** をクリックします。**【画像の比較】** を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いているか確認します。

ファイルからメタデータを削除する

写真を共有する場合に、撮影場所やカメラ情報、個人的な評価などの情報をファイルに含めておきたくないこともあるでしょう。メタデータの削除 オプションを使用すれば、選択した画像からこれらの情報を削除し、プライバシーを保護することができます。

メタデータは JPG、GIF、TIFF、PNG および DNG ファイルから削除することができます。



メタデータを削除したい画像のコピーを作成すれば、メタデータを変更せずにそのまま残しておくことが可能です。

選択した画像からメタデータを削除するには:

1. **【ツール】** メニューから **【メタデータ】**、**【削除】** を選択します。
2. **EXIF** および **IPTC** または **埋め込まれている ACDSee メタデータ** を削除したくない場合は、それぞれのオプションを無効にします。
3. **OK** をクリックします。
メタデータが完全に削除されます。



注意: 注意: DNG ファイル固有の EXIF データは保持されます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する

ACDSee データベースから、画像の IPTC キーワードと補充カテゴリを削除することができます。IPTC キーワードを削除するとカタログ ペインの自動カテゴリリストの画像のプロパティ、キーワード (IPTC) から削除されます。



このプロセスは [補充カテゴリ] フィールドにも適用されます。このフィールドは、[ツール] メニューの [ACDSee オプション]、[プロパティ ペイン] で ボタンをクリックし、[表示するメタデータの選択] ダイアログボックスで選択されている場合のみ表示されます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. 管理モードで、IPTC をサポートしている画像を選択します。
2. プロパティ ペインが表示されていない場合は、[ペイン] から [プロパティ] をクリックします。
3. 次を実行して、画像が書き込み可能かを確認します:
 - [ファイル] タブを選択して [読み取り専用] にチェックマークがあるか確認します。
 - [読み取り専用] にチェックマークが付いている場合、その画像に書き込むことはできません。[読み取り専用] チェックマークをクリックし、ファイルを書き込み可能にします。
4. メタデータタブの [IPTC] セクションから、
5. [IPTC キーワードピッカー] ダイアログボックスで、
6. 値リストから削除したいキーワードを選択します。



複数のキーワードを選択するには **Ctrl** キーを押しながらキーワードをクリックします。

7. [削除] をクリックします。
8. **OK** をクリックします。
9. **OK** をクリックします。



使用されていないキーワードのみをリストから削除できます。キーワードに関連付けられている写真を検索するには、カタログ ペインの自動カテゴリリストで画像プロパティにリストされているキーワードをクリックします。

画像プロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、管理モードや表示モードで表示される 1 つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイル プロパティの日付けと時間を変更するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、[ツール] メニューから [一括] そして [時間の調整] を選択します。
 - 表示モードで、[ツール] メニューから [修正]、[更新日時の変更] をクリックします。
2. 「変更する更新日時を選択する」ページで、次のオプションを選択します:

変更する日付

EXIF 日時	オリジナルの EXIF 日時	画像がキャプチャされたオリジナルの日時
	デジタル化された EXIF 日時	画像がデジタル画像に変換された日時(通常オリジナルと同じになります)。
	EXIF 日時	画像の最終更新日時
ファイルの最終更新日時	画像またはファイルが最後に編集された日時です。例えば、画像の編集や、メタデータへの更新を行った日時などです。	
ファイルの作成日時	ファイルが作成されたオリジナルの日時	
ACDSee データベースの日時	ACDSee データベース内での日時	

3. **【詳細オプション】** タブで、以下で解説されている更新日時の変更オプションを選択し **【次へ】** をクリックします。

詳細オプション

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日時を変更するには、 【更新日時を変更する】 ボタンをクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	変換が完了したら、更新日時の変更ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

4. 「新規の更新日時を選択する」のページで、次のいずれかのオプションを選択します:

- **別の日時を使用する:** 選択された日時を別のプロパティの日時と置換えます。**【日時の選択】** ドロップダウン リストから、使用したいファイル プロパティを選択します。
- **特定日時を使用する:** 各ファイルの選択された日時が指定された日時に変更されます。新規更新日時を **【日付】** と **【時間】** スピンボックスで指定します。
- **新規の開始日時に変更する:** 最も古いファイルの更新日時と指定された日時と置換えて、それより後の日時をすべてシフトします。最も古いファイルの更新日時を **【日付】** と **【時間】** フィールドで指定し、開始日時として設定します。
- **日時を指定された数に移動する:** 時差のある場所で撮影されたなど、指定された時間の数で更新日時を前後に設定します。**【前に調整】** または **【後に調整】** のいずれかを選択し、**【時】**、**【分】**、**【秒】** スピンボックスに値を入力します。

5. **【更新日時を変更する】** をクリックして、ファイルに変更を追加します。

6. ウィザードが完了したら、**【完了】** をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

「同期の作成ウィザード」では、ローカル ハード ディスクのエラーからファイルを保護するために、ファイルを同期する方法をご案内します。このウィザードでは、ネットワーク、リモート コンピュータ、外部ハードドライブに保存されているローカル フォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集 / 削除などのオプション設定が可能です。



ファイルが新しい保存場所にコピーされる場合は、データベース情報は同期されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#) をご利用ください。

同期ファイルを作成するには:

1. 管理モードで **【ファイル】** メニューから **【同期】**、**【同期の作成】** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、**【次へ】** ボタンをクリックして続行します。

3. 「同期オプション」のページで次を実行します:

- **【ソースフォルダ】** フィールドで、コピーしたいファイルを含んでいるフォルダを指定します。
- **【バックアップの保存先】** フィールドで、ネットワーク上のフォルダ、リモート コンピュータまたは外部 ハードドライブなど、バックアップ ファイルの保存先を指定します。
- **「オプション」** セクションで、同期時のエラーとログの対処方法を設定します。
- **「確認」** のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。
- **【次へ】** をクリックして続行します。

4. 「同期スケジュール」のページで次を実行します:

- **【名前】** テキスト ボックスに、同期の名前を入力します。
- **【スケジュール】** 領域から、今すぐバックアップを実行するか、スケジュールを利用するかのいずれかを選択します。
- ウィザードを完了するには、**【完了】** をクリックします。

 **スケジュール:** パスワードのないアカウントで、スケジュールを設定することはできません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1 文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

ACDSee では、同期の設定の変更、定期的なスケジュールの設定を設定したり、同期を削除したりすることができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. 管理モードで **【ファイル】** メニューから **【同期】**、**【同期の編集】** をクリックします。
2. **【既存の同期】** ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 同期スケジュールを設定するには、**【スケジュール】** をクリックします。同期を起動する頻度を指定したら、**【OK】** をクリックします。
 - 設定を変更するには、**【編集】** をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモート コンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。「**オプション**」セクションで、同期時のエラーやログの対処方法について設定します。「**確認**」のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。設定し終わったら、**【OK】** をクリックします。
 - 同期名を変更するには、**【名前の変更】** をクリックします。新規同期名を入力し、**【OK】** をクリックします。
 - 同期を削除するには、**【削除】** をクリックします。
4. **【閉じる】** をクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

管理モードから、**【ファイル】** メニューから **【同期】** をクリックし、起動したい同期名を選択します。

ACDSee で検索する

ACDSee では、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞り込み検索することができます。また、特定の日付や重要度に該当するファイルを検索し、その検索条件に名前

を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索、また管理することもできます。

比較的シンプルな検索をする場合には、クイック検索バーを使ってファイルやフォルダを検索したり、特定の名前やキーワードを指定してデータベース内を検索することができます。クイック検索バーをカスタマイズして、特定の項目やデータベースの特定情報だけで検索することができます。

「カタログ ペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。多数の画像から検索するような場合、「ブラウザ検索 ペイン」を使用すれば、ファイル一覧ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

クイック検索バーを使用する

管理モードにあるクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダを素早く検索することができます。クイック検索オプションや演算子と単語を組み合わせ、検索を絞り込んだり広げたりして、検索結果をファイル一覧で確認します。

クイック検索は、常に次の IPTC フィールドを検索します: タイトル、ヘッドライン、説明、キーワード、クリエイター、都市名、都道府県、場所、国、指示。クイック検索は、カラーラベルと次の ACDSee メタデータ フィールドも検索します: キャプション、作者、注記、キーワード。



ACDSee でファイル名を検索する際は、ファイル名の始まりで検索が行われるという点に留意してください。**Cat** を入力して検索するとこのファイルは検索結果に表示されますが、**Dog** ではこのファイルは一致しないという結果になります。検索する用語を入力する際、大文字と小文字の区別をする必要はありません

クイック検索を使用するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- クイック検索バーに、検索したい用語または名前の一部を入力します。
- クイック検索フィールドの横にあるドロップダウン リストをクリックして、以前入力された検索用語リストから選択します。

クイック検索の演算子

クイック検索バーで次の演算子を使用して、検索を絞り込んだり検索結果を広くしたりします。演算子で始まる検索を行うことはできませんのでご注意ください。必ず用語で始まらなければなりません。

演算子	結果	例
-	最初の単語を含むすべてのファイルが検索された後、二番目の単語を含まないファイルのみが表示されます。	Cat -Dog では、Dog を含まないすべての Cat ファイルが結果として表示されます。マイナス(-) の前に必ず半角スペースが必要です。ご注意ください。半角スペースを忘れると、ハイフンでつながった 1 つの単語として検索が行われます。
+	演算子の前後にある単語の両方を含んだすべてのファイルが結果として表示されます。どちらか一方の単語を含んでいるファイルは除外されます。クイック検索バーは、単語間に入力された半角スペースをプラス(+) 演算子として扱います。	Cat+Dog または Cat Dog を入力すると、Cat と Dog の両方を含んだファイルが表示されます。 Cat+Dog+-Kittens では、Cat と Dog の両方を含んだファイルが表示され、Cat と Dog と Kittens のすべてを含んだファイルは除外されます。
	演算子で区切られたすべての要素を含んでいるファイルが検索されます。	Cat Dog では、Cat または Dog のいずれかを含んだファイルが表示されます。 Cat+Dog Kittens では、Cat と Dog の両方を含んだもの、そして Kittens を含んだファイルが表示されます。

検索ペインを使用する

「検索ペイン」を使用して、ファイルやフォルダを検索することができます。ファイル名やキーワードで基本的な検索を実行できます。さらに高度な検索を作成し、フォルダ、カテゴリ、画像のプロパティによって検索結果を絞り込むこともできます。ファイル名のパターンを検索して重複するファイルを見つけることもできます。

また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカタログペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウンリストから保存済み検索を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カテゴリペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。



検索ペインは、ACDSee データベースにカタログ化されていないものは検索しませんのでご注意ください。フォルダを参照すると自動的にカタログ化が行われます。[\[ツール\]](#) | [\[データベース\]](#) | [\[ファイルのカタログ化\]](#) をクリックすることもできます。

検索ペインを開くには:

管理モードで、[\[ペイン\]](#) から [\[検索\]](#) をクリックします。

検索ペイン

検索ペインには、検索を管理しやすくするための領域がいくつか備えられています。検索では、指定された検索条件のすべてに一致するファイルのみが検索されますのでご注意ください。

保存済み検索

保存済み検索領域では、複雑な検索条件の検索を保存して後で使用したり、再実行する検索を選択したり、保存済み検索を削除したりすることができます。

保存済み検索	保存済み検索を作成すると、ドロップダウン リストに表示されます。ペイン下部にある【開始】をクリックすると、ファイル一覧ペインに検索結果が表示されます。 保存済み検索はカタログ ペインにも備えられていますので、保存済み検索の名前をワンクリックするだけで検索を実行することができます。
検索の保存 	【保存】アイコンをクリックしてから、【保存】または【名前を付けて保存】を選択して、保存済み検索を上書き保存するか、名前を付けて保存します。[保存済み検索] ダイアログが開かれたら、名前を入力します。後で便利のように、保存条件がすぐにわかるような名前を付けるようお勧めします。
検索の削除 	ドロップダウン リストから削除したい検索を選択し、【削除】アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されたら、【はい】をクリックして削除します。

ファイルとテキスト

「ファイルとテキスト」領域では、検索条件と検索場所を指定することができます。

ファイルまたはフォルダの名前	検索したいファイルまたはフォルダの名前の一部を入力するか、前回の検索で使った用語をドロップダウン リストから選択します。また、ワイルドカードを使用して ファイル名のパターン で検索することも可能です。画像ファイル以外のすべてを除外するには、入力フィールドの横にある右矢印ボタンをクリックし、【画像のみ】チェックボックスをオンにします。
含まれる文字列	ACDSee データベース で検索するテキストを入力します。検索したいファイルのキャプションまたはキーワードの一部、あるいはフォルダまたはカテゴリの名前の一部がテキストに含まれている必要があります。ファイル名とキーワードの両方を検索条件として使用する場合、両方 の検索条件に該当するファイルのみが検索されます。 データベースで検索するアイテムを指定するために、入力フィールドの横にある右矢印をクリックして、フィールドに入力されたテキストの取扱い方法を次のオプションから選択します： • すべての文字と一致するものを検索：入力されたすべての文字に一致するファイルのみを検索します。 • 文字全体と一致するものを検索：入力された文字全体（入力された通り）と一致するファイルのみを検索します。 • キャプション検索：データベース内のファイルのキャプション フィールドを検索します。 • キーワード検索：データベース内のファイルのキーワード フィールドを検索します。 • 注記検索：データベース内のファイルの注記フィールドを検索します。 • カテゴリ検索：データベース内のファイルのカテゴリフィールドを検索します。 • フォルダ検索：データベース内のフォルダ名を検索します。 • ラベル検索：カラーラベルが適用された画像を検索します。
検索場所	次のいずれかのオプションを選択します： • データベース全体：ACDSee データベース全体を検索します。データベース内でカタログ化されていないフォルダは検索されませんのでご注意ください。 • 特定のカテゴリとフォルダ：指定されたカテゴリとフォルダのみを検索します。このオプションを選択すると、[カテゴリとフォルダ] セクションが開かれ、検索したい場所とカテゴリを選択することができます。
ファイル一覧設定と同期する	ブラウズ検索 設定を含む現在の管理モード設定を、検索ペインにインポートします。検索ペインの検索条件が削除される場合がありますのでご注意ください。

プロパティ

「プロパティ」セクションでは、検索したいファイルに含まれるプロパティの内容、検索に含むあるいは除外する条件を指定することができます。

「プロパティ」セクションを使用するには:

1. **【ファイル プロパティの検索】** フィールドの下にある、**【追加】** をクリックします。
2. **【選択条件の追加】** ダイアログボックスで、検索条件とする 1 つ以上のプロパティを選択します。
3. **OK** をクリックします。
4. 「プロパティ」セクションのハイパーリンクをクリックして、各プロパティの詳細を定義します。
5. **【開始】** をクリックして、検索を開始します。

ファイル名のパターンで検索する

検索ペインの [検索する:ワイルドカードワイルドカード] フィールドにパターンを入力し、ファイル名で検索することができます。

ファイル名のパターン ワイルドカード

ワイルドカード	結果	例
?	入力された文字と、その次の一文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	ca?.jpg は cat.jpg、cap.jpg、car.jpg と照合しますが、cats.jpg と照合しません。
*	入力された文字と、その次の 0 文字以上の文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	cat* は cat.jpg、cats.jpg、cathy.jpg と一致します。
[...]	括弧で囲まれた文字と一致するものを検索します。	ca[tr] は cat.jpg、または car.jpg と一致しますが、cap.jpg とは一致しません。
[!...]]	括弧で囲まれた文字以外と一致するものを検索します。	cat[!0] は cata.jpg、catb.jpg と一致しますが、cat0.jpg とは一致しません。
[...-...]	指定された範囲の文字がファイル名に含まれているか検索します。	cat[a-f0-9] は cata.jpg、catb.jpg、catf.jpg および cat0.jpg、cat1.jpg、cat9.jpg と一致します。
\	ファイル名として使用できる文字で、同時にワイルドカードとして使用できる文字をブロックします。[]、例: [] また、(*) や (?) はファイル名として認識されないため、この機能で使うことはできません。	ワイルドカードである [] を含むファイル名を検索する場合は、と [] を組み合わせて検索します。 ACD\[123\] では ACD[123].gif と一致します。



パターンでは、大文字と小文字の区別をする必要はありません。複数のパターンを使用するには、ファイル名をスペースまたは「;」で区切ります。スペースまたはセミコロンを含むパターンを検索するには、「"」でパターンを囲みます。パターンにワイルドカードの「*」が含まれない場合、そのパターンはサブストリングとして検索されます。例えば、cat は cat、cat hy および bobcat および *cat* と同様のパターンと照合します。

ブラウザ検索を使用する

ブラウザ検索ペインは、特定のフォルダ、カテゴリ、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウザ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウザしたいファイルのみを表示します。

ブラウザ検索を最大に活用するには、[カタログ化](#) および [管理](#) されたファイルが [ACDSee データベース](#) に入っている必要があります。ブラウザ検索は、ファイルの情報が多ければ多いほど便利な機能と言えます。

ブラウザ検索を使用するには:

【表示】 メニューから **【ブラウザ検索】** をクリックして、ブラウザ検索 パネルを開きます。このパネルはファイル一覧ペインの左側に表示されます。

ブラウザ検索 ペインで検索範囲を設定する

ブラウザ検索 パネルは、「フォルダ」、「カテゴリ」、「カレンダー」の 3 つのセクションで構成されています。各セクションは、該当名の管理モード ペインと一致します。ブラウザ検索 パネルを開くと、ファイル一覧 ペインの「コンテンツ バー」は、現在の検索範囲を表示する「ブラウザ検索 バー」に置き換えられます。ここに、現在使用中のブラウザ条件がすべて表示されます。

ブラウザ検索 パネルの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、カテゴリを追加すると、ACDSee は検索範囲と一致しないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウザ検索 ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:

ブラウザ検索 パネルを開き、次のいずれかの操作を行います:

- フォルダ ペイン から、1 つ以上のフォルダを選択します。
- カタログ ペイン から、1 つ以上のカテゴリ、そして必要に応じて重要度も選択します。
- カレンダー ペイン から 1 つ以上の日付を選択します。

ブラウザ検索 パネルの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、ACDSee はデータベースから検索範囲と一致するファイルを検索し、ファイル一覧 ペインに表示します。表示されたファイルは、ACDSee で自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

ブラウザ検索 パネルの検索範囲を設定し直すことができます:

- ブラウズ検索 パネルの検索範囲からアイテムを削除するには、削除したいアイテムを右クリックして **【検索範囲から削除】** を選択します。
- 検索範囲からすべてのアイテムを除外するには、検索範囲のフォルダ / カテゴリ / カレンダーのバーをクリックして [検索範囲を含む] をオフにします。例えば、検索範囲からすべてのフォルダを除外するには、**【フォルダ】** バーをクリックして **【選択範囲を含む】** を選択します。ブラウザ検索 パネルの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 検索範囲からすべてのアイテムを削除するには、検索範囲のフォルダ / カテゴリ / カレンダーのバーをクリックして **【すべてクリア】** を選択します。

ブラウザ検索 パネルのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかと一致するファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。検索範囲を切り替えるには、カテゴリを右クリックで選択して **【部分一致】** または **【完全一致】** を選択します。

ブラウザ検索 を使用する際のヒント

ブラウザ検索 パネルに検索条件を追加すると、検索したいファイルにその属性が含まれていることを条件とすることになります。例えば、フォルダ ペインからフォルダを選択すると、ACDSee は、そのフォルダ内にあるファイルのみをファイル一覧 ペインに表示します。カタログ ペインの「重要度」を選択すると、ACDSee は、その重要度が適用されているファイルのみをファイル一覧 ペインに表示します。

ブラウザ検索 の検索範囲を組み合わせると、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、カテゴリとある特定の日付の範囲を選択すると、ACDSee はその両方と一致するファイルのみを表示します。ACDSeeは指定された日付の範囲に該当するファイルが存在しても、適切なカテゴリに適用されていない限りそれらを表示しません。あるいは、適切なカテゴリに適用されていても、指定された日付の範囲に該当しない場合にはそれらを表示しません。

ブラウザ検索 パネルを非表示にする

ブラウザ検索 パネルの [自動非表示] 機能を使うと、ブラウザ検索 パネルを自動的に非表示にし、ファイル一覧 ペインの作業領域を広げることができます。パネルが自動非表示に設定されている場合、パネルの外をクリックするとパネルがロールアップされ、パネルの端部のみが表示されます。パネルの端部にマウスポインタを合わせると、パネルが再度表示されます。

自動カテゴリで検索する

何百枚、何千枚という画像を所有している。複数のカメラを使用している。家族とカメラを共有している。友達や家族が撮影した画像をコンピュータに保存している。このような方には、自動カテゴリによる画像検索の利用をお勧めします。

自動カテゴリは [カタログ ペイン] の [ラベル] のすぐ下に表示されます。ダブルクリックまたはプラスサイン (+) をクリックして、自動カテゴリのグループを展開します。ダブルクリックまたはマイナスサイン (-) をクリックして、自動カテゴリのグループを閉じます。

自動カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した都市名や国名、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。プロパティペインで情報を手入力することも可能です。

自動カテゴリをクリックすると、ACDSee はそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを持っていて、状況によって使い分けて撮影していると仮定しましょう。[フォト プロパティ] と [カメラのメーカー名] を展開し、該当カメラのカテゴリを選択します。これで、そのカメラで撮影されたすべての画像が表示されます。同様に、弟がカメラ撮影に凝っていて画像をいつも送ってくると仮定しましょう。[フォトプロパティ] と [撮影者] のグループを展開し、撮影者一覧から弟の名前を選択します。すると弟が撮影した画像がすべて表示されます。

以下で、自動カテゴリの検索ヒントをご紹介します。

よく使うカテゴリを識別する

[フォト プロパティ] で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、[よく使うカテゴリ] としてそれらを追加し、検索時間を短縮することができます。規定では、[フォト プロパティ] グループの一部が [よく使うカテゴリ] のグループで使用できるように設定されています。[よく使うカテゴリ] には希望する数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

[よく使うカテゴリ] に自動カテゴリのグループを追加するには:

1. [フォト プロパティ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**[よく使うカテゴリに追加]** を選択します。これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] に追加されます。

同様に、[フォト プロパティ] のグループでも表示されます。

[よく使うカテゴリ] から自動カテゴリのグループを削除するには:

1. [よく使うカテゴリ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**[よく使うカテゴリから削除]** を選択します。

これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、自動カテゴリ検索の精度を上げることもできます。例えば、さまざまな照明のもとで適切な画像の露出を見つけ出そうとして、絞り値とシャッタースピード設定の組み合わせを試行錯誤しているときに、特定の設定で撮影された画像を検索したいというケースを考えてみましょう。例えば、特定の絞り値とシャッタースピードの設定で、様々な光の下で大量の画像を撮影し、特定の設定で撮影された画像だけを表示したいと仮定しましょう。f/16 絞り値と 1/30 s のシャッタースピードの左横にあるボックスをクリックすると、ACDSee は両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数のカテゴリを選択する場合、[カテゴリペイン] の上部にある [完全/部分一致] ドロップダウンから、**[完全一致]** または **[部分一致]** を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。[部分一致] を選択すると、ACDSee に選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。[完全一致] を選択すると、ACDSee に選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、[撮影者] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたらと仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。[カテゴリペイン] の **[重要度]** 領域から 1 を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度 1 の画像のみが表示されます。

また、[ブラウズ検索] ペインを使用して、自動カテゴリの検索を絞り込むことも可能です。例えば、[カメラのメーカー名] のカテゴリをクリックし、ACDSee に何千もの画像が表示されたらと仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけが見たいとします。**[表示]** メニューから **[ブラウズ検索]** をクリックして **[カレンダー]** 領域を展開して、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

重複ファイルを検索する

「重複の検索」プラグインを使って、ハードディスク上にある重複ファイルを検索することができます。検索された重複ファイルの名前を変更したり削除することで、より簡単にファイルの管理を行うことができます。

次の手順は、「重複の検索」機能の基本的な使用方法です。詳細につきましては、プラグインに搭載されている [ヘルプ] をご参照ください。



フォルダ内の画像のみを選択して、検索範囲を絞ります。

重複ファイルを検索するには:

1. 管理モードで、重複の検索を行うフォルダまたはファイルを選択します。
2. **【ツール】**メニューから**【重複の検索】**を選択します。
3. **【重複の検索】**ダイアログボックスの「検索方法の選択」ページで、検索したいファイルやフォルダを追加します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - リストに追加したファイルおよびフォルダの重複を検索するには、**【このリストから重複を検索する】**を選択します。
 - 作成したリストと別のリストを比較して重複を検索するには、**【このリストと別のリストを比較して重複を検索する】**を選択します。
5. **【次へ】**をクリックします。
6. 別のリストのファイルと比較する場合、比較したいファイルまたはフォルダを第2リストに追加して**【次へ】**をクリックします。
7. 「検索パラメータ」のページで、同じファイル名の重複を検索するか、または完全重複ファイルを検索するかを指定します。
8. 画像ファイルのみを検索したい場合は、**【画像のみを検索する】**を選択します。
9. **【次へ】**をクリックします。
10. 重複が検索されなかった場合は、**【OK】**をクリックして検索条件を変更してやり直すか、**【キャンセル】**をクリックして**【重複の検索】**を閉じます。
11. 重複が検索された場合は、どちらのリストからファイルを削除するか決め、削除したい重複ファイルの横のチェックボックスをオンにします。また、ファイル名を右クリックして、ファイルを開いたり、名前を変更をしたり、削除したりすることができます。
12. **【次へ】**をクリックして変更を確認し、**【完了】**をクリックします。

画像をすばやく検索する

保存済み検索の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。[カテゴリペイン](#)の「スペシャル アイテム」を使用すれば、[データベース](#)内にあるすべての画像や、[カテゴリへの割り当て](#)がまだなされていない未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を再度使用するには:

管理モードのカタログペインから、保存済み検索の名前をクリックします。

ファイル一覧ペインに検索結果が表示されます。

すべての画像ファイルを一度に表示するには:

1. 管理モードで**【ペイン】**メニューから**【カタログ】**を選択して、カタログペインを開きます。
2. カatalog ペインの**【スペシャル アイテム】**から**【イメージ ウェル】**を選択します。

未分類の画像を表示するには:

1. 管理モードで**【ペイン】**メニューから**【カタログ】**を選択して、カタログペインを開きます。
2. カatalog ペインの**【スペシャル アイテム】**から**【未分類】**を選択します。「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能では、[データベース](#)内のカタログ化された画像が表示されます。これらの機能は、ハードディスク内の特定のファイルタイプを検索するわけではありませんのでご注意ください。

キーワードのない画像を表示するには:

1. 管理モードで**【ペイン】**メニューから**【カタログ】**を選択して、カタログペインを開きます。
2. カatalog ペインの**【スペシャル アイテム】**から**【キーワードなし】**を選択します。

ACDSee で共有する

ACDSee を使用して、ご家族やお友達と画像を簡単に共有することができます。ACDSee からファイルを電子メールで直接送信することができ、さらに、Web サイトへの画像のアップロード、HTML アルバムプラグインを使用した独自の Web ページの作成、コンタクトシートの印刷なども可能です。

さらに、スライドショーやスクリーンセーバーを作成して、コンピュータを使用する人になら誰にでも送ることができます。これは ACDSee がなくても表示可能です。

スクリーン キャプチャを実行する

ACDSee スクリーン キャプチャ ユーティリティを使って、画面の様々な領域をキャプチャして画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャの方法、キャプチャされた画像の出力先などを選択することができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**【ツール】**メニューから**【スクリーンキャプチャ...】**をクリックします。
2. **【スクリーン キャプチャ】**ダイアログボックスの**【ソース】**セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細につきましては、下記の表を参照ください。
3. マウス ポインタも含めたい場合、**【マウス ポインタを含む】**チェックボックスをオンにします。
4. **【出力先】**セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
5. **【キャプチャの実行】**セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
6. **【開始】**をクリックし、スクリーン キャプチャを起動します。
タスクバーにスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。
7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
8. スクリーン キャプチャを実行せずにユーティリティを終了するには、**【スクリーン キャプチャ】**アイコンを右クリックし、**【スクリーン キャプチャの終了】**を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

デスクトップ	現行モニタ	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
ウィンドウ	ウィンドウ全体	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
	コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトルバーはキャプチャされません)。
領域	固定サイズ	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、サイズの設定を選択するか、 【カスタマイズ】 を選択して、カスタム サイズをピクセルで入力します。
	選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック&ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
オブジェクト	子ウィンドウ	ウィンドウの一部をキャプチャします。例：ツールバー、ボタン
	ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。
マウス ポインタを含む	スクリーンキャプチャにカーソルを含めます。	
出力先 オプション	クリップボード	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
	ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
	エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。
キャプチャの実行 オプション	ホットキー	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ (例：<Ctrl> + <S> キー) を押します。
	タイマー	指定された時間が経過した後で、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は 60 秒間です。

電子メールで画像を送信する

電子メールの送信ウィザードを使用して、他の電子メール アプリケーションを開くことなく ACDSee 内から直接画像を送信することができます。電子メールの送信ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントが電子メールアプリケーションの既定値として設定されているか、SMTP サーバーにアクセスできるように設定されている必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイラー 一覧ペインから画像を選択して、**【ファイル】**メニューから**【送信】**、をクリックします。
 - 画像を追加したい場合には、**【追加】**をクリックします。画像の追加が完了したらをクリックします。
 - ファイルを削除したい場合には、**【削除】**をクリックします。画像はウィザードより削除されますが、実際のフォルダやファイルの場所から削除されるわけではありません。
 - 電子メールの最大サイズや JPEG に変換するなど、電子メールや画像オプションを選択したい場合は、**【オプション】**をクリックします。オプションの選択が完了したらをクリックします。
 - 既定の電子メール クライアントまたは SMTP サーバーを使用するなど、電子メール アカウントの設定を変更したい場合、**【変更】**をクリックします。電子メール アカウントの変更が完了したら、**【OK】**をクリックします。
2. [電子メールの送信ウィザード]にある**【次へ】**をクリックします。
 - **【既定の電子メールクライアント経由で送信】**を選択した場合、新規のメッセージに画像と電子メール情報が追加されます。通常のメッセージを扱うように、メッセージを編集してから送信します。
 - **【SMTP サーバー経由で送信】**を選択した場合、電子メールの送信先、件名、メッセージを入力します。**【次へ】**をクリックします。
3. 画像の送信が終了したら、**【完了】**をクリックして[電子メールの送信ウィザード]を閉じます。



Hotmail や Yahoo (無料アカウント) のようなインターネット ベースのアプリケーションの中には SMTP をサポートしないものがありますので、[電子メールの送信ウィザード] と合わせて使用することができません。Gmail、Yahoo (アップグレード アカウント)、AOL などその他のアプリケーションでは、POP/SMTPのアカウントを設定する必要があります。電子メール アカウントの設定方法は各アプリケーションによって異なりますので、詳細につきましては各アプリケーションのWeb サイトから SMTP を検索してください。

ACDSee 365 で共有、メール送信する

ACDSee 365 のアカウントを一度有効にすると、365.acdsee.com からあなたの写真を共有することができます。

電子メールで画像を送信するには:

1. [ファイル一覧] ペインから、共有したい写真を選択し、[ファイル] メニューから [送信]、[ACDSee 365 で共有 / メール] をクリックします。
2. [ACDSee 365 で共有 / メール] ダイアログボックスで写真用のアルバム名を入力して、既存のオンラインフォルダから場所を選択します。
3. 写真の送信先となる 1 つまたは複数のメールアドレスを入力します。



[共有する人たち] ボタンをクリックして、アドレス帳から希望する名前を引き出すことができます。

4. ドロップダウン リストからアップロードのサイズを選択します。
5. [アップロード] をクリックします。
6. 新しいウィンドウが開かれますので、メッセージの入力、フルサイズの JPG ダウンロードを有効にするか、アクセスパスワードを作成するなど、希望するオプションを選択します。
7. **OK** をクリックします。

デスクトップ スクリーンセーバーを作成する

お気に入りの画像を使用してスクリーン セーバーを作成することができます。スクリーン セーバー オプションでは、各画像の表示時間、背景色の設定、トランジション効果の適用、ヘッダーまたはフッターの追加などを設定することができます。

スクリーン セーバーを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧 ペインから複数の画像を選択して、[ツール] メニューから [スクリーン セーバーの設定] を選択します。
2. [ACDSee スクリーン セーバー] ダイアログ ボックスの [追加] をクリックして、スクリーン セーバーに使用する画像を選択するか、不要な画像を選択して [削除] をクリックします。
3. [設定] をクリックして、以下に説明されているオプションを指定し、[OK] をクリックします。
4. スクリーン セーバーをデスクトップで自動的に起動させるには、[既定のスクリーン セーバーとして保存する] チェックボックスをオンにします。
5. 選択した項目を確認したら、[OK] をクリックします。

コンピュータでスクリーン セーバーをアクティブにするには:

Windows のコントロール パネルから [画面] をクリックし、[スクリーン セーバー] タブを選択した後、ドロップダウンリストから [ACDSeeスクリーン セーバー] を選択します。

ACDSee スクリーン セーバー オプション

ベーシック	トランジションを選択してください。	トランジションの一覧が表示されます。トランジションを選択すると、プレビューに反映されます。 • すべて選択:すべてのトランジションが選択され、ランダムに表示されます。 • すべてクリア:選択されたトランジションをすべてクリアします。  これらのトランジションは2画像、4画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。
バリエーション	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します:	
効果	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します:	
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。【その他】をクリックして、 色の設定 ダイアログ ボックスでカスタムの色を選択します。	
スライドの表示間隔 (秒)	スクリーンセーバーの各画像の表示時間を指定します。	
詳細設定	全般	次のオプションから選択します: • 画面に合わせて画像を表示:画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。 • 埋め込みオーディオの再生:画像に埋め込まれているオーディオを再生します。
スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します:	
テキスト	ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。	

スクリーンセーバー テキスト オプション

配置	テキスト キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスが開かれますので、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーを表示、設定する

画像やビデオのスライドショーは、管理モードまたは表示モードから表示することができます。スライドショーを自動実行するように設定したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー/フッターの追加などのオプションを設定したりすることも可能です。

管理モードからスライドショーを起動するには:

- 以下のいずれかの操作を行います:
 - ファイル一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダ ペインで、フォルダを選択します。
 - [イーजीーセレクト バー](#) を使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
- 【ツール】 から **【スライドショー】** (キーボード ショートカット **CTRL+ S**) を選択します。

表示モードからスライドショーを起動するには:

【ツール】 メニューから **【スライドショー】** を選択します。

スライドショーを設定するには:

- 【管理】モードで次のいずれかの操作を行います:
 - ファイル一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
 - フォルダ ペインで、フォルダを選択するかイーजीーセレクト バーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
- 【ツール】 メニューから **【スライドショーの設定】** を選択します。
- 【スライドショーのオプション設定】 ダイアログ ボックスで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
- 現在のオプション設定を既定値として保存するには、**【現在の設定を既定値として保存する】** チェックボックスを選択します。
- OK** をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択	スライドショーの内容	スライドショーに含むメディアの種類を指定します: ● 現行フォルダ内のすべてのメディア ファイル: 現在選択されているフォルダ内に含まれるすべてのファイル (画像またはビデオ) を表示します。 ● 現行フォルダとサブフォルダ内のすべてのメディア ファイル: 現在選択されているフォルダとそのサブフォルダ内に含まれているすべてのファイルを表示します。 ● 選択されたメディア ファイル: [スライドショーのプロパティ] ダイアログを開く前に選択されていたファイルのみを表示します。
	この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する	スライドショーを次回実行する際、 【スライドショーの内容】 内で現在指定されている設定を使って自動再生されます。
ベーシック	トランジションを選択してください。	トランジションの一覧が表示されます。トランジションを選択すると、プレビューに反映されます。 ● すべて選択: すべてのトランジションが選択され、ランダムに表示されます。 ● すべてクリア: 選択されたトランジションをすべてクリアします。  これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。
	バリエーション	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します: ● なし: バリエーションを使用しません。 ● パン & ズーム: 各スライドの表示時間に合わせて、パンニング & ズーム表示を行います。 ● 2画像: 一度に 2 つの画像をまとめて表示します。 ● 4画像: 一度に 4 つの画像をまとめて表示します。 ● コラージュ: 画像の重なり合ったコラージュとして表示します。
効果		ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します: ● なし: 効果を使用しません。 ● モノクロ: すべての画像をグレースケールで表示します。 ● セピア: すべての画像をセピアで表示します。 ● ヴィヴィッド: 画像の彩度を増やすことで、全体を明るくヴィヴィッドに表示します。 ● ソフト: 画像をわずかにぼかすことで、ソフトに表示します。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。 【その他】 をクリックして、 色 ダイアログでカスタムの色を選択します。
	スライドの表示間隔 (秒)	スライドショーの各画像の表示時間を指定します。
詳細設定	全般	次のオプションから選択します: ● 画面に合わせて画像を表示: 画面のサイズに合わせて小さい画像を拡大します。 ● 埋め込みオーディオの再生: 画像に埋め込まれているオーディオを再生します。 ● 画面に合わせて画像を表示: 画面のサイズに合わせてビデオ ファイルを拡大します。 ● コントロールバーの自動非表示: マウス ポインタが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロール バーを自動的に隠します。 ● ループ: 最後の画像が表示された後も、スクリーン セーバーを繰り返し表示します。

スライドの順序		以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します:
		- 次へ - シャッフル
ミュージック ディレクトリ		以前選択されたフォルダからミュージックを表示するか、 【参照】 をクリックして新しいフォルダを選択します。
テキスト	ヘッダー テキストの表示	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
現在の設定を規定値として保存する		すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。

スライドショー テキスト オプション

配置	テキスト キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスが開かれますので、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーとスクリーン セーバーを共有する

管理モードや表示モードで、[ACDSeeでは、スライドショーやスクリーンセーバーを作成して、友人や家族に送ったり、Web サイトに表示することができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。スライドショーの作成ウィザードが手順をご案内します。

スライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、**【ツール】**メニューから**【作成】**、**【スライドショー ファイル】**をクリックします。
2. [ようこそ] ページから、新規スライドショーを作成するには、**【新規スライドショーを作成する】**ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のオプションから1つを選択します:
 - **スタンドアロン スライドショー:** すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含む、シングル実行ファイル (.exe) を作成します。このファイルの種類は、ACDSee をインストールしていなくても、コンピュータを持っている人なら誰でも閲覧することができます。
 - **Windows スクリーン セーバー:** 標準の Windows スクリーン セーバー ファイル (.scr) を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
 - **Adobe Flash Player® スライドショー:** Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル (.swf) を作成します。
3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、**【既存のスライドショーをロードする】**ラジオボタンを選択し、**【参照】**をクリックしてプロジェクト(.asw ファイル)の保存先を指定します。
4. **【次へ】**をクリックして続行します。
5. 「画像の選択」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには**【追加】**または**【削除】**をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。**【次へ】**をクリックして続行します。
6. 「ファイル固有オプションの設定」のページで、サムネイルの横に表示されているハイパーリンクをクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔(長さ)、テキスト キャプション、画像が表示

される際のオーディオ ファイルを設定します。注意：オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。【次へ】をクリックして続行します。

7. 「スライドショーのオプション設定」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示/非表示などを設定します。BGM に使うオーディオ ファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。【次へ】をクリックして続行します。
8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクトファイルの保存先を設定します。
9. 最後に【次へ】をクリックして、ACDSee がスライドショーの作成を完了するまで待ちます。完了したら、スライドショーを起動するかウィザードを終了します。



オーディオ ファイルを画像に適用してある状態で、スライドショー オプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることになりますのでご注意ください。

デスクトップ スライドショーを作成する

ACDSee Showroom を使用して、お気に入り画像のスライドショーを作成し、コンピュータのデスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最高 16 ものスライドショーを起動することが可能です。

ACDSee Showroom のウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータの起動時に ACDSee Showroom ウィンドウを自動実行するようにも設定できます。ACDSee Showroom を使用するために ACDSee を開く必要は全くありません。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、デスクトップ スライドショーに使用したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 【ツール】メニューから【作成】、[ACDSee Showroom] をクリックします。
 - 【スタート】ボタンから【プログラム】を選択し、[ACD Systems] から [ACDSee Showroom] をクリックします。

ACDSee Showroom のアイコンがタスクバーに表示されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、【戻る】または【次へ】ボタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている間、【一時停止】ボタンをクリックしてスライドショーを一時停止することができます。



ACDSee Showroom ウィンドウ内にこれらのコントロールが表示されない場合は、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、写真をフルにお楽しみいただけるようコントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには:

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[Showroom の新規作成] を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ACDSee Showroom ウィンドウの【閉じる】をクリックします。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、[ACDSee Showroom の終了] を選択します。



コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動実行されます。

PDF を作成する

ACDSeeを使うと、画像を PDF (Portable Document Format) ファイルに変換することができます。PDF ファイルの作成ウィザードでは、画像から 1 つ以上の PDF ファイルを作成する方法や、画像を PDF スライドショーに追加する方法をご紹介します。

PDF ファイルを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **【ツール】**メニューから **【作成】**、**【PDF】** をクリックします。
3. PDF ファイルの作成ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、**【次へ】** をクリックします:
 - **PDF スライドショーを作成する:** すべての画像をまとめて、スライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
 - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する:** すべての画像をまとめて、マルチページのシングル PDF ファイルを作成します。
 - **画像ごとに PDF ファイルを作成する:** 画像ごとに個別の PDF ファイルを作成します。
4. 「画像の選択」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更したりします。**【次へ】** をクリックして続行します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [PDF スライドショーを作成する] を選択した場合、「トランジション オプション」のページで、各画像の横にあるハイパーリンクをクリックして、スライドショーに使用するトランジションを設定します。**【次へ】** をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。**【次へ】** をクリックして続行します。
 - [すべての画像を含むPDFファイルを作成する] または [画像ごとに PDF ファイルを作成する] を選択した場合、「ファイル オプション」のページで、ファイル名と保存先を指定し、**【次へ】** をクリックします。
6. **【完了】** をクリックしてウィザードを閉じ、ACDSee に戻ります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成する

「PPT の作成ウィザード」を使用して、ACDSee 内から素早く PowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、ご希望の画像を使ったプレゼンテーションの作成または編集のプロセスをご紹介します。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザイン テンプレートを使用するかを指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。



この機能は、ご使用のコンピュータに Microsoft PowerPoint® がインストールされている場合にのみご利用いただけます。また、RAW ファイルはサポートされていないため、RAW ファイルを別のファイル フォーマットに変換する必要があります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **【ツール】**メニューから **【作成】**、**【PPT】** をクリックします。
3. PPT の作成ウィザードの [画像の選択] ページで、**【追加】** をクリックして画像を追加します。
4. **【次へ】** をクリックします。
5. [プレゼンテーション オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
 - プレゼンテーションを新規作成する場合、**【プレゼンテーション オプション】** 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。

- プレゼンテーションを編集している場合、**【既存プレゼンテーション】**を選択し**【パス】**フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入したい場合は、**【スライドの挿入】**からオプションを選択します。
 - ドロップダウン リストから**【各スライドの画像数】**を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。
 - プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像と ACDSee をリンクした状態に保ちたい場合には、**【画像ファイルへのリンク】**を選択します。
 - **【デザイン テンプレートの使用】**をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint のテンプレートは通常 C:\Program Files\Microsoft Office\Templates\Presentation Designs) に格納されています。
6. **【次へ】**をクリックします。
7. **【テキスト オプション】** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
- **【キャプション】** タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
 - **【タイトル】** タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、メタデータ情報を挿入することも可能です。
 - **【注記】** タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。
8. **【作成】**をクリックします。
- 作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。

HTML アルバムを作成する

【HTML アルバム】 ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。HTML アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイラー 一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには：

1. 管理モードのファイル一覧 ペインから、画像を選択します。
2. **【ツール】** メニューから **【作成】**、**【HTML アルバム】** をクリックします。
3. 【HTML アルバムの作成】 ウィザードの **【スタイルの設定】** ページで、**【ウェブ ページのスタイル】** ボックスから希望するギャラリー スタイルを選択します。



ギャラリー スタイルとその他の設定を選択したら、**【ギャラリーのプレビュー】** をクリックして、HTML アルバムの仕上がりがプレビューを確認します。**【アルバムの作成】** をクリックして、【HTML アルバムの作成】 ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することも可能です。

4. **【次へ】** をクリックします。
5. **【ギャラリーのカスタマイズ】** ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：
 - **【ギャラリー タイトル】** のテキスト ボックスに、ウェブ ページの上部に表示するタイトルを入力します。
 - **【ヘッダーを含む】** を選択してページ上部にヘッダーを表示する、あるいは **【ヘッダーを含む】** のチェックボックスをクリアしてヘッダー テキストの表示を解除します。
 - **【フッターを含む】** を選択してページ上部にフッターを表示する、あるいは **【フッターを含む】** のチェックボックスをクリアしてフッター テキストの表示を解除します。
 - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、**【画像を使用する】** を選択した後に **【参照】** をクリックし、会社のロゴやユーザーのポートレートなど希望する画像を選択します。

- ヘッダーまたはフッターにテキストを表示させたい場合には、**【情報を使用する】**を選択した後に**【情報の設定】**をクリックし、希望する情報を選択します。
- **【フォルダ設定】**セクションにある**【参照】**をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。

6. **【次へ】**をクリックします。

7. **【サムネイルと画像】**ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します：

- **【サムネイル設定】**セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
- **【画像設定設定】**セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
- **【スライドショーの長さ】**セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
- **【カラーとフォント設定】**セクションの**【カラーとフォント】**をクリックして、ウェブページに使用する色とフォントを設定したら、**【OK】**をクリックします。



【設定の保存】をクリックして、特定のウェブスタイルに選択した設定を保存します。設定を保存しておく、[HTML アルバムの作成] ウィザードにある**【スタイルの設定】**ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

8. **【次へ】**をクリックして HTML アルバムを作成します。ACDSee が Web ページとサムネイルの作成に時間がかかることがあります。
9. **【別のアルバムを作成する】**をクリックして別のアルバムを作成するか、**【完了】**をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。

HTML アルバムを Web サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

Web サイトに画像をアップロードする

Flickr、SmugMug、Facebook、Zenfolio のような画像共有サイトに、ACDSee から直接画像や写真をアップロードできるようになりました。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。ご希望の場合には、ACDSee から初めてアップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。



RAW や TIFF などを含む、ほぼすべてのファイルフォーマットを選択でき、ACDSee はアップロードする前にそれらを自動的に JPG に変換します。

写真ウェブサイトに画像をアップロードするには：

ACDSee を終了することなく、写真共有サイトに素早く画像をアップロードすることができます。

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**【ファイル】**メニューから**【送信】**、**【送信先サイト】**を選択します。
2. アップローダー ダイアログボックスが表示されます。詳しい使用法は、画面右下の**【ヘルプ】**ボタンをクリックしてください。

Facebook に画像をアップロードする

ACDSee から画像を Facebook に直接アップロードすることができます。

ログインには Facebook のユーザー名とパスワードが必要です。

Facebook に画像をアップロードする

Facebook に画像をアップロードするには：

管理モードまたは表示モードで、アップロードする画像を選択して、**【ファイル】**、**【送信】**、**【Facebook...】**の順に進むか、あるいは管理モードで、メイン ツールバーから**【送信】**、**【Facebook...】**に進みます。

Facebook にログインするには：

1. [電子メール] テキスト ボックスにアカウント ID (電子メール アドレス) を入力します。
2. [パスワード] テキスト ボックスに、パスワードを入力します。
3. [ログイン] をクリックします。

ACDSee から Facebook への画像投稿を認証するには:

ACDSee からの直接アップロードできるようにするには、ログインして ACDSee Facebook アプリを認証する必要があります。

1. [[**お客様の名前**] **として続行**] ボタンをクリックします。
2. Facebook で、タイムラインでの ACDSee の投稿の閲覧を誰に許可するかを設定します。この設定は、ACDSee から直接アップロードした写真とアルバムに適用されます。ドロップダウン メニューから設定を選択します。ドロップダウン メニューから選択した正確性レベルは、Facebook アップローダーの個人アルバムに対して選択したプライバシー設定によりオーバーライドされることはありません。例えば、ドロップダウン メニューで [自分のみ] を選択している場合に、アップロードするアルバムを [公開] に設定すると、アップロードしたアルバムを閲覧できるのは自分のみになります。
3. [OK] を押下します。

❗ [あとで] ボタンを選ぶと、アップロード時にエラーが発生します。

Facebook アップローダーを使用するには:

1. [Facebook アップローダー] ダイアログで、選択した画像を確認します。以下の設定を行います。

写真を新しいアルバムにアップロード	Facebook アルバム内に新しいアルバムを作成して、Facebook アップローダー内のすべての写真を格納します。	
	名前	アルバムの名前を入力します。
	場所	アルバム内の写真の撮影場所を入力します。
	説明	アルバムの説明を入力します。
	これらの写真を誰が見られるようにしますか?	ドロップダウンメニューからアルバムに対するプライバシー設定を選択します。このプライバシー設定が ACDSee で行った許可設定と異なる場合、このプライバシー設定は最も厳しい設定（デフォルト設定）になります。例えば、ACDSee の許可を [友だちまで] に設定したが、アルバムのプライバシー設定を [公開] に設定しようすると、このプライバシー設定はデフォルト設定である [友だちまで] になります。
写真を既存のアルバムにアップロード	Facebook アップローダーの写真を、既存の Facebook アルバムのうちの1つに追加します。	
	アルバムを選択...	写真を追加したいアルバムをドロップダウンメニューから選択します。

2. [アップロード] をクリックします。
3. アップロードした写真を見るには [Facebook で表示] ボタンをクリックします。
4. [完了] をクリックして ACDSee に戻ります。

トラブルシューティング

❗ ACDSee の許可を無効にすると、Facebook アップローダーを使って写真を投稿できません。

許可や画像のアップロードに関する問題が発生した場合には、Facebook のアプリから ACDSee を削除して再起動してください。

アプリ設定から ACDSee を削除するには:

1. Facebook にログインしている状態で、そのページの右上隅（お客様のお名前の近く）にあるドロップダウン矢印をクリックします。
2. ドロップダウンメニューから【設定】を選択します。
3. 左のメニューから【アプリ】を選択します。
4. アプリ設定ページで、ACDSee アイコンの横にある【削除】ボタンをクリックします。
5. ACDSee が削除されたら、【送信】から【Facebook...】に進み、上記のログイン作業と認証の作業を開始します。

コンタクトシートを作成する

画像サムネイルをページに並べて表示した「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の管理や共有に大変便利です。「コンタクトシートの作成」ユーティリティを使用して作成したコンタクトシートは、マルチ画像フォーマットまたは HTML 画像マップとして保存することができます。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで設定された行、列数やサムネイル間のスペースによって変化します。

コンタクトシートを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、含めたい画像を選択します。
2. 【ツール】メニューから【作成】、【コンタクトシート】をクリックします。
3. コンタクトシート フォーマット エリアで、コンタクトシートのフォーマット オプションを設定します。
4. 出力設定エリアで出力の設定オプションを選択します。
5. 必要に応じて、ページにテキストを追加したり変更できます。
6. **OK** をクリックします。



出力ファイルのパスを指定しない場合、コンタクトシートの作成ユーティリティは、既定の画像フォルダに、コンタクトシート.<拡張子> というファイル名で保存します。複数ページにわたる場合は、ファイル名に数字を追加します。例: **コンタクトシート 3.bmp**。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	サムネイルにフレームを追加します。行と列の間のスペースの値を指定します。【横】および【縦】スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。
フレーム オプション	サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。【参照】をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	V カット 枠	サムネイルにV カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
ページ背景オプション	無地	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。【参照】をクリックして使用する画像を指定します。

アーカイブ ファイルを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やメディアファイルのアーカイブ ファイルを作成することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブ フォーマットをサポートしているだけでなく、圧縮、暗号、パスワードの保護ツールを使って画像を管理することができます。

アーカイブを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、フォルダまたは複数のファイルを選択します。
2. 【ツール】メニューから【作成】、【アーカイブ】をクリックします。
3. [アーカイブの作成] ダイアログ ボックスで、【アーカイブの種類】ドロップダウン リストから作成したいアーカイブ フォーマットを選択します。
アーカイブ フォーマットによっては追加設定がありますので、【設定】ボタンをクリックして設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
 - 選択したサブフォルダの内容を含むには、【サブフォルダを含む】チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブに隠しファイルを含むには、【隠しファイルを含む】チェックボックスをオンにします。
 - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された後にハードディスクから削除するには、【アーカイブ作成後にファイルを削除する】チェックボックスをオンにします。
 - アーカイブの内容をパスワードで保護するには、【アーカイブをパスワード保護する】チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力します。注意: パスワードは、すべてのアーカイブの種類でサポートされているわけではありません。
5. 【出力ファイル】フィールドにファイルのパスを入力するか、または【参照】をクリックしてフォルダを検索します。

6. 次のいずれかのオプションを選択します:

- **既存のアーカイブに追加する:** ファイルを既存のアーカイブに追加します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
- **既存のアーカイブを上書きする:** 既存のアーカイブを作成中のアーカイブで上書きします。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。

7. 変更を確認したら、**【作成】** ボタンをクリックしてアーカイブ ファイルの作成を開始します。

アーカイブされたファイル (.zip) を展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブされたファイル (.zip) を素早く、簡単に展開することができます。フォルダに展開するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示するかのいずれかを選択します。

アーカイブされたファイルをフォルダに展開するには:

1. 管理モードで、フォルダペインを使用 してアーカイブされたファイルを含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. ファイル一覧に表示されている、アーカイブされたファイルをクリックします。
3. **【編集】** メニューから **【フォルダに展開する】** をクリックします。
4. [フォルダに展開する] ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定します。
5. 新規フォルダを作成するには、**【フォルダの作成】** ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから **<Enter>** キーを押します。
6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、**【重複ファイルを上書きする】** ドロップダウンから選択します。以下の選択肢から選択します:
 - **確認する:** 各ファイルに対する対応法を確認するメッセージが表示されます。
 - **名前を変更する:** 重複ファイルに新しい名前が付けられます。
 - **置き換え:** 重複ファイルは上書きされます。
 - **スキップ:** 重複ファイルがある場合は、展開されません。
7. **OK** をクリックします。

アーカイブされたファイルの内容を表示するには:

1. 管理モードで、アーカイブ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。
 2. アーカイブされたファイルをダブルクリックします。
- ファイル一覧ペインに、アーカイブファイルの内容を示したサムネイルが表示されます。

画像を印刷する

ACDSee の印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応しているさまざまな用紙サイズ、印刷方向、解像度で画像を印刷できます。さらに、コンタクトシートに、ヘッダー、フッター、各画像用のキャプションを付けて作成して印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新されるプレビューを表示して、そのページの画像とその配置を確認することができます。また、各画像の出力サイズの調整、各画像の複数印刷、各ページの画像の印刷方向の変更も実行できます。

画像を印刷するには:

1. 印刷したい画像 (1つまたは複数) を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで **【ファイル】** メニューから **【印刷】** をクリックします。
 - 表示モードで、**【ファイル】** メニューにある **【すべての画像の印刷】** をクリックします。(表示モードで1つの画像を印刷したい場合は、**【画像を印刷】** を選択します。)

3. 「印刷レイアウト」のセクションで、下記のいずれかを実行します:

- **【フルページ】**を選択し、**【フォーマット】**リストから印刷サイズを選びます。
 - **【コンタクトシート】**を選択し、**【コンタクトシートのフォーマット】**オプションを設定して、[コンタクトシート](#)の外観を定義します。
 - **【レイアウト】**を選択し、希望するレイアウトオプションを1つ選択します。
4. **【プリンタオプション】**タブで、使用する[プリンタを指定](#)し、用紙サイズ、印刷方向、部数、印刷範囲、画像の解像度を指定します。
5. **【ページ設定】**タブでは、ページの[画像の位置](#)や余白のサイズを指定します。
6. 各画像の印刷部数を指定します。**【フルページ】**または**【コンタクトシート】**を印刷する場合は、**【ページ設定】**タブでこのオプションを使用できます。**【レイアウト】**を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. 必要に応じて[キャプション](#)、[ヘッダー](#)、[フッター](#)を追加します。**【フルページ】**または**【コンタクトシート】**を印刷する場合、キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加することができます。
8. **プリント**をクリックします。

プリンタ オプションを設定する

ACDSeeを使って印刷する際、[印刷] ダイアログボックスの**【プリンタ オプション】**タブから、使用するプリンタを指定することができます。

プリンタ オプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。使用するプリンタをドロップダウン リストから選択したら、 【プロパティ】 ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプ ファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
方向	【縦】 または 【横】 の印刷方向を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します： • すべて: ドキュメントのすべてのページを印刷します。 • ページ指定: 指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始 ページと終了 ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PPI = pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例: 600 PPI = 360,000 (600×600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプル フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： • Box: 画像のサイズを変更した際、タイリング または ジャギーが目立ちがちになります。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。 • Bicubic: 写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Bell: 画像をスムーズにします。 • B-Spline: 画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がる場合もあります。 • Mitchell: 写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
ガンマ	印刷画像にガンマ補正値を適用します。 【ガンマ補正値】 フィールドに 0.10 から 3.00 までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
カラーマネージメント	ドロップ ダウン メニューからプリンタでカラーマネージメントを行うか ACDSee で行うかを選択することができます。ACDSee でカラーマネージメントする： • プリンタのプロファイル: お使いのコンピュータに現在保存されているすべてのプリンタのプロファイルから選択できます。下にスクロールして、現在選択しているプリンタに対応するプロファイルを見つけます。 • レンダリングの方法: すべての色が出力デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。 • ソフト ブルーフ: 現在選択されているプリンタのプロファイルでどのように印刷されるかプレビューすることができます。 • 色域の警告: プレビューでプリンタが再現できない色を表示します。その場合、使用可能な色の中から最も近い色が選択されます。レンダリングの方法で選択されている方式で別の色を選択します。 詳しくは カラー マネージメント の項を参照してください。
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF 情報をキャプチャするものがあります。EXIF 印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

画像サイズと位置を設定する

[印刷] ダイアログ ボックスの タブのオプションを使用して、印刷する画像のサイズおよび各 ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページの画像の位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、「上」、「下」、「左」、「右」スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	各画像の印刷部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合わせて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 - 印刷フォーマットに合わせてトリミングする: 印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 - 印刷フォーマットに合わせて縮小する: 印刷フォーマットに合わせて画像全体を縮小します。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには:

1. **印刷** ダイアログボックスから、**【キャプション】** タブをクリックします。
2. **【キャプション テキストを使用する】** をクリックします。
3. **【フォント】** をクリックして **【フォント】** ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
4. テキスト フィールドに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. **【メタデータの挿入】** をクリックして、各画像のキャプションにファイルの固有情報を挿入します。
6. **【テキストの配置】** ドロップダウン リストから、キャプションの位置を選択します。
7. 各キャプションの最大行数を設定するには、**【行数】** チェックボックスを選択し値を指定します。

印刷ページにヘッダー / フッターを追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【ヘッダー】** タブをクリックし、**【ヘッダー テキストを使用する】** を選択します。
 - **【フッター】** タブをクリックし、**【フッター テキストを使用する】** を選択します。
2. **【フォント】** をクリックして **【フォント】** ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
3. テキスト フィールドに、ヘッダーまたはフッターとして表示するテキストを入力します。
4. テキストに現在のページ番号、あるいは合計ページ数を入力するには、**【ページ番号の挿入】** をクリックし、メニューから希望するオプションを選択します。
5. **【テキストの配置】** ドロップダウン リストから、ヘッダーまたはフッターの位置を選択します。
6. テキストの最大行数を設定するには、**【行数】** チェックボックスを選択し値を指定します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの **【コンタクトシート フォーマット】** セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマット オプションが **プリセット** として既に保存されている場合、該当するプリセットを選択することができます。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	サイズ	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	行と列の間のスペースの値を指定します。【横】および【縦】スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。
フレーム オプション	サムネイル フレームを使用する	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。【参照】をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	ドロップシャドウ	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	V カット 枠	サムネイルにV カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
ページ背景オプション	無地	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。【参照】をクリックして使用する画像を指定します。

編集の一括処理を使用する

ACDSee では次のような作業が可能です：

- **1 つの編集操作を複数の画像にまとめて行う：**例えば、複数の画像のサイズを変更する必要がある場合、[サイズの一括変更] ツールを使用します。別の例として、複数の画像を 90 度回転する必要がある場合、[回転/反転の一括変更] ツールを使用します。
- **複数の編集操作を複数の画像にまとめて行う：**例えば、複数の画像のサイズ変更、トリミング、カラーキャストの変更、回転する必要がある場合、[一括編集] 機能を使って、すべての編集操作をすべてのファイルに、一括して行うことができます。
- **複数の画像をさまざまな出力オプションで素早く保存する：**複数のファイルを複数の指定したファイル、ファイル名、フォーマットおよびサイズでエクスポートすることができます。
- **複数の画像をまとめて現像する：**例えば、同一の現像設定を複数の画像に適用したい場合、現像設定をプリセットとして保存することができます。

ファイルにタグを付けると、作成と編集の一括処理のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカタログ ペインで **【タグ】** をクリックすると、[ファイル一覧] ペインにタグの付けられたすべてのファイルが表示されます。そして、ファイルを選択して一括ツールを選択します。

一括エクスポートを使う

一括エクスポートツールを使用すると、複数のファイルをさまざまな出力形式で素早く簡単に保存することができます。

複数のファイルを以下のようにさまざまな指定を行ってエクスポートできます：

- フォルダ
- ファイル名
- フォーマット
- 出力サイズ

複数の画像をエクスポートするには:

1. [管理] モードで、エクスポートしたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【ファイル】**メニューから**【エクスポート】**を選択する(表示モード、現像モードおよび編集モードでも可能です)。
 - 右クリックしてコンテキストメニューの**【一括】**から**【エクスポート】**を選択する(表示モードでも可能です)。
 - **【一括】**から**【エクスポート】**を選択する。
 - キーボードのショートカットキー、**CTRL + ALT + E**を押す。
3. **【エクスポート】**ダイアログボックスでの選択については下の表をご確認ください。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	【テンプレートを使って名前を変更する】 チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
	テンプレートフィールド	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク (*) を 1 つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ (#) を使用します (複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
	挿入 メタデータ フィールド	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 カーソルを テンプレート フィールドに移動して 挿入 をクリックします。挿入ドロップダウンメニューから メタデータ フィールド を選択してプロパティ ダイアログ ボックスを開きます。挿入したいメタデータを選択して OK をクリックします。
	挿入 連続する番号	テンプレートに挿入されたシャープ (#) は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
	挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク (*) は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
フォーマット	挿入 連続する番号 オプション	最初の文字または番号を指定します。
	開始番号	
	ファイル フォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
	フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
	ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
出力サイズ	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。
	画像のサイズを変更する	このオプションを選択すると画像のサイズを変更することができます。
	サンプル変更方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式を指定します： • Bell: 画像をスムーズにします。 • Bicubic: 写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。

- **Box:** 画像のサイズを変更した際、タイルングまたはジャギーが目立ちがちになります。
- **B-spline:** 画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。
- **ClearIQZ:** Bicubic と Lanczos よりも処理時間がかかりますが、ベストな仕上がりになります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。
- **Mitchell:** 写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
- **Triangle:** 画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。

大きさ	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
幅と高さ	このオプションを選択すると、指定した幅または高さ内に収まるようにサイズを合わせて画像をエクスポートします。
長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
解像度	インチまたは cm 辺りのピクセル数を指定します。
拡大のみ	指定した高さや幅より小さい画像のみをサイズ変更します。
縮小のみ	指定した高さや幅より大きい画像のみをサイズ変更します。
拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さサイズに変更します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 長辺または短辺のオプションでサイズ変更した画像は、オリジナル画像の縦横比が保持されません。
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。
処理	現像プリセット ドロップダウンメニューから [現像プリセット] を選択してエクスポートした画像に適用します。 ACDSee オプション ドロップダウンメニューから [記録] を選択してエクスポートした画像に適用します。



上で説明したように、ACDSee アクションの **[出カオプション]** ダイアログで指定したファイル出カタイプよりも、**[エクスポート]** ダイアログの **[フォーマット]** セクションで選択した出カファイルタイプが優先されます。



画像のエクスポート中、記録の開始時点で複数のレイヤーを持つ画像が含まれている場合、その記録は適用できません。

オプション: [エクスポート プリセットの新規作成] ボタン  をクリックして名前を指定すると、設定をプリセットとして保存することができます。1 つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. **[エクスポート]** をクリックします。



プリセットを編集するには、リストでプリセットを選択してから内容を変更し、**[現在のエクスポート プリセットを保存]** ボタン  をクリックします。

複数の画像を別のフォーマットに変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイルフォーマットに変換することができます。各フォーマット用のオプション、マルチページ画像の取り扱い方法の設定、既定値に自動変換などを設定することができます。「ファイルフォーマットの変換ウィザード」の指示に従ってください。

画像を別のファイルフォーマットに変換するには:

- 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**【ツール】**メニューから**【一括】**、**【ファイルフォーマットの変換】**を選択します。
 - 表示モード内で**【ツール】**メニューから**【修正】**、**【ファイルフォーマットの変換】**をクリックします。
- 「フォーマットの選択」のページで、新規画像フォーマットを選択するか、**【フォーマット】**タブの一覧から画像フォーマットを選択します。
- 【詳細オプション】**タブを選択し、設定を変更します。
- 【次へ】**をクリックして続行します。
- 「出力オプションの設定」のページで、変換済み画像の保存先を指定します。重複ファイル名の対処方法を指定するには、**【既存ファイルの上書き】**ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択してください:
 - 確認する:**ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されます。
 - スキップ:**同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。
 - 置き換え:**ファイルが上書きされます。確認メッセージは表示されません。
 - 名前を変更する:**ファイルの名前変更をする際、確認のメッセージを表示します。
- 【次へ】**をクリックして続行します。
- 「マルチページ画像のオプション設定」ページで、変換しようとしているマルチページ画像の取り扱い方法を指定することができます。

マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイルフォーマットとして指定していない場合は、このページのオプションをスキップしてください。
- 設定が完了したら、**【変換を開始する】**をクリックして変換を開始します。画像を変換されるまで数秒お待ちください。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転 / 反転するには:

- 【管理】**モードで、画像を選択してから**【ツール】**メニューの**【一括】**そして**【回転/反転】**をクリックします。
- 【回転 / 反転の一括変更】**ダイアログボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
- マルチページ画像を選択した場合、すべてのページに同じ回転/反転の角度を適用するには、**【マルチページ画像の全ページに適用する】**チェックボックスをオンにします。
- 以下のいずれかの操作を行います:
 - 【次の画像】**をクリックして、次の画像の設定に進みます。**【選択されたすべての画像に適用する】**チェックボックスがオンの場合は、ボタンは利用できません。
 - 複数の画像を選択し、すべての画像に同じ回転/反転の角度を適用するには、**【選択されたすべての画像に適用する】**チェックボックスをオンにします。
 - 【オプション】**をクリックし、画像の保存方法を指定します。
- 画像の回転 / 反転を実行するには、**【回転を開始する】**をクリックします。

回転/反転の角度



画像を反時計回りに 90 度回転させます。



画像を 180 度回転させます。



画像を時計回りに 90 度回転させます。



EXIF データに基づいて画像を回転します。(EXIF 情報のない画像では回転は行われません。)



画像を垂直軸に対して反転させます。



画像を水平軸に対して反転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに 90 度回転させます。



画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに 90 度回転させます。



編集モードの [回転] ツールを使用して、カスタム角度で画像を回転させることも可能です。

回転/反転済みファイルのオプションを設定する

[回転/反転の一括変更] ダイアログボックスでは、修正された画像の格納先、重複ファイルの対処方法、「回転/反転の一括変更」ツールを使用する際ファイルの最終更新日の保存するかなど、ACDSeeが実行するオプションを設定することができます。

回転/反転オプションを設定するには:

1. [管理] モードで、画像を選択してから [ツール] メニューの [一括] そして [回転/反転] をクリックします。
2. [回転/反転の一括変更] ダイアログボックスで、[オプション] ボタンをクリックします。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. **OK** をクリックします。

回転/反転 オプション

JPEG 可逆回転を行う	JPEG 情報を展開または再圧縮することなく、JPEG 画像を回転することができます。非可逆回転では、画像を回転 / 反転しても画質に変化はありません。
ファイル オプション	新規画像の保存先を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 元のファイルを削除 / 置換する: 新しい画像で元のファイルを上書きします。 • 修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する: 修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。 • 修正済み画像を次のフォルダに保存する: 修正された画像を指定先のフォルダに保存します。【参照】ボタンをクリックしてフォルダを選択します。
既存ファイルの上書き	• 確認する: ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されます。 • スキップ: 同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。 • 置き換え: ファイルを上書きします。 • 名前を変更する: ファイルの名前変更をする際、確認のメッセージを表示します。
最終更新日時を保存する	ファイルの日付 / 時間を保存します。
最後に行った回転を適用する	次回画像を回転する際、現在の回転設定が自動的に適用されます。
すべての操作が完了したら、実行中のダイアログを自動終了する	すべての画像の操作が完了したら、ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を規定値として保存する	現在の設定を保存し、次回画像の回転 / 反転ウィザードを使う際に適用することができます。

複数の画像サイズを変更する

ピクセル サイズ、元のサイズに対する比率、印刷サイズに調整して複数の画像のサイズを変更することができます。

複数の画像のサイズを変更するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、【ツール】メニューから【一括】そして【サイズ変更】を選択します。
2. 【サイズの一括変更】ダイアログボックスで、次のいずれかのオプションを選択します：
 - **元の比率**: オリジナルサイズの比率を使って、画像のサイズを変更します。
 - **ピクセル**: 指定されたピクセル単位の値を使って、画像のサイズを変更します。
 - **実寸 / 印刷サイズ**: 指定された印刷サイズに、画像のサイズを変更します。
3. 下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 【オプション】をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 選択した項目に満足したら、【サイズ変更を開始する】をクリックします。



編集モードにあるサイズ変更フィルタを使用して、画像のサイズを変更することも可能です。

サイズ変更 オプション

元の比率	パーセント	画像のサイズ変更方法を指定します。画像を縮小するには 100 以下の数値を入力し、拡大するには 100 以上の数値を入力します。
	適用部分	サイズ変更を適用する部分（高さ、幅、または両方）を指定します。
ピクセル	幅	画像の新しい幅をピクセルで指定します。
	高さ	画像の新しい高さをピクセルで指定します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 拡大のみ: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみ画像を拡大します。 • 縮小のみ: 指定した高さど幅より大きい画像のみをサイズ変更します。 • 拡大または縮小: すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと適用後] をご参照ください。
実寸 / 印刷サイズ	単位	使用する単位を指定します。
	幅	画像の新しい幅を指定します。
	高さ	画像の新しい高さを指定します。
	解像度	画像の印刷解像度を指定します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと適用後] をご参照ください。

複数の画像の露出を調整する

ACDSee の「露出一括調整ウィザード」では、1 つまたは複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。画像の変更を適用する前に各画像のプレビューを確認したり、1 つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用することができます。

また、現在のオプションを [プリセット](#) として保存することも可能です。

画像の露出を調整するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[露出調整]** を選択します。
2. **[露出一括調整]** ダイアログ ボックスで、次を 1 つ以上実行します：
 - 画像の明るさ、コントラスト、フィルライトを調整するには、**[露出]** タブをクリックしてオプションを調整します。
 - 画像の明るさやコントラストを正確に調整するには、**[レベル調整]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の露出を自動調整するには、**[自動レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
 - 画像の RGB チャンネルを正確に調整するには、**[トーンカーブ]** タブをクリックしてオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオンにして、現在の設定を選択されているすべての画像に適用します。
 - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオフにして、**[次の画像]** をクリックし次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順 2 を繰り返します。

4. **【オプション】** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. **【すべての画像をフィルタする】** をクリックします。



編集モードでも、画像の露出とカラーレベルを調整することができます。

一括露出オプションを調整する

[露出の一括調整] ダイアログのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の 4 つのタブで構成されています：露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには：

[露出の一括調整] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します：

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
自動	画像の明るさを基本にして露出を自動調整します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
中間調	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ～ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。

自動レベルオプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
自動カラー	画像全体の色を調整します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。

複数ファイルの名前を変更する

[名前の一括変更] ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。ファイル名の一括変更では、テンプレートを利用したり、ファイル名を特定の文字/語句に置換えることができます。テンプレートを使用する場合、ファイル名にファイル特有情報を挿入したり、連番やアルファベット順に変更することが可能です。また、テンプレートを保存して次の操作で使うことができます。

複数のファイル名を一括変更するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**【ツール】**メニューから**【一括】**、**【名前の変更】**を選択します。
2. [名前の一括変更] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
 - **【テンプレート】** タブを選択して、テンプレート オプションを設定します。
 - **【検索と置換】** タブを選択して、検索と置換オプションを設定します。
 - **【詳細オプション】** タブを選択して、名前の一括変更のオプションを設定します。
 - [プレビュー] フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
3. **【名前の変更を開始する】** をクリックします。



CD-ROM のような読み取り専用ファイルの名前変更はできませんのでご注意ください。

名前の一括変更 オプション

テンプレート	【テンプレートを使って名前を変更する】チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
テンプレート	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
テンプレートのクリア	【テンプレート】ドロップダウンリストから、最近使用したテンプレートを削除します。
# を数字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号(#)を数字に置き換えます。
# を文字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号(#)をアルファベットに置き換えます。
開始番号	最初の文字または番号を指定します。
メタデータの挿入	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 テンプレートフィールド内をクリックした後、挿入 メタデータ フィールドを選択すると、[プロパティの選択]ダイアログボックスが表示されます。挿入したいメタデータを選択してOKをクリックします。
ファイル名の太文字/小文字	ファイル名と拡張子に使用する太文字/小文字を指定します。
検索と置換	【検索 / 置換を使って名前を変更する】チェックボックスをオンにし、ファイル名の特定文字や語句を置き換えます。スペースを下線に置換えたり、太文字を小文字に変更したり、テンプレートと変更を組み合わせたりすることができます。
検索する文字列	ファイル名で置換えたい文字を指定します。
置換後の文字列	元の文字列と置換える文字を指定します。
太文字/小文字を区別する	【検索する文字列】フィールドで、入力した文字と完全一致する文字だけを検索するかどうか指定します。
詳細オプション	【詳細オプション】で名前の一括変更ウィザードの動作設定をします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	名前の変更作業が完了したら、[名前の一括変更]ダイアログボックスを自動的に閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回ファイル名を変更する際に使用します。
拡張子の変更時に警告を表示する	テンプレートの一部として拡張子を変更した場合、警告が表示されます。
名前の重複を自動的に対処する	各ファイル名の語尾にアンダースコアや連番を加えることで、名前の重複を自動的に対処します。

複数画像のカラープロファイルを変更する

【カラープロファイルの一括変換】ツールを使用して、複数画像のカラープロファイルを変更することができます。



現時点では ACDSee は CMYK カラープロファイルをサポートしていません。

画像に使用されているカラープロファイルを変更するには:

1. 管理 モードで、ファイルを1つ以上選択します。
2. 【ツール】メニューから【一括】そして【ICC プロファイルの変換】をクリックします。
3. 【カラープロファイルの変換元】一覧から、現在画像と関連付けられているカラープロファイルを選択します。

例えば、デジタルカメラのカラープロファイルを、より一般的な sRGB カラープロファイルに変換する場合に、[カラープロファイルの一括変換]を使用します。【JPEG と TIFF 画像にカラープロファイルがある場合その情報を使用する】を選択すると、ACDSee は一覧から選択されたカラープロファイルではなく、画像に埋め込まれているカラープロファイルから変換を行います。

4. **【カラープロファイルの変換先】**一覧から、画像と関連付けたいカラープロファイルを選択します。
5. **【レンダリングの方法】**一覧から、レンダリングを選択します。
最も一般的に使用されているレンダリングは、**【知覚】**です。カラープロファイルのなかには、レンダリングを無視するものもあるため、選択されたプロファイルによって結果が異なります。
6. **【ACDSee オプション】**をクリックして、画像ファイルを上書きするか(オリジナルのカラープロファイルは削除されます)、新規のカラーファイルと関連付けられた新規ファイルとして ACDSee が保存するかを指定します。また、JPEG 圧縮のオプションを設定することも可能です。
7. **【開始】**ボタンをクリックします。
8. **【完了】**をクリックします。

編集の一括処理を使用する

[編集の一括処理]を使用して、複数の画像に複数の編集作業をまとめて行うことができます。また、現在のオプションを **プリセット** として保存することも可能です。各編集ツールの詳細オプションにつきましては、以下のリンクをご覧ください。



さらに包括的な一括処理ツールとして [ACDSee アクション](#)の利用をお勧めします。

編集の一括処理を開くには:

1. 管理モードで、編集したい画像を選択した後 **【ツール】**メニューから**【一括】**そして**【編集の一括処理】**をクリックします。
2. [編集の一括処理オプション] ページで、**【処理プロファイル】**タブをクリックし、画像に適用する編集の種類を選択します。
3. 編集操作の名前、例えば[回転]をクリックすると、その編集タイプ用に設定できるオプションが表示されます。

変更をプレビューに反映させるには:

編集オプションの画像プレビューを**【プレビュー】**領域で確認することができます。

1. [編集の一括処理] ウィザードでは、**【適用前】**と**【適用後】**タブをクリック、あるいは**【プレビュー】**アイコンをクリック & ホールドして[適用前]と[適用後]タブを切り替え、選択されたオプションの適用前と適用後を比較します。
2. [操作] 一覧の上下にある**【オリジナル画像】**あるいは**【最終画像】**をクリックして、オリジナル画像とすべての編集オプションが適用された後の画像を比較します。
3. 選択された編集オプションが各画像ではどのように見えるかを確認したい場合、**【次の画像】**と**【前の画像】**ボタンをクリックして、**【プレビュー】**領域に表示させます。

ズーム機能を使用するには:

1. **【ズーム】**スライダを左右にドラッグして、画像全体を表示したり、特定部分を拡大表示します。
2. **【画面に合わせて表示】**ボタンをクリックして[プレビュー]領域に合わせて画像を表示します。
3. **【実寸表示】**ボタンをクリックして[プレビュー]領域に画像を実際のサイズで表示します。**【実寸表示】**ボタンをクリックする場合には、スクロールバーを使って画像内を移動する必要があります。

画像を追加または削除するには:

1. [編集の一括処理] ウィザードに画像を含みたくない場合は、**【画像一覧】**タブをクリックし、該当する画像を選択してから**【削除】**をクリックします。
2. 編集する画像を追加したい場合は、**【画像一覧】**タブをクリックしてから、**【追加】**をクリックします。
3. 追加したい画像が含まれているフォルダを参照します。
4. **【選択可能な項目】**領域から、該当の画像を選択した後**【追加】**をクリックします。
5. **OK**をクリックします。
6. 選択された画像と編集オプションに満足したら、**【次へ】**をクリックします。

出力オプションの設定と処理を完了するには:

1. [出力オプション] ページでは、編集された画像の保存先、名前変更の有無やその他のオプションを設定します。出力オプションの詳細は以下をご覧ください：
2. 出力オプションの設定に満足したら、**【次へ】**をクリックします。
3. [一括処理の状況] ページでは、進行状況バーに作業中の画像と編集の状況が表示されます。
4. [一括処理の完了] ページでは、次のオプションを設定することができます：
 - **【概要】**領域から**【ログの表示】**をクリックして、処理中に発生した警告やエラーを表示します。
 - **【Explorer で参照する】**をクリックすると、Windows Explorer が開かれ、編集された画像を表示することができます。
 - **【プリセットの保存】**をクリックして編集オプションのすべてを保存すれば、次回以降プリセットとして使用することができます。
 - 編集された画像をファイル一覧ペインで表示したい場合、**【ACDSee で出力フォルダを参照する】**を選択します。
5. **【完了】**をクリックします。

編集オプション

[編集の一括処理] で使用可能な各ツールのオプション詳細につきましては、次のヘルプトピックをご覧ください：

• 回転	• ライト EQ™
• トリミング	• ノイズ除去
• サイズ変更	• シャープ
• カラー	• ヴィネット効果
• チャンネル ミキサー	• テキストのオーバーレイ
• セピア	• 透かし
• 露出	

出力オプション

保存先	ソース フォルダ内	編集後の画像を、オリジナル画像と同じフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
	新規のサブフォルダを作成する:	【フォルダの指定】ドロップダウンから選択されたフォルダ内に、新規のサブフォルダを作成します。【新規のサブフォルダを作成する】テキストボックスに、新規フォルダの名前を入力します。
	フォルダを指定	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。
ファイル名	オリジナルのファイル名を保持する	編集後の画像を、オリジナル画像と同じファイル名で保存したい場合に、このオプションを選択します。
	次の名前変更テンプレートを使用する	編集後の画像に、テンプレートを使って名前を変更したい場合に、このオプションを選択します。
画像ファイル フォーマット	ファイル フォーマット	編集後の画像のファイル フォーマットを変更したい場合に、ファイル フォーマットを選択します。
	ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセル フォーマット (あるいは最も近いフォーマット) にしたい場合には、【自動】を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
メタデータ	メタデータを保持する	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	埋め込みオーディオを保持する	オリジナル画像にオーディオが埋め込まれていて、編集後の画像にも同一のオーディオを埋め込ませたい場合に、このオプションを選択します。
オプション	最終更新日を保持する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。
	データベース情報をコピーする	オリジナル画像の ACDSee メタデータを、編集後の画像にもコピーしたい場合に、このオプションを選択します。
	出力ファイルが存在する際の処理法:	このオプションを使用して、出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の ACDSee での処理方法を指定します。 - 確認する: 画像によって異なるオプション、例えばスキップする、名前を変更する、上書きするなどを選択したい場合に、このオプションを選択します。 - スキップ: その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。 - 置き換え: 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。 - 名前を変更する: 編集された画像の名前を変更します。

一括処理: 回転

[回転] セクションのオプションを使用して、プリセットの角度、あるいはカスタムの角度で画像を回転することができます。

回転オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで【回転】チェックボックスを選択します。

回転オプション

回転なし	このオプションは既定として設定されていますので、ユーザーが回転オプションを選択するまで画像は回転されません。
180°	画像を 180 度回転させます。
左に90度	画像を左に 90 度回転します。
右に90度	画像を右に 90 度回転します。
カスタム回転	このオプションを選択してスピンボックスにカスタムの角度を入力するか、希望する角度に画像が回転されるまで矢印をクリック & ドラッグします。
背景色	選択された色が、回転された画像の背景に表示されます。
縦横の基本線として使うための線を画像上に描いてください。	【上下】または【左右】ボタンをクリックし、マウスポインタを使って縦横の基本線を画像上に描きます。
自動トリミング	カスタム角度で画像を回転する場合【自動トリミング】を選択します。回転後の画像を、最も大きな長方形にトリミングします。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理:トリミング

[トリミング] セクションのオプションを使用して、トリミング領域のサイズや方向を指定することができます。

トリミング オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【トリミング】** チェックボックスを選択します。

トリミング オプション

トリミングの縦横比	トリミング領域のサイズ、あるいは縦横比を選択します。 【カスタム】 を選択して、カスタムのトリミング領域を指定します。
方向	トリミング領域の方向を選択します: - 自動: オリジナル画像の方向に基づいて、トリミング領域の方向を指定します。例えば、オリジナル画像の方向が横になっている場合、トリミング領域も横に設定されます。 - 横: トリミング領域の方向に横を使用します。 - 縦: トリミング領域の方向に縦を使用します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: サイズ変更

[サイズ変更] セクションのオプションを使用して、画像のサイズを変更することができます。

サイズ変更 オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【サイズ変更】** チェックボックスを選択します。

サイズ変更 オプション

サイズの変更方法	メガピクセル	オリジナルの縦横比を保持しながら、特定のメガピクセル数に画像を拡大/縮小する場合に、このオプションを使用します。例えば6メガピクセルで縦横比が3000 X 2000の画像を1.5メガピクセルに設定すると、画像のサイズは1500 X 1000に縮小されます。 ドロップダウンリストを使って、メガピクセルサイズのプリセット一覧から選択します。別の方法として、【メガピクセル】 スピンボックスに値を入力することもできます。【縮小/拡大】 ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します： • 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 • 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 • 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	パーセント	オリジナル画像の割合でサイズを変更する場合に、このオプションを選択します。例えば、画像を小さくしたい場合は、100より小さい値を入力します。画像を大きくしたい場合は、100より大きい値を入力します。
	ピクセルの寸法	ピクセル単位で、特定の幅や高さに画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。【縮小/拡大】 ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します： • 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 • 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 • 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	印刷の寸法	特定の印刷の寸法、例えば写真の印刷サイズに合わせて画像を縮小/拡大したい場合に、このオプションを選択します。ドロップダウンには、プリセットの印刷サイズの一覧が表示されます。別の方法として、特定の高さ、幅、解像度を入力することも可能です。 【縮小/拡大】 ドロップダウンリストで、画像のサイズ変更方法を指定します： • 縮小のみ：画像のサイズを縮小します。 • 拡大のみ：画像のサイズを拡大します。 • 拡大または縮小：画像のサイズを拡大、または縮小します。
	【パーセント】、【ピクセルの寸法】、【印刷の寸法】オプションを選択した場合に設定できる【調整方法】では、サイズ変更後の調整方法を指定します： • オリジナルの縦横比を保持して合わせる：オリジナル画像の縦横比を保持する場合に、このオプションを選択します。例えば、オリジナル画像の縦横比が4:3の場合には、サイズ変更後の縦横比も4:3のままになります。 • 拡大して合わせる：指定の幅や高さに画像を拡大したい場合に、このオプションを選択します。 • バーを追加して合わせる：サイズ変更後の画像が指定サイズよりも小さい場合に、このオプションを選択します。画像と指定サイズ間の余白を埋めるためのバーの色は、指定することができます。	
サンプル変更方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式を指定します：	
	• Box：画像のサイズを変更した際、タイリングまたはジャギーが目立ちがちになります。 • Triangle：画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。	

- **Bicubic:** 写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。
- **Bell:** 画像をスムーズにします。
- **B-spline:** 画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。
- **Lanczos:** 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。
- **Mitchell:** 写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos]フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
- **ClearIQZ:** Bicubic と Lanczos よりも処理時間がかかりますが、ベストな仕上がりになります。

リセット すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: カラー

[カラーキャスト] タブのオプションを使用して、画像から不必要な色合いを削除することができます。[彩度] タブを使用して、複数画像の彩度をまとめて変更することも可能です。

カラー オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **[カラー]** チェックボックスを選択します。

カラー オプション

カラーキャスト	色の選択	白またはグレーであるべき画像の領域をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
	ホワイトポイント	次のいずれかのオプションを選択します: • カスタム: ユーザーがクリックした、画像の領域を色温度で表示します。 • 晴れ: 晴れの日 の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 • 曇り: 少し曇っている日 の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 • 影: 雲が多い曇りの日 の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 • タングステン: 一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 • 蛍光灯: 蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 • フラッシュ: カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。
	強度	削除するカラーキャストの強度を指定します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
	色温度	色温度を指定します。
	ティント	撮影時に使用した設定に合わせて、グリーン(左に移動)またはレッド(右に移動)の量を指定します。
彩度	度合い	画像の色相(カラー)の強度を増加あるいは減少します。すべてのカラーを削除してグレースケールの画像を作成するには、スライダを左端にドラッグします。
リセット		すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: チャンネルミキサー

編集の一括処理にある [チャンネルミキサー] を使用して、複数の画像をリッチなグレースケールに上げることができます。レッド、グリーン、ブルーチャンネルの輝度、および画像全体の明るさを調整するため、画像の異なる領域やアスペクトを強調するだけでなく、画像のムードやトーンを変更することができます。

各スライダの上にマウスを移動すると、スライダの下に位置する小さなプレビューウィンドウが変わります。各チャンネルによって画像のどの部分が変更されるのかを確認できます。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

グレースケールの画像を作成するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【チャンネルミキサー】** チェックボックスを選択します。

チャンネルミキサー オプション

赤	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
緑	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
青	スライダを左または右にドラッグします。ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
輝度	スライダを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: セピア

[編集の一括処理] ウィザードを使用して、複数の画像をまとめてセピアカラーに仕上げることができます。

複数の画像をセピアに変更するには:

1. [編集の一括処理] ウィザードで **【セピア】** チェックボックスを選択します。
即時に、[プレビュー] にセピアカラーの画像プレビューが表示されます。
2. [画像一覧] タブをクリックし、選択されている他の画像のセピアカラーを確認します。

一括処理: 露出

[露出] セクションのオプションを使用して、画像の露出を調整することができます。[露出] セクションは次の4つのタブで構成されています: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ

露出 オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【露出】** チェックボックスを選択します。

露出 オプション

露出	画像全体に追加する光の量を指定します。
コントラスト	画像の色と明るさの違いを指定します。スライダを右に動かすと画像の暗い部分はより暗くなり、左に動かすと明るくなります。
フィルライト	画像の暗い領域に追加する光の量を指定します。
明るさ	画像の明るさの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
ガンマ	画像の光のスペクトルの強度を指定します。スライダを右に動かすと画像は明るくなり、左に動かすと暗くなります。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。
中間調	画像のガンマ補正値を指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0.00 ～ 2.00 の値を入力して、ガンマ補正値を指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。
クリップ %	ブラックポイント補正およびホワイトポイント補正によって失われた画像の詳細をパーセントで示します。
ブラックポイント ピッカー	黒い点眼器のボタンをクリックしてブラックポイントを調整します。ブラックポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
ミッドポイント ピッカー	灰色の点眼器のボタンをクリックしてガンマ補正値を調整します。ガンマ補正値を調整したい部分を適用前画像で選択します。
ホワイトポイント ピッカー	白い点眼器のボタンをクリックしてホワイトポイントを調整します。ホワイトポイントとして設定したい部分を適用前画像で選択します。
自動	次のいずれかのオプションを選択します： ● コントラストの調整：自動分析して、画像のコントラストを調整します。 ● 色とコントラストの調整：自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 ● 色と明るさの調整：自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 ● トレランス：[トレランスの設定] ダイアログボックスが開かれます。シャドウとハイライトの最大トリム率を指定し、[OK]をクリックします。ACDSee は画像のレベルを自動調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

自動レベルオプション

強度	画像に適用される露出の量を調整します。
自動コントラストと自動カラー	色の違い、明るさ、画像のカラーチャンネルを自動調整します。
自動コントラスト	色の違いと明るさのみを自動調整します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

編集の一括処理: ライト EQ™ オプション

[ライト EQ™] セクションのオプションを使用して、他の領域を変更せずに、画像内の明るすぎるまたは暗すぎる領域だけを調整することができます。変更を行う際、[効果適用後ライト EQ™] タブで画像のプレビューを確認したり、[画像一覧] タブをクリックして一覧にある他の画像がどのように変更されるかを表示したりします。

ライティングを調整するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **[ライトライト EQ™]** チェックボックスを選択します。

ライト EQ™ オプション

各画像に自動設定を適用する	ソフトウェアに画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい領域はあまり変更されず、暗い領域が明るく設定されます。
明るくする	画像の暗い領域を明るくします。次のいずれかまたは両方を実行します: • 圧縮: スライダーを右に動かすと、画像の暗い領域が明るくなります。 • 振幅: 右にドラッグして、画像のすべての領域に適用される明るさの度合いを増加します。
暗くする	画像の明るい領域を暗くします。次のいずれかまたは両方を実行します: • 圧縮: スライダーを右に動かすと、画像の明るい領域が暗くなります。 • 振幅: 右にドラッグして、画像のすべての領域に適用される暗さの度合いを増加します。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: ノイズ除去

[ノイズ除去] セクションのオプションを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。

また、現在のオプションを プリセット として保存することも可能です。

ノイズ除去オプションを使用するには:

1. ツール | 一括処理 | 一括編集をクリックします。
2. [一括編集] ダイアログボックスから、**[ノイズ除去]** チェックボックスを選択します。

ノイズ除去 オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。
ハイブリッド	正方形の 3 x 3 ピクセル、X 形の 3 x 3 ピクセルおよび + 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、対角線、縦横線を保持したい場合に、このオプションを使用します。[ハイブリッド] を選択すると、以下の追加オプションを指定することができます: • 明るさ: スライダーを左右にドラッグして、明るさのバリエーションをコントロールします。 • カラー: スライダーを左右にドラッグして、カラー (色相と彩度) のバリエーションをコントロールします。例えば、スライダーを右にドラッグするとカラーバリエーションの量が減ります。カラーバリエーションの量を減らすと、画像内の実際のカラーバリエーションも減らしてしまう結果になるため、十分注意します。
リセット	変更をすべてキャンセルし、元のノイズレベルに戻します。

一括処理: シャープネス

[シャープネス] セクションのオプションを使用して、画像の中～高コントラストのエッジを強調することによって、画像をシャープに仕上げることができます。

シャープネス オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【シャープネス】** チェックボックスを選択します。

シャープ オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理: ヴィネット

[ヴィネット] セクションのオプションを使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。ボーダーの外観をコントロールすることができます。

ヴィネット オプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **【ヴィネット】** チェックボックスを選択します。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリア ゾーン	焦点の周りにおけるクリア ゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリア ゾーンのサイズが大きくなります。
トランジション ゾーン	クリア ゾーンとフレーム間のトランジション ゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなり、スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
形	ヴィネットの形を指定します： - 丸：丸みを帯びたフレームを作成します。 - 四角：四角形のフレームを作成します。
輪郭を表示する	クリアゾーンの外側のエッジと、フレームの内側のエッジを示した輪郭を表示します。
フレーム	焦点の周りにおけるフレームに追加する、特殊効果を指定します： - カラー：フレームの領域に色の効果が適用されます。 - 彩度：フレームの領域から色を取り除きます。 - ぼかし：フレームがぼかして表示されます。 - 雲：フレームの領域に雲を表示します。 - エッジ：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、蛍光色でエッジ検出します。 - 光線ぼかし：焦点からフレームに向かって、光線が表示されます。 - 放射状ぼかし：フレーム領域の人物やオブジェクトを回転して拡大表示します。 - ズームぼかし：フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 - クレヨン画：フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、クレヨンでエッジ検出します。 - ペンキ画：フレーム領域の人物やオブジェクトが、ペンキで描かれたような効果を加えます。 - モザイク：画像のピクセルサイズを増加して、画像をぼかします。 - アンティーク：年季の入った外観に仕上げます。 - ネオン効果：フレーム内の線や詳細に色を追加します。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。 - 波紋：小石を水に落とした時に見られるような同心の円で、画像を分割したような効果を加えます。
フィルタの設定	【フィルタの設定】領域に表示される設定は、選択される各フレームの効果によって変わります。例えば、[色] を [フレーム] エリアで選択すると、カラーピッカーが【フィルタ設定】エリアに表示されます。同様に、[ぼかし] を [フレーム] エリアで選択すると、ぼかしのレベルをコントロールするスライダが【フィルタ設定】エリアに表示されます。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括処理：テキストのオーバーレイ

[テキストのオーバーレイ] セクションのオプションを使用して、画像に書式付きのテキストを追加します。特殊効果を適用して、テキストをアーティスティックに仕上げることも可能です。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れるのに大変便利です。

テキストのオーバーレイ オプションを使用するには：

[編集の一括処理] ウィザードで【テキストのオーバーレイ】チェックボックスを選択します。

テキスト オプション

テキスト	与えられた領域にテキストを入力した後、太字、斜体、下線などのフォントスタイルを指定します。【テキスト】領域の右にあるドロップダウンリストをクリックして、登録記号、著作権記号、商標記号や画像メタデータを挿入します。	
	回転	テキストの回転を指定します。
	サイズ	スライダをドラッグしてテキストのサイズを指定します。
	カラー	テキストの色を指定します。
	不透明度	スライダをドラッグして、テキストの不透明度を調整します。
	配置	四角をクリックして、テキストの配置を指定します。
テキスト ボックス	左揃え	テキストボックスの配置を、各画像の左端に設定します。
	右揃え	テキストボックスの配置を、各画像の右端に設定します。
	上端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の上に設定します。
	下端揃え	テキストボックスの配置を、各画像の下に設定します。
	ボーダー	ボーダーの色を選択し、スライダをドラッグしてボーダーの不透明度を指定します。
	塗りつぶし	テキストボックス内を塗りつぶす色を選択し、スライダをドラッグしてフィルの不透明度を指定します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。	

ボックス効果 オプション

特殊効果	ボックスに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、ボックスの外観を調整します。	
斜角縁	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどボックスのシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	斜角縁	各ボックスのエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	ボックスの最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、ボックスの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
ドロップシャドウ	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ボックスの影を調整することができます。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	距離	ドロップシャドウとボックス間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、ボックスがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、ボックス枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	<u>ブレンド モード</u> ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。	

テキスト効果 オプション

特殊効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。	
斜角縁	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	斜角縁	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	テキスト上の最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
ドロップシャドウ	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
ブレンドモード	[ブレンドモード] ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。	

一括処理: 透かし

[透かし] セクションのオプションを使用して、画像に透かしを追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。

透かしオプションを使用するには:

[編集の一括処理] ウィザードで **[透かし]** チェックボックスを選択します。

透かしオプション

画像	参照	クリックして透かしに使用する画像を参照して選択するか、ドロップダウン リストから選択します。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。クリック & ドラッグで透かしの位置を調整するか、[場所 & ブレンドモード] タブをクリックしてオプションを使用します。
	縦横比を保持してサイズ変更する	透かしの形を引き伸ばしたりゆがめたりせず、縦横比を保ったままサイズを変更したい場合に、このオプションを選択します。
	アルファ チャンネルを適用	透かしにアルファ チャンネルが存在し、それを適用したい場合に選択します。(TIF、PNG、ICO の透かしファイルのみ、アルファ チャンネルを含むことができます。
	透過を適用	透かしの色を透明にしたい場合には、[透過を使用] を選択します。既定の色は白です。RGB の値を入力することもできます。RGB 値がわからない場合、透かしのプレビューサムネール上にカーソルを移動して、透明にしたい色をクリックします。
場所 & ブレンドモード	場所	透かしの位置をピクセルまたはパーセントで指定します。
	<u>ブレンドモード</u>	透かしと画像のブレンドモードを指定します。
	不透明度	スライダをドラッグして、テキストの不透明度を調整します。
リセット	すべてのオプションを既定値にリセットします。	

現像の一括処理を使用する

現像の一括処理ツールは、複数の画像に現像プリセットを適用してさまざまなファイルフォーマットでエクスポートすることができる非常に便利な機能です。

複数の画像にプリセットを一括適用するには:

1. [管理] モードで、現像したい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 右クリックしてコンテキストメニューの【一括】から【現像の一括処理】を選択する (表示モードでも可能です)。
 - 【一括】メニューから【現像の一括処理】を選択します。
3. 【現像のプリセットを選択】で使用するプリセットを選択します。
4. JPEG や TIFF ファイルなど、異なるファイルフォーマットで保存したい場合は、【ファイルを別のフォーマットにエクスポート】を選択します。
5. 【オプション】をクリックして 現像の一括処理オプション ダイアログを開き、フォーマットやその他のオプションを選択します。(次の表をご覧ください。)
6. 【エクスポート】ダイアログボックスでの選択については下の表をご確認ください。
7. **OK** をクリックします。
8. 【現像】をクリックします。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	【テンプレートを使って名前を変更する】 チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。 テンプレートフィールド ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク(*)を1つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ(#)を使用します(複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
	挿入 メタデータ フィールド	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 テンプレート フィールド内をクリックした後、挿入 メタデータ フィールド を選択すると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが表示されます。挿入したいメタデータを選択して OK をクリックします。
	挿入 連続する番号	テンプレートに挿入されたシャープ(#)は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
	挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク(*)は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
	挿入 連続する番号 オプション	最初の文字または番号を指定します。
フォーマット	開始番号	
	ファイル フォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
	フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
	ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
出力サイズ	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。
	画像のサイズを変更する	このオプションを選択すると画像のサイズを変更することができます。次のオプションを選択してください:
	大きさ	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
	幅と高さ	このオプションを選択すると、指定した幅または高さ内に収まるようにサイズを合わせて画像をエクスポートします。
	長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
	短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポート

	します。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
解像度	インチまたは cm 辺りのピクセル数を指定します。
拡大のみ	指定した高さより小さい画像のみをサイズ変更します。
縮小のみ	指定した高さより大きい画像のみをサイズ変更します。
拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さに変更します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 長辺または短辺のオプションでサイズ変更した画像は、オリジナル画像の縦横比が保持されません。
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。



オプション: [エクスポート プリセットの新規作成] ボタン  をクリックして名前を指定すると、設定をプリセットとして保存することができます。1 つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。



プリセットを編集するには、リストでプリセットを選択してから内容を変更し、[現在のエクスポート プリセットを保存] ボタン  をクリックします。

ACDSee データベースについて

フォルダを参照すると、ACDSee データベースは、画像やメディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースはブラウズ速度の向上だけでなく、画像やメディアファイルの並べ替え、管理、検索、フィルタ条件といった情報を格納します。また、メタデータをバックアップ、復元、共有することも可能です。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加したり編集したりすることができます。

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- カラーラベル
- 作者
- 日付
- 重要度
- キャプション

データベースからフォルダを除外したり、ファイルの内容を画像またはメディアファイルの内容と区別して保存したりすることも可能です。



ACDSee でファイルに ACDSee メタデータを追加すると、そのファイルとデータベースが関連付けされます。そのため、Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のプログラムを使ってコピー、移動、名前の変更を行うと、データベースとのリンクが壊れてしまうため、ACDSee メタデータを失ってしまいます。ご注意ください。

ACDSee メタデータをファイルに埋め込む

ACDSee メタデータを編集する場合、またはこのメタデータをファイルに追加する場合、ACDSee により、新しいデータがそのデータベースに自動で追加されます。[オプション] ダイアログボックスの [**ACDSee メタデータの埋め込みリマインダーを表示する**] チェックボックス ([ツール]、[オプション]、[データベース] の順にクリック) を選択している場合、ACDSee を次回終了する際に [ACDSee メタデータをファイルに埋め込む] ダイアログボックスが開きます。そこで、変更したファイル自体に新しいデータを埋め込むかどうかを選択できます。ファイルにも ACDSee メタデータを埋め込んでおくと、データのバックアップが安全に行われるだけでなく、必要に応じて簡単に探し出すことができるため大変便利です。

例えば、あるファイルについての ACDSee メタデータを作成したと仮定します。そのファイルはデータベースとリンク付けされています。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のアプリケーションを使ってそのファイルを移動すると、リンクが壊れてしまいます。この例では、リンクが壊れてしまったものの、ファイルそのものにデータが埋め込まれているため、ファイルに埋め込まれたデータを使って ACDSee メタデータを再構築することが可能です。

ファイルに ACDSee メタデータが埋め込まれていると、ACDSee を使って名前の変更や移動、他のコンピュータにファイルをコピーしても、ACDSee メタデータはファイルと一緒に移動されることになります。

ダイアログが表示された時に ACDSee メタデータをファイルに埋め込むには:

- 以下のいずれかの操作を行います:
 - ネットワーク上に存在するファイルにデータを埋め込むには、**【ネットワークドライブを含む】** チェックボックスを選択します。
 - データの埋め込みに対応していないファイルフォーマットを扱っているため、サイドカーに情報を書き込むには、**【埋め込み XMP をサポートしないフォーマット用にサイドカー ファイルを書き込む】** を選択します。
 - 現在の選択を次回以降のオプションとして自動設定するには、**【今後は確認しない】** を選択します。
- 【はい】** をクリックして、ファイルにデータを埋め込みます。進行状況バーに続き、次の項目を示した [埋め込みの概要レポート] ダイアログが表示されます:
 - 選択された画像数:** 選択されたファイル数が表示されます。
 - 処理された画像数:** 実際に処理されたファイル数が表示されます。(データの埋め込みの必要のないファイルを選択した場合、[選択された画像数] とここに表示される数字が異なることがあります。
 - 処理済画像数:** データの埋め込みが完了したファイル数が表示されます。
 - エラーが発生した画像:** 様々な理由から、データの埋め込みが完了しなかったファイル数が表示されます。(エラー ログを表示するには、**【エラーの表示】** をクリックします。)
- 【閉じる】** をクリックします。

ACDSee メタデータをいつでも埋め込むには:

ファイルにデータを埋め込む処理は、いつでも行うことができます。

【ツール】 メニューから **【メタデータ】**、**【ACDSee メタデータの埋め込み】** をクリックして、次のいずれかを選択します:

- すべてのファイルに埋め込む:** すべてのファイルに対してデータを埋め込みます。
- 選択したファイルに埋め込む:** 選択したファイルに対してデータを埋め込みます。

 ACDSee は XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。例えば、GIF、JPEG、DNG、PNG、PSD および TIF などです。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれるため、ファイルの名前を変更したり ACDSee の外に移動したりしても ACDSee メタデータを読み出すことができます。現時点で XMP をサポートしていない RAW、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカー ファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカー ファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があり、そうしないと ACDSee メタデータは失われます。

埋め込み保留中フラグ

管理モードのファイル一覧 ペインでは、次のオーバーレイアイコンは、ファイルへ未書き込みの ACDSee データベース内に保存されている

ACDSee メタデータを含むファイルの上部に表示されます:



右クリックして次のどちらかの操作を選択してください:

- ACDSee メタデータをいつでも埋め込むには:** メタデータをファイルへ書き込みます。
- 埋め込み保留中のフラグの解除:** オーバーレイアイコンは解除しますが、メタデータをファイルに書き込むことはしません。

データの埋め込みが必要なファイルを表示する

埋め込む必要があるデータが含まれているファイルを確認するには、[埋め込み保留中] オプションを使うとファイルを簡単に一覧表示できます。

埋め込むデータを含んでいるファイルを表示するには:

カタログ ペインの [スペシャル アイテム] から [埋め込み保留中] を選択します。

ファイル一覧に、埋め込みの必要なデータを含んでいるファイル一覧が表示されます。

ファイルに埋め込まれている ACDSee メタデータを取得する

ファイルの格納されているフォルダを参照すると、データベース情報の一部が ACDSee メタデータに再度上書きされます。ただしカテゴリとキーワードはこれに該当しません。

すべての ACDSee メタデータ (カテゴリとキーワードを含む) を取得する最も安全な方法は、[ツール]、[データベース]、[カテゴリ ファイル] の順にクリックする方法です。その後、以下が適用されます:

- GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF 形式のファイルについては、すべてのデータが取得されてデータベースに書き込まれます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカー ファイルがフォルダ内に存在し、ファイル名が同一である場合、データベース情報がデータベースに再度上書きされます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカー ファイルが移動された、あるいは名前が変更された場合、ACDSee メタデータは取得されずに失われてしまいます。

データベースからフォルダを除外する

データベースからフォルダを除外したり、画像またはメディアファイルの内容と区別して保存したりすることができます。既定値として、ハードディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

データベースからフォルダを除外するには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース] をクリックし、[フォルダの除外] を選択します。
2. [フォルダの除外] ダイアログボックスで、以下のいずれかを実行します:
 - データベースからフォルダを除外するには、[追加] をクリックします。ハードドライブから除外するフォルダを選択して、[OK] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して [削除] をクリックします。
 - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、[既定値にリセット] をクリックします。
3. 選択項目を確認したら、[閉じる] をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルをカタログ化する

ACDSee でブラウズされたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動的に追加されます。「ファイルのカタログ化ウィザード」を使用すれば、複数のファイルをまとめてデータベースに追加することができます。ACDSee でファイルを参照する必要はありません。特に、ACDSee を初めて使用する場合や大きな画像コレクションを参照したり管理する場合、ファイルのカタログ化によりフォルダのロード時間が短縮されるのでとても便利です。

ACDSee を初めて起動する際、カタログ化の確認をたずねるメッセージが表示されます。

ファイルをカタログ化するには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[ファイルのカタログ化] をクリックします。
2. [カタログ化するフォルダ] セクションで、カタログ化するフォルダ名の横にあるチェックボックスを選択します。

一覧に表示されていないフォルダを追加するには、**【フォルダの追加】**をクリックし、追加したいフォルダを選択してから**【OK】**をクリックします。

3. **【ACDSee オプション】** セクションで、データベースに追加する情報を選択します。

4. **【開始】** ボタンをクリックします。

進行状況バーに、カタログ化されている画像が表示されます。

5. **【完了】** をクリックします。

 比較的大きな画像ファイルをカタログ化している間は、そのプロセスを妨害しないように、あるいはその他のソフトウェアを使用しないようにします。プロの写真家のように莫大な数のコレクションを扱う場合、夜中など妨害される可能性の少ない時間帯にカタログ化を行うようお勧めします。

ACDSee インデクサーについて

フォルダを参照すると、ACDSee データベースは、画像やメディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースはACDSeeでのブラウズ速度を向上させるだけでなく、画像やメディアファイルの並べ替え、管理、検索、フィルタ条件といった情報を格納します。「ファイルのカタログ化 ウィザード」を使用すれば、複数のファイルをまとめてデータベースに追加することもできますが、カタログ化中は ACDSee を使用することができません。

しかし ACDSee インデクサーは、コンピューターがアイドル中 で ACDSee が実行中 でないときも、このカタログ化のプロセスの実行に成功しました。この機能のおかげで、すべてのフォルダを参照する手間や、パソコンの速度やパフォーマンスが落ちてしまうという問題、ACDSee の使用を一時的に中断しなくてはならない問題が解消されます。もしも選択したフォルダ内でファイルが変更された場合は、ACDSee インデクサーがファイルを自動でカタログ化するので、ACDSee のデータベースはいつでも最新の状態にキープされます。

カタログ化したいフォルダおよび ACDSee インデクサーがカタログ化を始めるまでのパソコンのアイドル時間を設定することができます。これらのオプションの設定方法は、[ACDSee インデクサーのオプションを設定する](#) をご覧ください。

複数のデータベースを作成して切り替える

ACDSee では複数のデータベースを作成することができ、またデータ間の切り替えも簡単に行えますので、どんなに大量のファイル管理でも楽にコントロールができます。

ACDSee を一番最初に起動して使用するデフォルトのデータベースは "Default.dbin" と呼ばれ、新しく追加でデータベースを作成しない限り継続して使用されます。そのデフォルトデータベースは以下のディレクトリにあります。C:\Users\<Your Name>\AppData\Local\ACD Systems\Catalogs\<Version #> 別に指定しない限り、作成する追加データベースはすべてこの同じ場所に保存されます。

 タイトルバーに実行中のデータベースを表示するように設定することも可能です。

新規データベース作成するには:

1. 管理モードで **【ファイル】** メニューから **【データベース】**、**【新規...】** をクリックします。
2. **【新規のデータベース】** ダイアログボックスで、新規データベースの名前を入力します。
3. **【参照】** からデータベースを保存するディレクトリを指定しても、既存のデータベース、"Default.dbin" が保存されているデフォルトのディレクトリのままでもかまいません。

 新しく作成したデータベースは、データベースと同じ名前のフォルダ内に保存されます。データベースのファイルとフォルダ名はいつでも必ず同じである必要があります。そうでないと、ACDSee がデータベースへ接続できません。

4. アプリケーションのタイトルバーにデータベースを表示したい場合は、**【タイトルバーにデータベースのファイル名を表示】** チェックボックスをチェックします。
5. **OK** をクリックします。
6. ダイアログが開き、新しく作成したデータベースに切り替えるか確認されます。**【はい】** または **【いいえ】** どちらかを選択します。**【はい】** または **【いいえ】** を選択してください。**【はい】** を選択すると ACDSee は再起動後、新しいデータベースを使用します。

データベース間を切り替えるには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います:

[ファイル] メニューを開いて [データベース]、[開く] [データベースを開く] ダイアログ ボックスで、使用したいデータベース (*.dbin) をく... をクリックします。参照したら、[開く] をクリックします。

[ファイル] メニューを開いて [データベース]、[履歴] 最近使用したデータベースから希望のものを選択してください。履歴] をクリックします。

コマンドライン スイッチを使って特定のデータベースで ACDSee を素早く起動するには:

1. ACDSee のショートカットを作成します。ここで付けるショートカット名は、開きたいデータベースと同じ名前を付けることを推奨しています。
2. ショートカットのプロパティで、リンク先を次へ指定します: **C:\Program Files\ACD Systems\ACDSee Ultimate\<Version #>\ACDSeeUltimate<Version #>.exe" /db "C:\Users\<Your Name>\AppData\Local\ACD Systems\Catalogs\<Version #>\<Name of Your Database>.dbin"**

旧バージョンのデータベースを変換する

「ACD データベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンのACDSee のデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンの ACDSee ファイルのデータベース情報を、現在のバージョンのデータベース情報として認識し、使用することができます。

❗ 既に ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDSee データベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することをお勧めします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[データベースの変換] をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ] をクリックしてデータベースの変換オプションへ進みます。
3. 「データベースの変換オプション」のページで、変換するデータベース ファイルのバージョンと、データベースファイルが格納されているハードディスク上の場所を指定します。[次へ] をクリックします。
4. 変換後、画像サムネイル、EXIF、IPTC 情報を自動的に再構築するには、[ローカル画像用にサムネイル、EXIF、IPTC データを再構築する] チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、[変換後、データベース ファイルを最適化する] チェックボックスをオンにします。
6. [次へ] をクリックします。
7. 「概要」のページで選択項目を再確認したら、[次へ] をクリックしてデータベースを変換します。

データベース情報をインポートする

ACD データベース インポート ウィザード を使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、ACDSee は画像とその情報を関連付けます。

❗ 既に ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDSee データベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することをお勧めします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[インポート]、[データベース] をクリックします。
2. [次へ] をクリックして、ウィザードを開始します。
3. 「インポート オプション」のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。

データベースの圧縮版、あるいはXMLベーステキストファイルから画像情報をインポートすることができます。

4. **【参照】** ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して**【OK】** をクリックします。
5. **【インポート後、データベース ファイルを最適化する】** のチェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。**【次へ】** をクリックします。
6. 「概要」のページで選択した項目を再確認します。選択されている項目を変更するには、**【戻る】** をクリックします。データベース情報のインポートを開始するには、**【次へ】** をクリックします。
7. **【完了】** をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。

 他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートするには、インポートされるファイルのパスと保存先のパスが完全に一致する必要があります。

その他のソースからファイル情報をインポートする

[ACDSee フォトディスク](#) や旧バージョンの ACDSee を含むその他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンの ACDSee (バージョン 4.0 および 5.0) では、フォトディスクは別のデータベース ファイル「.ddf」として作成されます。フォトディスク データベース ファイルを ACDSee データベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートするには:

1. 管理モードで、**【ツール】** メニューから **【データベース】**、**【インポート】**、**【フォトディスク】** をクリックします。
2. **【ファイルを開く】** ダイアログ ボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。
3. **【開く】** をクリックします。

 ACDSee 6.0 以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を**変換してインポート**する必要があります。

アルバムをインポートする

旧バージョンの ACDSee のアルバムには「.ais」ファイルフォーマットが使用され、画像へのショートカットが含まれていました。新バージョンの ACDSee では、アルバムの作成に別のファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成することができます。旧バージョンの ACDSee で作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加することができます。ACDSee はアルバムをインポートする際、新しいカテゴリを作成します。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. 管理モードで、**【ツール】** メニューから **【データベース】**、**【インポート】**、**【アルバム】** をクリックします。
2. **【ファイルを開く】** ダイアログ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. **【開く】** をクリックします。

Descript.ion ファイルの使い方

旧バージョンの ACDSee では、ファイルの説明は個別の「Descript.ion」ファイルとして、画像を含む各フォルダに保存されていました。ACDSee では、ファイルの説明はキャプションとして、注意事項やキーワードなど別のファイル情報とともにデータベースに保存されます。

「Descript.ion」ツールを使えば、以前作成した Descript.ion ファイルをインポートしてその情報をデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Descript.ion ファイルにエクスポートしたりすることができます。

Descript.ion ファイルをインポートするには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[インポート]、[**Descript.ion ファイル**] をクリックします。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい Descript.icon ファイルを選択します。
3. [**開く**] をクリックします。

キャプションを Descript.ion ファイルにエクスポートするには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[エクスポート]、[**Descript.ion ファイル**] をクリックします。
2. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの [ファイル名] フィールドに Descript.icon ファイルの名前を入力します。
3. [**保存**] をクリックします。

データベース情報をエクスポートする

「ACD データベース エクスポート ウィザード」を使用して、選択したデータベース情報を圧縮フォーマットとして保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee ユーザーと共有したりすることができます。カテゴリやキーワード定義をテキスト ファイルとしてエクスポートすることも可能です。

バックアップの作成とは異なり、データベース情報のエクスポートは、CD など共有または格納したい特定ファイルのデータベースの一部だけを選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee ユーザーは、既存のデータベースが壊れないかという心配をすることなく、情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、[ACD データベース バックアップ ウィザード](#)を使用します。

ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、[ACD 同期 ウィザード](#)を使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、管理モードの [ファイル一覧](#) ペインでファイルを選択します。
2. [ツール] メニューから [データベース]、[エクスポート]、[データベース] をクリックします。
3. [**次へ**] をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. 「コンテンツとフォーマット オプション」のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、[**次へ**] をクリックします:
 - **ACDSeeデータベース全体を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** ACDSee データベース全体を、他の ACDSee ユーザーと共有可能な圧縮版にしてエクスポートします。
 - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする:** ファイラー一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
 - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする:** XML 形式のテキスト ファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 「ロケーション オプション」のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキスト ファイル名も入力)、[**次へ**] をクリックします。
6. [概要] のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、[**戻る**] をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、[**次へ**] をクリックします。
7. [**完了**] をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイラー一覧を作成する

「ファイラー一覧の作成」機能を使って、ファイラー一覧ペインで現在表示されているフォルダ内に含まれている、すべてのファイルをテキスト ファイルとして作成することができます。ファイラー一覧にはファイル名、サイズ、ファイルフォーマット、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度などの情報が含まれていて、1 つのテキスト ファイルとして作成されます。

ファイラー一覧を作成するには:

管理モードで、**ツール | データベース | エクスポート** をクリックし、**ファイラー一覧の作成** を選択します。

ACDSee はファイル一覧を作成し、既定のテキスト エディタでテキスト ファイルとして開きます。作成されたテキスト ファイルは、必要に応じて編集したり、保存したりすることができます。

データベース情報をバックアップする

[ACDSee バックアップ] ウィザードを使って、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブ ファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

ACDSee バックアップ ウィザードは、すべてのデータベースを含んだファイルを、ユーザーの指定した場所に作成します。フォルダの構造通りにバックアップが作成されるので、コンピュータによって保存される場所が異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee ユーザーとデータベース情報を共有するには、「ACD データベース エクスポート ウィザード」を使用します。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、「[データベース情報のバックアップ](#)」のワンポイントをご覧ください。

データベース情報をバックアップするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースのバックアップ]** をクリックします。
2. [ようこそ] のページで、新規バックアップを作成するか、既存のバックアップを更新するかを選択します。**[次へ]** をクリックします。
[既存バックアップを更新する] を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ] のページで、バックアップする情報を選択します。**[次へ]** をクリックします。
4. 「バックアップの保存先」のページで、**[参照]** をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。**[次へ]** をクリックします。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する] を選択した場合、**[バックアップの更新]** ドロップダウン リストから更新する既存バックアップを選択します。**[次へ]** をクリックします。

バックアップ情報オプション

サムネイルを含めない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハードディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォトディスクのようにハードディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハードディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します: • 画像: 画像ファイルをバックアップに含みます。 • メディア: オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含みます。 • アーカイブ: アーカイブ ファイルをバックアップに含みます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。 [参照] ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。

データベース バックアップのヒント

プロパティ ペイン で入力したEXIF 情報、ファイル名、保存先、サムネイル、カテゴリ、重要度 やその他のファイル情報は、ACDSee データベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多ければ多いほど、データベース情報のバックアップは重要になります。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害 やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を失ってしまうことがあります。バックアップはそれらの損失を最小限に抑える、また回避するために行います。

バックアップ スケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップ スケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。[ACDSee オプション] ダイアログボックスの「データベース」のページにある [バックアップ アラームの表示] で、必要に応じてバックアップのスケジュールを設定します。特にビジネスでご利用のユーザー、またはプロの写真家ユーザーは、毎日バックアップすることをお勧めします。

別の ACDSee ユーザーから情報をインポートする、あるいは ACDSee の古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースに追加する前には、既存のデータベースをバックアップするように推奨します。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。バックアップをハードディスクに保存する場合は、ACDSee によってバックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これはバックアップ ファイルの上書きを回避するため、増分された項目を加えることで復元が可能です。また、月 1 回は、ご自分のコンピュータ以外の場所（例：ネットワークなど）にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップ サイズ

バックアップ サイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップします。また、画像のバックアップも定期的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元ウィザード」では、以前バックアップしたデータベース情報を復元することができます。

データベース情報を復元するには:

1. 管理モードで、[ツール] メニューから [データベース]、[データベースの復元] をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[次へ] をクリックしてバックアップを選択します。
3. 「復元オプション」のページで、バックアップ名と日時から選択するか、バックアップの保存先からファイル(拡張子 .bkup) かのいずれかを選択します。
4. [次へ] をクリックして、データベースの復元を実行します。

 複数のバックアップ ファイルからバックアップを復元する際、ACDSee は選択されているバックアップ ファイルに含まれる情報のみを復元します。そのため、最後に使用したファイルを選択されることをお勧めします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee の全体パフォーマンスを向上させるために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、フォルダの更新やフォルダ内にあるサムネイルと不要なデータベース情報を識別して削除することができます。[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、システム内のフォルダー一覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベース コンテンツ アイコン

 このフォルダには、データベースに格納され、キャッシュされたサムネイル ファイルが含まれています。

 このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。(例: ACDSee を使わずにフォルダ名 または ファイル名 が変更された、移動されたなど)

データベースのメンテナンスを行うには:

1. 管理モードで、**【ツール】** メニューから **【データベース】**、**【データベースのメンテナンス】** をクリックします。
2. **【データベースのメンテナンス】** ダイアログ ボックスで、データベース コンテンツ アイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。
3. **【データベースのメンテナンス】** ダイアログを終了します。フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして、実行するメンテナンスを指定します:
 - **サムネイルの削除:** 選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
 - **データベース情報をすべて削除:** 選択されたフォルダから、すべてのデータベース情報が削除されます。
 - **オフアン フォルダの削除:** 選択されたフォルダから、不足しているファイルや情報や古いまたは破損されたリファレンスが削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オフアンのチェックが可能です。ネットワーク上のフォルダを選択すると、このオプションを選択することはできません。ご注意ください。
 - **結合の変更:** 選択されたオフアン フォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合 フォルダは My Pictures です。
4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、**【データベースの最適化】** をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
5. **【閉じる】** をクリックします。

データベースを最適化する

【データベースの最適化】 ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化と [データベースのメンテナンス](#) を定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee の全体的なパフォーマンスを向上することができます。



定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. 管理モードで、**【ツール】** メニューから **【データベース】**、**【データベースの最適化】** をクリックします。
2. **【ACD データベースの最適化】** ウィザードで、**【次へ】** をクリックします。
3. 次のいずれか、または両方のオプションを選択します:
 - **データベース テーブルとフィールドを最適化する:** データベースから古い情報を削除して、データベースフィールドの空きスペースを増やし、テーブルが再度インデックス付けがされます。
 - **データベースからオフアンを削除する:** その他のプログラムを使って削除されたファイルやフォルダによる、オフアンのデータベース エントリを削除します。
4. **【次へ】** をクリックします。
5. ウィザードが完了したら、**【完了】** をクリックして ACDSee に戻ります。

取り込もうとしているデータベース用にドライブをマップする

ACDSee にアップグレードする、あるいは ACDSee データベースをインポート/復元する場合、**【データベースドライブのマップ】** ダイアログに、ACDSee データベース内でドライブの設定がどのように再確立されるか表示されます。このダイアログを使用して、データベース内における各ドライブのマップを変更することができます。

新規のドライブのマップを選択するには:

1. [データベースドライブのマップ] ダイアログで、ドライブを選択し、次のいずれかを実行します:
 - 新規ドライブのマップを作成するには、**【新規ドライブとして作成】**を選択します。
 - ドライブをローカルドライブとマップするには、**【ローカルドライブ】** ドロップダウン リストからドライブを選択します。
2. **【完了】**をクリックします。

サムネイルとメタデータの再構築

ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル画像や埋め込まれたメタデータの同期が適切に行われないことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルとメタデータの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います:
 - ファイル一覧 ペインから 1 つ以上の画像を選択します。
 - フォルダ ペインからフォルダを選択します。
2. **【ツール】** メニューから **【メタデータ】**、**【サムネイルとメタデータの再構築】** をクリックします。

ファイルを隔離する

ACDSee は、破損または不完全なために読み込みが不可能な画像/メディアファイルやプラグイン エラーの原因となるファイルを隔離します。ユーザーは、隔離ファイルの一覧から必要に応じてファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. 管理モードで、**【ツール】** メニューから **【データベース】**、**【ファイルの隔離】** をクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して **【削除】** をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、**【隔離を行う】** チェックボックスをオフにします。
4. **【OK】** をクリックして [ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じ、ACDSee に戻ります。

プラグインについて

プラグインはソフトウェア モジュールで、比較的大きなプログラムに機能を追加します。ACDSeeは様々な種類のプラグインを搭載しています。

プラグインの種類:

- **画像デコード:** ファイルを 2 進法フォーマットから変換して、ACDSee で画像を表示します。デコード プラグインを使用すると、ACDSee で様々なファイルフォーマットの画像を表示することができます。ACDSee で表示できるファイルは、コンピュータにインストールされているデコード プラグインに依存しています。
- **画像エンコード:** ACDSee で表示された画像を2進法フォーマットに変換します。エンコード プラグインを使用すると、ACDSee でさまざまなファイルフォーマットの画像を保存 (または変換) することができます。ACDSee で編集および保存可能なファイルは、コンピュータにインストールされているエンコード プラグインに依存しています。
- **アーカイブ:** ACDSee で様々な種類のファイルフォーマットを表示し、アーカイブ保存することができます。ACDSee で表示および作成できるアーカイブは、コンピュータにインストールされているアーカイブ プラグインに依存しています。
- **カメラ:** ACDSee でデジタルカメラの画像を参照し、ハード ディスク上のフォルダに転送することができます。
- **コマンド拡張:** ACDSee に機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用するプラグインがあります。
- **ペイン拡張:** ACDSee に、デジタル画像の印刷オーダーを可能にするなどのタスクを追加します。

 ACD Systems社が認証していないプラグインの品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、プラグインはウィルス感染の可能性がなく、プラグインの製造元を信頼できるものとします。

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログボックスには、システムにインストールされているすべての ACDSee プラグインの一覧が表示されます。[プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee が使うプラグインをコントロールすることができます。

【プラグインの設定】ダイアログボックスを開くには:

管理モードで、[ツール] メニューから **【プラグインの設定】** をクリックします。

プラグインを無効にする

[プラグイン設定] ダイアログボックスでは、不要なプラグインを無効にして ACDSee で使用されないように設定できます。

プラグインを無効にするには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. ACDSee との使用を無効にしたいプラグイン名の横にあるチェックインボックスをクリアします。
3. **OK** をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイルフォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイルフォーマットの読み取り、もしくは書き込みにどのプラグインを使用するかを指定できます。[プラグイン設定] ダイアログボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee がファイルを読み取り、または書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【上へ移動】** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
 - **【下へ移動】** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
4. **OK** をクリックします。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. プラグイン一覧からプラグインを選択します。
3. **【プロパティ】** ボタンをクリックします。

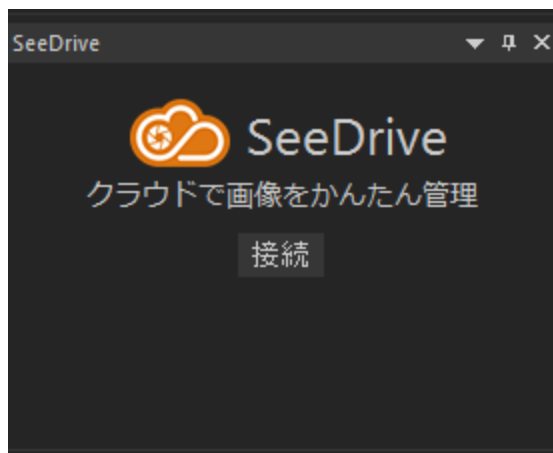
プラグインのヘルプファイルを表示するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログボックス で、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. **【プラグイン ヘルプ】** ボタンをクリックします。

ACDSee SeeDrive™

[ACDSee SeeDrive™] ペインでは、ACDSee 365 アカウントに直接アクセスすることができます。ACDSee SeeDrive™ を使って、画像共有もできるオンラインストレージ、ACDSee 365 にアップロードした画像を管理して、365.acdsee.com へのアップロードやダウンロードの状況を把握することができます。ACDSee 365 アカウントのご利用にはメンバーシップ、つまりストレージのご購入が必要です。

ACDSee SeeDrive™ では、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像を参照することが可能です。もちろん、ブラウザを開いて 365.acdsee.com へアクセスすることも可能です。[SeeDrive™] ペインを表示するには、[ペイン] から **[SeeDrive]** に移動します。



ACDSee SeeDrive™ を使用するには:

ACDSee SeeDrive™ ペインにて、**[接続]** をクリックしたら、ACDSee 365 のログイン情報を入力します。[ACDSee 365 のアカウント](#) を持っていない場合は、**[新規アカウントを作成]** を選択します。

他にも、[365 モード](#) からログインすることもできます。

ACDSee 365 のファイルを SeeDrive™ で管理する

管理モードの ACDSee SeeDrive™ から直接、ACDSee 365 のフォルダを、作成、名前の変更、削除することができます。

新規フォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名を右クリックしたら **[オンラインフォルダの新規作成]** を選択します。
2. **[オンラインフォルダの新規作成]** ダイアログボックスで、フォルダ名を入力して **[OK]** をクリックします。



新しく作成したフォルダを既存のフォルダ階層のどこかに追加するには、新しいフォルダを追加したい階層の場所にドラッグします。

既存フォルダ内に新規のフォルダを作成するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名 左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 既存のフォルダを右クリックして、**[オンラインフォルダの新規作成]** を選択します。
3. **[オンラインフォルダの新規作成]** ダイアログボックスで、フォルダ名を入力して **[OK]** をクリックします。

フォルダ名を変更するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックしたら **[名前の変更]** を選択します。

フォルダを削除するには:

管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダを右クリックしたら **[削除]** を選択します。

ファイル名を変更するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、名前を変更したいファイルを含むフォルダを開きます。
2. ファイラー 一覧 ペインで、ファイルを右クリックしたら **【名前の変更】** を選択します。

ファイルを削除するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、名前を変更したいファイルを含むフォルダを開きます。
2. ファイラー 一覧 ペインで、ファイルを右クリックしたら **【削除】** を選択します。

アップロード

SeeDrive™ を使ってファイルを ACDSee 365 へアップロードするには:

- **フォルダをアップロードするには:** フォルダ ペインからフォルダを選択したら、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- **ファイルをアップロードするには:** ファイラー 一覧 ペインからファイルを選択したら、ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダにドラッグします。
- ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダをどれでも右クリックして、**【転送 マネージャ...】** を選択すると、アップロードを管理することができます。下の表を参考にして、転送 マネージャを活用してください。

ダウンロード

SeeDrive™ を使ってファイルを ACDSee 365 からダウンロードするには:

1. フォルダ ペインからファイルが保存されているフォルダを選択します。
2. ACDSee SeeDrive™ のダウンロードして保存するフォルダを選択して、**【ダウンロード】** を選択します。

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダをどれでも右クリックして、**【転送 マネージャ...】** を選択すると、ダウンロードを管理することができます。下の表を参考にして、転送 マネージャを活用してください。

転送 マネージャ オプション

アップロードまたはダウンロードタブを選択します。

	一時停止した転送を再開
	転送の一時停止
	転送のキャンセル
	転送の再試行
	すべて選択
	完了のクリア

フォルダを非公開または公開にする

管理モードにある ACDSee SeeDrive™ ペインで、フォルダの公開または非公開の設定をすることができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも 365.acdsee.com にて閲覧することができます。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を **【公開】** に変更するには:

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名 左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 公開したいフォルダを右クリックして、**公開する**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ を使用して ACDSee 365 フォルダの設定を【非公開】に変更するには:

1. ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名 左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 公開したいフォルダを右クリックして、**非公開する**を選択します。

ACDSee SeeDrive™ で共有およびダウンロードする

ACDSee SeeDrive™ を使えば、オンライン上にあるコンテンツをすぐにダウンロードおよび共有することができます。転送マネージャで、アップロードとダウンロードの進行状況を表示および管理することも可能です。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダを共有する

ACDSee 365 のフォルダを、ACDSee SeeDrive™ ペインだけですぐに共有することができます。フォルダや画像は、メールで送信、ソーシャルネットワークにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

ACDSee SeeDrive™ を使用してフォルダを共有するには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名 左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを **右クリック** したら、**フォルダの共有**を選択します。
3. 共有ウィンドウが開きますので、共有方法を選択して次のように必要情報を入力します:

共有オプション

メール	ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。以下にある情報をすべて入力したら、 OK をクリックします。	
	宛先のメールアドレス	受取人のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスはカンマ[,] で分けます。
	メッセージ	受取人に向けたメッセージを入力します。
	利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	受取人は、受信・利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。
	自分のメールアドレスにも送る	メールのコピーを受信したいときはこのチェックボックスにチェックを入れます。
Facebook™	パスワード (任意)	フォルダをパスワードで保護したい場合は、ここにパスワードを入力します。入力したパスワードはメール本文内に記載されますので、メールの受信者はそのパスワードでフォルダを開くことができます。
	ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。以下の手順が完了したら、 アップロード をクリックします。	
	Facebook™ にアップロード	このボタンを押すとFacebook™ がブラウザで立ち上がりますので、ログイン情報を入力します。
	既存の Facebook™ アルバムを選択	ドロップダウンメニューから、画像を追加したい既存の Facebook™ アルバムを選択します。
Twitter™	新規のアルバムを作成	画像を新しい Facebook™ の写真アルバムにアップロードしたい場合は、アルバム名を入力します。
	ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。以下の手順が完了したら、 アップロード をクリックします。	
	Twitter™	このボタンを押すとTwitter™ がブラウザで立ち上がりますので、ログイン情報を入力します。
	bit.ly で URL を短くする	アルバムの URL が短くなりますので、メッセージ欄に入力できる文字数が増えます。
	プレビュー	投稿のプレビューが表示されます。
	残りの文字数	メッセージ欄にあつて何文字入力可能か表示されます。
ウィジェット	利用可能な JPG 最大サイズのダウンロードを許可する	閲覧者が、利用できる最大サイズで画像をダウンロードできるようになります。
	フォトウィジェットとは、ブログやサイトに貼ることのできる画像ビューアーまたはスライドショーのようなものです。このオプションでは HTML コードが生成されますので、それをコピーしてウェブサイトやブログに貼り付けます。ウィンドウ下方に表示される画像をすべてスクロールで確認して、共有したくない画像のチェックをチェックボックスから外します。	
	方向	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの向き(方向)を選択します。
	配色	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットの配色を選択します。
	サイズ	ドロップダウンメニューからフォトウィジェットのサイズを選択します。

ACDSee SeeDrive™ でフォルダの URL をコピー & 貼り付けしてフォルダを共有する

ACDSee SeeDrive™ にあるフォルダの URL をコピーして、ブラウザやメールはじめその他のメディアに貼り付けることができます。

 URL がコピーできるフォルダは 公開 フォルダのみです。

フォルダの URL をコピー & 貼り付けするには:

1. 管理モードの ACDSee SeeDrive™ ペインで、ユーザー名 左横の矢印をクリックしてフォルダを表示します。
2. 共有したいフォルダを右クリックして、**URL のコピー** を選択します。
3. URL を貼り付けたい箇所をどこでも右クリックして、**貼り付け**、または **CTRL + V** を押します。

Chapter 4: 写真モード

写真モードを使用する

写真モードは、画像コレクション全体を日付別にすばやく簡単に表示できるツールです。[写真] モードでは[カタログ化](#)された画像が表示されます。[写真] モードでは、画像の EXIF データに示される撮影の日付別に画像が表示されます。EXIF データに撮影日が含まれない場合、[写真] モードでは更新日時に基づいて画像が表示されます。



[\[更新日時の一括変更\]](#) を使用することで撮影日を更新することができます。

[写真] モードには 2 つのエリアがあります。

日付ペイン: このペインでは、カタログ化された写真コレクションすべてが日付別に表示されます。

タイムラインペイン: このペインには写真の年と月、それぞれに含まれる写真の枚数が表示されます。

画像を表示する

[写真] モードでは、画像は日付別に表示されます。年、月、日による表示を切り替えるには、次のいずれかを行います。

- 日付ペインの右下にある [年]、[月]、または [日] ボタンをクリックします。
- 左上にある前後の矢印を使用して、[年] から [月]、[日] 表示へと移動します。
- [表示] | [年/月/日] を選択します。
- 画像をクリックして [年] から [月]、[日] 表示へと移動します。
- タイムラインペインにある [年/月] の項目をクリックして、その時間から画像へと移動します。

Microsoft OneDrive® 写真コレクションだけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[OneDrive]** を選択します。

すべての写真コレクションを表示するには (OneDrive を含む):

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[すべて]** を選択します。

Pictures フォルダの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[Pictures]** を選択します。

デスクトップの写真だけを表示するには:

[フィルタドロップダウン] メニューをクリックし、**[デスクトップ]** を選択します。

写真コレクション内でオーファンになったファイルを表示するには:

日付ペインの一番上にある **[オーファン ファイルを選択する]** ボタンをクリックします。オーファン ファイルはセピア色で表示されます。

大きな画像を表示するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [表示] モードで画像を**ダブルクリック**して開きます。
- 画像を選択して **Enter** を押し、[表示] モードと[写真] モードを切り替えます。

別のモードで画像を開くには:

以下のいずれかの操作を行います:

- [日] 表示で画像を**右クリック**してコンテキストメニューからオプションを選択します。
- 年または月表示で画像を **[Ctrl + 右クリック]** して、コンテキスト メニューからオプションを選択します。

Windows Explorer® で画像を表示するには:

- 日表示で画像を **[右クリック]** してコンテキスト メニューから **[ファイル エクスプローラで表示]** を選択します。
- 年または月表示で画像を **[Ctrl + 右クリック]** して、コンテキスト メニューから **[ファイル エクスプローラで表示]** を選択します。

カタログ化

[写真] モードではカタログ化された画像のみが表示されます。画像をカタログ化するには:

- [\[管理\] モード](#)でフォルダを参照します。
- [写真] モードの一番上にある [\[カタログ\]](#) ボタンを使用します。

Chapter 5: 表示モード

表示モードは、画像表示をメインとしたユーザーインターフェイスです。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます：

- 大きな画像はマウスでクリックしたままドラッグして表示領域を移動します。
- キーボードショートカットの <F> キーを使って [フルスクリーン表示](#) のオン/オフを切り替えます。
- 画像を [拡大または縮小表示](#)
- [スライドショー形式で画像を表示](#)
- [ビデオとオーディオファイルを再生](#) し、画像ファイルに [オーディオを追加](#) します。
- 画像に [キャプションを追加](#)
- ファイルにタグを加えたり、カテゴリ、キーワードやその他のメタデータを追加したりして、[ファイルを整理する](#)。
- 画像に編集または特殊効果の [プリセット](#) を適用

オート レンズで画像をプレビューする

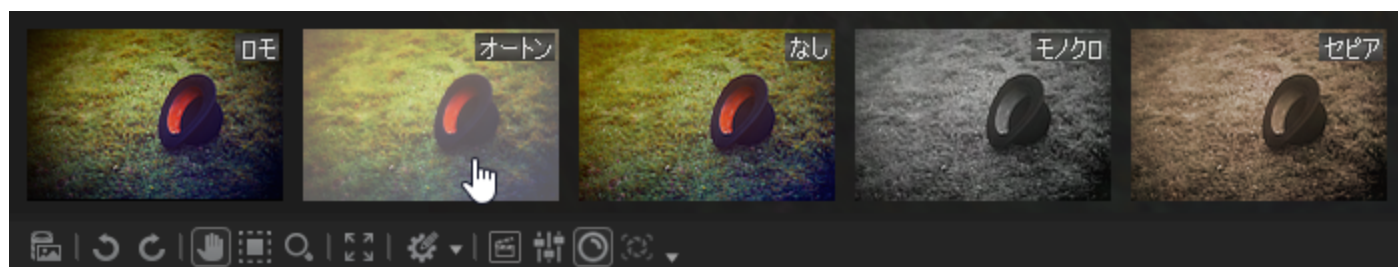
オート レンズ ビューを使えば、実際の特殊効果フィルタを適用する必要なく、効果を当てた画像をプレビューすることができます。

オート レンズで画像をプレビューするには：

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーで **[自動レンズ]** ボタンを押します。
3. プレビューを表示したい特殊効果フィルタを選択します。
4. フィルムストリップまたは **[前へ]** / **[次へ]** ボタンで画像を行き来して、選択した特殊効果フィルタを適用したプレビューを確認します。



オート レンズはオフにするまで表示モードで継続して適用されます。



オートレンズをオフにするには：

1. ツールバーにある **[オートレンズ]** ボタンをクリックします。
2. **なし** を選択します。

ライト EQ™

ライト EQ™ による表示モードのインスタント露出調整で画像を表示することができます。表示する画像ごとにライト ライト EQ™ を選択する必要があります。

ライト EQ™ で画像を表示するには：

1. 表示モードで画像を開きます。
2. ツールバーで **[ライト EQ™]** ボタンを押します。

オン



RAW 画像を表示する

RAW 画像ファイルは、カメラのネガタイプに似ています。カメラで撮影する際、画像を構成するすべての「生の」データがキャプチャされます。RAW 画像には JPEG が埋め込まれているため、画像をプレビュー表示することができます。ネガタイプ同様、画像として表示するには RAW ファイルを現像する必要があります。

管理モード内で RAW 画像ファイルのサムネイルをダブルクリックすると、ACDSee はその RAW ファイルが以前現像されたことがあるかを確認します。現像されたことがあれば、ACDSee はビューアに現像済の画像を表示します。現像されたことがなければ、ACDSee は次のいずれかの処理を実行します：

- **[埋め込みプレビュー]** ラジオボタンを **[全般]** ページ (**[オプション] ダイアログボックス**にあります) で選択していると、ACDSee によって埋め込み JPEG (写真撮影時にカメラによって生成されたもの) が表示されます。このオプションは既定値として設定されています。
- **[RAW デコード]** ラジオボタンを **[全般]** ページで選択していると、ACDSee によって速やかに RAW ファイルが現像され、RAW ファイルの仮写真が表示されます。

[表示] モードで未現像の RAW 画像をズームインするとき、**[埋め込みプレビュー]** オプションを選択し、埋め込み JPEG の解像度を超えてズームすると、ACDSee によって速やかに RAW 画像が現像されるため、そのズームレベルで画像を表示することができます。埋め込み JPEG ファイルからデコードされた RAW 画像を表示することになるため、画像のカラー、ライト、ディテールが変更されることがあります。これは、カメラによる JPEG 設定と ACDSee が画像を現像する設定の違いによって生じるものです。カメラは機種によって、埋め込み JPEG に使用されるカラー、ライト、ディテールの設定が異なるため、必ずしも ACDSee の設定と一致するわけではありません。そのような場合は、ACDSee の [現像] ツールを使用して、ユーザーの希望する設定で RAW 画像を処理します。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

画像を回転する

管理および表示モードのツールバーにある **[回転]** アイコンを使用して、画像を回転することができます。



未処理の JPEG 画像を回転する際、ACDSee は可逆圧縮の回転を実行します。

画像を回転するには：

1. 管理モードまたは表示モードで、1 つ以上のファイルを選択します。
2. スクリーン下にあるツールバーの **[左に回転]** または **[右に回転]** ボタンをクリックします。

回転 アイコン

	反時計回り	画像を左に 90 度回転します。
	時計回り	画像を右に 90 度回転します。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像の明るさと各カラー チャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには：

1. 表示モードまたは編集モードで、**【ペイン】** から **【ヒストグラム】** をクリックします。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします：
 - **R:** レッド チャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

画像を自動表示する

画像の自動表示機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするクイック スライドショーを作成することができます。

画像を自動表示するには:

1. 表示モードで複数の画像を開きます。
2. **【表示】** メニューから **【画像の自動表示】** そして **【オプション】** を選択します。
3. 以下で解説されているように、**【画像の自動表示】** ダイアログ ボックスのオプションを設定します。
4. **【開始】** ボタンをクリックします。
5. 次の画像を表示するには、**<Space>** キーを押します。
6. 前の画像に戻るには、**<Backspace>** キーを押します。
7. 自動表示を一時停止または再開するには、**<Pause>** キーを押します。

画像の自動表示 オプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 次へ • 降順 • ランダム
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後も、スライドショーを自動的に繰り返します。
間隔	各画像間の表示時間を指定します。スライダをドラッグまたは 0 から 864000000 ミリ秒の値を入力して、画像の表示時間を指定します。
サウンド	【オーディオ クリップの再生】 のチェックボックスをオンにすると、選択した画像に埋め込まれているオーディオが再生されます。

表示モードで画像にテキストを表示する

ヘッダー/フッター ツールを使用して、表示モードで画像にテキストを表示することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像そのものを変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、ヘッダーやフッターのテキストを隠すこともできます。

テキストを画像に直接追加し、画像の一部として保存する方法につきましては、[画像にテキストを追加する](#) をご覧ください。

ヘッダーとフッターを表示するには:

1. 表示モードで、**【表示】**メニューから**【ヘッダー/フッターの編集】**を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します：
 - **【ヘッダー】**チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
 - **【フッター】**チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
3. 下の解説を参照して、テキスト オプションを選択または変更します。
4. **OK** をクリックします。

テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。 【カラー】 をクリックして色を指定します。
説明	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには：

1. **【テキスト】**フィールドで、ファイルの情報を表示したい場所にカーソルを合わせ、**【メタデータの挿入】**をクリックします。
2. **【プロパティの選択】**ダイアログ ボックスで、表示したいファイル情報を選択します。
3. **OK** をクリックします。

情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキスト フィールドの情報を変更 / 削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには：

1. 表示モードで、**【表示】**メニューから**【ヘッダー/フッターの編集】**を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します：
 - **【ヘッダー】**チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
 - **【フッター】**チェックボックスをオフにすると、画像の下のテキストが削除されます。
3. **OK** をクリックします。



ヘッダーとフッターの両方を表示または隠すには、**【表示】**メニューから**【ヘッダー/フッターの表示】**をクリックして切り替えます。

表示モードとフォルダを同期する

【フォルダと同期】 オプションを使用して、表示モードで表示される画像を変更することができます。

フォルダを同期するには：

1. 表示モードで、**【ファイル】**メニューにある**【フォルダの同期】**をクリックします。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、**【参照】** ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、**【新規画像】** オプションをオンまたはオフにします。
4. **OK** をクリックします。

新規画像 オプション

新規画像をすぐに表示する	フォルダに追加された新規画像をすぐに表示します。このオプションがクリアされると、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイルは無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を解除するには:

表示モードで、**【ファイル】**メニューにある**【フォルダの同期】**をクリックします。

オフライン画像を表示する

ACDSee は、CD または他のリムーバブルメディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報を、フォトディスクとして保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていないくてもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示したりすることができます。

フォトディスクを追加するには:

1. 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
2. 管理モードの**【ファイル】**メニューから**【新規作成】**を選択し、**【フォトディスク】**をクリックします。
3. **【新規ディスク】**ダイアログボックスで、「**タイトル**」フィールドにディスク名を入力し、**【OK】**をクリックします。

フォルダペイン内の**【オフラインメディア】**から、作成したフォトディスクをブラウズすることができます。



フォトディスクとして ACDSee に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダペインでディスク名を右クリックして

既定では、ACDSee はフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この既定設定はフォトディスクを作成する最も確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作成中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルはマルチセッションのフォトディスクを識別するための方法として使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、ACDSee で識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されていないが、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。マルチセッションディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、ACDSee で認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報を関連付けます。

フォトディスクを ACDSee データベース情報と再結合するには:

1. **【フォトディスクの再結合】**ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. **【フォトディスクの名前】**一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. **【再結合】**をクリックします。

ACDSee Quick View を使用する

ACDSee Quick View は、ACDSee を開くことなく、画像を素早く表示することができる画像ビューアです。例えば、誰かがメールで送ってきた画像を表示したいとします。その画像をダブルクリックすると Quick View で開き、ACDSee の**【表示】**モードの簡易版のような感じで画像を表示することができます。

Quick View では、画像を素早くスクロールしたり、一時的に回転したり、拡大/縮小表示することができます。Quick View で表示中に気に入った画像があれば、それをデスクトップの壁紙に設定したり、印刷したりすることも可能です。

Quick View から ACDSee への切り替えも簡単です。[管理]、[表示]、[現像] および [編集] の各モードで画像を開くオプションも用意されています。

[表示] モードでキーボードやマウスのショートカット操作に慣れている方は、Quick View でも同様にほとんどのショートカットが使用できます。

Quick View で画像を開くには:

1. ACDSee が終了している状態で、画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラ内またはメールに添付された画像をダブルクリックします。
2. 下記の表示オプションを使用して画像を表示します。

ACDSee Quick View 表示オプション

	前へ	前の画像を表示します。
	次へ	次の画像を表示します。
	反時計回り	画像を左へ回転します。
	時計回り	画像を右へ回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	画像を削除してごみ箱に移動します。



[ESC] キーを押すとACDSeeを閉じることができます。

ACDSee で画像を開くには:

[管理]、[表示]、[現像] または [編集] モードをクリックします。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. 前へ または 次へ をクリックして壁紙に設定したい画像を Quick View で表示します。
2. [ツール] メニューから **[壁紙の設定]** を選択し、続いて次のいずれかを選択します:
 - **中央に表示**: デスクトップの中央に画像を表示します。
 - **並べて表示**: デスクトップ全体を覆うように 1 つ以上のファイルを並べて表示します。画像のサイズが小さい場合は、複数枚の画像がデスクトップに表示されます。画像のサイズが大きい場合は、1、2 枚の画像がデスクトップに表示されます。
 - **拡大表示**: 画像の縦横比を保持したまま拡大表示してデスクトップを可能な限り覆うように表示します。

デスクトップの壁紙を既定に戻すには:

【ツール】メニューから【壁紙の設定】を選択し、続いて【復元】を選択します。

画像を印刷するには:

1. 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。
2. 【フォーマット】で印刷サイズを選択します。
3. 【プリンタオプション】タブで、使用するプリンタを指定し、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度などを選択します。
4. 【ページ設定】タブでは、ページの位置や余白のサイズ、画像単位の印刷部数などを設定します。
5. 必要に応じて キャプション、ヘッダー、フッターを追加します。
6. **プリント** をクリックします。

Quick View で Windows Touch Gestures™ を使用する

Windows Touch Gestures™ 対応のデバイスをお持ちの場合、ACDSee Quick View で Windows Touch Gestures™ を使用して画像を素早く表示することができます。

Quick View で Windows Touch Gestures™ を使用するには:

ACDSee Quick View で画像を開きます。

- 画像上をスワイプして画像を1枚ずつスクロールします。
- 一方方向にゆっくりとホールドおよびスワイプして、フォルダ内の画像を行き来して表示することができます。
- 画像をホールドして放すと、画像をマウスで右クリックしたときと同じ操作が実行できます。
- 画像をダブルタップするとACDSeeが立ち上がり、画像を表示します。
- 画面に指を2本当てて広げると拡大し(ピンチアウト)、2本の指を合わせるように狭めると縮小します(ピンチイン)。
- 画像を縮小したあとは、画像を指でパンすることができます。前の画面へ戻るには、【表示】メニューから【ズーム】、【画像に合わせて表示】を選択します。

外部アプリケーションでファイルを表示する

ACDSee 内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シェル コマンドを使用するには:

1. 管理モードで【ファイル】メニューから【シェル コマンド】をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **開く:** Windows がそのファイル拡張子と関連付けているアプリケーションを使ってファイルを開きます。
 - **編集:** 既定のシステム アプリケーションでファイルを開くか、アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開きます。

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合わせて自動拡大したり、以前使用した壁紙を復元したりすることも可能です。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:

- 管理モードで、画像を選択し、**【ツール】**メニューから**【壁紙の設定】**をクリックします。
- 表示モードで、**【ツール】**メニューから**【壁紙の設定】**をクリックします。

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- **中央に表示**: 画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
- **並べて表示**: デスクトップ全体を覆うように、画像をタイル状に並べて表示します。
- **拡大表示**: スクリーンに合わせて画像を拡大表示します。

選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee が、コントロール パネルの画面プロパティの壁紙設定を自動的に変更し、画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:

1. **【ツール】**メニューから**【オプション】**を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの**【全般】**をクリックします。
3. [全般] ページで、**【壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する】**チェックボックスを選択します。
4. **OK** をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには:

【ツール】メニューから**【壁紙の設定】**そして**【復元】**をクリックします。

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォント ファイルやその他のファイルのように、ブラシ ファイルを管理モードで表示することができます。これは、ACDSee を使って他のファイル同様に重要度を適用したり、管理したりできることを意味します。.abr は、1 つのファイル内に複数の画像を含むファイル形式のため、表示モードで個々の画像を開く必要があります。多くの .abr ファイルは実際には 1 つのファイル内の画像グループであるため、個別の画像を見るには**【表示】**モードで開く必要があります。



ACDSee では、.abr ブラシ ファイルはこのアイコンで表示されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

管理モードで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。

- .abr ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
- .abr ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルを表示モードで開きます。左手のペインに各画像を表示した形で、表示モードにファイルが開かれます。
- サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示されます。特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。
- 画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします。

Adobe Photoshop® でブラシ ファイルを使用するには:

Adobe Photoshop® と ACDSee の両方を開いた状態で、管理モードのファイル一覧から Photoshop® のウィンドウにファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop® のブラシ ライブラリにロードされます。新規 ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。



Photoshop® を既定のエディタとして設定すると、Photo Shop でブラシ ファイルを扱いやすくなります。**<CTRL> + <ALT> + <X>** キーを使用して Photoshop® を開き、ブラシ ファイルをすぐに使用することができます。

オーディオとビデオ ファイルを再生する

ACDSee では、様々なフォーマットのビデオまたはオーディオ ファイルを再生することができます。再生音量の調整やビデオ フレームから画像を作成することが可能です。

オーディオまたはビデオ ファイルを再生するには:

管理モードのファイル一覧 ペインで、次のいずれかを実行します:

- オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
- 1 つ以上のファイルを選択して、**<Enter>** キーを押します。
- 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右クリックした後 **【表示】** を選択します。
- メディア ツールバーを使用して、音量の調整、一時停止、繰り返し、フレームの抽出を行えます。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

表示モードでオーディオまたはビデオ ファイルを開くとすぐに、または管理モードの プレビュー ペイン で開くと自動再生されるように設定することができます。

メディア ファイルを自動再生するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** そして **【プレビュー】** をクリックします。
2. **【オーディオおよびビデオクリップの 自動再生】** チェックボックスをオンにします。
3. **OK** をクリックします。

メディア ツールバー

メディア ツールバーを使用して、頻繁に使用するメディアの表示や編集 ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

	再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止ボタンに変わります。
	フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出することのできるメニューを開きます。  フレームは、現在表示している解像度で抽出されます。
	ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。

ビデオのフレームを画像として保存する

動画ファイルから個々のフレームを抽出して、静止画として保存することができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - ビデオの再生中に、保存したいフレームで **【一時停止】** ボタンをクリックします。
 - 抽出したいフレームが今まさに再生中の場合、手順 2. に進みます。
2. 選択範囲とメディア コントロール のツールバーの **【フレームの抽出】** ボタンをクリックします。 
3. **【現行フレームの抽出】** ダイアログ ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
4. **【ファイル名】** フィールドにファイル名を入力します。

5. **【ファイルの種類】** ドロップダウン リストからファイル フォーマットを選択します。**【オプション】** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットに関連したオプションを選択または変更します。
6. **【保存】** をクリックします。

画像にオーディオを追加/編集する

ACDSee は、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオ ファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている TIFF または JPEG 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像ファイル内にオーディオを直接埋め込むことができます。

オーディオ ファイルと関連付けられた画像とは、WAV ファイルとペアになっている画像のことです。画像ファイルと関連付けられたオーディオ ファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存されます。WAV ファイルと画像に同じファイル名を付けて同じフォルダ内に保存するか、画像にオーディオを追加することで、画像とオーディオを関連付けることができます。

 **関連付けられた画像ファイルまたはオーディオファイルを移動する、あるいは名前を変更する場合、同じフォルダ内にある両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ、画像とオーディオの関連付けが解除されてしまいます。なお、この法則は TIFF や JPEG などオーディオの埋め込まれた画像には当てはまりません。**

画像にオーディオを追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
2. **【ツール】** メニューから **【画像オーディオ】** そして **【編集】** をクリックします。
3. **【オーディオの編集】** ダイアログ ボックスで、**【参照】** ボタンをクリックします。
4. .WAV ファイルを選択し、**【保存】** をクリックします。
5. オーディオ ファイルの一部を切り捨て、あるいはクリップしたい場合、**【マーカーを使用する】** チェックボックスをオンにして、**【開始マーカー】** と **【終了マーカー】** のスライダをドラッグします。以下のいずれかの操作を行います:
 - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外)を削除するには、**【切り捨て】** ボタンをクリックします。
 - オーディオ ファイルの一部(開始マーカーと最終マーカーの範囲内)を削除するには、**【クリップ】** ボタンをクリックします。
6. ファイルのプレビューを聞くには、**【再生】** ボタンをクリックします。
7. **OK** をクリックします。

画像にオーディオを録音する

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に直接埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダに保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで画像を選択します。
 - 表示モードで画像を開きます。
2. **【ツール】** メニューから **【画像オーディオ】** そして **【編集】** をクリックします。
3. **【オーディオの編集】** ダイアログ ボックス内で、以下を参照にして **【サウンドの録音設定】** オプションを設定します。

4. **【録音】**をクリックし、次のいずれかを実行します：
 - マイクを使用してサウンドを録音します。
 - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
5. **【録音】** ボタンをもう一度クリックし、録音を停止します。
6. **【名前を付けて保存】** ボタンをクリックし、オーディオ ファイルを保存します。
7. **【サウンド ファイルの保存】** のダイアログ ボックスで、**【ファイル名】** のフィールドにファイル名を入力し、**【保存】** ボタンをクリックします。
8. **OK** をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャ デバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプルレートとオーディオ タイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンド カードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを 【開始マーカー】 のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオ ファイルと録音を結合します。
開始マーカーの位置に挿入	開始マーカーの位置に録音を挿入します。 【開始マーカー】 スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンド ファイルに追加	既存のオーディオ ファイルに録音を追加します。
サウンド ファイルの置換え	オーディオ ファイル全体を新しい録音と置換えます。

画像の一部を選択する

表示モードの**【選択ツール】**を使用して、画像の一部を四角形で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには：

1. **【選択ツール】** アイコンをクリックします。
2. 画像上にカーソルを置いてドラッグし、マーカーを作成します。
3. マーカーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
4. 選択範囲をクリアするには、マーカーの外側をクリックします。

選択範囲のオプション

選択範囲を拡大	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。必要であれば縮小します。
壁紙として並べて表示	選択領域を使用してタイル壁紙を作成します。

表示モードでプリセットを適用する

さまざまな ACDSee 開発ツールで、設定をプリセットとして保存できます。頻繁に使用する特定のツールや効果の設定を保存できるので、時間の短縮にもなりとても便利です。

ACDSee のほとんどのツールでは、**【適用】**または**【完了】**をクリックした時点でのオプション設定が自動的に保存されます。このプリセットは「**最後に使用された設定**」と呼ばれています。いつでも使用できるプリセットを作成するには [現像モードでプリセットを使う](#) を参照してください。

表示モードでプリセットを適用するには:

1. 表示モード内で **【ツール】** メニューから **【処理】**、**【プリセットの適用】** をクリックします。
2. プリセットの一覧から希望するものを 1 つ選択します。
プリセットが適用され、自動的に保存されます。



適用したプリセットを元に戻すには、右クリックして **【処理】**、**【オリジナルに戻す】** を選択します。



編集モード内で作成されたプリセットは、編集モード内でのみ適用されます。

表示モードでファイルプロパティを表示する

管理モードで画像のプロパティペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像のプロパティを表示するには:

表示モードで、**【ペイン】** から **【プロパティ】** をクリックします。

プロパティペインに関する詳細、および ACDSee メタデータの追加や編集に関する情報につきましては、[プロパティペインの使い方](#) をご覧ください。

画像を表示モードで印刷する

ACDSee の印刷ユーティリティを使うと、お使いのプリンタが対応しているさまざまな用紙サイズ、印刷方向、解像度で画像を印刷できます。さらに、コンタクトシートに、ヘッダー、フッター、各画像用のキャプションを付けて作成して印刷することもできます。

印刷ダイアログボックスのオプションを変更すれば、動的に更新される画像のプレビューを表示して、ページ上の配置を確認することができます。また、各画像の出力サイズの調整、各画像の複数印刷、各ページの画像の印刷方向の変更も実行できます。

1 つの画像を印刷するには:

1. 表示モードで、印刷したい画像を選択します。
2. **【ファイル】** から **【画像を印刷】** をクリックします。
3. **【フォーマット】** で印刷サイズを選択します。
4. **【プリンタオプション】** タブで、[使用するプリンタを指定](#) し、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度などを選択します。
5. **【ページ設定】** タブでは、[ページの位置](#) や余白のサイズ、画像単位の印刷部数などを設定します。
6. 必要に応じて [キャプション](#)、[ヘッダー](#)、[フッター](#) を追加します。
7. **【プリント】** をクリックします。

すべての画像を印刷するには:

1. 表示モードで、**【ファイル】** メニューにある **【すべての画像の印刷】** をクリックします。
2. 「**印刷レイアウト**」のセクションで、下記のいずれかを実行します:
 - **【フルページ】** を選択し、**【フォーマット】** リストから印刷サイズを選びます。
 - **【コンタクトシート】** を選択し、**【コンタクトシートのフォーマット】** オプションを設定して、[コンタクトシート](#) の外観を定義します。
 - **【レイアウト】** を選択し、希望するレイアウトオプションを 1 つ選択します。
3. **【プリンタオプション】** タブで、[使用するプリンタを指定](#) し、用紙サイズ、部数、印刷範囲、解像度などを選択します。

4. **【ページ設定】**タブでは、ページの **画像の位置** や余白のサイズを指定します。
5. 各画像の印刷部数を指定します。**【フルページ】** または **【コンタクトシート】** を印刷する場合は、**【ページ設定】** タブでこのオプションを使用できます。**【レイアウト】** を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
6. 必要に応じて **キャプション、ヘッダー、フッター** を追加します。**【フルページ】** または **【コンタクトシート】** を印刷する場合、キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加することができます。
7. **プリント** をクリックします。

オリジナルの表示

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。

オリジナル画像を表示する手順:

1. 表示モードで、現像または編集された画像を選択します。
2. 画面下のツールバーの **オリジナルを表示** ボタンをクリックし、ホールドします。
マウスボタンを放すと、現像済みまたは編集済みの画像が表示されます。

変更の確定

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。現像または編集した画像をそのまま保持する場合には、オリジナル画像として保存し、画像に加えた変更を確定します。これによって保存されたサイドカーファイルやオリジナルは削除され、現像済みまたは編集済みオーバーレイアイコンが除去されます。これは画像が現像または編集済みであることを示すアイコンです。

画像に加えた変更を確定する手順:

1. 管理モードまたは表示モードで、現像または編集された画像を選択します。
2. **ツール | プロセス | 変更の確定** をクリックします。

画像をズームする

表示モードで画像を表示する際、ズームツールを使用して、表示中の画像サイズを拡大または縮小することができます。表示モードウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。



RAW 画像をズームする際、カラー、ライト、ディテールが大幅に変化して見えることがあります。これは **【埋め込みプレビュー】** チェックボックスを **【全般】** タブ (**【オプション】** ダイアログボックスにあります) で選択していると発生する場合があります。このオプションにより画像の埋め込み JPEG が表示されますが、埋め込み JPEG の解像度を超えてズームインすると、そのズームレベルで画像を表示できるように、ACDSee によって RAW 画像がデコードされます。画像が ACDSee によってデコードされている間、**【ズーム】** ツールの反応が遅くなることがあります。詳細につきましては、**「RAW 画像を表示する」** のトピックをご覧ください。

画像を拡大または縮小するには:

- 画像を一回クリックすると既定の表示サイズと原寸サイズでの表示を切り替えます。
- **【ツール】** メニューから **【ズーム】** をクリックし、ズームメニューオプションから 1 つ選択します。

ズームメニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
実際のサイズ	オリジナルの画像サイズで画像を表示します。
イメージに合わせて表示	表示モード ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	表示モード ウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示	表示モード ウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズーム レベルを変更する場合、表示するすべての画像に変更されたズーム レベルが適用されます。
選択範囲を拡大	ズームレベル を選択することができる [ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
パンの固定	画像の パン 領域を固定します。



【画面に合わせて表示】を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。



既定の画像表示方式を変更するには、[ツール] メニューから [ズーム] を選択し、原寸表示、画面に合わせて表示、幅に合わせて表示、高さに合わせて表示 のいずれかを選択します。



ツールバーにある [ズーム固定] ボタンを切り替えて、[ズーム固定] をオンにしたりオフにすることができます。



ズームレベルを設定する

[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを使って、表示モードのズーム レベルを設定することができます。

特定のズーム レベルを設定するには:

1. [ツール] メニューから [ズーム] そして [倍率指定...] を選択します。
2. [ズーム レベル] 領域から、次のいずれかを選択します:
 - **画面に合わせて表示**: ウィンドウに画像全体が収まるように、画像をズームします。
 - **幅に合わせて表示**: ビューアの幅に合わせて、画像をズームします。
 - **高さに合わせて表示**: ウィンドウの高さに合わせて、画像をズームします。
 - **倍率指定**: 特定のズーム倍率を指定します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
3. この設定を表示モードのズーム レベルの既定値として使用するには、[このズーム レベルで固定する] チェックボックスをオンにします。表示モードでは、すべての画像が指定されたズーム レベルで表示されます。
4. **OK** をクリックします。



【画面に合わせて表示】を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

画像を自動拡大/自動縮小する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [表示] ページの設定を使用して、ACDSee ウィンドウのサイズに合わせて画像を自動的に拡大または縮小することができます。ズーム オプションの組み合わせについての詳細は、下の「ズーム モードとサイズ変更の結果」の表をご参照ください。

画像を自動拡大 / 自動縮小するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**をクリックします。
2. **【ACDSee オプション】**ダイアログボックスの**【表示モード】**から**【表示】**をクリックします。
3. 「ズーム オプション」セクションで、**【ズーム モードの既定値】**ドロップダウン リストからオプションを選択します：
 - **実寸表示**：画像のオリジナルサイズを保持します。
 - **幅に合わせて表示**：表示モード ウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **高さに合わせて表示**：表示モード ウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更します。
 - **画面に合わせて表示**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更します。
4. **【サイズ変更】**ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します：
 - **縮小のみ**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像を縮小します。
 - **拡大のみ**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、小さい画像を拡大します。
 - **拡大または縮小**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像は縮小、小さい画像は拡大します。
5. **OK** をクリックします。

ズーム モードとサイズ変更の結果

	イメージに合わせて表示	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像を縮小します。 表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて縮小されます。 表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて縮小されます。 表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さい画像は、表示モード ウィンドウのサイズに合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。	小さい画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて拡大されます。 表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像は縮小、小さい画像は拡大されます。	大きい画像は縮小し、小さい画像は拡大して、ビューアの左右に合わせてみます。	大きい画像は縮小し、小さい画像は拡大して、ビューアの上下に合わせてみます。



【画面に合わせて表示】を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

拡大された画像のサムネイルを表示する

ナビゲータ ペインを使って、拡大された画像のサムネイルを表示します。表示モード内で表示されている画像の領域は、マーカーで囲まれます。

ナビゲータ ペインを使用するには:

1. 表示モードで、**【ペイン】** から**【ナビゲータ】**をクリックします。
2. ナビゲータ ペインのスライダをドラッグして、表示モードで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータ ペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

クイック ナビゲータ ペインを使用するには:

1. 表示モードで、下ツールバーにある【ナビゲータ】ボタンをホールドします。
2. ナビゲータペインのマーカーをドラッグして、表示モードで見た画像の領域に移動します。

拡大された画像のパンニング

表示モードでは、大きい画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分をパンニングすることができます。ACDSeeのウィンドウサイズよりも大きな画像を扱う場合は、[スクロール] ツールを使うことになり、カーソルが手の形に変わります。

画像をパンニングするには:

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。<Ctrl> キーをホールドすると、移動の速度が速くなります。一方 <Shift> キーをホールドすると、移動の速度が遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定] 設定を使用すると、複数の大きい画像を表示する際、画像の同じ部分を表示モードの中心として自動表示することができます。

パンを固定するには:

1. 表示モードで、大きい画像の上をパンニングし、表示したい部分を指定します。
2. [ズーム](#) メニューを使用して、画像に適切なズームになるまで調整します。
3. 【ツール】メニューから【ズーム】そして【ズーム固定】を選択して、現在のズームレベルを保持します。
4. 【ツール】メニューから【ズーム】そして【パンの固定】を選択します。

ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大/自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには:

1. 表示モードで、【ペイン】から【虫めがね】をクリックします。
2. 画像の任意の領域にカーソルを移動して、その領域を虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します:
 - 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
 - 【固定】チェックボックスをオンにして、元の画像サイズにスライダの設定を適用します。【固定】チェックボックスをオフにして、表示モード内で画像の拡大部分にスライダの設定を適用します。
 - 【スムーズ】チェックボックスをオンにして、画像の拡大部分にアンチエイリアスを適用します。画像のピクセルを表示するには、【スムーズ】チェックボックスをオフにします。

Chapter 6: 現像モード

[現像] モードでは RAW、JPEG およびその他の形式ファイルを非破壊編集することができます。RAW 画像は [現像] モードで調整を行うことをお勧めします。

[現像] モードでは次の作業が可能です：

- **画像の調整**：露出、ホワイトバランス、ライティング、色、トーンカーブ、ソフトフォーカス、効果、スプリットトーン、切り抜き後の周辺光量補正などのツールの使用や、RAW 画像の出力色空間の設定を行います。
- **ディテールの調整**：シャープネス、ノイズ除去、スキントーン、色収差の補正などのツールを使用します。
- **ジオメトリの修正**：レンズの歪み、回転 & 傾きを直す、透視、トリミング、ヴィネット補正などのツールを使用します。
- **修復**：赤目補正ツールまたは画像の修整ツールが利用可能です。

現像モードを使用する

「現像」で行った変更は、画像全体に適用されます。「現像」で画像を調整しても、オリジナルファイルが変更されることは決してありません。変更は別のファイル内に保存され、画像を開くたびにそれらの変更が適用されるという仕組みになっています。そのため、画像の非破壊編集処理を行うことができるので、画像調整を出来る限り「現像」で行うようにお勧めします。

現像済みの画像を「現像」モードで開くと、最後にその画像を処理した時の設定で開かれます。そのため、いつでも画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、調整したりすることができるため大変便利です。

現像設定がどのように保存されるかについての詳細は、[ACDSee が画像の変更を保存する方法](#)をご覧ください。

画像を現像する

画像を現像するには：

1. **[現像]** モードを選択します。
2. [現像] モードの [調整] タブで、[\[全般\]](#)、[\[ホワイトバランス\]](#)、[\[Light EQ™\]](#)、[\[カラー EQ\]](#)、[\[トーンカーブ\]](#)、[\[ソフトフォーカス\]](#)、[\[効果\]](#)、[\[スプリットトーン\]](#)、[\[切り抜き後の周辺光量補正\]](#) を選択します。[\[出力色空間\]](#) を選択します。
3. [ディテール] タブから、[\[シャープネス\]](#)、[\[ノイズ除去\]](#)、[\[スキントーン\]](#) または [\[色収差の補正\]](#) を選択します。
4. [ジオメトリ] タブから、[\[レンズ補正\]](#)、[\[回転 & 傾きを直す\]](#)、[\[透視\]](#)、[\[トリミング\]](#)、[\[ヴィネット補正\]](#) を選択します。
5. [修復] タブでは、[修正](#) または [赤目補正](#) をクリックします。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには：

1. **[完了]** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**：変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**：現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**：変更を破棄します。
 - **キャンセル**：画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **[エクスポート]**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

オリジナルの設定に戻す

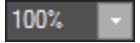
現像で行ったすべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。詳細につきましては、[オリジナル ファイルを復元する](#) をご覧ください。

ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の現像中に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。



露出の調整中は、**[露出警告]**  および **[ヒストグラム]**  プレビューを開くと大変便利です。ヒストグラムの下に、露出オーバーと露出アンダーのピクセルがパーセンテージで表示されます。

ヒストグラム 	現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラム プレビューは、画像に見られるレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルを表しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。ヒストグラムが有効の場合にはアイコンがブルーに、無効の場合にはアイコンがグレーに変わります。 ヒストグラムの下には、ハイライトで詳細が失われていることを示すアイコン  またはシャドウで詳細が失われていることを示すアイコン  が表示されます。これらの 2 つのアイコンの横にある数値は、シャドウまたはハイライトで失われているピクセルをパーセンテージで示したものです。
シャドウとハイライト 	クリッピングを引き起こしているシャドウとハイライトが表示されます。このアイコンをクリック、またはキーボードの E キーを押すと、画像の露出オーバーまたは露出アンダー領域がハイライトで表示されます。シャドウ & ハイライト ツールが有効の場合にはアイコンがイエローに、無効の場合にはアイコンがグレーに変わります。
元に戻す/やり直し 	[元に戻す] は、現在開かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。
リセット 	選択していた設定が破棄され、各グループ用の既定設定に戻ります。グループの 1 つを使用して変更を適用している場合は、リセット ボタンがブルーに変わります。リセット ボタンをクリックして、画像を既定設定に戻します。
プレビュー 	グループ内で行った変更をオン/オフで切り替え表示することができます。このボタンは各グループに搭載されているため、各グループの現像設定を目で確認することが可能です。アイコンが緑色ならグループの変更が表示されます。グレーのアイコンは変更が非表示であることを示しています。
現像の設定 	最後に保存された状態、既定値、あるいは最後に使用された設定にリセットされます。現在のオプションを プリセットとして保存 し、コピーまたは貼り付けることも可能です。
画面に合わせて表示 	画像をフルスクリーンで表示します。F キーを押してフルスクリーン表示に切り替えます。[現像] モードに戻るには、何かキーを押します。
実際のサイズ 	現行の画像を原寸で表示します。
ナビゲータ 	ナビゲータアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲータアイコンをクリックすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の一部領域上でカーソルを離して決定します。
イメージに合わせて表示 	現像モードの領域に合わせて画像を縮小します。
オリジナルの表示 ズーム スライダー 	変更をオン/オフで切り替えるため、オリジナルと比較することができます。 右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズーム ドロップダウン リスト 	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。

画像を表示する

スクリーンの下にあるフィルムストリップから画像をクリックして、他の画像を表示することができます。または【完了】ボタンの横にある矢印をクリックして、現像モードで画像を開くことができます。

表示をカスタマイズする

ユーザーのワークフローに合わせて、[現像](#)や[編集](#) ペインをカスタマイズすることができます。

また、ペイン内でグループを展開、折りたたむかを指定することも可能です。**【表示】**メニューから次を選択します：

- **すべてのグループの展開**：ペイン内のすべてのグループを展開表示します。
- **すべてのグループの折りたたみ**：開かれているすべてのグループを折りたたんで表示します。
- **グループの自動折りたたみ**：このオプションは既定値として設定されています。作業中のグループを開いたままで、その他のグループは自動的に折りたたんで表示されます。ペイン内でグループ間をスクロールする必要があるため、作業しやすい設定と言えます。
- **フィルムストリップ**：フィルムストリップをオンとオフで切り替え表示します。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートする

ACDSeeを使用して、画像を複数の画像フォーマットと解像度にエクスポートすることができます。

画像を複数のフォーマットと解像度にエクスポートするには：

1. **【現像】**モードで、希望する現像設定を選択します。
2. **【保存】**をクリックしてから、**【エクスポート】**を選択します。
3. **【エクスポート】**ダイアログボックスでの選択については下の表をご確認ください。

エクスポート オプション

保存先	ソース フォルダ内	ソース画像が現在保存されているのと同じフォルダに保存する場合にこのオプションを選択します。 [新規のサブフォルダを作成する] チェックボックスを選択すると、ソースフォルダ内にサブフォルダを作成してそこにファイルを保存します。
	フォルダを指定	このオプションを選択すると、保存先フォルダの場所を指定することができます。
ファイル名	テンプレートを使って名前を変更する	テンプレートを使用して出力するファイル名を指定します。テンプレートを使用しない場合、ファイル名は変更されません。同名のファイルが存在する場合は、アンダースコアと番号がファイル名の末尾に追加されます。
	テンプレート	【テンプレートを使って名前を変更する】 チェックボックスを選択すると、ファイル名変更のテンプレートを作成することができます。連続する数字またはアルファベットを指定した新しいファイル名、オリジナルのファイル名、画像のメタデータをベースにしたファイル名などを使用することが可能です。
	テンプレートフィールド	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 元のファイル名を使用したい場合は、テンプレートにアスタリスク (*) を 1 つ挿入します。数字またはアルファベットを挿入するには、シャープ (#) を使用します (複数可)。 ドロップダウンリストの矢印をクリックすると、最近使用したテンプレートを選択できます。
	挿入 メタデータ フィールド	名前テンプレートにファイル固有の情報を挿入します。 テンプレート フィールド内をクリックした後、 挿入 メタデータ フィールド を選択すると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが表示されます。挿入したいメタデータを選択して OK をクリックします。
	挿入 連続する番号	テンプレートに挿入されたシャープ (#) は、連続する数字またはアルファベットに置き換えられます。数字またはアルファベットのいずれかは後述のオプションで選択します。
	挿入 オリジナルのファイル名	テンプレートに挿入されたアスタリスク (*) は、オリジナルのファイル名に置き換えられます。
フォーマット	挿入 連続する番号 オプション	最初の文字または番号を指定します。
	開始番号	
	ファイル フォーマット	エクスポートする画像のファイルフォーマットを選択します。
	フォーマットの設定	[設定] ボタンをクリックして、選択したフォーマットのオプションを指定します。
	ピクセル フォーマット	選択したフォーマットの色深度を指定します。
	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。

出力サイズ	画像のサイズを変更する	このオプションを選択すると画像のサイズを変更することができます。次のオプションを選択してください:
	サンプル変更方式	このオプションを使用して、画像のサイズ変更方式を指定します: • Box: 画像のサイズを変更した際、タイリングまたはジャギーが目立ちがちになります。 • Triangle: 画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。 • Bicubic: 写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 • Bell: 画像をスムーズにします。 • B-spline: 画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。 • Lanczos: 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。 • Mitchell: 写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。 • ClearIQZ: Bicubic と Lanczos よりも処理時間がかかりますが、ベストな仕上がりになります。
	大きさ	このオプションを選択すると、縦横の方向に関係なく指定したサイズに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチまたは cm で指定します。
	幅と高さ	このオプションを選択すると、指定した幅または高さ内に収まるようにサイズを合わせて画像をエクスポートします。
	長辺	このオプションを選択すると画像の長辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
	短辺	このオプションを選択すると画像の短辺を指定した長さに合わせて画像をエクスポートします。サイズは、ピクセル、インチ または cm で指定します。
	解像度	インチまたは cm 辺りのピクセル数を指定します。
	拡大のみ	指定した高さや幅より小さい画像のみをサイズ変更します。
	縮小のみ	指定した高さや幅より大きい画像のみをサイズ変更します。
	拡大または縮小	すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オリジナルの縦横比を保持	オリジナル画像の縦横比を保持したい場合に選択します。 注意: 長辺または短辺のオプションでサイズ変更した画像は、オリジナル画像の縦横比が保持されます。	
メタデータ	画像にメタデータが含まれており、エクスポートする画像にも同じメタデータとカラープロファイルを含めたい場合にこれらのオプションを選択します。	

オプション: [エクスポート プリセットの新規作成] ボタン  をクリックして名前を指定すると、設定をプリセットとして保存することができます。1 つ以上のプリセットをリストから選択して適用することができます。

4. **[エクスポート]** をクリックします。



プリセットを編集するには、リストでプリセットを選択してから内容を変更し、[現在のエクスポート プリセットを保存] ボタン  をクリックします。

現像設定を共有する

現像設定は、他の ACDSee ユーザーと共有することが可能です。共有するには、データベースから処理設定を .rpp 拡張子の付いたファイルにエクスポートします。そして、該当の画像ファイルとその処理設定を、別の ACDSee ユーザーに送信します。受け取ったユーザーは .rpp 設定を ACDSee データベースにインポートします。ACDSee で画像を開くと、送信者ユーザーの設定が適用された形で画像が表示されます。

RAW ファイルの場合、変更は XMP ファイルに格納されます。そのため RAW ファイル用の設定を共有するには、XMP サイドカー ファイルを使用するのが適しています。

現像設定をエクスポートするには:

1. 管理モードで、共有したい画像を選択します。
2. **【ツール】**メニューから**【データベース】**、**【エクスポート】**、**【RPP ファイル】**をクリックします。[概要] ダイアログに、エクスポート作業の概要が表示されます。
3. **OK** をクリックします。
4. .rpp ファイルは、ソースとなる画像と同じフォルダ内に保存されます。

画像ファイルと .rpp ファイルを別の ACDSee ユーザーに送信する際、それらの画像ファイルと .rpp ファイルを同一ファイル内に格納するように指示してください。

現像設定をインポートするには:

1. 管理モードで、共有された画像を選択します。
2. **【ツール】**メニューから**【データベース】**、**【インポート】**、**【RPP ファイル】**をクリックします。
[概要] ダイアログに、インポート作業の概要が表示されます。
3. **OK** をクリックします。

共有された画像のサムネイルは、処理設定を反映して更新表示されます。

オリジナルファイルを復元する

画像ファイルを一度処理すると、その際使用された設定がデータベース間に保存され、ファイルを開くたびにその設定が適用されます。1 つまたは複数の画像から、現像設定を削除することができます。

1 つの画像から現像設定を削除するには:

1. 管理または表示モードで画像を選択します。現像済みの画像には、オーバーレイアイコン  が付いて表示されます。
2. **【ツール】**メニューから**【処理】**、**【オリジナルに戻す】**をクリックします。

 現像済みの画像上を右クリックして、コンテキストメニューから**【処理】** | **【オリジナルに戻す】**を選択することも可能です。

 画像をオリジナルに戻すと、ACDSee データベースから全ての現像設定が削除されることになりますので、ご注意ください。

現像設定をコピー & 貼り付けする

現像モードでは、設定をそっくりそのままコピーして、他の画像に正確に適用することができます。これで、どんなに複雑や設定や微妙な調整でも設定は一回だけで済み、その設定を他の画像にもすぐに適用でき、時短に繋がります。

 他にも、現像設定を プリセット として使用して他の画像に適用する方法もあります。

現像した画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには:

1. コピーしたい設定を含んでいる画像を [現像] モードで開きます。
2. **【編集】** メニューから **【設定のコピー】** を選択します。
3. [設定にコピー] ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. **OK** をクリックします。
5. 次のいずれかを実行して、設定を貼り付けたい画像を選択します：
 - フィルムストリップで画像をクリックします。
 - **【ファイル】** メニューから **【次の画像を開く】** を選択します。(あるいは **PgDn** キーを押します)。
 - (あるいは **SHIFT + Alt + L** キーを押します)。
6. **【編集】** メニューから **【設定の貼り付け】** を選択します。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復] タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。

現像前（または現像中）の画像から現像設定をコピーして、他の画像に適用するには:

1. 現像モードで画像を調整したあと、**【現像の設定】** ボタンをクリックしてください。
2. **【設定のコピー】** をクリックします。
3. [設定にコピー] ダイアログボックスで、コピーしたい設定を選択します。
4. **OK** をクリックします。
5. 設定を貼り付けたい画像を右クリックして、次の操作を行ってください：
 - フィルムストリップの **【設定のコピー】** をクリックします。
 - 管理モードで、**【処理】**、**【設定の貼り付け】** をクリックします。



[調整]、[ディテール]、[ジオメトリ]、[修復] タブの上に、変更が適用されたことを示す四角いブルーのアイコンが表示されます。



ある画像からコピーした設定を異なるサイズの画像に貼り付けた場合は、その設定は貼り付ける画像のサイズに合わせて自動で変更されます。

現像スナップショットを取得する

現像スナップショットを使用すると、現像ワークフロー中のあらゆるポイントで調整を保存できます。調整を行う過程でスナップショットを利用すれば、そのポイントまでの作業をいつでも保存することができます。これにより、好きなだけ編集を続けた後で、いつでも元のバージョンのスナップショットに戻ることができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されるため、[現像] モードを再開してスナップショットを切り替えたり、編集を続けたり、適用したりできます。

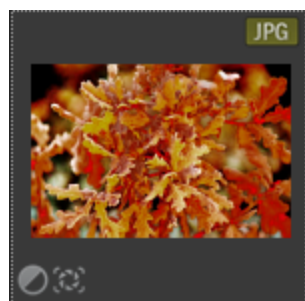
スナップショットを撮影するには:

1. [現像] モードで必要な調整を行います。
2. 現像ペインの一番上にある **【スナップショット】** を押して、スナップショットペインを表示します。
3. **【新規スナップショット】** ボタンを押します。
4. **【新規スナップショット】** ダイアログでスナップショットの名前を入力し、**【OK】** を押します。保存したスナップショットがスナップショットペインに一覧表示されます。





スナップショットのある画像には、[管理]モードでスナップショットアイコンが表示されます。



スナップショットの閲覧

[表示]モードでは、画像と、その画像に保存されたすべてのスナップショットを閲覧できます。[自動レンズ](#)と同じように、適用を確定することなく閲覧できます。



画像とそのスナップショットを閲覧するには:

1. [表示] モードで画像を開きます。

2. ツールバーで [スナップショット] ボタンを押します。



[スナップショット] ボタンは、[現像] モードで作成した現像スナップショット付きの画像を閲覧する場合のみ表示されます。

3. 画像をプレビューするスナップショットを選択します。



スナップショット閲覧時に、[現像] モードを終了せずに画像の保存済みバージョンへと戻りたい場合は、[現像設定を調整] ボタン  をクリックしてメニューから [最後に使用したものを適用] を選択します。

現像でプリセットを使用する

同じ現像設定を他の画像にも使用する場合、その設定をプリセットとして保存することが可能です。プリセットを作成しておくことで、変更の作業や操作を何度も繰り返すことなく、変更を簡単に適用することができるため大変便利です。例えば、コントラスト ツールの値を 25 に、中間調ツールの値を -8 にして画像を補正することが多い場合、この設定をプリセットとして保存しておけば画像のコントラストを素早く変更することができます。また、プリセットを使用することで、設定が一環して適用されることになります。1 つの現像設定、または複数の現像設定をプリセットとして保存することが可能です。



プリセットは幾つでも適用することができます。プリセットを使用するたび、以前行われた設定の上にその設定が新しく適用されます。

プリセットを作成して適用する

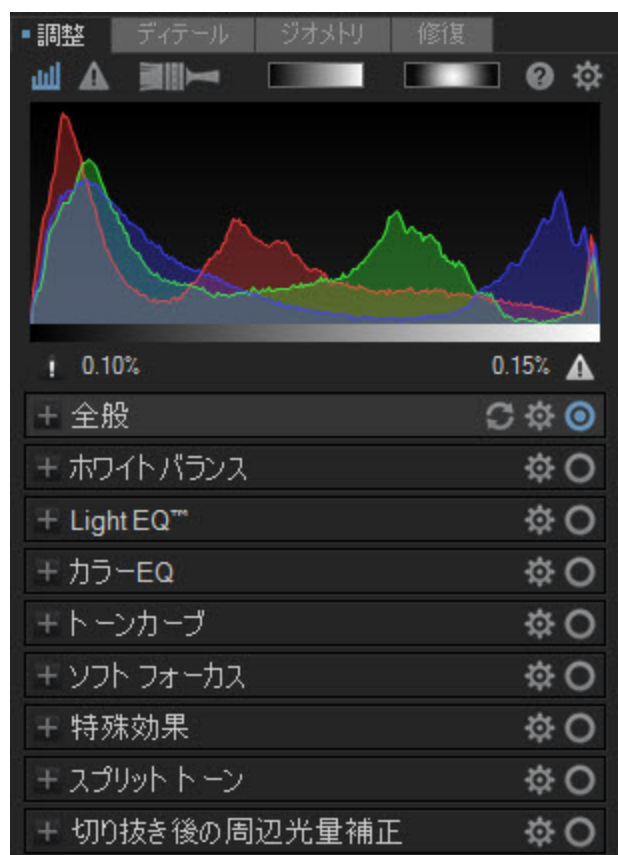
以下に位置している現像設定ボタン  をクリックしてプリセットを作成し、それらにアクセスすることができます。

ペインの上部



ここで作成されたプリセットは、調整、ディテール、ジオメトリ、修復のすべてのタブで行われた処理設定を含みます。このレベルで作成されたプリセットは、管理モードからアクセスできるだけでなく、複数の画像を現像するために使用することが可能です。このレベルで作成されたプリセットは、表示モードからもアクセスすることができ、1つの画像を現像するために使用することが可能です。

タブ:調整、ディテール、ジオメトリまたは修復



いずれかのタブで作成されたプリセットは、異なるグループで使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、調整タブから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。

グループ

いずれかのグループで作成されたプリセットは、そのグループ内で使用された様々な現像設定を含みます。左の例では、全般グループから現像設定を保存する設定ボタンが表示されています。グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。



グループで作成されたプリセットは、そのグループからのみアクセスすることが可能です。

1. 現像モードで画像に必要な調整を行います。
2. ペインの上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
3. メニューから **【プリセットの保存】** を選択します。
4. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットとして保存したい設定を選択します。
5. プリセットの名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

タブからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで **【調整】**、**【ディテール】**、**【ジオメトリ】**、またはタブを選択します。
2. タブで画像に必要な調整を行います。
3. タブの右上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから **【プリセットの保存】** を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

グループからプリセットを作成するには:

1. 現像モードで **【調整】**、**【ディテール】**、**【ジオメトリ】**、またはタブを選択します。
2. グループを選択して必要な調整を行います。
3. グループの右上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
4. メニューから **【プリセットの保存】** を選択します。
5. [現像設定のプリセットを保存] ダイアログで、プリセットに使用する名前を入力します。
6. **OK** をクリックします。

1つの画像にプリセットを適用する

現像モードで、1つの画像にプリセットを適用するには:

1. ペイン、タブまたはグループの上部にある [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. メニューから、使用したいプリセットの名前を見つけて選択します。

選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。



プリセットをフィルムストリップの画像に適用することも可能です。フィルムストリップの画像を選択し、右クリックして **【プリセットの適用】** を選択します。画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

表示モードで、1 つの画像にプリセットを適用するには:

1. 管理モードで画像を選択してから、[表示] モードのタブをクリックします。
画像が表示モードで開かれます。
2. 画像を右クリックし、**【処理】** メニューから **【プリセットの適用】** を選択します。
3. 画像に適用したいプリセットの名前を見つけて選択します。
選択されたプリセットを適用した形で画像が更新されます。

複数の画像にプリセットを一括適用する

複数の画像にプリセットを一括適用すると、時間の短縮だけでなく、ワークフローの効率が大幅にアップします。

複数の画像にプリセットを一括適用するには:

1. 管理モードで、プリセットを適用する画像を選択します。
2. **【ツール】** メニューから **【処理】**、**【プリセットの適用】** をクリックした後、適用するプリセットの名前を見つけて選択します。
選択されたプリセットを適用した形で、画像のサムネイルが更新されます。



複数の画像にプリセットを一括適用して他のフォーマットにエクスポートする方法については、[現像の一括処理を使用する](#) を参照してください。

プリセットの名前を変更する

プリセットの名前をいつでも変更することができます。

プリセットの名前を変更するには:

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. メニューから **【プリセットの管理】** を選択します。
3. [プリセットの管理] ダイアログで、名前を変更したいプリセットを選択してから、**【名前の変更】** をクリックします。
4. プリセットの新規名を入力します。
5. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。

プリセットを削除する

必要のなくなったプリセットを削除することができます。プリセットを削除しても、そのプリセットが既に適用されている画像は変更されません。

プリセットを削除するには:

1. [現像の設定] ボタンをクリックします。
2. メニューから **【プリセットの管理】** を選択します。

3. [プリセットの管理] ダイアログで、名前を変更したいプリセットを選択してから、**【削除】**をクリックします。
4. **OK** をクリックして保存し、ダイアログを閉じます。または **キャンセル** をクリックしてプリセットの削除をキャンセルします。

現像で画像を保存する

現像モードで行われた処理設定はデータベースに保存されますので、次回以降画像を開くたび、現像で最後に使用された調整が適用されます。そのため、画像を元に戻したり、さらに細かい調整を加えたりすることが可能です。現像モードには、画像に変更を保存するためのオプションがあります。

画像を保存する

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。 ファイルの種類に応じて、画像に名前を付けて保存 ダイアログ ボックスの左下に次のオプションが表示されます: • メタデータを保持する:新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する:重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する:オリジナル画像に変更を適用し、コピーも保存します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル:カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェック ボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存:**現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存:**現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】:**1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[保存] は利用できません。

ACDSee が画像の変更を保存する方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいは JPEG のようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSee の保存方法と違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	RAW)	JPEG)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから 【完了】 をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内に、そして ACDSee のデータベース内にも保存されます。	現像処理を行ってから 【完了】 をクリックすると、現像設定は [現像済み] フォルダの XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像は [オリジナル] フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee のデータベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い 【保存】 をクリックすると、別のファイルフォーマットで変更することを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	画像ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の [オリジナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後に「現像」で開くと、編集処理が失われることを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像は、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイルフォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。 RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[現像済み] フォルダ内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから 【保存】 をクリックすると、ACDSee はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行おうとする場合、編集処理が失われることを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像処理の行われたオリジナル画像が開かれます。

新しい RAW 処理エンジンを使用する

ACDSee の RAW 処理パイプラインは、幅広い色域を使用して RAW ファイル内にキャプチャされた色を最大限に引き出します。より広い ProPhoto 色空間により、パイプラインの最後まで省略される色はありません。

ACDSee は Pro 3 以前のバージョンで現像された画像の RAW 処理のパイプラインをエミュレートすることができます。しかしながら、ACDSee の改善された RAW 処理をフルに活用したい場合、以前現像処理された RAW 画像から処理設定を削除して最新の ACDSee のパイプラインに移動することができます。

1 つめのオプションは、**オリジナルに戻す** コマンドを使用して、ACDSee 内で RAW 画像を再度現像する方法です。別のオプションは、ACDSee のパイプラインに変換したいけれども、Pro 3 からジオメトリの設定などの現像設定を維持したいような場合、プリセットを作成して特定の現像設定を保持し、必要のない設定をクリアにする方法です。

いくつかの現像設定を保持しながら ACDSee RAW 処理のパイプラインを使用するには:

1. ACDSee の「現像」で、未処理の RAW 画像を開きます。
2. 現像のプリセットを作成 し、[現像設定のプリセットの保存] ダイアログボックスから、グループの下にあるを選択します。元のカラー、コントラスト、露出は ACDSee の RAW 処理エンジンによって非常に異なるため、アドバンスカラー、自然な彩度、コントラスト、露出の設定を追加するようにお勧めします。
3. プリセットの名前を入力し **[OK]** をクリックします。
4. ACDSee 内でこのプリセットを適用すると、Pro 3 で現像されたあらゆる画像が、新しい処理パイプラインに変換されます。(右クリックして **処理 | プリセットの適用** をクリックして、プリセットを選択します。

現像ブラシを使用する

現像ブラシは写真の一部にさまざまな微調整を適用するために設計されたツールです。効果を現像ブラシで写真に塗るだけで、写真の露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、かすみ除去、シャープネスなどを選択的に調整することができます。例えば、写真全体にフィルライトを追加するのではなく、一部（例えば逆光）の領域だけに追加することが可能です。画像の個々の領域に 7 種類のブラシを適用し、それぞれ異なる設定を適用できます。

現像ブラシ

現像ブラシボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

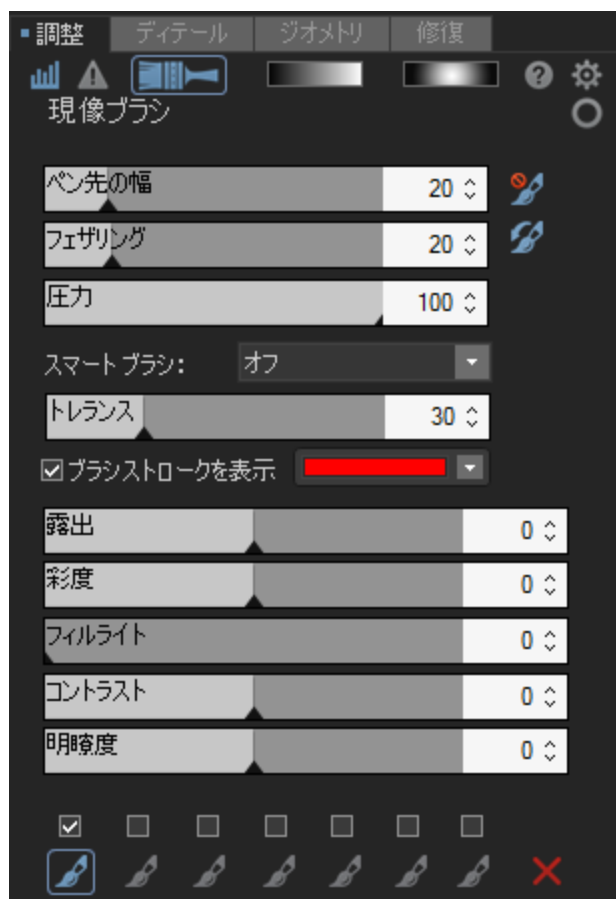
現像ブラシを使用するには:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある **ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシパネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. パネルのブラシ設定を指定します。
3. 写真に効果を描画します。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (7 つまで可能) を適用するには、ペインの下にある次のブラシをクリックして有効にします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、そのブラシが有効である、という意味です。現在有効なブラシのアイコンには青い四角が表示されます。ブラシをクリックして選択を切り替えることができます。白いブラシはまだ使用されていないことを意味します。ブラシの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **適用** または **完了** をクリックします。



ブラシボタンの上にマウスポインタを移動すると、そのボタンのブラシストロークが画像に表示されます。ブラシストロークは **ブラシストロークを表示** チェックボックスの右に表示されている色で表示されます。(既定の色は赤です。)もしくはSキーを押下するとブラシストロークを表示できます。



すべてのスライダーがゼロの場合、画像に変更は適用されませんので、ブラシストロークは選択した色でそのまま表示されます(にチェックが入っている場合)。

ブラシストロークを削除するには:



削除したブラシを選択して  ボタンをクリックします。チェックボックスをはずすだけだとブラシストローク自体は削除されず、再度チェックを入れた場合にまた表示されます。

現像ブラシのオプション

ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。 マウスホイール を使用してペン先の幅を変更するか、 ペン先の幅 スライダを使用します。
フェザリング	スライダでブラシストロークと画像の間のトランジションの濃淡の調整ができます。 SHIFT + マウスホイール を使用してフェザリングの量を調整するか、または フェザリング スライダを使用します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ ストロークの追加	マウスの左ボタン を押しながら描画します。
ブラシ ストロークの消去	マウスの右ボタン を押しながら描画します。
すべてのブラシストロークをクリア	 現在選択されているブラシのすべてのブラシストロークを画像から消去します。
すべてのブラシストロークを反転	 現在選択されているブラシのブラシストロークを反転します。つまり、ブラシを適用した領域から効果が消え、適用しなかった領域に効果が適用されます。これは画像の大部分に効果を適用したい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
スマート ブラシ	下記の「 スマート ブラシ 」セクションを参照してください。
ブラシ ストロークを表示	このオプションが有効の場合、現在選択されているブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合に便利です。赤い部分をクリックして色を変更することができます。

ディテール タブの現像モード:

シャープネス	スライダを右にドラッグするとシャープネスにブラシがかかり、左にドラッグするとぼかしにブラシがかかります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



ブラシパネルを終了するには、現像ブラシボタンをクリックします。



スマート ブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

スマート ブラシを使用するには:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある **ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、ブラシパネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. スマート ブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	ブラシ ストロークの中央とピクセル値が同じである色 (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
明るさ	ブラシ ストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。
マジック	ブラシ ストロークの中央とピクセル値が同じである色と明るさの値の組み合わせ (しきい値設定によって異なる) を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。

- しきい値スライダを使って、スマート ブラシ効果のピクセルの範囲を増減させます。
- 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、効果のペイントを開始します。
- スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (7 つまで可能) を適用するには、ペインの下にある次のブラシをクリックして有効にします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、スマートブラシが有効である、という意味です。現在有効なスマートブラシのアイコンには青い四角が表示されます。ブラシをクリックして選択を切り替えることができます。青いブラシはスマートブラシが使用されていることを意味します。ブラシの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

- 適用 または 完了 をクリックします。



SHIFT を長押しするとスマート ブラシが一時的に無効になります。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマート ブラシをオフにするには:

スマート ブラシのドロップダウンメニューから**オフ**を選択します。

グラデーション ツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあるでしょう。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、露出を写真全体に均一に適用するのではなく、画像の一部の領域でだけ効果を強調したり弱めたり、また一部には適用しない場合などです。

グラデーション ツール

グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

グラデーション ツールを使用するには:

- 現像モードの調整とディテールタブの **グラデーション** ボタン  はペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、グラデーション パネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
- 次の表にあるとおり、パネルのグラデーション設定を指定します。
- 画像上でガイドを移動します。ガイド ボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドでは、グラデーション ツールによって効果が適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**SHIFT** キーを押しながら、ボックスを動かすと45°の角度でガイドを移動することができます。
- スライダーを変更して効果を調整します。

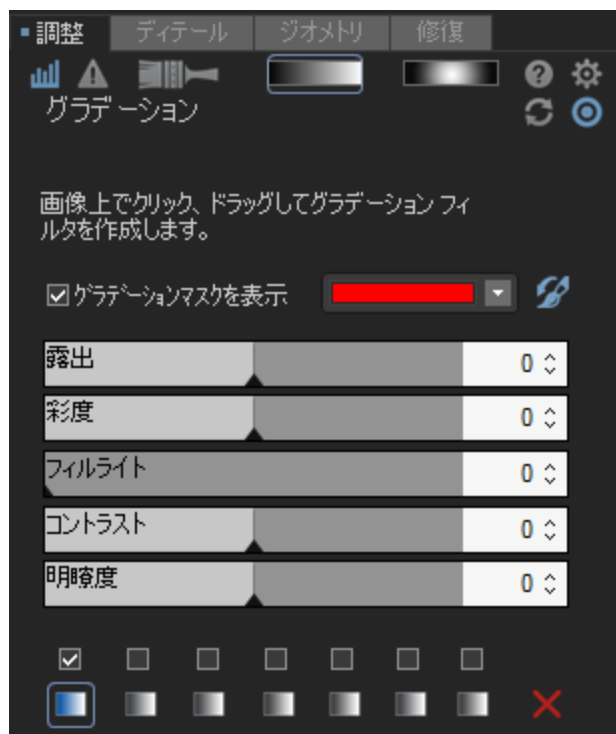


別のグラデーション (7 つまで可能) を適用するには、ペインの下にある次のグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、そのグラデーションが有効である、という



意味です。現在有効なグラデーションのアイコンは青い四角が表示されます。グラデーションをクリックして選択を切り替えることができます。青いグラデーションはすでにまだ使用されたことを意味します。グラデーションの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **適用** または **完了** をクリックします。



グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えてグラデーションを反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくはキーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

ディテール タブのグラデーションツール:

シャープネス

スライダを右にドラッグするとグラデーションのかかった領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとグラデーションのかかった箇所にぼかし効果が適用されます。



グラデーション モードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



放射状グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。

放射状グラデーション ツール

放射状グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

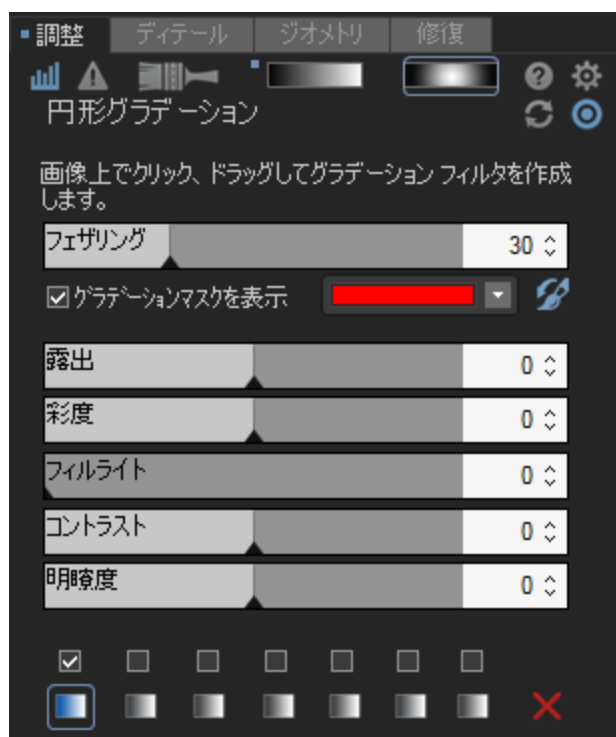
グラデーション ツールを使用するには:

1. 現像モードの調整とディテールタブの **放射状グラデーション** ボタン  はペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、放射状グラデーション パネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルの放射状グラデーション設定を指定します。
3. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションツールで適用した効果は、効果のない箇所（円の中）と効果が強い箇所（円の外）が出会う円の境目で、遷移します。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。これらのガイドを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**SHIFT** キーを押しながら、ボックスを動かして放射状グラデーションを変更して円を仕上げます。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション（7 つまで可能）を適用するには、ペインの下にある次のグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。チェックが入っていれば、そのグラデーションが有効である、という意味です。現在有効なグラデーションのアイコンは青い四角が表示されます。グラデーションをクリックして選択を切り替えることができます。青いグラデーションはすでにまだ使用されたことを意味します。グラデーションの有効/無効は、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **適用** または **完了** をクリックします。



グラデーション ツール オプション

フェザリング	スライダーを動かして、グラデーションのトランジション部分のグラデーション効果を調整してください。
グラデーションの反転	 グラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部 (円形のガイドの中) に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。
グラデーションマスクを表示	 このオプションが有効の場合、グラデーション マスクが選択されている色で表示されます。もしくはキーを押下するとグラデーション マスクを表示 できます。
ディテール タブの放射状グラデーションツール:	
シャープネス	スライダーを右にドラッグすると放射状グラデーションの円の外側の領域にシャープネス効果が追加され、左にドラッグするとぼかし効果が適用されます。



円形ガイドの外側にある + をダブルクリックして、放射状グラデーションを画像の幅いっぱいに展開します。



グラデーション モードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。



調整タブについて

調整タブには、露出、ホワイトバランス、自然な彩度、明るさ、色相、カラープロファイルなどを調整するツールが搭載されています。

調整タブを使用するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [\[全般\]](#)、[\[ホワイトバランス\]](#)、[\[Light EQ™\]](#)、[\[カラー EQ\]](#)、[\[トーンカーブ\]](#)、[\[ソフトフォーカス\]](#)、[\[効果\]](#)、[\[スプリットトーン\]](#)、[\[切り抜き後の周辺光量補正\]](#)、または[\[出力色空間情報\]](#)グループを選択して画像を現像します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **[完了]** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存:** 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄:** 変更を破棄します。
 - **キャンセル:** 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェック ボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】**をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。([編集] | [コピー] に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、[保存] は利用できません。

全般調整を使用する

[全般] グループでは、画像全体の調整を行うことができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

[全般] で現像処理を行うには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [全般] から、以下の表を参考にして調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

露出	スライダーを右に移動して露出の量を増やすか、左に移動して露出の量を減らします。eV ひとつは露出変化 1 段に相当します。
ハイライト	スライダーを右にドラッグして、露出オーバーの領域にある詳細を引き出します。
フィルライト	スライダーを右にドラッグし、画像の暗い領域にライトを追加します。
コントラスト	スライダーを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。
彩度	スライダーを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
自然な彩度	スライダーを右に移動して自然な彩度の量を増やすか、左に移動して自然な彩度の量を減らします。自然な彩度を増やしても、画像のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色に等しく影響するわけではありません。
明瞭度	明瞭度ツールは画像の詳細に鮮明度を追加します。明瞭度スライダーは、影とハイライトを強調せずに中間調のコントラストを高めます。スライダーを右に移動して明瞭度の量を増やすか、左に移動して明瞭度の量を減らします。
かすみの除去	かすみ除去ツールにより、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元します。これは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。スライダーを右へ動かすほど、かすみが減少します。



[設定] ボタン  を使用して、最後に保存された設定、あるいは最後に使用された設定にスライダをリセットします。現在のオプションを プリセット として保存し、コピーまたは貼り付けることも可能です。

eV に関するテクニカル解説

eV は exposure value (露出値) を略したものです。画像を撮影する際、露出は F 値 つまり絞り値、そしてシャッタースピード、ISO によって決定されます。一般的に、カメラは内蔵された光測定に基づいて、最適な露出を自動的に検出した後、その値に合わせて F 値とシャッタースピードを設定します。ただし、晴天あるいは暗い場所での撮影でカメラの光測定が適切に行われなかった場合は、F 値とシャッタースピードが不適切に設定されます。その結果、露出アンダーまたは露出オーバーの画像が生成されます。[露出] スライダを使用すれば、画像撮影時の不適切な設定によって引き起こされた露出问题を補正することができます。

ホワイトバランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除することができます。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [ホワイトバランス] グループで、以下のいずれかを実行します:
 - 画像のグレーのピクセルをマウスで選択してホワイトバランスを自動調整します。
 - 後述する方法でホワイトバランススライダを手動で調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイトバランス オプション

ホワイトバランス	RAW 画像の場合、以下のホワイトバランスの補正オプションから 1 つを選択します： ● 撮影時：自動的に選択されます。写真の撮影時に使用されたカメラのホワイトバランス設定を適用します。 ● 自動：画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 ● 晴れ：晴れの日の中午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● 曇り：少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 ● 影：雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 ● タングステン：一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 ● 蛍光灯：蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 ● フラッシュ：カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● カスタム：「温度」と「ティント」を調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックします。 JPEG のようにエンコード可能な画像は、以下のホワイトバランスの補正オプションから 1 つを選択します： ● 撮影時：自動的に選択されます。写真の撮影時に使用されたカメラのホワイトバランス設定を適用します。 ● 自動：画像を分析した後、色温度とティントを自動的に設定します。 ● カスタム：「温度」と「ティント」を調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックします。
色温度	[色温度] スライダーを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
ティント	[ティント] スライダーを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
強度	スライダーを右に移動してホワイトバランスの調整を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。

ライティングを調整する

[ライト EQ™] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域のトーンレベルを調整することができます。トーンレベルとは、ピクセルの明るさとその周辺のピクセルを平均したものです。

また同時に暗すぎる領域の暗さを明るく、明るすぎる領域の明るさを暗くすることができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くはつきりと顔が見られないけれども背景の明るさは調整しなくても大丈夫な写真、が挙げられます。現実問題として、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されるため、シャドウとハイライトを使用して微調整をすると出来上がりに大きな差がでます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からライティングを除去するには：

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. ライト EQ™ グループのドロップダウンメニューで **ベーシック**、**イコライザ**、**アドバンス** のいずれかのモードを選択し、次のいずれかの操作を行います。
 - 調整したい領域を選択して、左クリックし、マウスを上ドラッグして明るく、下ドラッグして暗くします。
 - 後述する方法でライティングを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ベーシック ライト EQ™

ベーシックは、3つのスライダーを使用するだけのシンプルで簡単な調整方法です。画像のある領域(通常は画像の被写体)を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

ベーシック ライト EQ™ オプション

シャドウ	スライダーを右にドラッグするとシャドウが明るく、左にドラッグするとシャドウが暗くなります。
中間調	スライダーを右にドラッグすると中間調が明るく、左にドラッグすると中間調が暗くなります。
ハイライト	スライダーを右にドラッグするとハイライトが明るく、左にドラッグするとハイライトが暗くなります。
自動	[自動] ボタンをクリックすると、ACDSee は画像のライティングを自動調整します。

標準のライト EQ™

イコライザは、サウンド イコライザの光(ライト)バージョンと例えるのがふさわしいタブです。画像の異なるトーンバンド(相対的に明るいまたは暗い領域)の明るさとコントラストを、該当するトーンバンドのスライダーを使用して個別に調整します。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングや詳細が失われないために表示されています。ピンクの領域は調整されたスライダーのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。

標準のライト EQ™ オプション

明るさのスライダー (上に位置するスライダー)	スライダーをドラッグして、各トーンバンドの輝度を増加します。左側のスライダーは暗いトーンに反映されます。右側のスライダーは明るいトーンに反映されます。スライダーを移動すると、そのトーンバンドにある輝度の量のみが変更します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。
暗さのスライダー (下に位置するスライダー)	スライダーをドラッグして、各トーンバンドの暗さを増加します。左側のスライダーは暗いトーンに反映されます。右側のスライダーは明るいトーンに反映されます。スライダーを移動すると、そのトーンバンドにある暗さの量のみが変更します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。
グラフ	グラフは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示します。水平軸の上にある部分は明るさを、水平軸の下にある部分は暗さを表しています。同一のトーンバンドで明るさと暗さが変更された場合、コントラストが激しくなります。つまり、グラフの上部の明るい領域と、グラフの下部の暗い領域は、そのトーンレンジのコントラストが相対的に増えていることを示します。グラフまたは画像上を左クリックして、双方向矢印をドラッグアップすると明るくなり、ドラッグダウンすると暗くすることができます。
トーンバンド数	各トーンバンドをドラッグして、カーブを調整します。

高度なライト EQ™

アドバンス タブでは、画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。スライダーを使用してカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

グラフ

グラフの上部は明るさを、下部は暗さを表しています。シャドウのトーンレベルは左に、中央は中間調、右はハイライトを表しています。

グラフの明るいグレーの領域は、画像に適用された明るさまたは暗さの量を示しています。グラフの暗いグレーの領域は提案された境界で、この領域が赤に変わると、調整された領域が大きすぎたため詳細が失われてしまったことを示します。画像上にカーソルを動かすと、2つの黄色い垂直線がカーソル下にあるトーンレベルの上下を示すため、調整の中間領域を見つけることができます。

高度なライト EQ™ オプション

領域	操作	結果
スライダ	【明るくする】スライダをドラッグ	右に移動する: 暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する: 画像のすべての領域に、明るさが一様に増加します。
	【暗くする】スライダをドラッグ	右に移動する: 画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する: 画像のすべての領域に、暗さが一様に増加します。
	【明るくする】の【振振幅】をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 明るさとカーブの高さの強度が減少します。 振振幅スライダが 0 の場合: 明るさを一切適用しません。 振振幅スライダが 100 - 200 の場合: 数字に比例して切り取られる量が増加します。 ほとんどのケースでは、110 が適切な振幅の値です。ハイライトの領域に詳細が見られる画像では、[明るくする] の [振振幅] の値を下げると、その詳細を保つことができます。 ほとんどの場合、振振幅を調整する必要はありません。
	【暗くする】の【振振幅】をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 暗さとカーブの高さの強度が減少します。
グラフ	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を左クリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる、最大量を示します。 グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダが、自動的に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振振幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。(振幅の値 100 はクリッピングを発生させない最大の振幅値です。
	グラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を右クリックして下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる、最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像	左 マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右 マウスボタンでダブルクリック	画像のその領域に最適な「暗くする」の「圧縮」値を自動設定します。

<CTRL>キー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	そのトーンレベルの周りにある明るさの量を増やし、それ以外の画像領域を暗くします。 特定のサブジェクトを素早く明るくする、または特定のサブジェクトを画像から浮き立たせたい場合に使用します。
<CTRL>キー + 右マウスボタンを押した状態でダブルクリック	そのトーンレベルの周りにある暗さの量を増やし、それ以外の画像領域に見られる暗さの量を減らします。
画像上をマウスホイールでスクロールアップまたはダウン	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
<SHIFT>キー + 画像上をマウスホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
<A> キーをホールド +スクロール または +ドラッグ 左マウスボタンを押した状態	[明るくする] の [振幅] スライダーを直接設定します。
<A> + <SHIFT> キーをホールド +スクロール または +ドラッグ 右マウスボタンを押した状態	[暗くする] の [振幅] スライダーを直接設定します。
左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの振幅が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
<SHIFT>キー + 左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)

カラーを調整する

カラー EQ により彩度、明るさ、色相の色補正が可能です。標準モードで画像全体に調整を加えたり、標準または高品質モードで色ごとに調整することが可能です。各コントロールに関する詳細につきましては、下の表をご覧ください。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

カラーを調整するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [カラー EQ] グループでは、[彩度]、[明るさ]、[色相] のいずれかのタブを選択し、以下の表で解説されているオプションに従って、これらを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

カラー EQ オプション

[カラー EQ] ドロップダウンメニューから [高品質] モードまたは [標準] モードを選択します。個々の色を調整するには、画像の色を左クリックしてマウスを上下にドラッグします。高品質モードではカラー-sliderが、標準モードではグラフがそれぞれマウスの動きに合わせて変化します。彩度、明るさ、色相タブ、共に同様です。

高品質

画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。

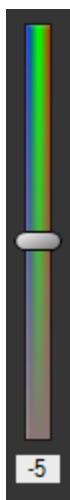


個々の色 slider を右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動し、双方向矢印アイコンを表示して細かい調整を行うこともできます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色の slider が自動調整されるのを確認します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか全体的な調整を行います。

縦のスライダ



画像全体に調整を適用します。左手にあるスライダの効果は、各タブによって次のように異なります:

- **彩度:** 飽和(スライダ上)からグレースケール(スライダ下)まで調整することができます。
- **明るさ:** 画像の明るさ(スライダ上)から暗さ(スライダ下)まで調整することができます。
- **色相:** 別の色に変更します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

各カラー スライダ

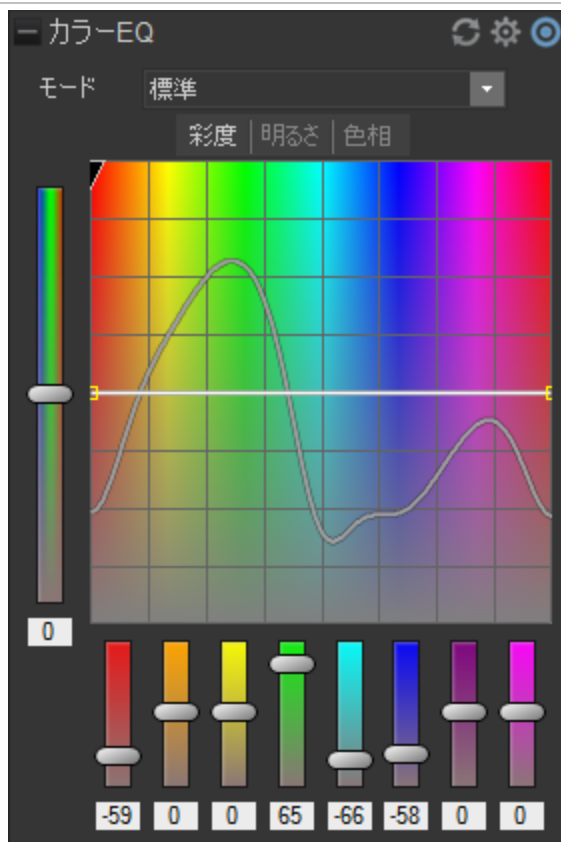


スライダを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、そのスライダをクリック & ドラッグします。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する

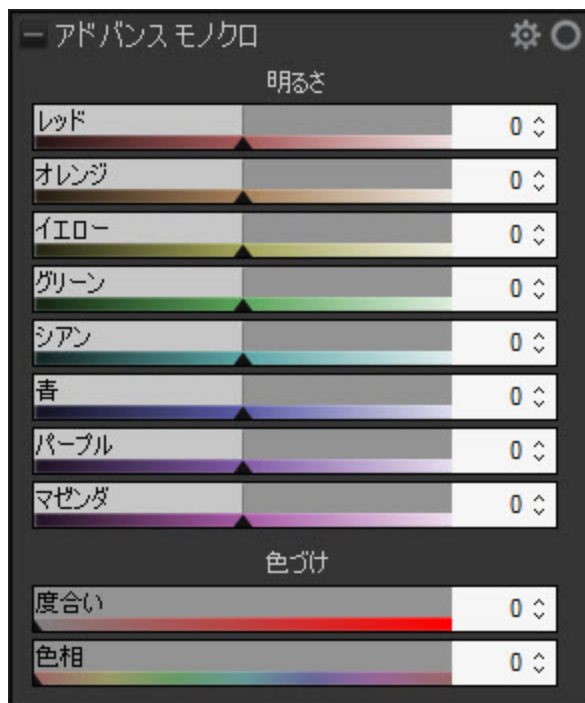
画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。



モノクロモード

アドバンス モノクロ



[モノクロ] モードでは、([現像ツール] ペインの [全般] グループで定義されているように) [カラー EQ] グループは [高度なモノクロ] グループになります。

- **明るさ:** 画像の色の明るさを調整します。
- **色づけ:** 色相スライダーで選択した色をベースにして画像に色を追加します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

トーンカーブを調整する

[現像]モードの[トーンカーブ] ツールを使用して、画像のトーンレンジを細かく調整することができます。RGB チャンネルを選択または特定の色を選択して、画像全体の明るさを調整します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

トーンカーブを調整するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [トーンカーブ] グループで、下の表を参考にしてカーブを調整します。



ブラック、中間調、ホワイトの各数値フィールドまたは矢印アイコンを右クリックすると既定値にリセットされます。数値フィールドまたは矢印アイコンをダブルクリックすると、自動設定を使用します。

トーンカーブ オプション

カーブ	画像に適用するカーブを選択します。「スタンダード」カーブが既定として設定されています。「カメラ」を使用すると、画像に適したカーブが ACDSee によって作成されます。カーブのドロップダウン リストは、RAW ファイルの現像処理を行っている場合にのみ有効になります。
チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたび、新しいノードが追加されます。ノードをカードの上下にドラッグして調整します。ノードを削除するには、グラフ外の上または下の領域に向かってクリック & ドラッグします。
ブラック	ブラックの三角形をクリック & ドラッグするか、クリックしてブラック ポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックしてブラック ポイントを設定することも可能です。
中間調	グレーの三角形をクリック & ドラッグするか、クリックして中間調ポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックして中間調ポイントを設定することも可能です。
ホワイト	ホワイトの三角形をクリック & ドラッグするか、クリックしてホワイト ポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックしてホワイト ポイントを設定することも可能です。
自動	ブラック、中間調、ホワイトを自動設定します。

ソフト フォーカスを調整する

[ソフト フォーカス] ツールを使用して、画像にドリーミーな効果を追加することができます。ソフト化の効果は色域全体に対しても、画像の中間調に限定しても適用可能です。ソフト フォーカス効果を画像の一部の色域または全体に適用するには、[トーンの幅] スライダーを使用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像にソフト フォーカスを追加するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [ソフト フォーカス] グループから、以下の表を参考にして調整します。

ソフト フォーカス オプション

強度	ソフト フォーカスの量を調整します。スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。
明るさ	スライダーを右へ動かすほど明るさが増します。
コントラスト	スライダーを右へ動かすほどコントラストが増加します。
トーンの幅	スライダーを右へ動かすとソフト フォーカスのトーンの幅が増えて、より広範囲のシャドウ、中間調、ハイライトに影響します。スライダーを左へ動かすとトーンの幅を狭め、効果を狭い範囲のシャドウ、中間調、ハイライトに適用します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

現像モードの効果を適用する

現像モードでは画像に数多くの効果を適用できます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

写真効果

写真効果のドロップダウンメニューを使用すると、画像にさまざまなフィルタをかけることができます。

写真効果を適用するには

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. 効果グループで**写真効果**チェックボックスを選択します。
3. 写真効果のドロップダウンメニューからフィルタを選択します。



[不透明度スライダー](#)と[ブレンドモード](#)のドロップダウンメニューを使えば、選択した効果を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、写真効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

カラーオーバーレイ

カラーオーバーレイのドロップダウンメニューを使うと、画像に色を付けることができます。

画像に色を追加するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. 効果グループで、**カラーオーバーレイ**チェックボックスを選択します。
3. カラーオーバーレイのドロップダウンメニューから色を選択します。



[不透明度スライダー](#)と[ブレンドモード](#)のドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、カラーオーバーレイのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グラデーションマップ

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。

グラデーションマップ効果を適用するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. 効果グループで、**グラデーションマップ**チェックボックスを選択します。
3. シャドウのドロップダウンメニューで、画像の暗い領域に追加する色を指定します。ハイライトのドロップダウンメニューで、画像の明るい領域に追加する色を指定します。



[不透明度スライダー](#)と[ブレンドモード](#)のドロップダウンメニューを使えば、選択した色を画像にどのようにブレンドさせるかを調整できます。これらのツールにアクセスするには、ハイライトのドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押します。

グレインを追加

グレイン効果を使用すると、新聞に印刷されたような画像に仕上げることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

グレイン効果を適用するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. 効果グループで、下の表を参考にしてグレイン追加設定を調整します。

グレインのオプション

グレインの度合い	グレインの強度を指定します。
グレインの平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
グレイン サイズ	グレインのサイズを指定します。

クロス処理効果

80 年代、90 年代にフィルム写真で人気のあったテクニックで、フィルムを別の種類のフィルムのように処理するものです。クロス処理は写真の彩度とコントラストを強調し、色を黄緑がかったハイライトと青っぽいシャドウに色をシフトします。クロス処理ツールを使うとこれらのレトロ効果をシミュレートすることができます。クロス処理を切り抜き後の周辺光量補正とあわせて使用すると、ロモと呼ばれる効果を作成できます。

クロス処理効果を適用するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. 効果グループで、クロス処理のスライダーを右に移動させるとレトロ効果が強まります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する

現像モードで効果グループのツールを使っているときに、ブレンドモードと不透明度ツールを調整して、画像への効果のブレンド状態をカスタマイズすることができます。

不透明度

不透明度スライダーは、画像に施される効果の不透明度を変更します。施された効果が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押すと、不透明度スライダーにアクセスできます。

ブレンドモード

オリジナルの画像と現像済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

標準	現像済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	現像済みの画像とオリジナル写真の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	現像済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
書き込む	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	オリジナル画像の色から現像済み画像の色を減算します。現像済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較 (暗)	オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
比較 (明)	オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	現像済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	現像済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	現像済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	現像済み画像の色の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	現像済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

[スプリットトーン] ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. スライダーをドラッグして、下 表 で説明 されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。



スライダーを右 クリックすると既定 値に戻します。

調整 オプション

ハイライト

色相	スライダーを右にドラッグしてハイライトの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の色の彩度を上げます。

シャドウ

色相	スライダーを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の色の彩度を上げます。

バランス

	スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダーが最大値 50 に設定されている場合、ハイライト色が最も強調され、スライダーが最小値 -50 に設定されている場合は、シャドウ色が最も強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず [アドバンスカラー] ツールで写真の彩度を落とした後、[スプリットトーン] ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけした白黒写真を作成することもできます。

切り抜き後の周辺光量補正を調整する

このツールは主題の周囲にフレームを追加します。ボーダーの外観をコントロールすることができます。このツールは、イメージをトリミングした後の仕上げとして使用してください。これにより画像のフォーカルポイントをより調整することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。
2. [切り取り後の周辺光量補正] から、以下の表を参考にして調整します。



スライダーを右 クリックすると既定 値に戻します。

ヴィネット オプション

強度	スライダーを右にドラッグすると白いヴィネットを追加し、左にドラッグすると黒いヴィネットを追加します。
半径	ピクセルがソフトに調整される画像の四隅の距離を設定します。半径を大きくするほど、中央から効果の開始位置までの距離が遠くなります。
フェザリング	ヴィネットのエッジの柔らかさを調整します。スライダを右に動かすと、ヴィネット効果の柔らかさが増加します。
丸み	スライダを右に移動してヴィネットの丸みを増やすか、左に移動して減らします。

RAW ファイル用に出 力 色 空間を選択する

RAW ファイルを現像する際、出力色空間を選択することができます。このオプションは、RAW ファイルでのみ有効になります。

RAW ファイルの出力色空間を調整するには:

1. 現像 モードで **調整** タブを選択します。

ヒストグラムを使用して、画像に最適な出力色空間を探します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。クリッピングが発生しないように気をつけながら、最も広い色域を再現できる出力色空間を見つけるようにします。

2. [出力色空間] グループから、希望する色空間を選択します。
3. RAW ファイルを現像する際に同じ色空間を使いたい場合、希望する色空間を選択した後、**【既定に設定】**をクリックします。

 画像を保存する際、「埋め込まれたカラープロファイル」オプションが既定として選択されます。このオプションの選択を解除すると、出力色空間は画像に埋め込まれませんので注意してください。

ディテールタブについて

ディテールタブでは、画像をシャープにしたり、ノイズを削除することができます。

ディテールタブを使用するには:

1. 現像 モードで **ディテール** タブを選択します。
2. シャープネス、ノイズ除去、スキントーンまたは色収差の補正のいずれかのグループを選択して、画像の現像処理を行います。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。

 確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】**の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】**をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。([編集] | [コピー] に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、[保存] は利用できません。

シャープ

シャープネス ツールを使用して、画像の詳細を引き出したり、クリアに仕上げたりすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像をシャープにするには:

1. 現像 モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [シャープ] グループで、下の表を参考にしてスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

シャープ オプション

度合い	エッジの各サイドにライトを増減することで、適用するシャープネスの量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が荒く仕上がり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細かく仕上がります。
マスク	ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えながらエッジを対象にします。マスクの適用領域を表示するには、マスクスライダーを動かしている時にキーを押します。シャープネスの効果が適用される領域は白く見えます。
詳細	強度を減らすことにより光輪（極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線）を抑えます。大きな値ほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。



詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。



RAW ファイル用に既定のシャープネスを設定するには、[シャープネス] グループの [設定] ボタン  をクリックし、**[新規既定の保存]** を選択します。

ノイズを除去する

ハイ ISO 設定や長期の露出時間によって引き起こされたノイズを除去することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. 現像 モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [ノイズ除去] グループで、下の表を参考にしてスライダを調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ノイズ除去 オプション

明るさ	スライダーを右にドラッグして、ライティングのノイズを目立たなくさせます。画像を拡大表示して、ノイズ除去によって詳細が失われていないかを確認します。 ALT キーを押しながらスライダーをドラッグすると、画像に残っているノイズを確認できます。
強度	スライダーを右にドラッグして、ノイズ除去をどの程度の強さで実行するかを決定します。明るさと強度のバランスをうまく取ってディテールが失われないようにしてください。
カラー	スライダーを右にドラッグして、画像に見られるノイズのカラーを除去します。 ALT キーを押しながらスライダーをドラッグすると、画像に残っているカラーノイズを確認できます。
詳細を保存	強力ノイズ除去により失われたディテールを復元します。スライダーを使って、復元するディテールの程度を調整してください。
詳細保存の閾値	[詳細を保存] スライダーの調整に含める必要があるディテールのレベルを決定します。

 詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

スキントーンを微調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

肌の色合いを補正するには:

1. 現像 モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [スキントーン] グループで、下の表を参考にしてスライダを調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキントーンオプション

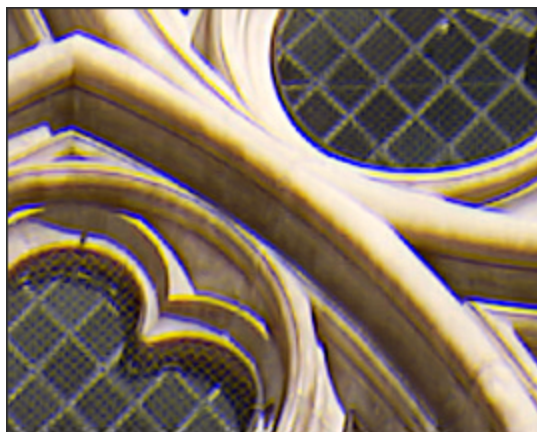
平滑化	スライダーを右へ動かすと、肌のきめの質感が抑えられて滑らかになります。
グロー	スライダーを右へ動かすと、肌が明るくなると同時に少し滑らかになります。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。スライダーを左へ動かすと細かなディテールが強調されます。スライダーを右へ動かすと大きめのディテールが強調されます。

 詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

色収差の補正

色収差は、ハイコントラストの領域がフリンジのように見えてしまうレンズ撮影の成果物です。カメラのレンズは、ライトの周波数によってフォーカスを変更しなければいけないため、ハイコントラストの画像ではカラーフリンジやカラーラインが発生してしまいます。パープルフリンジは、レンズのフロントに明るい領域がある場合にも発生します。

次の画像は、ブルー/イエローフリンジの発生を示した例です。



[現像] モードの「フリンジ除去」と「色収差の補正」を使用して、カラーフリンジを抑えることができます。建築物などを撮影した画像にとっても便利な機能です。最良の結果を生み出すために、まず[色収差の補正] スライダを調整してから、[フリンジ除去] スライダを調整するようにお勧めします。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像のノイズを除去するには:

1. 現像 モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [色収差の補正] グループで、下の表を参照にしてスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正 オプション

レッド/シアン	レッドとシアンのチャンネルを調整して、レッド/シアンのフリンジを減らします。
ブルー/イエロー	ブルーとイエローのチャンネルを調整して、ブルー/イエローのフリンジを減らします。

フリンジ除去 オプション

強度	ハイコントラストのエッジから除去したいフリンジ色の量を調整します。値をゼロに設定すると、フリンジ除去機能がオフになります。
半径	フリンジ除去する、エッジ周辺のピクセル数を調整します。
カラー	ハイコントラストのエッジから除去するカラーを調整します。



詳細ペイン上部にある **[プレビューウィンドウ]** で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

ジオメトリタブについて

「ジオメトリ」タブを使用して、レンズの歪みや透視の補正、回転や傾きを直したりすることができます。トリミングを使用して、画像の構成を変更することも可能です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

[ジオメトリ] タブを使用するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. 画像を現像するには、[\[レンズ補正\]](#)、[\[回転 & 傾きを直す\]](#)、[\[透視\]](#)、[\[トリミング\]](#)、または[\[ヴィネット補正\]](#) グループを選択します。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】**をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。
 - **破棄**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**【ツール】 | 【ACDSee オプション】** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **【保存】**をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **【エクスポート】**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**【編集】 | 【コピー】** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイルフォーマットでは、**【保存】** は利用できません。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

レンズの歪みを補正する

デジタル写真の樽形ひずみと糸巻き形ひずみを修正することができます。パーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。樽形ひずみと糸巻き形ひずみは、ワイドアングルやズームレンズで撮影された画像で頻繁に発生します。

ACDSee では、**【手動補正】** スライダーで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正を有効化することもできます。実行するには、画像の撮影に使用されたカメラのメーカー、モデル、レンズを選択します。レンズ補正ツールによって、使用されたレンズ固有のひずみに基づいた自動調整が行われます。それぞれの画像に対して手動でレンズ補正を有効にすることもできます。EXIF プロファイルにレンズプロファイルをマップしてしまえば、その EXIF 情報に基づいて、画像の撮影に使用されたカメラの **【メーカー】** と **【モデル】** ド

ドロップダウンメニューがあらかじめ入力されます。[レンズ補正] ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが含まれています。選択されたカメラに対応するレンズは [レンズ] ドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが 1 種類しかない場合、あらかじめそのレンズが選択されています。

使用されたレンズの名前は画像の EXIF 情報で確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体が ID 番号としてしか認識しない場合があるため、EXIF に表示されるレンズ値の信頼性が低いことがあります。可能な場合は正確なレンズ値を復元して、[レンズ] ドロップダウンメニューから選択します。

レンズ固有の補正、(レンズプロファイル) を、カメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせにマップすることもできます。レンズプロファイルをマップすることで、[現像] モードの [レンズ補正] ツールで開く際に、カメラとレンズの組み合わせが同じ画像すべてに補正を適用することもできます。

[手動補正] スライダは自動補正後に使用して追加の調整を加えることも、単独で使用することもできます。

使用できる場合は、レンズプロファイルを用いて色収差を補正することもできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。



使用できるレンズプロファイルは、[こちら](#)からすぐに確認できます。

レンズプロファイルを使用してレンズのひずみを修正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[**レンズプロファイルを有効にする**] チェックボックスを選択します。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー] と [モデル] ドロップダウンメニューから正しいものを選択します。
4. [レンズ] ドロップダウンメニューから、画像の撮影に使用されたレンズを選択します。この情報は [現像] モード右下隅にある [EXIF] パネルに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. 追加で調整を行いたい場合は、[手動補正] スライダを左に動かすと膨張効果が適用され、右に動かすと画像のエッジが引き延ばされます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[**グリッドの表示**] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

後で使用できるようにレンズプロファイルをデフォルトとして保存するには:

カメラとレンズの組み合わせの補正プロファイルを保存して、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像にデフォルトとして使用することができます。これにより、[レンズ補正] ツールで特定のカメラメーカー、モデル、レンズの組み合わせから画像を開くと、そのカメラにマップしたレンズが [レンズ] フィールドに常に自動入力されるようになります。[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影された他の画像に対して、このレンズプロファイルを自動的に適用することもできます。



この機能は EXIF データに依存しているため、主に JPEG、DNG、RAW、TIFF 画像で実行することができます。

1. [メーカー]、[モデル]、[レンズ] ドロップダウンメニューで希望のカメラとレンズの組み合わせを選択して、[**デフォルトマッピング**] ボタンを押します。
2. [現像モード開始時にこのマップ済みプロファイルを自動適用] チェックボックスを有効にすると、[現像] モード開始と同時に、このマップ済みデフォルトが他の画像にも適用されます。
3. [デフォルトマッピング] ダイアログボックスで、[OK] を押して保存するか、[キャンセル] を押して中止します。

保存済みのデフォルトを管理するには:

1. [**デフォルトの管理**] ボタンを押します。
2. [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスで次のいずれかを実行します。

- [マップ済みデフォルトの管理] ダイアログボックスでデフォルトを選択し、[マップ済みデフォルトを削除] ボタンを押します。
 - [現像モード開始時に選択したマップ済みプロファイルを自動適用] チェックボックスを有効にすると、[現像] モード開始と同時に、同じカメラ/レンズの組み合わせで撮影される画像に対して、選択したマップ済みデフォルトが適用されます。
3. [OK] を押して続行するか、[キャンセル] を押してマップ済みデフォルトを保持します。

プロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は特定のレンズのプロパティが原因で発生します。そのため、レンズプロファイルを使用して自動的にこれを補正することができます。選択したレンズに対応する自動色収差補正が利用できる場合、[色収差] チェックボックスが有効になります。

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. [レンズ補正] グループで、[レンズプロファイルを有効にする] チェックボックスを選択します。
3. [色収差] チェックボックスを選択します。
4. [詳細] タブをクリックして補正した画像を確認します。



[色収差] チェックボックスを選択してレンズプロファイルを保存し、常に色収差が補正されるようにします。

回転と傾きを直す

現像モードでは、自由設定の角度で画像を回転して、傾いている画像をまっすぐに補正することができます。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

傾いている画像を補正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. [回転 & 傾きを直す] グループで、下の表を参照にして画像を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[グリッドの表示] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

回転オプション

左に 90 度

画像を左に 90 度回転します。



右に 90 度

画像を右に 90 度回転します。



傾きを直す オプション

スライダ	画像の水平線の角度を調整します。画像がまっすぐに見えるようになるまで、スライダを左右に動かします。
左に -5 度	画像を左に -5 度回転します。
	
右に +5 度	画像を右に +5 度回転します。
	
傾きを直す ツール	画像の傾きを直します。カーソルを使って、傾いている水平線を正すように線を描きます。カーソルをリリースすると水平線が自動的に直され、画像の傾きが修正されます。
	

透視を補正する

被写体に対して、カメラを水平あるいは垂直に構えない状態で撮影された場合に発生する透視問題は、ワイドアングルのレンズでの撮影でよく見られます。例えば、高層ビルを道の下から見上げた状態で撮影すると、ビルが傾いているように見えてしまいます。これらの問題は、「透視」グループのオプションを使用して補正することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

透視を補正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. 下の一覧を参照して、「透視」グループのオプションを設定します。[キャンセル] をクリックして変更を破棄し、以前使用していたモードに戻ることも可能です。



[グリッドの表示] ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

透視 オプション

上下	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右	スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下シアー効果	スライダを左右にドラッグして、垂直軸と対角軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右シアー効果	スライダを左右にドラッグして、水平軸と対角軸で画像の中心となる位置を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング

編集モードの [トリミング] ツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、特定のサイズに縮小したりすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像をトリミングするには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. トリミング ウィンドウの [サイズを変更](#) して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。詳細につきましては、以下をご覧ください。



[トリミングのプレビュー] ボタン  をクリックするか、<E> キーを押してクリップされた画像のプレビューを表示します。



【グリッドの表示】 ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は次の通りです：

- トリミング ウィンドウのエッジをドラッグして希望するサイズに変更する方法。
- トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法 (単位はインチ)。
- 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。
- 矢印キーを使ってトリミング ウィンドウのサイズを変更する方法。

ドラッグしてトリミングウィンドウのサイズを変更するには：

1. トリミング ウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング領域を最大化するには：

1. **【トリミング領域の最大化】** をクリックします。トリミング領域が画像の外枠に向かって最大表示されます。
2. トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミングウィンドウのサイズを指定するには：

1. **【幅】** と **【高さ】** スピンボックスに希望するトリミング ウィンドウのサイズを入力します。
2. **【単位】** ドロップダウン リストから、使用する単位を選択します。
3. **【ドット / インチ】** スピンボックスで、解像度を指定します。

縦横比を指定してトリミングウィンドウのサイズを変更するには：

1. **【縦横比の設定】** チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、希望する縦横比を選択します。
3. トリミング ウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせ、ポインタが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミングの縦横比を解除するには：

1. **【縦横比の設定】** ドロップダウン リストから、希望する縦横比を選択します。
2. ドロップダウン リストの横にある矢印ボタンをクリックし、**【削除】** を選択します。
3. **【はい】** をクリックします。

希望する縦横比を既定として設定するには：

1. **【縦横比の設定】** チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから、希望する縦横比を選択します。
3. ドロップダウン リストの横にある矢印ボタンをクリックし、**【既定に設定】** を選択します。

トリミング オプション

縦横比の設定	このオプションを選択すると、特定の比率でトリミングを行うことができます。ドロップダウン リストから比率を選択します。
トリミング領域の最大化	トリミング領域が画像全体に広がります。トリミング ウィンドウの端をクリック & ドラッグして調整します。トリミング ウィンドウの選択をやり直したい場合は、 【トリミング領域の最大化】 ボタンをクリックして画像全体に広げてから、必要な調整を行います。
トリミング領域の回転 	クリックしてトリミング領域を回転します。

レンズのヴィネット 補正

ヴィネットは、画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。レンズのヴィネット補正は、「処理」モードの「ヴィネット補正」を使用して、画像の四隅を明るくすることで補正することが可能です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネットを補正するには:

1. 現像モードで **ジオメトリ** タブを選択します。
2. 「ヴィネット補正」グループ グループで、下の表を参照にして画像を調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ヴィネット 補正 オプション

強度	ヴィネット補正される、画像の四隅の量を調整します。
半径	ピクセルが明るく調整される画像の四隅の距離を設定します。値が高くなるほど、画像の中心に近いピクセルが明るくなります。



【グリッドの表示】 ボタン  をクリックして画像にグリッドを表示します。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。グリッドが無効の場合は、灰色で表示されます .

修復タブについて

修復タブでは、赤目補正を行って画像を修復することができます。

【修復】タブを使用するには:

1. 現像モードで **修復** タブを選択します。
2. [赤目補正](#) または [修整ツール](#) をクリックします。

保存とキャンセル

画像の現像処理を完了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **【完了】** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存:** 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存:** 現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。

- **破棄**: 変更を破棄します。
- **キャンセル**: 画像を保存せずに、変更もそのままにして現像モードの同じ画像に戻ります。



確認せずに画像を自動的に保存したい場合は、**自動保存** チェックボックスを選択します。次回新しい画像に切り替えた場合、変更するかどうかの確認をせず、自動的に変更が保存されます。この設定は、**[ツール] | [ACDSee オプション]** の現像モード ページで、オプションで変更できます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. **[保存]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - **名前を付けて保存**: 現像した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存**: 現像した画像のコピーを新しい名前やフォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。
 - **[エクスポート]**: 1 つ以上の現像済み画像のコピーを、それぞれ指定したフォーマット、サイズのオプションでエクスポートします。
 - **クリップボードにコピー**: 現像した画像をクリップボードにコピーします。(**[編集] | [コピー]** に移動します。)



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば、RAW 画像のコピーを JPG で保存しても、画質の劣化が発生する JPG 画像に切り替えるのではなく、設定はそのままに元の RAW 画像のままで作業を続けることができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックします。



RAW ファイルに直接変更を保存することができないため、RAW ファイル フォーマットでは、**[保存]** は利用できません。

赤目を補正する

現像モードの **[赤目補正]** ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。**[赤目補正]** ツールは、赤いピクセルだけを対象にし、周囲のピクセルに影響を及ぼすことはありません。

赤目を補正するには:

1. 現像モードで **修復** タブを選択します。
2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目の中心を拡大表示します。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. **[赤目補正]** グループで、下の表を参考にしてスライダを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダーを右に移動して暗くする領域のサイズを増やすか、左に移動して減らします。
暗くする	スライダーを右に動かすと、目の補正された領域が暗くなります。

赤目補正はいくつでも適用できます。必要なだけ画像上でクリックして白い丸を追加してください。白い丸は、ドラッグして移動したり、キーを押して削除することが可能です。



白い丸の上にマウスカーソルを移動して、マウスをスクロールするとサイズを変更できます。



赤目補正グループの左上隅にある目のボタンをクリックすると白い丸の表示/非表示を切り替えることができます。



現在選択されている白い丸を削除するには、**Del** キーを押します。

画像を修復する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます：

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫
- センサーについたほこりによる影

[画像の修整] ツールには次の 2 つのオプションがあります：[美肌効果] と [クローン]

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりとなじむことになります。美肌効果ツールは肌や毛皮など、表面が細かい画像の修整に効果的です。

[クローン] ツールは、画像の一部を別の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。



推奨ワークフロー： 最高の仕上がりを得るには、美肌効果を使う前にあらゆる幾何学操作を行ってください。

画像を補整するには：

1. 現像モードの[補正] グループにある[修復] タブで、次の操作を行ってください：
 - **美肌効果：** ソースのピクセルをコピー先にコピーしながら、領域の周りにあるピクセルとブレンドして色をなじませます。
 - **クローン：** コピー先にソースのピクセルを忠実にコピーします。
2. **[ペン先の幅]** と **[フェザリング]** のスライダをドラッグします。以下の表を参照ください。
3. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。
4. コピーしたい領域をクリック & ドラッグします。美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンを放した際に ACDSee によってピクセルの分析と置き換えが行われます。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



SHIFT キーを押しながらスクロールするとフェザリングを調整できます。



正確なプレビューが表示するには、クローンを加えるとき、画像を 100% で拡大して編集してください。



赤目補正および現像ブラシやグラデーションなどその他の調整に、美肌効果やクローンをすることはできません。

修整ツールオプション

ペン先の幅	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相対します。
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

Chapter 7: 編集モード

編集モードでは RGB 画像データの微調整を行うことができます。編集モードのツールを使用すると、画像の一部にさまざまな編集を追加することができます。

[編集] モードでは次の作業が可能です:

- [選択範囲ツール](#)を使用して、選択範囲を作成し、画像の一部に編集を適用します。
- [編集ブラシ](#)を使用して、画像の一部にこの効果を描画することができます。
- [Pixel Targeting](#) を使用して、調整、選択、マスキングしたい特定の色やトーンを指定します。
- [レイヤーペイン](#) を使用してレイヤーを含む合成写真を作成して、画像データを操作することができます。
- [画像の修整](#)、[赤目補正](#)、[スキントーン](#)の調整、または[色収差の補正](#)。
- [テキスト](#)、[透かし](#)、[枠](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[グレイン効果](#)、[特殊効果](#)、および[描画ツール](#)の追加。
- [トリミング](#)、[反転](#)、[サイズ変更](#)、[回転](#)、[ゆがみ](#)、[透視の補正](#)および[レンズの歪み補正](#)。
- [露出](#)、[レベル調整](#)、[自動レベル](#)、[トーンカーブ](#)、[Light EQ™](#)、[かすみ除去](#)、および[覆い焼きと焼きこみ](#)ツールを使用したライティング調整。
- [ホワイトバランス](#)、[カラー EQ](#)、[カラーバランス](#)、[モノクロ](#)、または[スプリットトーン](#)ツールを使用して調整します。
- [シャープネス](#)、[ぼかし](#)、[ノイズ除去](#)、[ノイズ追加](#)、[詳細ブラシ](#)、または[明瞭度](#) ツールを使用した詳細の調整。

編集モードを使用する

現像モードで非破壊処理ツールを利用した画像修整を完了した後、最終的な画像の微調整を行うのが編集モードです。このモードでは、赤目補正や特殊効果など、ピクセルベースの編集を行うツールが用意されており、選択範囲ツールを使って、画像の一部を調整することができます。

現像モードから編集モードへの切り替え

ある画像を現像モードから編集モードへ切り替えても、オリジナルの画像には一切変更を加えません。変更はオリジナルの画像とは別のファイルに保存されますので、オリジナル画像や現像済み状態までいつでも戻すことができます。変更がどのように保存されるかについての詳細は、[ACDSee が画像の変更を保存する方法](#) をご覧ください。

画像を編集する

画像を編集するには:

1. **[編集]** モードを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
 - パネルの上にある、[選択範囲](#) または [描画ツール](#) を使用します。
 - レイヤーで作業するには [レイヤーペイン](#) を開きます。
 - [補正] グループで、[赤目補正](#)、[スキントーン](#)、[色収差](#)、または [修整ツール](#) をクリックします。
 - [追加] グループで、[テキスト](#)、[透かし](#)、[枠](#)、[ヴィネット](#)、[チルトシフト](#)、[グレイン](#)、または [特殊効果](#) をクリックし、効果を選択します。

- [ジオメトリ] グループで、[[回転](#)]、[[反転](#)]、[[トリミング](#)]、[[歪み](#)]、[[透視の補正](#)]、[[レンズの歪み補正](#)] または [[サイズ変更](#)] をクリックします。
 - [露出/ライティング] グループで、[[露出](#)]、[[レベル調整](#)]、[[自動レベル](#)]、[[トーンカーブ](#)]、[[Light EQ™](#)]、[[かすみ除去](#)] または [[覆い焼きと焼きこみ](#)] をクリックします。
 - [カラー] グループで、[[ホワイトバランス](#)]、[[カラー EQ](#)]、[[カラーバランス](#)]、[[モノクロ](#)] または [[スプリットトーン](#)] をクリックします。
 - [詳細] グループで、[シャープネス](#)、[ぼかし](#)、[明瞭度](#)、[詳細ブラシ](#)、またはノイズをクリックして [ノイズ除去](#) または [ノイズ追加](#) をクリックします。
3. 画像の保存にはさまざまなオプションが用意されています。詳しくは、[編集モードで画像の保存](#) のトピックをご確認ください。



[ピクセルターゲット](#) を使って特定のトーンまたはカラーだけを調整して適用することができます。

現像設定またはオリジナルの設定に戻す

編集設定を破棄して現像設定またはオリジナルの設定に戻すことができます。画像を元に戻すには、[オリジナルの設定または現像済み設定に復元する](#) のトピックを参照してください。

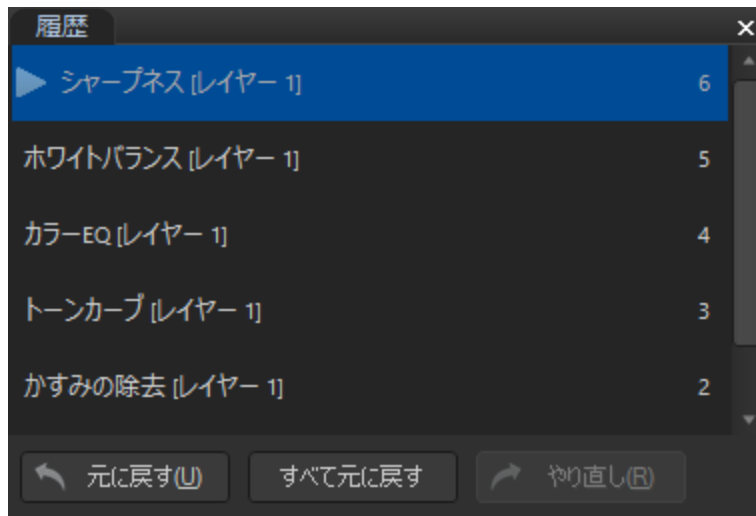
元に戻す、やり直し

履歴ペインを使用する:

履歴ペインを使用して、画像に施した一連の変更を表示することができます。履歴ペインを使用すれば、編集履歴にあるどの変更でも選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻りたいときなどは、編集モードの履歴ペインを使うことができます。

履歴ペインを開くには、[[ペイン](#)] をクリックして [[履歴](#)] をクリックします。

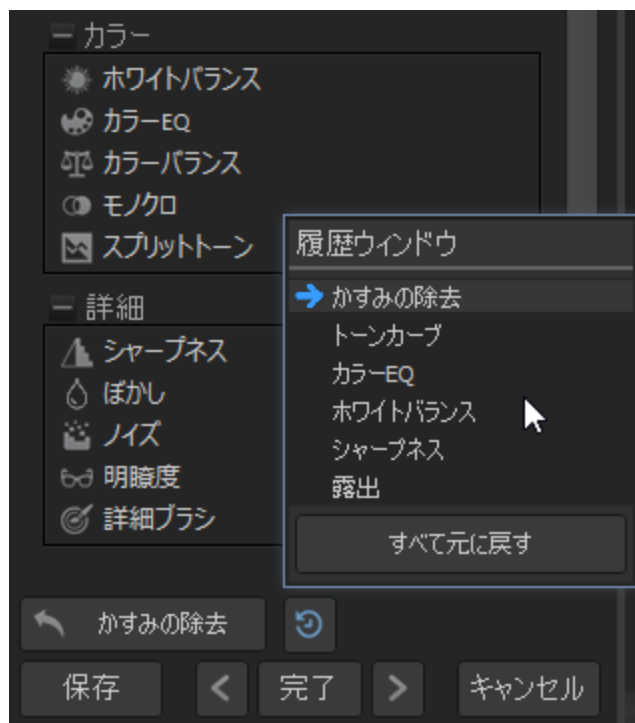
特定の調整に戻すには、ペイン内で希望する調整を選択してダブルクリックします。または、[[すべて元に戻す](#)] を選択して、行った調整すべてを一度に元に戻すこともできます。



編集モードの履歴ウィンドウ:

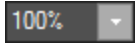
編集モードにある履歴ウィンドウで、画像に行った一連の変更を表示して確認することができます。履歴ウィンドウを使用すれば、編集履歴にあるどの変更でも選択して、画像をその変更が適用される前の状態に戻すことができます。例えば、カラーの調整をした後シャープネスを編集し、次に露出を調整するなど複数の調整を連続して適用した場合に、いくつかの編集を遡ってカラー調整だけした状態の画像に戻りたいときなどは、編集モードの履歴ウィンドウを使うことができます。

特定の調整に戻すには、編集モードパネルの下方にある履歴ウィンドウの矢印を選択して、戻したい調整を選択してラブラのクリックします。リストにある調整はどれでも選択することができますし、**すべて元に戻す**を選択して行った調整すべてを一度に元に戻すこともできます。



ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の編集中に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

ヒストグラム 	現在の画像のヒストグラム プレビューを表示します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端に山がある場合は、白とびや黒つぶれが発生しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。 【ペイン】の【ヒストグラム】を選択してヒストグラムを表示することも可能です。
元に戻す/やり直し	[元に戻す] は、現在開かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。編集モードでは、[元に戻す] および [やり直し] ボタンが表示されている場合、それぞれの可能な操作があることを意味します。
リセット 	リセット ボタンをクリックして画像を既定設定に戻します。
画面に合わせて表示 	画像をフルスクリーンで表示します。F キーで全画面表示、再度押すと編集モードに戻ります。
実際のサイズ 	現行の画像を原寸で表示します。
ナビゲーターペイン	自動ウィンドウ: 自動ウィンドウが有効な場合、画像を拡大すると同時にナビゲーターペインが表示されます。表示されたら、拡大したい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の一部領域上でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターペインを右クリックして自動から手動へ切り替えます。 手動ウィンドウ: 手動ウィンドウが有効な場合、ナビゲーターアイコンを選択するとナビゲーターペインが表示されます。 ナビゲーターアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲーターアイコンをクリックしてホールドすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の一部領域上でカーソルを離して決定します。  ナビゲーターアイコンを右クリックして手動から自動へ切り替えます。
画像に合わせて表示 	編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
前の画像の表示	最後に保存した画像と現在の画像を比較することができます。
ズーム スライダー 	右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズーム ドロップダウン リスト 	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。

編集でプリセットを使用する

ACDSee に搭載されている編集ツールや特殊効果のほとんどで、使用した設定をプリセットとして保存し、次回以降利用することができます。頻繁に使用する特定のツールや効果の設定を保存することができるので、時間の短縮にもなりとても便利です。

ACDSee のほとんどのツールでは、**[適用]** または **[完了]** をクリックした時点でのオプション設定が自動的に保存されます。プリセットは「最終使用」を意味します。



【プリセットの保存】  と **【削除】**  ボタンは、プリセットを保存可能な編集ツールのパネル上部で見つけることができます。

プリセットを保存するには:

1. 編集モードで、ツールを選択してオプションを設定します。
2. **【プリセットの保存】** ボタンをクリックします。
3. **【新規プリセット】** ダイアログ ボックスで、プリセット名を入力して **【OK】** をクリックします。
ツールのプリセット ドロップダウン リストに、新しいプリセットが表示されます。

以前保存されたプリセットを使用するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. **【プリセット】** ドロップダウン リストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには:

1. 編集モードでプリセットが作成されたツールを選択します。
2. **【プリセット】** ドロップダウン リストから、削除するプリセットを選択します。
3. **【削除】** ボタンをクリックします。
4. **【削除の確認】** ダイアログ ボックスで、をクリックします。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある **元に戻す** ボタンをクリックします。
- キーボードの **CTRL + Z** を押します。

変更をやり直すには:

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います:

- 左のペインの下部にある **やり直し** ボタンをクリックします。
- キーボードの **CTRL + Y** を押します。

オリジナルの設定または現像済み設定に復元する

編集中の画像を、編集で行った変更を破棄して、現像済みの設定に戻すことができます。変更がどのように保存されるかにつきましては、[ACDSee が画像に変更を保存する方法](#) に詳しく解説されていますので、そちらをご覧ください。

 一度画像に変更を確定すると、オリジナルの状態に戻すことはできなくなります。ご注意ください。

オリジナルの画像に復元する

すべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。

編集内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

編集で、**【ファイル】** メニューから **【オリジナルに戻す】** を選択します。

管理モード内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

1. 管理モードで、画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 画像を右クリックして【処理】|【オリジナルに戻す】を選択します。
 - 【ツール】メニューから【処理】そして【オリジナルに戻す】をクリックします。

現像済みの設定に復元する

[編集]で行った変更を破棄して、現像済みの設定に復元することができます。

編集内で、画像を現像済みの状態に戻すには:

1. 編集した画像を編集モードにします。編集を破棄するかどうか確認されます。
2. 【編集を破棄】をクリックします。

編集モードで画像を保存する

画像を保存する

画像の編集が終了したら、次に何を行いたいかに応じて、さまざまなオプションから選択して画像を保存します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. 【完了】をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。

保存	変更を保存します。
名前を付けて保存	現像した画像を別名、別フォーマットで保存します。 ファイルの種類に応じて、画像に名前を付けて保存 ダイアログ ボックスの左下に次のオプションが表示されます: • メタデータを保持する:新規画像でメタデータを保持します。 • データベース情報を保持する:重要度のようなカタログ情報を保持します。 • オリジナル画像用に現像設定を保持する:オリジナル画像に変更を適用し、コピーも保存します。 • 画像の埋め込みカラープロファイル:カラーマネージメントで選択したカラープロファイルを新しい画像に保持します。
破棄	変更を破棄します。
キャンセル	画像を保存せずに、変更もそのままにして同じ画像に戻ります。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

1. 【保存】をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します。
 - **保存:** 変更を保存します。
 - **名前を付けて保存:** 編集した画像を新しい名前、フォーマットで保存し、その画像に切り替えます。
 - **コピーを保存:** 編集した画像のコピーを新しい名前、フォーマットで保存し、元の画像で作業を続けます。



コピーを保存 は、オリジナル画像で作業を続けながら、複数のバージョンを作成する場合に便利です。例えば RAW 画像を撮影してコピーを JPG として保存する場合、画質が劣化する JPG 画像に切り替えることなく、設定を変更せずに RAW 画像で作業を続けることができます。



RAW ファイルへの変更は直接保存できないため、RAW ファイルフォーマットでは **[保存]** を使用できません。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

[キャンセル] をクリックするかキーボードショートカットの **ESC** を使用します。



異なるファイルフォーマットがモードによってどのように保存されるかについての詳細は [ACDSee が画像の変更を保存する方法](#) をご覧ください。現像で画像がどのように保存されるかについての詳細は、[現像で画像を保存する](#) をご覧ください。

ACDSee が画像の変更を保存する方法

RAW ファイルのようにエンコード不可能な画像、あるいは JPEG のようにエンコード可能な画像を扱っているかによって、保存方法が異なります。下の一覧は、ACDSee の保存方法と違いを画像のフォーマット別に表したものです。オリジナル、現像済み、編集済みという異なるステータスで保存すると、後で変更を破棄したくなった場合に、特定の設定状態に戻ることができるため大変便利です。



画像をアーカイブ保存する場合、オリジナルの画像ファイルと共に、サブフォルダも含んでバックアップすることを忘れないようにしてください。

ステータス	RAW)	JPEG)
オリジナル	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。	オリジナルの画像は、保存先のフォルダ内に格納されます。
現像済み	変更を行ってから [完了] をクリックすると、その画像の現像設定が RAW ファイルの XMP ファイル内に、そして ACDSee のデータベース内にも保存されます。	現像処理を行ってから [完了] をクリックすると、現像設定は [現像済み] フォルダの XMP ファイル内に保存され、オリジナルの画像は [オリジナル] フォルダに移動されます。管理モードおよび表示モードには、変更された画像が表示されます。現像設定は、ACDSee のデータベースにも保存されます。
編集済み	RAW ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行い [保存] をクリックすると、別のファイルフォーマットで変更することを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	画像ファイルを直接「編集」で開いて編集処理を行った後に保存すると、オリジナルの画像は ACDSee の [オリジナル] フォルダ内に保存されます。 画像を編集した後に「現像」で開くと、編集処理が失われることを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。「編集」で編集処理を行う前に現像されなかった画像は、「現像」の設定に戻すことができませんので注意してください。
現像済みと編集済み	画像を現像すると、画像の現像設定は RAW ファイルの XMP ファイル内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、新しいファイルフォーマットで保存することを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。 RAW ファイルフォーマットの場合、画像に変更を永久的に保存するためには、別のファイルフォーマットに保存する必要があります。	現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから保存すると、現像設定は XMP ファイル内に保存され、[現像済み] フォルダ内に格納されます。現像済みの画像を「編集」で開き、編集処理を行ってから [保存] をクリックすると、ACDSee はその画像を保存します。 編集済みの画像を「現像」に戻って処理を行おうとする場合、編集処理が失われることを確認するメッセージが ACDSee によって発信されます。編集処理の破棄が選択されると、現像処理の行われたオリジナル画像が開かれます。

Photoshop® プラグインを適用する

ACDSee は [編集] モードで 32 ビット版と 64 ビット版の Adobe® Photoshop® プラグインに対応しています。32 ビット版の Photoshop® プラグインが機能するのは 32 ビット版の ACDSee のみです。同様に、64 ビット版のプラグインを実行できるのは 64 ビット版の ACDSee のみです。



すべてのプラグインが Photoshop® とまったく同じように機能するわけではありません。

Photoshop® プラグインを適用するには:

[編集] モードで画像を開き、[ツール]、[Photoshop プラグイン]、[(自分のプラグイン)] の順に選択します。



[編集] パネル下部にある [元に戻す] ボタンを押すと、プラグインの効果を元に戻すことができます。



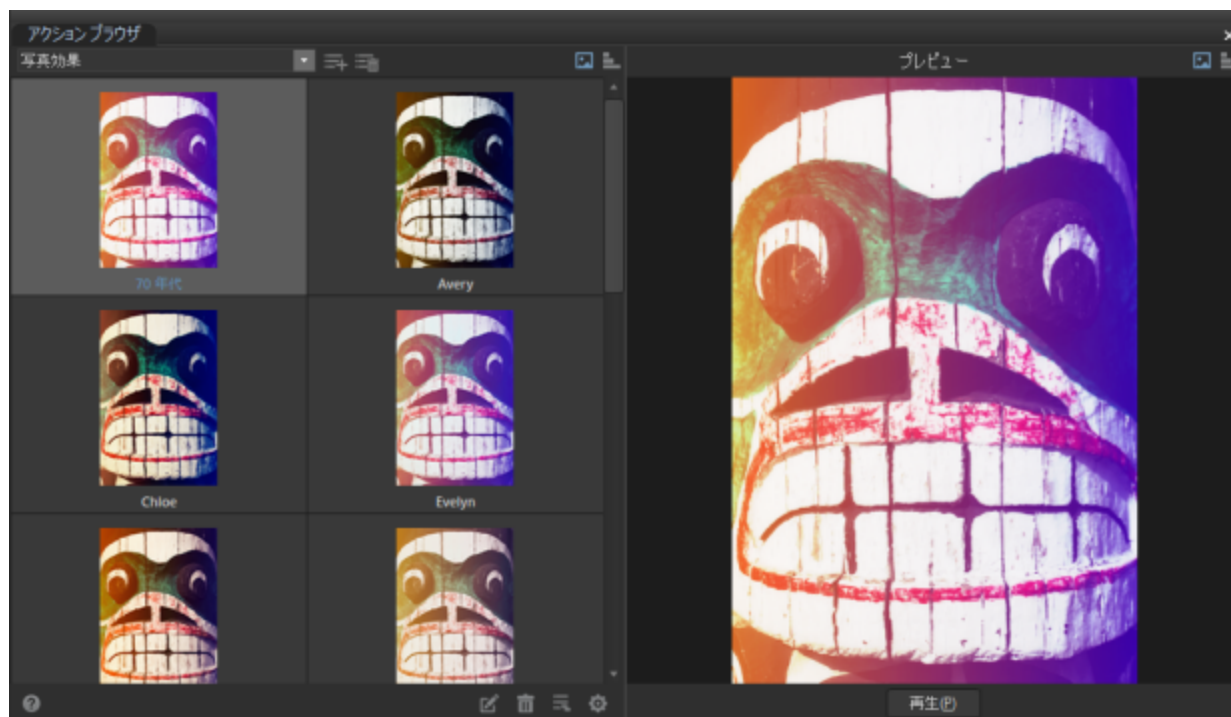
ACDSee のウィンドウ 2 つで同じプラグインを同時に開くことはできません。

Photoshop は Adobe Inc の登録商標です。

ACDSee アクションで調整を記録・適用する

ACDSee アクションを使用すると、[編集] モードで行った調整をすべて記録し、それらの調整を「再生」して他の画像に適用することができます。この方法を使用すると、[編集] モードで実行できる調整を使って複数の写真を一括編集できます。また、調整レイヤーで記録を適用した後、画像を [編集] モードで開き、レイヤーエディタで調整レイヤーの微調整および調整を継続することができるので、画像の非破壊編集が可能です。

あらかじめロードしておいたデフォルト アクションを適用してすばやく調整することもできます。アクションは既存のカテゴリ、または自作のカテゴリにまとめることができます。カテゴリの削除や、カテゴリ名の変更は自由に実行できます。



[編集] モードですばやくアクセスするには、[ツール] パネルの上部にある [記録] ボタン、[停止] ボタン、[再生] ボタンを使用します。



また、**アクション ブラウザの切り替え** ボタンを使用すると [ACDSee アクション] ウィンドウを開くことができます。
この ACDSee アクション バーは、切り離して画面のどこにでも移動させることができます。

調整を記録するには:

1. [編集] モードで、ツールバーの右にある **[記録]** ボタンを押します。 [記録アクション] ペインが表示され、そこに実行する調整手順が表示されます。
2. [編集] モードで必要な調整を行います。
3. ツールバーの **[停止]** ボタンを押せば、いつでも記録を停止できます。 誤って [停止] ボタンを押した場合は、**[キャンセル]** を押すと記録を継続できます。
4. [アクションを保存] ダイアログボックスで、記録の名前を入力します。
5. ドロップダウン メニューからアクションのカテゴリを選択するか、または名前を入力して新しいカテゴリを作成します。
6. **[保存]** を押します。選択 (または作成) したカテゴリの [アクション ブラウザ] で、記録を使用できるようになります。

記録をプレビューするには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います:
 - [アクション] をクリックし、[アクション ブラウザ...] をクリックします。
 - [ツール] をクリックし、[アクションを参照...] をクリックします。
 - [ツール]、[ACDSee アクション]、[アクション ブラウザ...] の順にクリックします。
 - 画像を右クリックして、コンテキストメニューから **[ACDSee アクション]** の **[アクション ブラウザ...]** を選択します。
 - 画像を右クリックして、コンテキストメニューから **[アクションを参照...]** を選択します。
-  複数の画像を選択している場合は、最初の画像のみがプレビューに表示されます。記録を再生すると、選択したすべての画像にプレビュー表示が適用されます。

[表示] モードで次のいずれかの操作を行います:

- **[アクション ブラウザ ペインを開く]** ボタン  を押します。
- [ツール] をクリックし、[アクションを参照...] をクリックします。
- [ツール]、[ACDSee アクション]、[アクション ブラウザ...] の順にクリックします。

[編集] モードで次のいずれかの操作を行います:

- **[ペイン]** をクリックし、**[アクション ブラウザ]** をクリックします。
 - [ツール] をクリックし、[アクションを参照...] をクリックします。
 - [ツール]、[ACDSee アクション]、[アクション ブラウザ...] の順にクリックします。
 - ツールバーにある **[アクション ブラウザの切り替え]** ボタン  を押します。
2. アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューからカテゴリを選択します。
 3. アクション ブラウザの左の列から、プレビューで表示したい記録のサムネイルを選択します。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 適用されている記録とともに現在の画像が [プレビュー] 列にどう表示されるのかをプレビューで確認します。
- 右上隅にある [プレビュー] ボタンを切り替えて、選択したアクションの調整手順を確認します。



画像のプレビュー



ステップのプレビュー

記録を削除するには:

 記録を削除すると元に戻すことはできませんのでご注意ください。削除した記録はシステムのごみ箱にも表示されません。

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 右クリックして [削除] を選択します。
 - [削除] ボタン  を押します。

記録の名前を変更するには:

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 右クリックして [名前の変更] を選択します。
 - [名前の変更] ボタン  を押します。
3. [名前] フィールドに新しい名前を入力します。
4. [OK]を押下します。

記録を新規カテゴリに移動させるには:

1. アクション ブラウザの左の列にある記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [カテゴリに移動] ボタン  をクリックします。
 - 右クリックしてコンテキスト メニューから、[カテゴリに移動] を選択します。
3. [カテゴリに移動] ダイアログで、ドロップダウン メニューからカテゴリを選択します。
4. [OK]を押下します。

記録カテゴリを管理する

記録カテゴリは追加と削除が可能です。

カテゴリを追加するには:

1. アクション ブラウザで、[新しいカテゴリを追加] ボタン  をクリックします。
2. [新しいカテゴリを追加] ダイアログで、新しいカテゴリの名前を入力します。
3. [OK]を押下します。

カテゴリを削除するには:

アクション ブラウザで、[カテゴリを削除] ボタンをクリックします。このカテゴリのすべてのアクションは「未分類」に移動します。 

記録を適用する

記録を他の画像に適用すると、記録した [編集] モードの調整を使って一括編集を行うことができます。あらかじめロードしておいたデフォルトのアクションのいずれかを適用することもできます。これらのアクションはアクション ブラウザ内のカテゴリにまとめられます。

記録で使った画像と異なるサイズの画像に記録を適用する場合、描画、ジオメトリ、画像のレイヤーを伴うアクションは、幅および高さそれぞれのパーセントによる比率で、ターゲット画像に合わせて拡大/縮小されます。ただし、トリミングのサイズは絶対値で、ピクセル数に基づきます。トリミングの位置は相対値で、これもピクセル数に基づきます。

[ジオメトリ] グループのツールで最適な結果を得るには、サイズが均一な画像に記録を適用してください。

記録を適用するには:



記録は、記録されたときと同じ順序で適用されます。

[管理] モードのとき

1. ファイラー一覧ペインで画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ツール]、[ACDSee アクション]、[<希望するカテゴリ>]、[<希望するアクション>]、[再生] の順に選択します。
 - [ツール] を選択し、[アクションを参照...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
 - 画像を右クリックして、[ACDSee アクション]、<希望する記録>、[再生] の順に選択します。
 - 画像を右クリックして [アクションを参照...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
 - [アクション] をクリックし、[アクション ブラウザ...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
 - [アクション]、[<希望するカテゴリ>]、[<希望するアクション>]、[再生] の順に選択します。

[表示] モードのとき

以下のいずれかの操作を行います:

- [ツール]、[ACDSee アクション]、[<希望するカテゴリ>]、[<希望するアクション>]、[再生] の順に選択します。
- [ツール] を選択し、[アクションを参照...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
- [アクション ブラウザ ペインを開く] ボタンを押します。  アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
- 画像を右クリックして、[ACDSee アクション]、<希望する記録>、[再生] の順に選択します。
- 画像を右クリックして [アクションを参照...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。

[編集] モードのとき

1. 画像を [編集] モードで開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - [ペイン] を選択し、[アクション ブラウザ] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。

- [ツール]、[ACDSee アクション]、[<希望するカテゴリ>]、[<希望するアクション>]、[再生] の順に選択します。
- [ツール]、[ACDSee アクション]、[アクション ブラウザ...] の順にクリックします。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
- [ツール] を選択し、[アクションを参照...] を選択します。アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。
- [アクション ブラウザの切り替え] ボタンを押します。 アクション ブラウザで、ドロップダウン メニューから希望するカテゴリを選択します。左の列から記録を選択します。[再生] ボタンを押します。



レイヤーエディタでレイヤーを選択し、アクション ブラウザで [再生] ボタンを押すと、1 つの画像レイヤーだけに記録を適用できます。

記録の出力オプションを設定するには:

記録を適用したときのファイルの出力方法を決定するオプションを設定できます。設定した各出力オプションは、選択した (右クリックした) 記録のみに適用されます。出力オプションは、[編集] モード以外のモードの画像に適用される記録のみに影響します。

 設定した出力オプションは共有記録には反映されません。

1. アクション ブラウザの左の列で記録を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 右クリックして [オプション] を選択します。
 - [オプション] ボタン  をクリックします。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. [OK]を押下します。

出力オプション

アクションの結果	選択したファイルを上書き、エンコード不可能なファイルの場合にはコピーを作成	記録を適用したとき、編集済みバージョンでファイルを上書きします。RAW ファイルのときのようにファイルを上書きできない場合は、コピーが保存されます。
	修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する	編集済み画像をオリジナル画像と同じフォルダに新しい名前 で保存する場合は、このオプションを選択します。
	修正済み画像を次のフォルダに保存する	編集後の画像を特定のフォルダ内に保存したい場合に、このオプションを選択します。フォルダを参照します。
既存を上書きする	このオプションを使用して、出力フォルダに編集後の画像と同名のファイルが存在する場合の ACDSee での処理方法を指定します： ● 確認する: 画像によって異なるオプション、例えばスキップする、名前を変更する、上書きするなどを選択したい場合に、このオプションを選択します。 ● スキップ: その画像の処理をスキップし、次の画像の処理を開始します。 ● 置き換え: 保存先フォルダにある画像を編集された画像で置き換えます。 ● 名前を変更する: 編集された画像の名前を変更します。	
最終更新日時を保存する	オリジナル画像に最終更新日のデータが含まれていて、編集後の画像にも同一の最終更新日を含ませたい場合に、このオプションを選択します。	
メタデータを保存	オリジナル画像にメタデータが含まれていて、編集後の画像にも同一のメタデータを含ませたい場合に、このオプションを選択します。	
データベース情報を保持する	オリジナル画像の ACDSee メタデータを保持する場合は、このオプションを選択します。	
ファイル出力	ファイル フォーマット	出力する画像のファイルフォーマットを選択します。
	ピクセル フォーマット	編集後の画像の BPP (Bit Per Pixel) 値と、画像のカラーまたはグレースケールを指定するためのオプションです。編集後の画像を、オリジナル画像と同じピクセル フォーマット (あるいは最も近いフォーマット) にしたい場合には、 【自動】 を選択します。また、カラーの画像をグレースケールに変換する、あるいは他のソフトウェアで対応できるピクセル フォーマットに変換する場合も、このオプションを使用します。
	色空間情報	[色空間情報] チェックボックスを選択して、ドロップダウンリストから色空間オプションを選択します。



調整レイヤーの追加後に記録を開始した場合、その記録は、同じ調整レイヤーがすでに追加されているターゲット画像にのみ適用できます。



レイヤーが 1 つの画像へのレイヤーの追加を記録した後、レイヤーが複数あるターゲット画像にこの記録を適用した場合、他のすべてのレイヤーの一番上にレイヤーが追加されます。



複数のレイヤーがある画像の特定の調整レイヤーへの調整を記録した場合、同じ調整レイヤーがあるターゲット画像にのみ記録が適用されます。例えば、記録に 3 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれており、それを調整した場合、ターゲット画像にも 3 番目のレイヤーとしてシャープ化調整レイヤーが含まれている必要があります。



レイヤーが 1 つの画像への全体的な調整を記録した後、レイヤーを追加し、レイヤーが複数あるターゲット画像にその記録を適用した場合、ターゲット画像は統合されます。全体的な調整が画像全体に適用され、その上にレイヤーが追加されます。

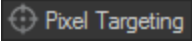
記録を共有するには:

1. C:\Users\<ユーザー名>\AppData\Local\ACD Systems\Actions\ へ移動します。
2. 対象の記録を選択してコピーします。
3. お好みの方法で .acda ファイルを共有します。例えば、メールに添付できます。

カラーまたはトーンを調整する対象

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができ、編集ブラシでは写真の中の選択した一部分だけに希望の調整を行うことができます。そして、ピクセルターゲットを使用すると特定のトーン、カラー、そしてスキントーンだけを対象として調整を行うことができます。ピクセルターゲットは編集モードにあるいくつかの調整ツールで使用することができ、画像上の特定のカラーやトーンだけにその調整を適用できるようになる機能です。例えば、画像を開いて編集モードにある露出を選択すると、調整した露出は画像全体に渡って適用されます。しかし、もしも画像の青い空の箇所の露出だけ調整したい場合、ピクセルターゲットを使用して青色だけを選択すれば、青い空の部分の露出だけを増加させることが可能になります。

ピクセルターゲットを使用してターゲットのみのカラー・トーンを調整するには:

1. 編集モードにある次のいずれかのツールを開きます: ヴィネット、特殊効果どれでも、チルトシフト、露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ライトEQ、ホワイトバランス、アドバンス カラー、カラーバランス、モノクロ、スプリットトーン、シャープネス、ぼかし、ノイズ、または明瞭度。
2. 画像上部のコンテキストバーにある **ピクセルターゲット** ボタンをクリックします。 
3. ピクセルターゲットパネルの設定を以下のように設定します。
4. 選択した編集ツールの設定を調整します。対象として選択したカラーまたはトーンだけが調整されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲット パネルは、次の 4 つのセクションで構成されています。ターゲット トーン、ターゲット カラー、ターゲット スキントーン、ターゲット マスク。

ターゲット マスク:

ターゲット (対象) となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲットマスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲット パネルを最初に開いたときのように、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲットマスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

ターゲットトーンのスライダーでは、明るさのトーンを調整することができます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンが解除されますので、それからターゲットとしたいトーンのスライダーを 0 から 100 の間でお好みで調整します。

ターゲット カラー:

ターゲットトーンのスライダーでは、特定のカラーを調整することができます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのカラーの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいカラーのスライダーを 0 から 100 の間でお好みで調整します。

ターゲット スキントーン:

スキントーンのスライダーでは、特にスキントーンを調整することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間でお好みによって右にスライドさせて調整します。

ターゲット スキンのスライダーを移動させると、スキントーン以外のすべてのカラーが対象外になります。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。スキントーンとカラーを同時にターゲットにして調整したい場合、まずターゲット スキントーンを実行してから、次に編集ツールを選択後、調整したら、**適用** をクリックします。次にピクセルターゲット パネルをクリックして開いたら、トーンまたはカラーをターゲットに設定します。

調整済みのスキントーンを対象から除外するには、スライダーを 0 から -100 の間でお好みでスライドさせます。この方法を使えば、スキントーンに影響を与えることなく、さまざまな編集ツールで設定した調整を画像に適用することができます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ピクセルターゲットは、選択範囲 または 編集ブラシ とペアで使うとさらに効果を発揮します。ピクセルターゲットと同時にこのようなツールを使うと、画像にある青い色すべてではなく、人物の青い目の部分だけなど、画像の特定の細部まで正確に狙って編集することができます。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】**をクリックします。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。ピクセルターゲット パネルにあるプリセットの保存を使用すると、ピクセルターゲットで調整した対象設定だけが保存され、編集ツールで設定した露出などの調整は保存されません。この2つは別々に保存する必要があります。

編集ブラシを使用する

編集モードのツールは、写真全体にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部にだけ適用したい場合も時にはあります。例えば、写真全体をぼかすのではなく、背景など、写真の一部だけをぼかしたい、というような場合です。このような部分的な調整を行うことができるのが、編集ブラシです。

編集ブラシは、写真の一部をブラシでなぞるようにするだけで簡単に効果を適用できます。編集ブラシでは、どのピクセルに効果を適用するかを決定するためにマスクを作成します。



編集ブラシ

編集ブラシが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバーの上中央に、編集ブラシ ボタンが表示されます。

編集ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **編集ブラシ** ボタンをクリックして、ブラッシング モードに入り、ブラシ コントロールを開きます。
3. パネルのブラシ設定を指定します。
4. 写真に効果を描画します。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **完了** をクリックしてブラシ ストロークを適用します。



または、ブラシパネル

ブラシ コントロールの編集

ブラシ ストロークの追加	マウスの左ボタンを押しながら描画します。
ブラシ ストロークの消去	マウスの右ボタンを押しながら描画します。
ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してペン先の幅を変更するか、ペン先の幅スライダを使用します。
フェザリング	スライダでブラシストロークと画像の間のトランジションの濃淡の調整ができます。 SHIFT + マウスホイール を使用してフェザリングの量を調整するか、または フェザリング スライダを使用します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強度を指定します。
ブラシ モードとカーソル適用ツールを切り替える	ライトEQ™やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、 ALT キーを押しながらブラシ モードをツールの使用に切り替えることができます。
すべてのブラシストロークをクリア	 画像からすべてのブラシ ストロークを削除します。
すべてのブラシストロークを反転	 ブラシストロークを反転します。つまり、ブラシを適用した領域から効果が消え、適用しなかった領域に効果が適用されます。これは画像の大部分に効果を適用したい場合に便利です。つまり強化を適用したくない部分にのみブラシを適用した後で反転すればいいわけです。
最後に適用したブラシストロークを読み込み	 最後にブラシを適用した領域に効果を適用します。
スマート ブラシ	下記の「 スマート ブラシ 」セクションを参照してください。
ブラシ ストロークを表示	 このオプションが有効の場合、ブラシのストロークが選択されている色で表示されます。これは複雑な領域にわずかな効果を適用したい場合に便利です。もしくは S キーを押下するとブラシストロークを表示できます。

 編集ブラシをクリックしてブラッシングモードに入った場合、ブラシ ストロークを適用して調整を確認します。

 ブラシモードを終了するには、編集ブラシボタンをクリックします。 

 [ファイル] メニュー下部にある [元に戻す] ボタンを使えばブラシストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す] ボタンを使えばブラシストロークを個別にやり直すことができます。

 [ブレンド モード](#) および [選択範囲](#) で編集ブラシを使用し、効果の適用方法を変更することも可能です。

編集ブラシは、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、編集ブラシが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。編集ブラシは次のツールでは利用できません:トリミング、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、回転、反転、透かし、テキスト、赤目補正、修整ツール、および選択範囲。

スマート ブラシ

スマートブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに絞ることができます。スマートブラシは、ピクセル値がブラシ ストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

スマート ブラシを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。

2. **編集ブラシ**ボタンをクリックして、ブラッシングモードに入り、ブラシコントロールを開きます。



または、ブラシパネル

はキーボードの **B** キーで表示/非表示を切り替えることができます。

3. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである色(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。

明るさ ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである明るさ(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。

マジック ブラシストロークの中央とピクセル値が同じである色と明るさの値の組み合わせ(しきい値設定によって異なる)を使って、ブラシでなぞるべきかどうかを判断します。

4. しきい値スライダーを使って、スマートブラシ効果のピクセルの範囲を増減させます。
5. 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、効果のペイントを開始します。
6. スライダーを変更して効果を調整します。
7. **完了** をクリックしてブラシストロークを適用します。



SHIFT を長押しするとスマートブラシが一時的に無効になります。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにするには:

スマートブラシのドロップダウンメニューから**オフ**を選択します。

グラデーションツールを使用する

編集モードのツールは、写真の全体に調整を適用することができますが、しばしば、写真に対して段階的に適用したい場合もあります。例えば、ぼかしを写真全体に均一に適用するのではなく、徐々に適用したり、画像の一部に適用したい場合などです。その場合には、グラデーションツールを使って、効果を写真全体にグラデーションをかけて適用しましょう。

グラデーションツール

グラデーションツールが利用可能な編集ツールでは、編集パネルツールバーの上中央に、グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーションツールを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **グラデーション** ツールボタンをクリックして  グラデーションモードに入ります。または、グラデーションパネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルのグラデーション設定を指定します。
4. 画像上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスの一方のサイドでは、グラデーションツールによって効果が適用され、他方では一切適用されません。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**SHIFT** キーを押しながら、ボックスを動かすと45°の角度でガイドを移動することができます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **適用** または **完了** をクリックします。

グラデーションツールオプション

グラデーションの反転



グラデーションを反転します。画像の上部からグラデーションを開始する効果を適用した後、反転ボタンをクリックすると、グラデーションが反転して画像の下部から適用されるようになります。

グラデーションマスクを表示

☒ グラデーションマスクを表示

このオプションが有効の場合、グラデーションマスクが選択されている色で表示されます。もしくはキーを押下するとグラデーションマスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

グラデーション ツールとカーソル適用 ツールを切り替える

ライト EQ™ やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**ALT** キーを押しながらグラデーションモードをツールの使用に切り替えることができます。



グラデーションモードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシ モード に切り替える際、グラデーションマスクを保持するには、**SHIFT** キーを押しながら、編集ブラシ ボタンをク



リックします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。

グラデーションツールは、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、編集ブラシが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。グラデーション ツールは次のツールでは利用できません：詳細 ブラシ、覆い焼きと焼きこみ、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、トリミング、回転、描画ツール、ヴィネット、枠、透かし、テキスト、修整ツール、赤目補正、選択範囲。

放射状グラデーション ツールを使用する

編集ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、しばしば、写真にの一部分だけに適用したい場合もあるでしょう。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。放射状グラデーション ツールを使用して効果を丸く適用したり、画像の中心に直接適用することができます。

放射状グラデーション ツール

放射状グラデーション ツールが利用可能な編集ツールでは、編集パネル ツールバー上部に放射状グラデーションツールボタンが表示されます。

グラデーション ツールを使用するには:

1. 編集モードで、使用したいツールを選択します。
2. **放射状グラデーション** ツールボタンをクリックして  グラデーション モードに入ります。または、放射状グラデーションパネルはキーボードのキーで表示/非表示を切り替えることができます。
3. パネルの放射状グラデーション設定を指定します。
4. 画像上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。放射状グラデーションで適用した効果は、効果のない箇所（円の中）と効果が強い箇所（円の外）が出会う円の境目で、遷移します。はっきり確認するには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスを有効にします。**SHIFT** キーを押しながら、ボックスを動かして放射状グラデーションを変更して円を上げます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。
6. **【完了】** をクリックします。

グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えてグラデーションを反転します。[グラデーションの反転] ボタンをクリックして、画像の中心部 (円形のガイドの中) に効果を適用してください。放射状グラデーションの外側は変更されません。

グラデーションマスクを表示



このオプションが有効の場合、放射状グラデーションマスクが選択されている色で表示されます。もしくはキーを押下するとグラデーションマスクを表示できます。ドロップダウン矢印をクリックして別の色を選択します。

放射状グラデーション ツールとカーソル適用ツールを切り替える

ライト EQ™ やホワイトバランスのように画像上での描画やクリックを含むフィルタの場合、**ALT** キーを押しながら円形グラデーションモードをツールの使用に切り替えることができます。



放射状グラデーションモードを終了するには、放射状グラデーション ツール ボタンをクリックします。



編集ブラシモードに切り替える際、放射状グラデーションマスクを保持するには、**Shift** キーを押しながら、編集ブラシ ボタンをクリックします。こうすると、グラデーションマスクを追加したり、不必要な部分を削除したりすることができます。



放射状グラデーションツールは、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、編集ブラシが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。放射状グラデーション ツールは次のツールでは利用できません: 詳細ブラシ、覆い焼きと焼きこみ、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、トリミング、回転、描画ツール、ヴィネット、枠、透かし、テキスト、修整ツール、赤目補正、選択範囲。

ブレンドモードと不透明度について

編集内のツールの中には、スクリーンの上部に「ブレンド」と「不透明度」というツールが表示するものがあります。これらのツールをクリエイティブに使用して、新しい画像を生み出すことができます。「ブレンドモード」と「不透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

不透明度

「不透明度」スライダは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。施された編集が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。

ブレンドモード

オリジナルの画像と編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

標準	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
書き込む	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較(暗)	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)
比較(明)	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています)
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダで斑点の強度をコントロールします。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。



編集ブラシ



を使用すると、画像の一部に効果を描画し、ブレンドモードと透明度スライダを設定して効果の度合いを変更することができます。

「ブレンドモード」と「不透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。「ブレンドモード」と「不透明度」が表示されないツールの一覧は次の通りです: トリミング、サイズ変更、レンズの歪み補正、透視の補正、回転、反転、透かし、テキスト、赤目補正、修整ツール、選択範囲。

レイヤーを使用する

編集モードにあるレイヤーペインを使って、レイヤーに効果や形を追加をしたり、写真加工を実行したり、合成写真を作成するなどさまざまな編集が楽しめます。レイヤーを使うと他の画像に影響を与えることなく、画像のある特定の要素だけに作業を行うことができます。レイヤーは透明にも不透明にもできるため、レイヤーを重ねることで各レイヤーに追加する要素の可視性を自由に調整できます。レイヤーは非表示にすることもできます。

レイヤーは特殊効果や調整ツール、描画ツール、テキストなど複数のツールと併用して使用することができます。レイヤーペインでレイヤーを選択したら、効果を適用したり、透明度を調整したりすることができます。ブランクの画像を作成して、その上にその他の要素をレイヤーとして載せることもできます。



ジオメトリに関する調整はすべてのレイヤーに適用されます。

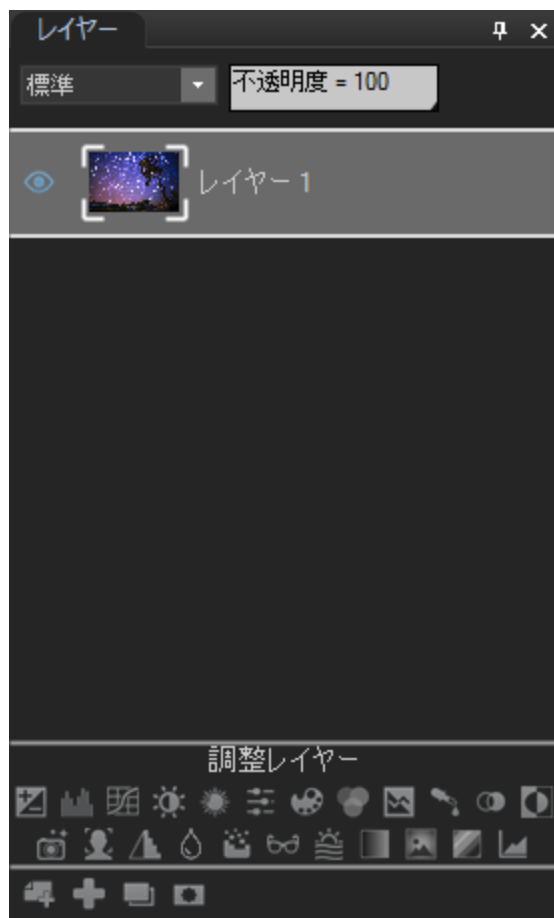


新しいレイヤーにテキストまたは透かしを追加するオプションもあります。

レイヤーペインを開くには:

[編集] モードで画像を開いたら、【ペイン】から【レイヤー】に進みます。

レイヤーペインを開くと、画像がレイヤー 1 の上に表示されます。この時点で、写真を編集したり、他の写真や描画要素（シェイプなど）を含んだ別のレイヤーを追加したりできます。[マスク](#)を作成して下層のレイヤーを表示 / 非表示することもできます。



レイヤーを追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- レイヤーペインの下にある【レイヤーを追加する】をクリックします。
- 【レイヤー】から【新しいレイヤーを追加】をクリックします。



レイヤーを編集するには、レイヤーペインで該当のレイヤーを選択します。

レイヤーペインにもう 1 つ画像を追加するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- レイヤーペインの下部にある【ファイルからレイヤーを追加】ボタンを押します。
- 【レイヤー】から【ファイルからレイヤーを追加】に進みます。
- 編集モードの下にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを選択してレイヤーペインにドラッグします。
- 編集モードの下の方にあるフィルムストリップから画像のサムネイルを右クリックし、コンテキストメニューから【ファイルからレイヤーを追加】を選択します。



レイヤーの可視性を設定するには:

レイヤーを選択したら、【レイヤーの非表示】をクリックします。

レイヤーの表示



レイヤーの非表示



レイヤーを削除するには:

レイヤーを選択したら、【レイヤーの削除】をクリックします。



レイヤーを複製するには:

複製したいレイヤーを選択したら、【レイヤーの複製】をクリックします。



レイヤーを移動するには:

レイヤーペインで、レイヤーを選択して上下にドラッグします。

レイヤー名を変更するには:

- "レイヤー 1" などからレイヤー名を変更するには、レイヤーを選択して右クリックします。
- 【レイヤー名の変更】を選択します。
- 【レイヤー名の変更】ダイアログボックスで、レイヤー名を入力して【OK】をクリックします。

レイヤーを結合するには:

レイヤーは下層のレイヤーと結合することができます。

- 一番上のレイヤー、または下にレイヤーが存在しているレイヤーを選択します。

- 【下のレイヤーと結合する】をクリックします。



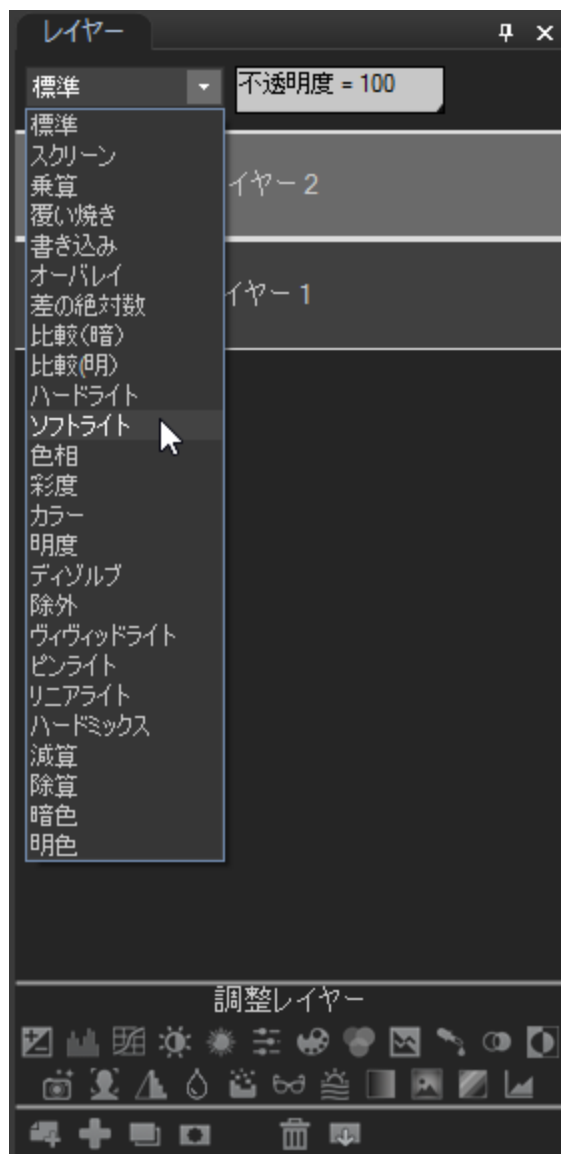
画像を統合するには:

すべてのレイヤーをひとつの画像に統合するには、次の操作を行います:

【レイヤー】メニューから【画像を統合】を選択します。

レイヤーのブレンドモードと不透明度を変更するには:

【ブレンド】モードによって、それぞれのレイヤーがどのようにブレンドされるかが決まります。ブレンドは、例えばレイヤーの順序が変更されても、適用されたレイヤーに固定されます。不透明度では、レイヤーの可視性、透明度を調整することができます。



1. レイヤーを選択します。
2. レイヤーペインの上部にあるドロップダウンリストから、お好きな **【ブレンドモード】** を選択します。
3. レイヤーペイン上部の **【不透明度】** スライダーを移動させて調整します。

レイヤーになった画像を保存する:

レイヤー化された画像を保存する場合、[名前を付けて保存] ダイアログが開きます。ファイルフォーマットはデフォルトで .acdc に設定されています。.acdc ファイルフォーマットで保存すると、その後 [編集] モードで画像を再度開いたときも、レイヤーにアクセスすることができます。



画像を統合したり、レイヤーをすべて結合した場合には、[名前を付けて保存] ダイアログボックスには既定のフォーマットとして .acdc は表示されません。

このファイルフォーマットは、すべてのビット深度画像に対してデフォルトで各チャンネル 8 ビットで保存されます。RAW ファイル、64 ビット TIFF ファイルなどチャンネルデータごとに 16 ビットある画像に対しては、各チャンネル 16 ビットで保存することもできます。これによってより高画質な画像が実現しますが、ファイルサイズも大きくなります。16 ビットで保存するには、[名前を付けて保存] ダイアログボックスで [各チャンネルデータ 16 ビット] チェックボックスを選択します。このオプションを使用して各チャンネルデータが 16 ビットより低い画像を保存しようとする、各チャンネル 8 ビットで保存されます。

新しい画像を作成するには:

ブランクのまったく新しい画像を作成することができます。

1. **[ファイル]** メニューから **[新しい画像...]** をクリックします。
2. [新しい画像] ダイアログ ボックスで、画像名と幅を入力します。
3. [背景のコンテンツ] ドロップダウンメニューから画像の背景色を選択します。
4. [ビット数] ドロップダウンメニューから、画像を 32 ビットか 64 ビットにするか選択します。
5. **[OK]** を押下します。新しい画像が .acdc フォーマットで開きます。

レイヤーマスクを追加するには、[レイヤーでマスクを使用する](#)を参照してください。

調整レイヤーを使用する

[レイヤー] ペインの [調整レイヤー] セクションを使用すると、[編集] モードの画像に対して非破壊的な調整と効果の追加を実行できます。調整レイヤーは [レイヤー] ペインで重なっており、いつでも個々のレイヤーに戻って、各効果に対する調整を続行することができます。各調整レイヤーにはデフォルトでマスクが含まれています。

調整レイヤーを含む画像を .acdc ファイルとして保存することで、その画像を [編集] モードで開き直し、引き続きいつでも各効果を個別に調整することができます。



最高の仕上がりを得るには、調整レイヤーを追加する前に全体の調整をすべて行います。

調整レイヤーを追加するには:

[編集] モードで画像を開いた状態で、[レイヤー] ペインの下部にある調整レイヤーアイコンを選択します。

調整レイヤーが [レイヤー] ペインの画像の上に追加されます。調整レイヤーの設定がパネルの下部に表示されます。下の表を参考にして、設定を行います。

調整レイヤーを特定の画像に適用するには:

[レイヤー] ペインに複数の画像がある場合、調整レイヤーを特定の画像に制限することができます。

1 つの調整レイヤーをその下の最も近い画像レイヤーだけに適用するには、[クリッピング] ボタンを有効にします。



クリッピング オフ



クリッピング オン

複数の調整レイヤーを特定の 1 つの画像レイヤーに適用するには、それらの調整レイヤーの [クリッピング] ボタンをすべて有効にします。

調整レイヤーと設定

露出調整レイヤーオプション

露出	スライダを右に移動して露出の量を増やすか、左に移動して露出の量を減らします。
コントラスト	スライダを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。

レベル調整レイヤーオプション

- [レベル] パネルの右側にあるボタンを使用して、調整する明るさ、レッド、グリーン、ブルーチャンネルを選択します。
- パネルの下部にある矢印を使用して、シャドウ、中間調、ハイライトを調整します。シャドウの矢印を移動して、画像の最も黒い部分を指定します。中間調の矢印を移動して、中間調を指定します。ハイライトの矢印を移動して、画像の最も白い部分を指定します。

カーブ調整レイヤーオプション

[カーブ] パネルの右側にあるボタンを使用して、調整する RGB、レッド、グリーン、ブルーチャンネルを選択します。

[トーンカーブを調整する] を参照してください。

ライト EQ™ 調整レイヤーオプション

明るくする	スライダをドラッグして、画像の暗い部分の明るさの量を増やします。
暗くする	スライダをドラッグして、画像の暗い部分の明るさの量を減らします。

ホワイトバランス調整レイヤーオプション

温度	補正の暖かさをブルーからイエローに調整します。
着色	補正の着色をマゼンタからグリーンに調整します。

自然な彩度調整レイヤーオプション

バイバランス	スライダを右に移動して自然な彩度の量を増やすか、左に移動して自然な彩度の量を減らします。自然な彩度を増やしても、画像のトーンは影響されません。彩度と異なり、すべての色に等しく影響するわけではありません。
彩度	スライダを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
色相	画像の色相を調整します。スライダを右に移動して色相の量を増やすか、左に移動して色相の量を減らします。
輝度	画像の明るさを調整します。スライダを右に移動して明るさの量を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。

カラー EQ 調整レイヤーオプション

[彩度]、[色相]、[明るさ] のいずれかのタブを選択し、スライダをドラッグして個々の色を調整します。

バイバランス	[自然な彩度] スライダをドラッグして、トーンを変えずに画像の明るさを調整します。
彩度	飽和(スライダ上)からグレースケール(スライダ下)まで調整することができます。
色相	カラーの色相を変更します。
輝度	画像の明るさ(スライダ上)から暗さ(スライダ下)まで調整することができます。

RGB 調整レイヤーオプション

[レッド]、[グリーン]、[ブルー] のスライダを使用して、画像の RGB チャンネルのバランスや高さを調整します。

スキントーン調整レイヤーオプション

ハイライトの色相	スライダーを右にドラッグしてハイライトの色を選択します。
ハイライトの彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。
シャドウの色相	スライダーを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
シャドウの彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。
バランス	スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダーが最大値 50 に設定されている場合、ハイライト色が最も強調され、スライダーが最小値 -50 に設定されている場合は、シャドウ色が最も強調されます。

色の追加調整レイヤーオプション

- 画像に追加する色を選択します。
- [密度] スライダーを使用して、追加した色の強度を指定します。

モノクロ調整レイヤーオプション

[レッド]、[グリーン]、[ブルー] のスライダーを調整して、モノクロ画像に色を追加し直します。

輝度 画像の色の明るさを調整します。

ネガ調整レイヤー

ネガ調整レイヤーにより、画像からネガが作成されます。この調整レイヤーに関する設定はありません。

写真効果調整レイヤーオプション

ドロップダウンメニューから写真効果を選択して、画像のルックアンドフィールを変更します。



マウスホイールを使用すると、写真効果を素早くスクロールすることができます。

スキントーン調整レイヤーオプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かい部分に、上げれば大きい部分に作用します。

シャープネス調整レイヤーオプション

強度	エッジの各サイドにライトを増減することで、適用するシャープネスの強度を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が荒く仕上がりが、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細かく仕上がります。
詳細	強度を減らすことにより光輪（極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線）を抑えます。大きな値ほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。

ぼかし調整レイヤーオプション

[ガウス] または [方向] ボタンを選択してぼかしの種類を選びます。 

ガウス	全体を均等に、滑らかにぼかします。
強度	ぼかしの強度を調整します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
方向	画像に動きをつけてぼかします。
強度	ぼかしの強度を調整します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
角度	ぼかし効果が適用される方向を指定します。

ノイズ除去調整レイヤーオプション

明るさ	ノイズ中の明るさのばらつきを除去します。
カラー	カラーに見られるノイズをランダムに除去します。

明瞭度調整レイヤーオプション

鮮明度	スライダを右にドラッグして画像のテクスチャを強調します。スライダを左にドラッグして画像のテクスチャを滑らかにします。
オートン	スライダをドラッグして局所コントラストを強調しつつテクスチャを微かに滑らかにします。
ソフトライト	スライダをドラッグして明るさを上げつつテクスチャを微かに滑らかにします。
トーンの幅	スライダをドラッグしてシャドウの量をコントロールします。ハイライトは明瞭度、オートン、ソフトライトのスライダによって調整します。値 0 を選択して中間調の調整を制限します。値 100 を選択してすべてのトーンで均等に調整を適用します。
半径	スライダをドラッグして、影響を受けるテクスチャの詳細のスケールをコントロールします。値 0 を選択すると細かな詳細が強調され、値 100 を選択すると大きめの詳細が強調されます。
輪郭の強調処理	強調テクスチャによってエッジ周辺に光輪ができるのを抑え、テクスチャを滑らかにする際のエッジのソフト化を最小限にするには、このチェックボックスをオンにします。

かすみ除去調整レイヤーオプション

スライダをドラッグしてコントラスト、ディテール、色補正の強度を調整します。

グラデーションマップ調整レイヤーオプション

シャドウ	画像の暗い領域に追加する色を指定します。
ハイライト	画像の明るい領域に追加する色を指定します。

ヴィネット調整レイヤーオプション

強度	ヴィネットのサイズと強度を指定します。
距離	焦点の周りにあるクリアゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが小さくなります。スライダを左に動かすと、クリアゾーンのサイズが大きくなります。
図形	フレームの形を指定します。

ポスタライズ調整レイヤーオプション

[ポスタライズ効果の適用参照。](#)

しきい値調整レイヤーオプション

スライダを使って明るさのレベルを選択しますその明るさより明るいピクセルはすべて白くなり、暗いピクセルはすべて黒くなります。

レイヤーでマスクを使用する

レイヤーマスクで、レイヤーの透明度を調整することができます。不透明スライダはレイヤー全体の不透明度を簡単に調整したいときにとても便利ですが、レイヤー マスクはレイヤーの特定部分に絞って調整したいときに効果を発揮します。レイヤーマスクを使って下層にあるレイヤーの一部を表示 / 非表示にしましょう。複数の画像を1つの画像に統合したいときや、一部分だけ調整したいときに、レイヤーマスクは非常に効果的です。

次のように考えると、レイヤーマスクとはどんなものかわかり易くなります：

ホワイトマスクとは下層にあるレイヤーを完全にカバーします。ホワイトマスクを黒いブラシでペイントすると、マスクにまるで "穴" ができるようにブラシをするため、その下にあるレイヤーが透けて見えるようになります。反対にブラックマスクは透明なので、下層にあるレイヤーを完全に表示します。ブラックマスクを白いブラシでペイントすると、画像を覆い隠しているため、その下にあるレイヤーがカバーされて隠されます。

レイヤーマスクを作成するには：

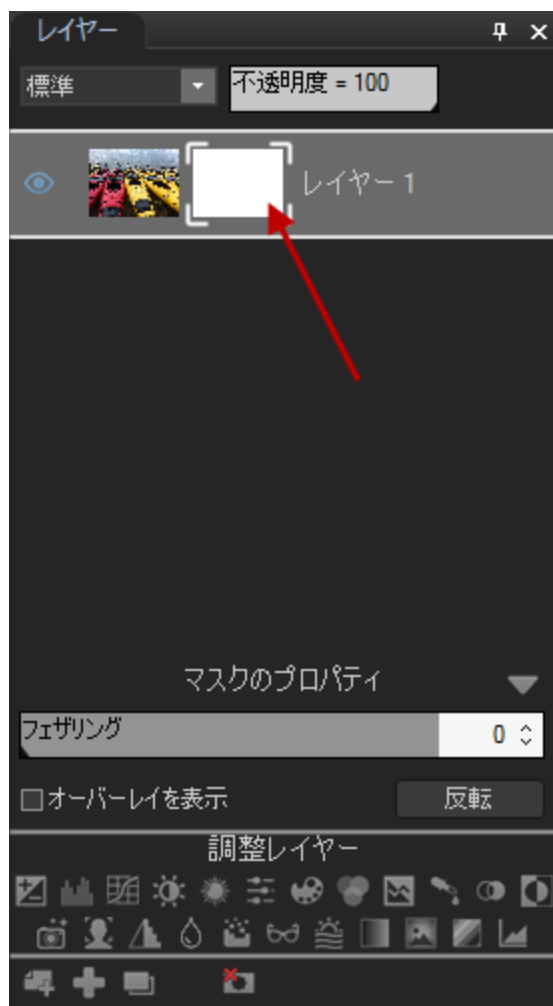
以下のいずれかの操作を行います：

- レイヤー ペインで、レイヤーマスクを追加したいレイヤーを右クリックして、**【ホワイトマスクを設定】**または**【ブラックマスクを設定】**を選択します。
- 【レイヤー】** から **【マスク】** に進み、**【ホワイトマスクを設定】** または **【ブラックマスクを設定】** に進みます。

- レイヤーペインの下方にある **【レイヤーマスクを追加する】** ボタンをクリックします。

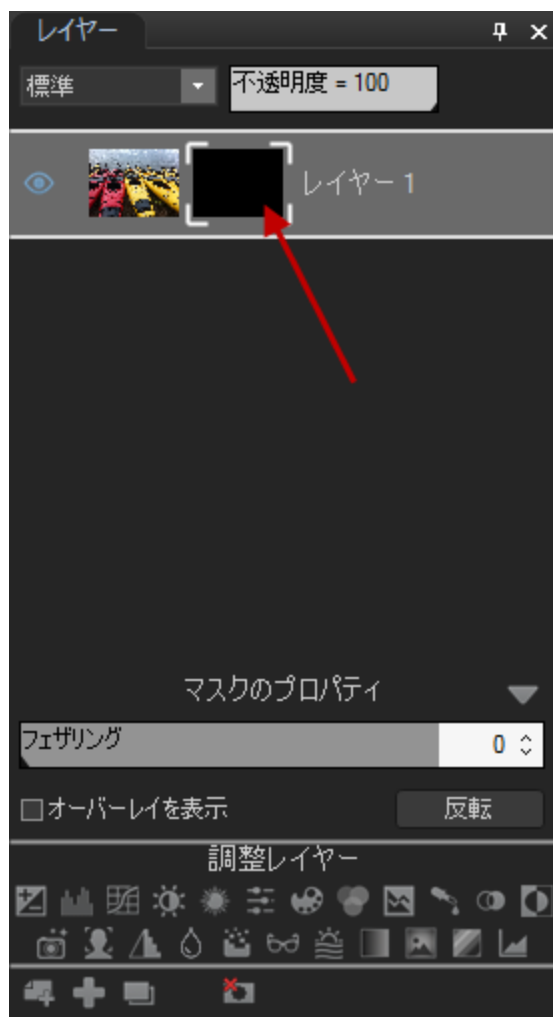


ホワイトまたはブラックのマスクが、選択したレイヤーの画像サムネイルの横に表示されます。レイヤーマスクを操作する場合は、必ずマスクをレイヤーペインで選択する必要があります。レイヤーマスクの不透明度を変更するには、レイヤー ペイン上部にある不透明度スライダをドラッグします。選択してツールを使用することで、あらゆる **【編集】** モードの調整をレイヤーマスクに適用できます。



ホワイトマスク選
択時

ブラックマスク選択時



マスクのプロパティ

[マスクのプロパティ] パネルを使って、各レイヤーの各レイヤーマスクのプロパティを個別に調整することができます。これらの調整は非破壊的であるため、編集プロセスのどの時点でも実行できます。

[マスクのプロパティ] パネルにアクセスするには:

[レイヤー] ペインでマスクを選択します。[マスクのプロパティ] は、このペインの下部、[調整レイヤー] の上に表示されます。

レイヤー マスクに対して実行できる調整:

フェザリング

マスクに非破壊的なフェザリングを施すことで、マスクとレイヤーの間にシャープなエッジや著しいコントラストが発生しないようにすることができます。スライダを動かしてマスクのエッジをぼやかします。

反転

マスクを非破壊的に反転させることができます。この効果を使うと、ホワイト マスクがブラックになり、ブラック マスクがホワイトになります。

マスク オーバーレイを表示する:

[マスクのプロパティ] パネルの【オーバーレイを表示】チェックボックスを有効にすると、マスクを見やすくすることができます。

マスク オーバーレイをカスタマイズするには:

1. [レイヤー] ペインで対象マスクを右クリックし、**[マスク オーバーレイ オプション...]** を選択します。
2. [マスク オーバーレイ オプション] ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します。

マスクをハイライト

このオプションでは、選択した色でマスクにハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度] スライダーを使えば、マスク オーバーレイの透明度をカスタマイズできます。

マスクを露出

このオプションでは、選択した色で、レイヤーのマスクされていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度] スライダーを使えば、マークされていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. **[OK]**を押下します。



マスク オーバーレイは、そのレイヤーが選択されている時しか表示されません。

レイヤーマスクを編集するには:

レイヤーペインでレイヤーマスクを選択し、調整や、描画または選択ツールを選択します。

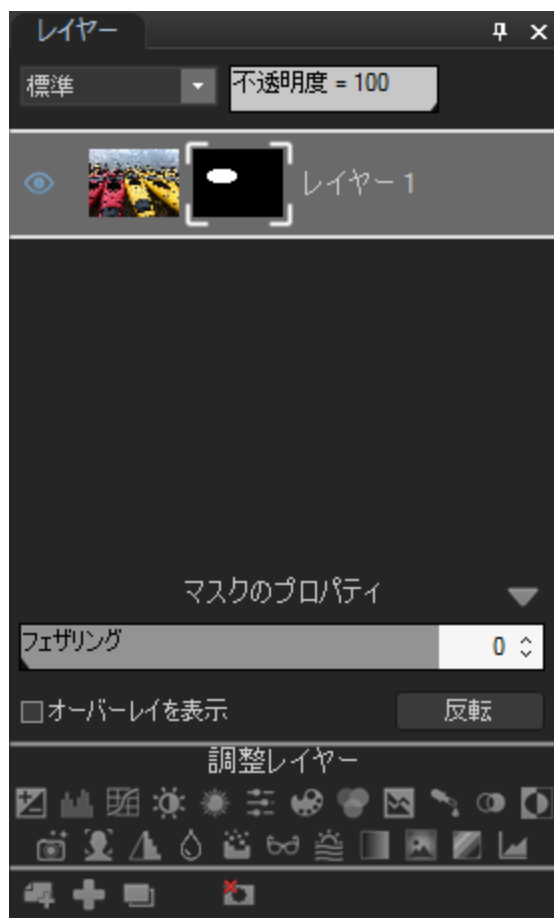
マスクの柔軟性

マスクの選択対象の作成や変更が可能です。

選択した範囲からレイヤーマスクを作成するには:

選択した範囲からもレイヤーマスクを作成することが可能です。

1. 範囲を選択します。
2. **[レイヤー]** から **[マスク]**、**[選択範囲から]**とクリックします。



または:

1. 範囲を選択します。
2. **【レイヤー マスクを追加する】** ボタンを押します。または、[レイヤー] ペインの下部にあるアイコンのいずれかを選択して調整レイヤーを追加します。選択範囲からマスクが自動で作成されます。

マスクを選択範囲に追加するには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして **【選択範囲にマスクを加える】** を選択します。

選択範囲からマスクを差し引くには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして **【選択範囲からマスクを引く】** を選択します。

マスクと選択範囲の共通領域を選択するには:

1. [レイヤー] ペインでマスクを選択した上で、選択範囲を作成します。
2. マスクを右クリックして **【選択範囲とマスクの交わり】** を選択します。

選択したマスク ピクセルを削除するには:

「[選択範囲を使用する](#)」を参照してください。

特定の色とトーンからレイヤー マスクを作成する

指定した色 やトーンから、さらにはスキントーンからもマスクを作成することができます。

色やトーンを指定してレイヤー マスクを作成するには:

1. レイヤーを選択して、前述の通りホワイトマスクかブラックマスクを設定します。
2. マスクを右クリックして **【ピクセル ターゲット...】** を選択します。
3. **【ピクセル ターゲット】** パネルの設定を以下のように設定します。
4. **【OK】**を押下します。指定した色 やトーンからマスクが作成されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲット パネルは、次の 4 つのセクションで構成されています。ターゲット トーン、ターゲット カラー、ターゲット スキントーン、ターゲット マスク。

ターゲット マスク:

ターゲット (対象)となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲットマスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲット パネルを最初に開いたときに、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲットマスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

[ターゲット トーン] スライダーを使うと、マスクの明るさのトーンを指定することができます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある **【最小】** ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンの選択が解除されるので、マスクに対してターゲットとしたいトーンのスライダーを使って 0 から 100 の間で自由に調整できるようになります。

ターゲット カラー:

[ターゲット カラー] スライダーを使うと、マスクに対して特定のカラーを指定することができます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある **【最小】** ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべての色の選択が解除されるので、マスクに対してターゲットとしたい色のスライダーを使って 0 から 100 の間で自由に調整できるようになります。

ターゲット スキントーン:

[ターゲット スキントーン] スライダーを使うと、マスクに対してスキントーンを具体的に指定することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間でお好みによって右にスライドさせて調整します。

ターゲット スキンのスライダーを移動させると、スキントーン以外のすべてのカラーが対象外になります。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。

スキントーンをマスクから除外するには、スライダーを左に動かします(0 ~ -100)。

周波数分離でリタッチする

周波数分離を使うと、ディテールを維持した状態で、光の反射、照明のむら、肌のしみなどを除去することができます。画像を高周波レイヤーと低周波レイヤーに分離することで、テクスチャを失うことなく画像を修整できます。

周波数分離を適用するには:

レイヤーペインで選択した画像に対して、次の作業のいずれかを実行します。

- レイヤーを右クリックして **【周波数分離】** を選択します。
- **【レイヤー】** から **【周波数分離】** を選択します。
- **CTRL + SHIFT + F** を押します。

画像が、高周波 (HF) と低周波 (LF) の2つのレイヤーに分離されました。低周波レイヤーには、画像のトーン、カラー、シャドウが含まれており、ぼやけた画像になります。これはテクスチャ情報が高周波レイヤーに保存されているためです。



画像をリタッチする

補正を一方のレイヤーに隔離することで、自然な外観を維持しながら画像を修整できます。周波数分離を利用してリタッチする方法は2つあります。

低周波レイヤー

低周波レイヤーのぼかし効果を使えば、照明の不整合やむらを除去できます。低周波レイヤーを選択した上で、[詳細ブラシ] ツールまたは [ぼかし] ツールを使用するか、選択ツールまたは選択ブラシを使用して特定の領域にぼかし効果を適用します。

高周波レイヤー

高周波レイヤーのクローン効果を使えば、テクスチャの均等化と、ディテール関連の欠陥の補正が可能です。高周波レイヤーを選択した上で、[修復] ツールを使ってクローン効果を適用します。

選択範囲を使用する

[範囲選択] ツールを使用して、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して、その領域だけに編集やフィルタを適用することができます。6 のさまざまな選択ツールがあり、画像の領域の選択方法がツールごとに異なります。選択したツールによって、利用できるオプションやコントロールが変わります。

範囲選択ツールを使用するには:

1. 編集モードで画像を開いて、左上にある次のツールから選択してボタンをクリックします: ブラシ選択ツール、多角形選択ツール、四角形選択ツール、楕円形選択ツール、投げなわ選択ツール、自動選択ツール。各ツールの詳しい使用方法につきましては、下記をご覧ください。

選択範囲 ツールは、次の編集ツールで利用することができます:

- 修整: スキントーン、色収差
- 追加: ヴィネット、特殊効果、チルトシフト、描画ツール、グレイン
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、Light EQ™、かすみ除去、覆い焼きと焼きこみ
- カラー: ホワイトバランス、カラー EQ、カラーバランス、モノクロ、スプリット トーン
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ、明瞭度、詳細ブラシ

選択範囲 ツール

- 
自由選択: 左マウスをクリックしながら、カーソルをドラッグして選択範囲を描くようにして選択します。描いた領域を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、ありの行進のようなラインで表示されます。
- 
自動選択: 画像上の任意の場所をクリックすると、その色に似たピクセルすべてが選択範囲として表示されます。クリックした色と同じカラーピクセルのものだけを選択する、あるいは似たカラーピクセルすべてを含むかのいずれかを指定することができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択され、従って選択されるピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、クリックされたピクセルに似たピクセルの数を増やすことになります。
- 
四角形 または 楕円形: クリック & ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスを放して終了点を指定します。
- 
多角形: 画像上の任意の場所をクリックすると、範囲選択が開始されます。マウスを動かすと、選択範囲がカーソルに従って変化します。選択ラインの方向を変更するには、マウスの左ボタンでクリックします。範囲選択を完了するにはダブルクリックします。
- 
ブラシ: ブラシ選択ツールを使うと、色、明るさ、または色と明るさの組み合わせに基づいて、選択範囲を絞ることができます。選択範囲を定義するために、コンテキスト バーのドロップダウン メニューから、色、明るさ、または自動選択を選択します。ブラシの中心を、対象とする色、輝度、または色と明るさの組み合わせに合わせて、ブラシ処理を開始します。しきい値を増加させて、より広範囲のピクセルを選択範囲に含めることができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに近い色を持つピクセルだけが選択されるので、選択されるピクセルの数を制限することになります。右クリックで選択範囲を消去できます。

オーバーレイ オプション

範囲選択タスクに最適な可視化に基づいて、選択範囲の見た目をカスタマイズすることができます。

選択オーバーレイをカスタマイズするには:

1. **【選択】** から **【オーバーレイ オプション...】** を選択します。
2. **【オーバーレイ オプション】** ダイアログで、次のオプションのいずれかを選択します。

蠟の行進

このオプションでは、動く点線で選択範囲の輪郭線を引きます。

選択範囲をハイライト

このオプションでは、選択した色で選択範囲にハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度]スライダを使うと、カラーオーバーレイの透明度をカスタマイズできます。

選択範囲を露出

このオプションでは、選択した色で、画像内の選択されていない領域にハイライト処理を施します。ドロップダウンメニューから色を選択します。[不透明度]スライダを使うと、選択されていない領域の透明度をカスタマイズできます。

3. **[OK]**を押下します。

選択範囲 ツールを使う

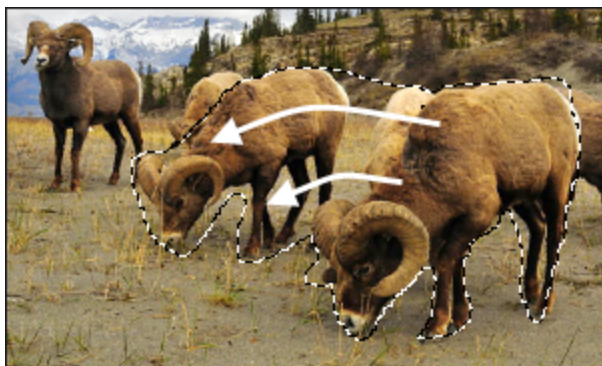
【自由選択】を使用するには:

1. **【自由選択】** ツールボタンをクリックします。
2. 画像上で、左マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。
3. マウスボタンを放すと、選択範囲が完了します。



4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックします。(自由選択、四角形、楕円形の場合)
5. 既に選択されている範囲に追加するには、**SHIFT**キーをホールドするか、またはコンテキストバーにある**選択範囲に追加**ボタンを押しながら、オリジナルの選択ラインを含みながら希望する形を描きます。

マウスを放すと、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



6. 複数の領域を選択範囲に追加するには、**SHIFT**キーをホールドするか、またはコンテキストバーにある**選択範囲に追加**ボタンを押しながら、該当の領域を描きます。

その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



7. 選択範囲から任意の領域を削除するには、**CTRL**キーをホールドするか、またはコンテキストバーにある **選択範囲から削除** ボタンを押しながら、オリジナルの選択ラインを含みながら形を描くか、またはラインを取り囲みます。
8. 選択領域の外側を編集または効果を適用したい場合、**【選択】**メニューの**【反転】**をクリックすると選択範囲を反転します。
これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



【プレビュー】 ボタン  を長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用します。

自動選択を使用するには:

1. **自由選択** ツールボタンをクリックします。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
 - **【しきい値】** スライダーを調整して、選択範囲に含むピクセル数を指定します。**【しきい値】** スライダーは、クリックされたピクセルに似たカラーピクセルをどれだけ選択範囲に含むかを指定するためのものです。
 - クリックしたピクセルだけ選択したい場合は、**隣接するピクセルのみ** チェックボックスにチェックを入れます。
 - **<SHIFT>** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックして含むピクセルを増やします。
 - **<CTRL>** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックしてピクセルを削除します。
4. **【選択モード】** ドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します:
 - **明るさ:** クリックした画像上の領域に近い明るさのピクセルが選択されます。
 - **カラー:** クリックした画像上の領域に近い明るさと色合のピクセルが選択されます。



カラーを選択して範囲選択するのが一般的です。

- **RGB:** クリックした画像上の領域に近いレッド、グリーン、ブルー (RGB) のピクセルが選択されます。



[プレビュー] ボタン  を長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、[選択範囲に適用](#)します。

四角形または楕円形選択ツールを使用するには:

1. 四角形ボタンまたは楕円形ボタンのいずれかを選択します。
2. クリック & ドラッグで、選択範囲を描きます。
3. 次のいずれかを実行します:
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**SHIFT** キーをホールドした状態で、または [**選択範囲に追加**] ボタン  を使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲を描きます。マウスを放すと、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 複数の領域を選択範囲に追加するには、**SHIFT** キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
 - 既存の選択範囲から領域を削除するには、**CTRL** キーをホールドした状態で、または [**選択範囲から削除**] ボタン  を使って、削除したい領域と交わる選択範囲を描きます。マウスを放すと、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー] ボタン  を長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、[選択範囲に適用](#)します。

多角形選択ツールを使用するには:

1. 多角形ボタンを選択します。
2. 画像の任意の場所をクリックして範囲選択を開始します。
3. 選択ラインの方向を変更するには、もう一度クリックします。
4. 範囲選択を完了するにはダブルクリックします。
5. 次のいずれかを実行します:
 - すでに選択されている範囲にさらに範囲を追加するには、**SHIFT** キーをホールドした状態で、または [**選択範囲に追加**] ボタン  を使って、オリジナルの選択ラインの一部を含む選択範囲を描きます。ダブルクリックすると、選択範囲が追加された形で表示されます。
 - 複数の領域を選択範囲に追加するには、**SHIFT** キーをホールドした状態でドラッグを繰り返し、複数の領域を追加します。
 - 既存の選択範囲から領域を削除するには、**CTRL** キーをホールドした状態で、または [**選択範囲から削除**] ボタン  を使って、削除したい領域と交わる選択範囲を描きます。ダブルクリックすると、選択範囲に含まれていた領域がドラッグした部分だけ選択範囲より削除されます。



[プレビュー] ボタン  を長押しすると選択範囲マスクのプレビューを表示できます。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、[選択範囲に適用](#)します。

ブラシ選択ツールを使用するには:

1. **【ブラシ選択】** ボタンを選択します。
2. スマート ブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	ブラシ中心部のピクセルの色値(しきい値設定によって異なる)にどれだけ近いかによって、ピクセルを選択します。
明るさ	ブラシ中心部のピクセルの明るさの値(しきい値設定によって異なる)にどれだけ近いかによって、ピクセルを選択します。
マジック	ブラシ中心部の色値と明るさの値(しきい値設定によって異なる)の組み合わせにどれだけ近いかによって、ピクセルを選択します。

3. [しきい値] スライダーを使って、選択したピクセルの範囲を増減させます。
4. 選択したい色または明るさにカーソルを合わせ、クリックして画像までドラッグし、選択範囲を作成します。

 選択範囲から領域を削除するには、選択を解除したい領域の上で右クリックしてその領域を描きます。

 ブラシを既定の選択ツールとして使用するには、**SHIFT** キーをホールドした状態でブラシを使用します。

その後、適用したい編集ツールや特殊効果を選択して、選択範囲に適用します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ツールを組み合わせる

選択範囲ツールは、複数のツールと合わせて使用することも可能です。例えば、[自動選択] を使用して特定の色を含んだ大まかな領域を選択した後、[自由選択] に切り替えて、選択範囲を細かく調整します。あるいは、[四角形] を使用して大まかな領域を選択した後、[自由選択] で微調整を行います。

選択範囲 ツールを組み合わせるには:

1. ツールを選択して範囲を指定します。
2. 別の選択範囲ツールを選択します。
3. **選択範囲に追加** ボタンをクリックします。 
4. もう一度範囲を選択します。

選択範囲をプリセットとして保存するには:

使用した設定はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。範囲選択ツールで範囲を選択したら、**【選択】メニューの【選択範囲を保存する...】** をクリックします。

以前保存した選択範囲を使用するときには、**【選択】メニューの【選択範囲をロード...】** をクリックします。

保存した選択範囲を削除するには、**【選択】メニューの【選択範囲を管理...】** をクリックします。

選択範囲を切り取って貼り付けるには:

1. 選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【Ctrl + C】** または **【Ctrl + X】** を押します。
 - **【編集】メニューから【コピー】** とクリックします。
3. 次のいずれかの操作を行います:
 - **【Ctrl + P】** を押します。
 - **【編集】メニューから【貼り付け】** とクリックします。

レイヤーエディタの選択した (有効な) レイヤー上の新しいレイヤーに選択した範囲が貼り付けられます。

選択したピクセルを削除するには:

画像内またはマスク内で選択した領域を削除できます。削除したピクセルを取り戻すには、[元に戻す] ボタンを使用します。

1. 範囲を選択します。
2. **【選択】** から **【選択したピクセルを削除】** をクリックします。



ALT + DELETE キーを押してもピクセルを削除できます。

選択した範囲からレイヤーマスクを作成するには:

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

マスクを追加する、または選択範囲からマスクを差し引くには:

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

選択範囲にマスクを交差させるには:

[「レイヤーでマスクを使用する」](#)を参照してください。

選択範囲を絞り込む

特定のカラートーン、明るさの値、スキントーンに対して選択範囲を絞り込むことができます。

カラー別またはトーン別にピクセルを選択するには:

1. **【選択】** から **【ピクセル ターゲット...】** をクリックします。
2. [ピクセル ターゲット] パネルの設定を以下のように設定します。
3. **【OK】** を押下します。指定したカラーまたはトーンが選択されます。

ピクセルターゲット パネル

ピクセルターゲット パネルは、次の 4 つのセクションで構成されています。ターゲット トーン、ターゲット カラー、ターゲット スキントーン、ターゲット マスク。

ターゲット マスク:

ターゲット (対象) となるカラーやトーンが画像上に配置されている部分を白で表示します。ターゲットとなるピクセルが選択されていないときは、ターゲット マスクは真っ黒になります。反対に、ピクセルターゲット パネルを最初に開いたときのように、すべてのピクセルがターゲットとして選択されているとき、ターゲット マスクは真っ白に表示されます。

ターゲット トーン:

[ターゲット トーン] スライダーを使うと、選択範囲に対して明るさのトーンを指定できます。1つ、または複数のトーンをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのトーンの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいトーンのスライダーを 0 から 100 の間で好みで調整します。

ターゲット カラー:

[ターゲット トーン] スライダーでは、選択範囲に対して特定の色を指定できます。1つ、または複数のカラーをターゲットとするには、ターゲットトーンの下にある [最小] ボタンをクリックすると簡単に調整できます。このボタンをクリックするとすべてのカラーの選択が解除されますので、それからターゲットとしたいカラーのスライダーを 0 から 100 の間で好みで調整します。

ターゲット スキントーン:

[ターゲット スキントーン] スライダーを使うと、選択領域に対してスキントーンを具体的に指定することができます。スキントーンをターゲットとするには、スライダーを 0 から 100 の間で好みによって右にスライドさせて調整します。

[ターゲット スキン] スライダーを移動させると、スキントーン以外のすべてのカラーが除外されます。例えば、グリーンカラーのスライダーで調整ができなくなります。

選択領域からスキントーンを除外するには、スライダーを左に動かします(0 ~ -100)。

選択範囲の編集または効果を適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の編集したい特定の部分のみ選択することができます。選択が完了したら、その選択範囲内のみカラーや露出などの編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、ありの行進のようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには:

1. 選択範囲ツール を使用して、範囲を特定して選択します。

2. 以下のグループから使用するツールを選択します:

- 露出 /ライティング
- カラー
- ディテール
- 追加 (特殊効果)

! ここで、**選択範囲** のボタンがオンになっていることを確認します。

3. ツールを使って画像を編集します。

次のオプションのいずれかを選択します:

選択範囲の表示 / 選択範囲を隠す 	クリックして、ありの行進のように示される選択範囲のラインを表示または非表示に切り替えます。選択範囲を非表示に設定すると、様々な効果を確認しやすくなります。
選択範囲の使用 	クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、 選択範囲の使用 を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。
選択範囲の反転 	クリックして選択範囲を反転します。(選択範囲外の領域が選択されることになります)。
フェザリング	ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。 フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐことになります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。

スマート削除ツールを使用する

画像の中の不要なオブジェクトを選択するか、またはブラシでなぞって、スマート削除機能を使用すると、画像から不要なオブジェクトを削除することができます。スマート削除は、画像を分析して、ブラシでなぞった領域や選択した領域の最適な塗りつぶし方法を予測する機能です。この処理は、選択したオブジェクトやブラシでなぞったオブジェクトがない状態に最も近い画像に基づいています。

! 画像の 25% 以上を選択している場合またはブラシでなぞった場合、スマート削除機能は意図したとおりに機能しません。

選択範囲を消去して塗りつぶすには:

1. [編集] モードで、パネル上部にある選択ツールを選択します。
2. 画像の中で塗りつぶしたい領域を選択します。
3. [選択] から[スマート削除]をクリックします。塗りつぶしが適用されます。
4. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。

 ブラシ選択ツールを使用している場合、[強度] スライダーを 50 以上に設定しておく必要があります。

スマート削除ブラシツールを使用して削除と塗りつぶしを実行するには:

1. [編集] モードで、パネル上部にあるツールバーから[スマート削除ブラシ]  を選択します。
2. 塗りつぶしたい領域をブラシでなぞります。マウス ボタンを放すと、塗りつぶしが適用されます。
3. 希望する外観になるまで手順を繰り返します。

赤目を補正する

編集モードの[赤目補正] ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。

赤目を補正するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループの[赤目補正]を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[赤目補正] ツールにアクセスすることもできます。

2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目の中心を拡大表示します。
3. 目の赤い部分をクリックします。
4. [赤目補正] グループで、下の表を参考にしてスライダーを調整します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダーを右に移動して暗くする領域のサイズを増やすか、左に移動して減らします。
暗くする	スライダーを右に移動して色の塗りつぶしを増やすか、左に移動して量を減らします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から[現像済みに戻す]を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



白い丸の上にマウスカーソルを移動して、マウスをスクロールするとサイズを変更できます。



輪郭を表示する オプションで白い丸の表示/非表示を切り替えます。



現在選択されている白い丸を削除するには、**Del** キーを押します。

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます:

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

[画像の修整] ツールには次の 2 つのオプションがあります: [美肌効果] と [クローン]

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっかりなじむことになります。美肌効果ツールは肌や毛皮など、表面が細かい画像の修整に効果的です。

[クローン] ツールは、画像の一部を別の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像を補整するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループから **[修整ツール]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [修整ツール] にアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- **美肌効果**: ソースのピクセルをコピー先にコピーしながら、領域の周りにあるピクセルとブレンドして色をなじませます。
- **クローン**: コピー先にソースのピクセルを忠実にコピーします。

3. **[ペン先の幅]** と **[フェザリング]** のスライダをドラッグします。以下の表を参照ください。

4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

5. コピーしたい領域をクリック & ドラッグします。美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンを放した際に ACDSee によってピクセルの分析と置き換えが行われます。

6. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



[リセット] をクリックすると、スライダがリセットされます。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル] | [現像済みに戻す]** を選択します。



SHIFT キーを押しながらスクロールするとフェザリングを調整できます。

修整ツールオプション

ペン先の幅	ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズに相対します。
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。
圧力	クローン ツールのソース ポイントを設定した後、スライダを調節して、適用されている効果の強度をコントロールします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキントーンを調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。

肌の色合いを補正するには:

1. [編集] モードで、[修復] グループの **[スキントーン]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [スキントーン] ツールにアクセスすることもできます。

2. [スキントーン] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

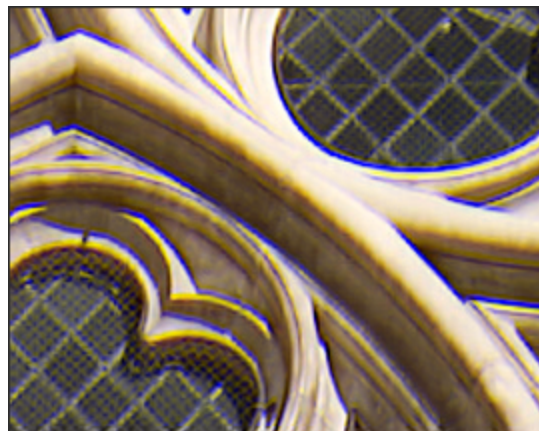
スキントーンオプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。値を下げれば細かい部分に、上げれば大きい部分に作用します。

色収差の補正

色収差は、ハイコントラストの領域がフリッジのように見えてしまうレンズ撮影の成果物です。カメラのレンズは、ライトの周波数によってフォーカスを変更しなければいけないため、ハイコントラストの画像ではカラーフリッジやカラーラインが発生してしまいます。パープルフリッジは、レンズのフロントに明るい領域がある場合にも発生します。

次の画像は、ブルー/イエローフリッジの発生を示した例です。



[編集] モードの [色収差の補正] ツールを使用すると、カラーフリッジを抑えることができます。建築物などを撮影した画像にとっても便利な機能です。最良の結果を生み出すために、まず [色収差の補正] スライダを調整してから、[フリッジ除去] スライダを調整するようにお勧めします。

画像のノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、**[補正]** グループから、**[色収差の補正]** をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[色収差の補正]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下を参考にしてスライダを調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

色収差の補正 オプション

レッド/シアン	レッドとシアンのチャンネルを調整して、レッド/シアンのフリンジを減らします。
ブルー/イエロー	ブルーとイエローのチャンネルを調整して、ブルー/イエローのフリンジを減らします。
強度	ハイコントラストのエッジから除去したいフリンジ色の量を調整します。値をゼロに設定すると、フリンジ除去機能がオフになります。
半径	フリンジ除去する、エッジ周辺のピクセル数を調整します。
カラー	ハイコントラストのエッジから除去するカラーを調整します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像にテキストを追加する

編集モードの**[テキストの追加]** ツールを使って、画像にテキストを追加したり、吹き出しテキストを加えて漫画のように面白く仕上げることができます。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れる際に便利です。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像にテキストを追加するには:

1. [編集] モードの**[追加]** グループで、**[テキスト]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**[テキスト]** ツールにアクセスすることもできます。

2. **[テキスト]** フィールドにテキストを入力します。
3. **[フォント]** 領域では、使用するフォント、斜体や中央揃えなどのフォーマット オプション、テキストの色を指定します。**[サイズ]** スライダーをドラッグしてフォントのサイズを、スライダーをドラッグしてテキストの透明度を指定します。
4. マーキーをクリック & ドラッグしてテキストの場所を変更したり、マーキーにある四角をドラッグしてサイズ変更したりします。
5. **[ブレンドモード]** ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。

6. 以下のいずれかの操作を行います:

- **【会話吹き出し】** チェックボックスを選択し、以下の一覧で解説されているように会話吹き出しのオプションを設定します。会話吹き出しを選択すると、特殊効果などを選択できなくなります。予めご了承ください。
- **【効果】**、**【ドロップシャドウ】**、**【斜角縁】** チェックボックスをオンにして、テキストをカスタマイズします。**【設定】** ボタンをクリックして、各オプションの設定を調整します。オプションの詳細につきましては、以下の一覧をご覧ください。

7. 以下のいずれかの操作を行います:

- **【適用】** をクリックして画像にテキストを追加します。[テキストの追加] ツールを開いたままにすると、継続してテキストを追加することができます。[テキストの追加] ツールは、空白の新規マーキーを作成します。上記手順 3 に戻ります。
- **【完了】** をクリックしてテキストの追加を終了し、[編集] に戻ります。空白のマーキーが開かれている場合、マーキーは自動的に削除されます。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

テキストの追加オプション

会話吹き出しの設定	話言葉	漫画でよく見られる、角度の付いた話し言葉の吹き出しにテキストを入力します。
	考え	漫画でよく見られる、角度の付いた考えの吹き出しにテキストを入力します。
	角度	吹き出しの角度を設定します。矢印をドラッグして角度を調整します。
	厚さ	吹き出しボーダーの幅を指定します。
	長さ	吹き出しの角度の長さを設定します。
	塗りつぶし	吹き出しの背景色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
	枠	吹き出しのボーダーに使う色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
効果の設定	効果	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。
ドロップシャドウの設定	距離	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。
斜角縁の設定	斜角縁	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	テキスト上の最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。
新しいレイヤーとしてテキストを追加	レイヤーエディタでテキストを新しいレイヤーとして表示したい場合は、このチェックボックスを選択します。	



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

描画ツールを使う

編集モードの描画ツールを使うと、画像に線や四角、円、矢印などを描くことができます。ペン先の幅やフェザリング、ブラシのブレンディングなど、用途に応じてさまざまな設定が可能です。

描画するには:

1. 編集モードで画像を開いた左上にある次のツールから選択します:

	ツール	説明
	ハンド	ハンドツールを使うと、描画ツールや範囲選択ツールなど使用中のツールを終了することができます。スクロールするような画像の場合、ハンドツールを使って画像をパンすることもできます。
	移動	移動ツールでは、画像および選択範囲を動かすだけでなく、画像のサイズを変更したり、回転することもできます。また、各レイヤーに作成した円や直線などのオブジェクトを回転させたり、移動することもできます。移動ツールを選択して、画像をクリックしてドラッグします。各レイヤーにあるオブジェクトを動かしたい場合は、レイヤーを選択してから画像上のオブジェクトをクリックして、移動したい箇所までドラッグします。移動を確定するには、コンテキストバーにある 確定 ボタンを押します。操作した移動を破棄して、画像を元の位置に戻すには、破棄 ボタンをクリックします。 サイズを変更しても画像の縦横比をそのまま維持するには、コンテキストバーにある 縦横比を固定する のチェックボックスにチェックを入れてから画像の角からドラッグします。[縦横比を固定する] チェックボックスは、規定では有効になっています。 画像やオブジェクトを回転させるには、画像またはオブジェクトの中心にある回転ハンドルに、カーソルを丸い矢印の形になるまで合わせます。それからカーソルを、時計回りまたは反時計回りにドラッグします。回転中に SHIFT キーをホールドすることで、45°ずつ回転させることができますようになります。 レイヤーを画像エリアの外側に移動させてそのレイヤーを確定し、その後、[移動] ツールボタンをもう一度押すと、画像データを失うことなくそのレイヤーを画像エリアに戻すことができます。ファイルを .acd ファイルとして保存して閉じ、後日もう一度そのファイルを開いて、移動させたレイヤーを復元することもできます。ただし補正の中には、移動させたレイヤーに適用していると画像データの消失を招くものもあります。このような補正は破壊的処理と呼ばれます。 以下は破壊的処理です。 - 修復ツール - テキストの追加 ([テキストを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れないで追加する場合) - 透かしの追加 ([透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れないで追加する場合) - 枠の追加 - ヴィネットの追加 - チルトシフトの追加 - 回転 - トリミング - 透視補正 - レンズ補正 - サイズ変更 - 覆い焼きと焼きこみ - 詳細ブラシ - ぼかし - 反転 - 以下の特殊効果:

曇りガラス	グラナイト	飛散タイル
ブラインド	グランジ	金属シート
ブルースチール	揺れ	シフト
Bob Ross	ロモ	アングル
膨張	ミラー	ソラリゼーション
マンガ	オイルペイント	くすみ
ノスタルジア	アンティーク	ステンドグラス
雲	オートン	太陽スポット
コラージュ	輪郭	渦巻き
等高線	ピクセル爆発	地形図
クロスハッチ	モザイク	ウォーター
ペンキ画	霞み	ウォータードロップ
ドラマチック	放射状波形	波
柔毛エッジ	雨	織り
グルーム	波紋	風

- 自動ボタンを使用して適用された補正 (混合仕上げ)
- 選択対象
- 描画ツール
- マスクの追加または変更



非破壊的処理の記録と再生は、結果的に破壊的処理を招きます。



破壊的処理は移動したいレイヤーにあらかじめ適用しておくことをお勧めします。

以下は非破壊的処理で、移動させたレイヤーに適用していても画像データの消失を招きません。



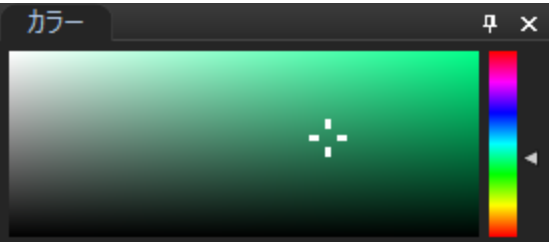
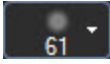
ハードドライブの空き容量が足りない場合は、非破壊的処理でも破壊的になります。

- 赤目補正
 - テキストの追加 ([テキストを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れて追加する場合)
 - 透かしの追加 ([透かしを新規レイヤーとして追加] チェックボックスにチェックを入れて追加する場合)
 - 露出
 - レベル
 - 自動レベル
 - トーンカーブ
 - かすみの除去
 - ホワイトバランス
 - モノクロ
 - スプリットトーン
 - スキントーン
-

		• シャープネス • ノイズ • 明瞭度 • ライトEQ • 調整レイヤー • 重複レイヤー • ブレンドモード • 不透明度 • 対応レイヤーでのブラシ処理 • ピクセルターゲット • 対応レイヤーの選択対象 • 以下の特殊効果:
		コンボリレーション エッジ検出 セピア 写真効果 ネオン効果 70年代 ポストライズ ソーベル クレヨン画 しきい値 グラデーション マップ エンボス カラーエッジ ネガティブ 鉛筆画
	長方形	矩形を描画します。 SHIFT キーを押しながら描くと正方形になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし] チェックボックスが選択されていることを確認します。
	楕円	楕円形を描画します。 SHIFT キーを押しながら描くと円になります。図形を色で塗りつぶす場合は、[塗りつぶし] チェックボックスが選択されていることを確認します。
	直線	画像上に直線を描きます。 SHIFT キーを押しながら描くと垂直線、または水平線になります。
	矢印	矢印を描画します。 SHIFT キーを押しながら描くと垂直または水平の矢印になります。
	多角形	多角形の角をクリックして作成し、始点と終点をダブルクリックで結合します。描いた多角形を色で塗りつぶしたいときは、塗りつぶしのチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。
	カーブ	画像上でドラッグした後マウスボタンを離します。続いてマウスを動かしてカーブの度合いを調整し、クリックで確定します。
	ブラシ	画像の上でドラッグして自由に流れるラインを描きます。マウスで左クリックすると前景色で、右クリックすると背景色で描きます。
		 マウスホイール を使用してペン先の幅を調整するか、パネル上部の不透明度スライダの近くにある【ペン先の幅】スライダを使用します。
		 SHIFT + マウスホイール を使用してフェザリングの量を調整するか、またはパネル上部の不透明度スライダの近くにある【フェザリング】スライダを使用します。
		 【ファイル】メニュー下部にある[元に戻す] ボタンを使えばブラシストロークを個別に元に戻すことができ、[やり直す] ボタンを使えばブラシストロークを個別にやり直すことができます。

	塗りつぶし	塗りつぶし ボタンを選択して画像上をクリックすると、クリックしたピクセルと同じカラー値のピクセルはすべて選択した色で色付けされます。選択した色はカラーボックスに次のように定義されます。しきい値 スライダーを調整して、選択範囲に含むピクセル数を指定します。しきい値 スライダーは、クリックされたピクセルに似たカラーピクセルをどれだけ選択範囲に含むかを指定するためのものです。画像上に位置するコンテキストバーの 接続 チェックボックスを有効にすると、同じ色のピクセルをすべて塗りつぶすことができます。
	グラナイト	[グラデーション] ツールを使用して画像にグラデーションを描くか、放射オプションを使用してエリア周辺にグラデーションを描きます。[グラデーション] ツールを選択したら、[コンテキスト] バーを使用して色、不透明度、ブレンドモードを設定します。放射状グラデーションの場合は、[コンテキスト] バーの [放射状グラデーション] ボタンを選択します。次に、画像でドラッグしてグラデーションを描きます。グラデーションを破棄するには、[コンテキスト] バーの 破棄 ボタンを押します。必要に応じてグラデーションを再調整したら、[コンテキスト] バーの 確定 ボタンを押します。確定を元に戻すには、[Ctrl + Z] を押すか、編集 元に戻す を選択するか、履歴ウィンドウ を使用します。
	消しゴム	消しゴムツールを使ってピクセルを消去することができます。レイヤーのピクセルを消去して下にあるレイヤーを表示するには、レイヤーエディタで、2番目またはそれ以上のレイヤーを選択して、画像上の消去したいピクセル上にカーソルをドラッグします。このツールはピクセルのアルファチャンネル値を変更します。
	スポイト	[スポイト] ツールを使用して画像から色を選択します。画像内の色をクリックすると、パネルの右上にあるカラーボックスに表示されます。[ブラシ] ツールなどの描画ツールを使用して、この色を適用することができます。 画像上で右クリックして背景色 (カラーボックスの下部) を選択することができます。 画像を左クリックしてアプリケーションの外にある色までカーソルをドラッグすれば、アプリケーションの外から色を選択できます。マウスボタンを放すとその色が選択され、パネル右上のカラーボックスに表示されます。

2. : 選択したツールにより利用可能なオプションは異なります):

	オプション	説明
	カラー	パネル右上のカラーボックスをクリックして色を選択し、前景または背景の色の設定ダイアログを開くと、ダイアログが表示され、スウォッチから色を選択できます。長方形などのしっかりとしたシェイプを描いている場合、シェイプの輪郭に使われる色は、一番上（前景）のカラーボックスによって決まります。シェイプの中心を塗る色は、一番下（背景）のカラーボックスによって決まります。形に単色を適用したい場合は、どちらのボックスも同じ色に定義します。  カラーボックスのすぐ横のリセットボタンを押すと白黒にリセットすることができます。  レイヤーエディタの上部にあるカラーペインを使うと、カラーパレットに直接アクセスすることもできます。
		
	ペン先の幅	ペン先の幅 スライダーをドラッグして幅を変更するか、数値（単位：ピクセル）を変更してサイズを設定します。ペン先の幅は、マウスホイールを使ったり、画像を右クリックしてペン先の幅スライダを表示させて調整することができます。
	フェザリング	ペン先の幅 ボタンをクリックして、フェザリングスライダを表示します。フェザリング スライダをドラッグしてぼかしの半径を変更します。画像を右クリックするとペン先の幅およびフェザリングスライダが表示されます。または、マウスホイールを使っている間 SHIFT キーをホールドして、ドットの円で表されたフェザリングの半径を調整します。
	スペース	スペーシング スライダをドラッグしてブラシセグメントの間隔を設定します。このスライダを使って、ペン先の幅のサイズのパーセントを指定し、ストロークをどの程度滑らかにするのか、または途切れ途切れにするのかを決定します。 自動スペーシング: 自動スペーシングを使用 チェックボックスを選択すると、滑らかなストロークが描かれるように、ACDSee によりペン先幅とフェザリングの設定に基づいてスペーシングのパーセントが選択されます。
	塗りつぶし	塗りつぶし チェックボックスを選択して、描いた形を選択した色で塗りつぶします。
	不透明度	不透明度 スライダをドラッグして、ブラシストロークの透明度を指定します。
	ブレンド	ブレンド ドロップダウンメニューからオプションを選択してブラシストロークと画像のブレンドを設定します。

3. 画像上で描画します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像に透かしを追加する

[透かし] ツールを使用して、画像に透かし模様を追加することができます。画像の任意の位置に透かしを移動することができます。透かしの不透明度を変更して、画像と透かしをブレンドすることもできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像に透かしを追加する前に、透かしとして使用する画像を作成する必要があります。

画像に透かしを追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[透かし]** を選択します。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[透かし]** ツールにアクセスすることもできます。

2. **[参照]** をクリックして、透かしとして使用する画像を選択し、**[開く]** をクリックします。
3. 透かしをクリック & ドラッグして、画像上の希望する位置に移動するか、**[中央]** をクリックして透かしを画像の中央に移動します。
4. マーキーのハンドル部分をドラッグして、透かしのサイズを変更します。
5. 透かしの縦横比を変更せずにサイズ変更したい場合には、**[サイズ変更時に縦横比を保持する]** を選択します。
6. 透かしにアルファチャンネルが存在し、それを適用したい場合には、**[アルファチャンネルを適用する]** を選択します。
(TIF と ICO の透かしファイルのみ、アルファチャンネルを含むことができます。
7. 透かしの色を透明にしたい場合には、**[透過を使用する]** を選択します。
既定の色は白です。RGB の値を入力することもできます。RGB 値がわからない場合、[編集] パネルの透かしのプレビューサムネール上にマウスを移動して、透明にしたい色をクリックします。
8. **[ブレンドモード]** ドロップダウンからオプションを選択して、画像と透かしをどのようにブレンドするかを指定します。
9. **[不透明度]** スライダーをドラッグして、透かしの透明度を指定します。
10. レイヤーエディタで透かしを新しいレイヤーとして表示したい場合は、**[新しいレイヤーとして透かしを追加]** チェックボックスを選択します。
11. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **[適用]** をクリックして画像に透かしを追加し、**[透かし]** ツールを開いたままの状態にします。
 - **[完了]** をクリックして透かしの追加を終了し、ツールを終了します。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

枠を追加する

[枠] ツールを使用して、複数の枠を画像に追加したり、エッジ効果を加えたりすることができます。枠の各サイドのサイズを設定したり、枠の色やテクスチャを変えたり、画像の任意の色をクリックして枠の色として使用したりすることが可能です。

エッジとテクスチャのライブラリから選択することもできますが、カスタムメードのテクスチャやエッジを ACDSee フォルダに保存してライブラリに追加することも可能です。

[エッジのぼかし] を使ってエッジをソフトにしたり、背景のテクスチャとブレンドしたりすることもできます。ドロップシャドウや浮き出しのエッジ効果を使って、画像に 3D 効果を加えることもできます。

複数の枠やエッジ効果を使って、画像のムードや雰囲気を変えたり、コントラストを強調したり、カラーを浮き立たせたりすることが可能です。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像に枠を追加するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[枠]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[枠]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表を参照して、サイズ、カラー、テクスチャ、エッジ、エッジ効果を選択し枠を作成します。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用して [枠] ツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

4. 別の枠を追加するには、ツールをもう一度開き、上述の手順を繰り返します。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

枠 オプション

スポイト



画像上の任意の場所をクリックすると、カーソルの置かれている場所の色が選択されます。枠の色がクリックされた色に変化します。枠ペインの [カラーボックス] にもその色が表示されますので、[色の設定] ダイアログを開いて希望する色に変えることも可能です。



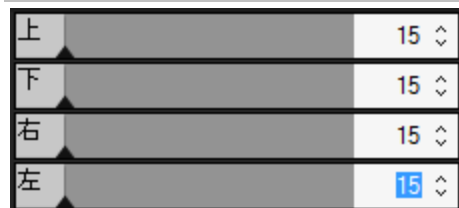
テキストチャが選択されている場合、スポイトは使用できませんのでご注意ください。

枠

サイズ

枠の幅サイズをすべて同じに設定します。スライダを左右にドラッグして、枠の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。

[サイズ] フィールドの下に、枠を含んだ画像サイズが表示されます。枠のサイズを調整するにつれ、ここに表示される最終サイズが変わります。

アドバンス
コントロール

ポップアップのアドバンス サイズ コントロールが表示されます。スライダを使用する、上下の矢印キーを使用する、数値を直接入力する、のいずれかの方法で、枠の各サイドの幅を個別に設定します。著作権情報を入力するスペースが必要なため、枠の下幅を大きく設定したい場合、などが例として挙げられます。[サイズ] スライダの横にある矢印をクリックすると、アドバンス コントロール メニューが開かれます。

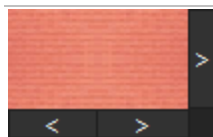


カラー ボックス

【カラー】ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- 画像の中にある任意の色をクリックして、枠の色として使用します。クリックされた色がカラー ボックスに表示されます。
- カラー ボックスの中央部分をクリックすると、[色の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、様々な方法で色を設定することができます。
- ボックスの横にある下矢印をクリックして、クイックカラー ボックスの上にマウスを移動してお気に入りの色を見つけます。クイックカラー ボックスのボックス内をクリックすると、その色がカラー ボックスに表示され、枠の色もその色に変わります。

テキストチャ
ボックス

【テキストチャ】ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- ボックスの右横にある矢印をクリックすると、テキストチャライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのテキストチャを選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテキストチャを参照します。

エッジ

ストレート

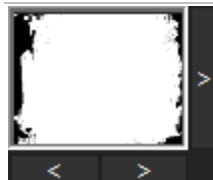
枠のエッジをストレートに設定します。

不規則

【不規則】ラジオボタンを選択すると有効になります。

次のいずれかを実行します：

- ボックスの右横にある矢印をクリックすると、エッジライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。
- ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。



エッジのぼか

画像の外側と枠の内側が重なるエッジをぼかします。スライ

	し	ダを右に移動してぼかしの量を増やすか、左に移動してぼかしの量を減らします。
エッジの効果	ドロップシャドウ	画像にドロップシャドウを追加して、ページから画像が浮かんでいる感じに仕上げます。ドロップシャドウは、画像の背景、つまり画像と枠の間に追加されます。ドロップシャドウのぼかしの量や、ドロップシャドウの不透明度を調整します。不透明度は枠とドロップシャドウの不透明度をコントロールします。 [光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。 • ぼかし: スライダーをドラッグして、ドロップシャドウのエッジにおけるぼかしの量を調整します。 • 不透明度: スライダーをドラッグして、ドロップシャドウの不透明度の量を調整します。
	浮き出し	画像と枠の重なるエッジ上に浮き出しを追加して、3D 効果を出します。浮き出しは画像上に発生します。[光源] ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。以下のように、サイズ、強度、浮き出しのカラーを調整することも可能です: • サイズ: スライダーを右にドラッグして浮き出しのサイズを増やします。サイズを増やすほど、浮き出しの部分がより高く見えます。サイズが大きくなればなるほど、より丸みを帯びた効果になります。 • 強度: スライダーを右にドラッグして、浮き出しの 3D 効果を増やします。 • カラー: 浮き出しのエッジに枠の色を適用したい場合、このオプションを選択します。
光源		[ドロップシャドウ] または [浮き出し] ボックスをクリックすると有効になります。ボールをクリック & ドラッグして、3D 効果、ドロップシャドウ、浮き出し効果用に、仮想の光の方向を設定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する

[枠] ツールのライブラリに、ユーザーがカスタム作成したテクスチャとエッジを追加することができます。インターネットからコレクションをダウンロードした場合も、テクスチャとエッジ ライブラリに追加することが可能です。また、ライブラリから不要なファイルを削除して、他のファイルを追加する容量を増やすこともできます。

テクスチャとエッジ ファイルは、次のファイル フォーマットであること、および拡張子が付けられていることが必要です:

- BMP
- EMF
- GIF
- JPG
- GIF
- PNG
- TIF

テクスチャ

テクスチャは並べて表示されるという特徴から、スムーズな並列が可能な画像である必要があります。また、ファイルは拡大や縮小を行わないフル解像度で保存されるべきです。例えば、テクスチャの画像が 100 x 100 ピクセルで、1000 x 1000 ピクセルの画像の枠に使用している場合、テクスチャファイルは 10 回並列表示されることになります。テクスチャファイルが 1000 x 1000 ピクセルの場合には、枠全体に 1 回表示されるだけになります。

ユーザー定義のテクスチャをテクスチャ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャ ファイルをコピー/貼り付けします:
C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\textures
3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 **【ツール】** メニューから **【処理】** をクリックします。
4. [追加] グループから、**【枠】** をクリックします。
5. [テクスチャ] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、テクスチャ ライブラリを開きます。
テクスチャのサムネール一覧から、希望するものを選択します。

エッジ

エッジ ファイルはグレースケールの画像で、枠の付けられる画像に合わせてサイズ変更されます。画像は、エッジ ファイルに見られる白い領域では表示されますが、黒い領域では隠れて表示されます。エッジ ファイルに見られるグレーの領域では、黒または白のピクセル量によって画像が不透明に表示されます。つまりグレーのピクセル(黒)が多いほど、画像が隠れて表示されることになります。

ユーザー定義のエッジをエッジ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee で [枠] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. 次のフォルダにテクスチャ ファイルをコピー/貼り付けします:
C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\edges
3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 **【ツール】** メニューから **【処理】** をクリックします。
4. [追加] グループから、**【枠】** をクリックします。
5. **【不規則】** ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、エッジ ライブラリを開きます。
エッジのサムネール一覧から、希望するものを選択します。



既に枠の適用されている画像を開くと、新しい枠がその画像の上に適用されます。

ヴィネットを追加する

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できます。ボーダーの外観をコントロールすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. [編集] モードの **【追加】** グループで、**【ヴィネット】** を選択します。
 フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ヴィネット] ツールにアクセスすることもできます。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】**をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

ヴィネット オプション

左右	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリア ゾーン	焦点の周りにあるクリア ゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが小さくなります。スライダを右に動かすと、クリア ゾーンのサイズが大きくなります。
トランジション ゾーン	クリア ゾーンとフレーム間のトランジション ゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなり、スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広がります。
中央から拡張	丸ではなく楕円形になるようにヴィネットの形を伸ばします。
形	ヴィネットの形を指定します: • 丸: 丸みを帯びたフレームに仕上がります。 • 四角: 四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリア ゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この 【輪郭を表示する】 オプションを選択します。
フレーム	次の特殊効果を、焦点の周りにあるヴィネットに適用します: • カラー: カラー設定で選択された色が、ヴィネットの枠の色として変更されます。 • 彩度: フレーム内にある人物やオブジェクトの色を削除するため、グレースケールで表示されます。 • ぼかし: ヴィネットのフレームがぼかして表示されます。 • 雲: フレームの領域に雲の効果が適用されます。 • エッジ: フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、蛍光色でエッジ検出します。 • 光線ぼかし: 焦点からフレームに向かって、光線が表示されます。 • 放射状ぼかし: フレーム領域が拡張されたような、放射状ぼかしが適用されます。 • ズームぼかし: フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 • クレヨン画: 人物やオブジェクトの線や詳細を、クレヨンで描いたようにトレースします。 • ペンキ画: 焦点の周りにある人物やオブジェクトを、ブラシで描いたように表示されます。 • モザイク: フレームにモザイク効果が適用されます。 • アンティーク: フレームにアンティーク効果が適用されるため、古い写真のように見えます。 • ネオン効果: フレームに見られる強い線を、ネオン色でトレースします。 • 波紋: フレームに波紋効果が適用されるため、焦点にしがすが落ちてそれが外に向かって動いているかのように見えます。
フレームの設定	【フレーム】 のドロップダウン リストの下に表示される設定は、選択されるオプションによって変化します。例えば、 【フレーム】 ドロップダウン リストからを選択すると、カラーピッカーが表示されますので、ヴィネットに使用する色を選択することができます。同様に、 【フレーム】 ドロップダウン リストからを選択すると、スライダーが表示されますので、ぼかしの量を調整することができます。エッジのように、フレームの中には設定オプションのないものもあります。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

チルトシフト効果を追加する

チルトシフト効果とは、写真の一部を強調して、実際の風景をミニチュアのように写した画像を作成するものです。

チルトシフト効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、[チルトシフト] を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [チルトシフト] ツールにアクセスすることもできます。

2. [チルトシフト] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、[完了] をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

チルトシフト オプション

画像上に表示されるガイドを使用して効果を適用します。内側のボックスは、フォーカスからぼかしに遷移する地点を表します。外側のボックスの地点から完全なぼかしが発生します。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。**Shift** キーを押しながら、ボックスを動かすと45°の角度でガイドを移動することができます。

ぼかし	ぼかしの種類をドロップダウンメニューから選択します。 • レンズぼかし • ガウスぼかし 詳しくは ぼかしの種類 をご確認ください。
度合い	適用するぼかしの度合いを指定します。
ぼけ頻度	ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。
ぼけ明度	表示されるぼかしの形状の明度を指定します。
ぼけサイド	ぼかしの形状の辺の数を指定します。
彩度	スライダーを右へ動かすほど効果が強くなります。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グレイン効果を追加する

グレイン効果を使用すると、画像を定型化して、画像粒子が粗い昔の映画のような仕上がりにすることができます。グレインツールを他の効果と組み合わせて使用すると、全体をビンテージ仕上げにすることもできて便利です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グレイン効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【グレイン】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【グレイン】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表を参考に、オプションを設定します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してタブを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄して閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

グレインのオプション

度合い	グレインの強度を指定します。
平滑化	グレインの滑らかさを指定します。
サイズ	グレインのサイズを指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果フィルタについて

特殊効果フィルタを使用して、画像にユニークな効果を追加することができます。ACDSeeには、クロスハッチ、鉛筆画、ソラリゼーションを始めとする 40 以上の特殊効果フィルタが含まれています。

特殊効果フィルタにアクセスするには:

[編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

各特殊効果についての詳細は、**【ヘルプ】** ボタンをクリックして、ヘルプ ファイルをご参照ください。

特殊効果: 曇ガラス

曇りガラス効果は、画像をバー状に分割することで、浴室の曇りガラスを通して見たような画像に仕上げるすることができます。曇りガラスオプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

曇ガラス 効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[曇りガラス]** をクリックします。
3. **[バーの幅]** スライダーをドラッグして、バーの幅を設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。
4. [バーの方向] 領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します：
 - 上下
 - 左右：
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブラインド

ブラインド効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアン ブラインドやパーチカル ブラインドのような外観に仕上げることができます。画像に適用したいブラインドの設定を変更します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ブラインド 効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ブラインド]** をダブルクリックします。
3. [ブラインド] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

ブラインド オプション

幅	ブラインドの幅を指定します。1 から 1000 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの幅を調整します。大きな値ほど、ブラインドの幅は広くなります。
不透明度	ブラインドの開閉度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインドの開閉度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインドの角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインドの色	ブラインドの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ブルースチール

ブルースチール効果を使用して、画像を冷たいスチールのように仕上げることができます。

ブルースチール効果を適用するには:

1. 【編集】モードの【追加】グループで、【特殊効果】を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから【特殊効果】メニューにアクセスすることもできます。

2. ブルースチールをクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、【完了】をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

Bob Ross

Bob Ross 効果を使用すると、画像を Bob Ross 画法（ウェットオンウェット）のように粗めのペイント風に仕上げることができます。使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

Bob Ross 効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **Bob Ross** をクリックします。
3. [Bob Ross] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

Bob Ross 効果のオプション

	ブラシ サイズ	[ブラシ サイズ] スライダーをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広がります。
	画線比率	[画線比率スライダー] をドラッグして、画像 "キャンバス" のインクの比率（濃度）を設定します。
	ペンキの厚さ	[ペンキの厚さ] スライダーをドラッグして、ペンキの立体感（3D）を調節します。
	カラフル	[カラフル] スライダーをドラッグして、画像に表示される色の数を調整します。
背景色	画像	[画像] チェックボックスを有効にすると、画像の色を、画像に追加されたブラシ効果のバックにあるバックグラウンドカラーとしてそのまま設定します。バックグラウンドに別の色を使用する場合は、 [画像] チェックボックスからチェックを外して、右横の色の設定ダイアログボックスからお好みの色を選択します。
	ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。Bob Ross 効果を画像に適用すると、ペンキはランダムに配置されます。そして、 [ランダム化] を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。 [ランダム化] をクリックして、お好みの雰囲気が出るまで楽しみましょう。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 膨張

膨張効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。強度、膨張や歪みの位置を設定することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

膨張効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【膨張】** をクリックします。
3. **【膨張】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

膨張 オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。
半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強度	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 • 左右: 歪みが左右に発生します。 • 上下: 歪みが上下に発生します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: マンガ

マンガ効果を使用して、画像をコミック風に仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

マンガ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **[マンガ]** をクリックします。
3. [マンガ] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

マンガ効果のオプション

影の強度	画像の影の強度を指定します。大きな値ほど、画像に使用される影の量は多く、濃くなります。	
影の半径	影の広がり方を調整します。	
影のしきい値	影を適用する前の画像上に輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多い影になります。	
滑らかさ	同系色間のトランジションの滑らかさをコントロールします。	
輪郭の詳細	画像の細部に表示される黒い輪郭の濃さを指定します。	
輪郭の強度	画像の細部に表示される黒い輪郭の多さと強さを指定します。	
アーチファクト 抑制	細部を削除する	黒い輪郭が画像の細部に表示されないようにして、画像をさらにマンガに近い画風に仕上げます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ノスタルジア

ノスタルジア効果を使用して、画像をまるで昭和時代の写真のように仕上げることができます。

ノスタルジア効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ノスタルジア】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：雲

雲効果を使用して、背景など、画像からグラフィックコンテンツを作成することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

写真に雲を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【雲】** をクリックします。

3. [雲] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

雲のオプション

サイズ	雲のサイズを設定します。スライダーを右へ動かすとサイズが大きくなります。
詳細	ディテールの細かさを指定します。0 から 10 までの数字を入力するか、スライダーをドラッグして雲のディテールを調整します。
ランダム化	雲がランダムに配置されます。 画像に雲効果を適用すると、ACDSee によってフラグメントがランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダム表を作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: コラージュ

1 枚の写真を複数の写真に分割し、それらを創造的に配置することでコラージュの効果を作成することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

コラージュ効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【コラージュ】** をクリックします。
3. **【画像数】** と **【サイズ】** のスライダーをドラッグして調整します。
4. ドロップダウンの矢印をクリックしてグラデーションボックスから背景色を選択するか、色の部分をクリックして色の設定ダイアログボックスから色を選択します。
5. 写真をシャッフルしたい場合は、**【ランダム化】** をクリックします。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。
7. 特殊効果を終了し、**【フィルタ】** メニューに戻るには、**【完了】** をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: カラーエッジ

カラーエッジ効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細をトレースすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

カラーエッジを適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【カラーエッジ】** をクリックします。
3. [カラーエッジ] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。 【ぼかしの使用】 チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 等高線

等高線効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に仕上げるすることができます。等高線や色などの設定を変更して画像に適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

等高線を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【等高線】**をクリックします。
3. **【等高線】**パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

等高線 オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間隔が小さくなります。
強度	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには：

1. **【編集】**モードの**【追加】**グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。
2. **【クレヨン画】**をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: クロスハッチ

クロスハッチ効果を使用して、画像全体にクロスハッチ効果を加えることができます。

クロスハッチ効果を使用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. 一覧から **【クロスハッチ】** をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】 ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】 ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げるすることができます。強度や頻度などの設定を変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ペンキ画 を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ペンキ画】** をクリックします。
3. **【ペンキ画】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像のオリジナルの色を使用するには、【画像】チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 ペンキ画効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。そして、[ランダム化]を適用する度に配置されるペンキがランダムに変化します。特定のランダムシードを定義して同じ塗りを生成できます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム化】をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【グラデーション】ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ドラマチック

特定の領域のコントラストを強調するドラマチック効果を適用すれば、画像をドラマチックな雰囲気仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ドラマチック効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、【特殊効果】を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. 【ドラマチック】をクリックします。
3. [ドラマチック] パネルで、下の表を参考にオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

ドラマチック効果のオプション

強度	適用されるコントラストの強度を調整します。
スプレッド	画像細部のどこまで効果を広げるか、ここで調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：エッジ検出

エッジ検出効果を使って、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

エッジ検出効果を使用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. 一覧から **【エッジ検出】** をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に仕上げるすることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像にエンボスを適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【エンボス】** をクリックします。
3. [エンボス] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

エンボス オプション

明るさ	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0 の値では影は左に伸び、180 の値では影は右に伸びます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線に柔毛や剛毛を追加することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

柔毛エッジ 効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **【柔毛エッジ】**をクリックします。
3. [柔毛エッジ] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に使用される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広がります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
相違	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム化	ランダム表とは、柔毛線がランダムに伸びることを指します。 柔毛エッジ効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。これにより、フィルタを適用するたびに柔毛の織りが変化します。特定のランダムシードを定義して、同じ柔毛パターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グルーム

グルーム効果を使用して、画像に暗くどんよりした表情を与えることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

グルーム効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【グルーム】** をクリックします。
3. **【グルーム】** パネルで **【色】** スライダーをドラッグして、画像に色合いを追加します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ネオン効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ネオン効果】** をクリックします。
3. **【ネオン効果】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ネオン効果 オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グラデーションマップ

グラデーションマップ効果を使用して、画像の暗い部分と明るい部分に色を追加できます。グラデーションマップ効果はひとつの色にシャドウをマップし、各ピクセルの明度に基づいて他の色にハイライトをマップします。画像の暗い部分に、明るい部分とはまったく違う色を与えることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グラデーションマップ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **【グラデーションマップ】** をクリックします。
3. **【グラデーションマップ】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

グラデーションマップのオプション

暗い	画像の暗い領域に追加する色を指定します。
ライト	画像の明るい領域に追加する色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 をを使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

グラナイト効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのカテゴリメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【グラナイト】** をクリックします。
3. [グラナイト] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

グラナイト オプション

光の角度

画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。この効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：グランジ

グランジ効果を使用して画像に陰鬱な、暗い表情を与えることができます。[カラー] スライダーを使用して画像にさまざまな色合いを付けることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

グランジ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。
-  フィルターのカテゴリメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。
2. **【グランジ】** をクリックします。
 3. [グランジ] パネルで **【カラー】** スライダーをドラッグして色合いを指定します。[カラー] スライダーが 0 に設定されていると着色は行われません。
 4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：揺れ

揺れ効果を使用して画像に揺れ歪曲を追加します。画像に追加したい歪曲の特徴をカスタマイズすることができます。一部の歪曲は画像の外側のエッジの形状を変化させるため、透明な背景が見えるようになります。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

揺れ効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【揺れ】** をクリックします。
3. **【揺れ】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

揺れオプション

サイズ	揺れ歪曲のサイズを指定します。1 から 100 までの数字を入力するか、スライダをドラッグして歪曲の幅を調整します。値が大きいほど波の幅も大きくなります。
詳細	歪曲の揺れの程度を指定します。1 から 10 までの数字を入力するか、スライダをドラッグしてディテールを調整します。
強度	歪曲の強度を設定します。1 から 100 までの数字を入力するか、スライダをドラッグして強度を調整します。
ランダム化	揺れがランダムに配置されます。 画像に揺れ効果を適用すると、ACDSee によってフラグメントがランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダム表を作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ロモ

ロモカメラのレトロ効果を再現します。ロモカメラで撮影された写真は、コントラストが高く、色ずれとヴィネット効果がはっきり出るのが特徴です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ロモ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ロモ】** をクリックします。
3. [歪み] スライダーを右にドラッグすると、色ずれが強調されます。
4. [ヴィネットの強さ] スライダーを右にドラッグすると、ヴィネット効果が強調されます。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

6. 特殊効果を終了し、[フィルタ] メニューに戻るには、**【完了】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反映させることができます。ミラーの軸や方向を変更することにより効果を適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ミラー効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ミラー]** をクリックします。
3. [ミラー] パネルで、[ミラー方向] 領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します：
 - **左右：**
 - **上下**
4. **[ミラー軸]** スライダをドラッグして、画像を反映するミラー軸の位置を調節します。500 の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ネガティブ

ネガティブ効果を使って、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブ フィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

ネガティブ画像を作成するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. 一覧から **[ネガティブ]** をダブルクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントように仕上げることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

オイルペイント効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【オイルペイント】** をクリックします。
3. [オイルペイント] パネルの **【ブラシの幅】** スライダーをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広がります。
4. **【相違】** スライダーをドラッグして、ブラシで描かれる色の違いを調整します。大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
5. **【自然な彩度】** スライダーをドラッグして、画像の明るさを調整します。
6. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: アンティーク

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

アンティーク効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルター・ドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[アンティーク]** をクリックします。
3. [アンティーク] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

アンティーク オプション

年	アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。(数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。)



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: オートン効果

オートン効果は写真に印象派の絵画のような効果を適用します。オートン効果は、2種類の画像(一つはややぼかし、もう一つはやや露光過多)を重ね合わせることによって生み出される暗室のテクニックを再現したものです。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

オートン効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。
-  フィルター・ドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。
2. **[オートン効果]** をクリックします。
 3. [ぼかし]、[コントラスト]、[明るさ] スライダーをドラッグして各効果を調整します。
 4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。
 5. 特殊効果を終了し、[フィルタ] メニューに戻るには、**[完了]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果を使用して、画像の輪郭を強調することができます。輪郭効果を使用することで、輪郭の厚み、エッジを輪郭で縁取るかどうか、輪郭で縁取られた画像の背後に表示される色をコントロールすることもできます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

輪郭効果を適用するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。
 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。
2. **【輪郭】** をクリックします。
3. **【輪郭】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - ・ 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - ・ 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

輪郭 オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広くなります。
しきい値	輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:鉛筆画

鉛筆画効果を使って、画像を鉛筆で描いたように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. 一覧から **【鉛筆画】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:写真

写真効果を使用して画像にさまざまなフィルタを適用できます。

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

写真効果を適用するには

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【写真効果】** をクリックします。

3. [写真効果] パネルで、[フィルタタイプ] ドロップダウンメニューからオプションを選択します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げるすることができます。強度や方向などの設定を変更して画像に適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ピクセル爆発効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ピクセル爆発】** をクリックします。
3. [ピクセル爆発] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ピクセル爆発 オプション

左右の位置	爆発の中心を左右に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
上下の位置	爆発の中心を上下に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。
爆発の方向	爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • 左右: 爆発が左右に発生します。 • 上下: 爆発が上下に発生します。
ランダム化	ランダム表とは、ランダムにピクセルを配置することです。 ピクセル爆発効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。これにより、フィルタを適用するたびにピクセルが変化します。特定のランダムシードを定義して、同じピクセルパターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 をを使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク効果を使用して、画像のピクセルサイズを大きくすることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

モザイク効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【モザイク】** をクリックします。
3. [モザイク] パネルの**【幅】** および **【高さ】** スライダーをドラッグして、画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の長さを等しくするには、**【正方形】** チェックボックスをオンにします。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズ オプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ポスタライズ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ポスタライズ】** をクリックします。
3. [ポスタライズ] タブの**【明るさのレベル】** スライダーをドラッグして、画像の明るさを調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:霞み

霞み効果を使用して、画像に薄ら紫がかった効果を広げ、レトロに仕上げるすることができます。

霞み効果を適用するには:

1. **【編集】**モードの**【追加】**グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。

2. **【霞み】**をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

光線ぼかし効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【光線ぼかし】** をクリックします。
3. [光線ぼかし] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を左右に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を上下に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • 左右: 波が左右に発生します。 • 上下: 波が上下に発生します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げることができます。雨の量、角度、強度その他の特性を調整して画像に適用します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

雨効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[雨]** をクリックします。
3. [雨] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

雨 オプション

強度	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0 から 100 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の相違	雨だれの角度を指定します。0 から 50 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の相違	雨だれの長さの相違を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。位置や強度などの波紋の設定を変更して画像に適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波紋効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのカテゴリメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【波紋】** をクリックします。
3. [波紋] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

波紋 オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波紋の深さと高さを設定します。
波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します： • 上下：波紋が上下に発生します。 • 左右：波紋が左右に発生します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイルオプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

飛散タイル効果を適用するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのカテゴリメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【飛散タイル】** をクリックします。
3. **【飛散タイル】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

飛散タイルオプション

タイル サイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム化	ランダム表とは、ランダムにタイルを配置することです。 タイルがランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダムシードを定義して、同じタイルパターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：セピア

セピア効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

セピアトーンを画像に追加するには：

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。
 - フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。
2. 一覧から **【セピア】** をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 70年代

70年代効果も、画像にレトロな印象を与えることができます。

70年代効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【70年代】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げるすることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

金属シート効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【金属シート】**をクリックします。
3. **【金属シート】**パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

金属シート オプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
詳細	画像の詳細を調整します。大きな値ほど、より細かな詳細になります。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかのオプションを選択します： • 上から下へ：画像の上から金属をプレスします。 • 下から上へ：画像の下から金属をプレスします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

シフト効果を適用するには：

1. **【編集】**モードの**【追加】**グループで、**【特殊効果】**を選択します。
 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから**【特殊効果】**メニューにアクセスすることもできます。
2. **【シフト】**をクリックします。
3. **【シフト】**パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

シフト オプション

強度	バー間のシフト距離を調整します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左上部を上、右下部を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

アングル効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【アングル】** をクリックします。
3. **【アングル】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

アングル オプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグして写真下部の近くに傾斜の中心を配置します。スライダを左にドラッグして写真上部の近くに傾斜の中心を配置します。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 • 左右: 画像の上部または下部を、左右に歪ませたい場合に選択します。 • 上下: 画像を左部または右部を、上下に歪ませたい場合に選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ソーベル

ソーベル効果を使用して、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

ソーベル効果を使用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. 一覧から **【ソーベル】** をクリックします。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ソラリゼーション

ソラリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソラリゼーション オプションを変更して画像に効果を適用します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ソラリゼーション効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ソラリゼーション】**をクリックします。
3. **【ソラリゼーション】** タブの **【しきい値】** スライダーをドラッグして、画像の明るさのしきい値を調整します。
4. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します：
 - **しきい値オプション**で指定された値より高いピクセルを調整します。ソラリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソラリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。
 - **しきい値オプション**で指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。
5. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：くすみ

くすみ効果を使用して、画像を暗い、少し重苦しいような印象を与える独特の写真に仕上げることができます。

くすみ効果を適用するには：

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。
 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。
2. **【くすみ】** をクリックします。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：ステンドグラス

ステンドグラス効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げることができます。効果設定を使用してフラグメントのサイズと位置を調整します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ステンドグラス効果を適用するには：

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから [特殊効果] メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ステンドグラス】** をクリックします。
3. [ステンドグラス] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム化	ランダム表とは、ランダムにフラグメントを配置することです。 ステンドグラス効果を適用すると、フラグメントがランダムに適用されるため、適用する度に画像は変化します。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダム表を作成して、同じフラグメントパターンを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 をを使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：太陽スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

太陽スポット効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【太陽スポット】** をクリックします。
3. [太陽スポット] パネルの**【左右の位置】** および **【上下の位置】** スライダーをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。
4. **【明るさ】** スライダーをドラッグして、太陽スポットの明るさを調整します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

特殊効果: 渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

渦巻き効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【渦巻き】** をクリックします。
3. [渦巻き] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

渦巻き オプション

左右の位置	渦巻きの位置を左右に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を上下に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強度	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • 左右: 渦巻きが左右に発生します。 • 上下: 渦巻きが上下に発生します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果:しきい値

しきい値を使用して、モノクロの画像を作成することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

モノクロ調整効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【しきい値】** をクリックします。
3. **【しきい値】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

しきい値 オプション

しきい値	スライダをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

地形図効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[地形図]** をクリックします。
3. [地形図] パネルの **[丸み度]** スライダーをドラッグして、輪郭線の丸み度を調整します。
4. **[線の数]** スライダーをドラッグして、地形図に使用される線の数を調整します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォーター

ウォーター効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下から、など開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ウォーター効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**[特殊効果]** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[特殊効果]** メニューにアクセスすることもできます。

2. **[ウォーター]** をクリックします。
3. [ウォーター] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
波の深さと高さ	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の高さと波紋によって発生する歪曲が大きくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波紋の間隔が小さくなり、波紋によって発生する歪曲が大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波紋の間隔が大きくなり、波紋によって発生する歪曲が小さくなります。
透視	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
ライティング	水面の光の量を調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

 **【編集ブラシ】**を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

 **【グラデーション】 ツール**  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

 **【放射状グラデーション】 ツール**  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、場所をコントロールすることができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

ウォータードロップ効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】**を選択します。

 フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【ウォータードロップ】** をクリックします。
3. [ウォータードロップ] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグして水滴を除去します。スライダを右にドラッグして水滴を追加します。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグして水滴を小さくします。スライダを右にドラッグして水滴を大きくします。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が小さくなります。スライダを右にドラッグすると、水滴の高さと水滴によって発生する歪曲が大きくなります。
ランダム化	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 画像に水滴効果を適用すると、ACDSeeによって水滴がランダムに配置されます。そして、フィルタを適用する度に効果がランダムに変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、 【ランダム化】 をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果 : 波

波効果を使用して写真に波を表示することができます。波の間隔を変更することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。波の高さ、波の角度も設定することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

波効果を適用するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのカスタムメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【波】** をクリックします。
3. [波] パネルで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

波 オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
波の深さと高さ	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、 【画像】 チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: 織り

織り効果を使用すると、画像が布に織り込まれたように仕上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

織り効果を適用するには:

1. **【編集】** モードの **【追加】** グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【織り】** をクリックします。
3. **【織り】** パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

織り オプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果：風

風フィルタを使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げるすることができます。風 オプションを設定して画像に適用したり、

使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

風効果を適用するには：

1. 【編集】モードの【追加】グループで、【特殊効果】を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから【特殊効果】メニューにアクセスすることもできます。

2. 【風】をダブルクリックします。
3. 【風】パネルで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 以下のいずれかの操作を行います：
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。

風 オプション

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く、強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、【画像】チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像のオリジナルの色を使用するには、【画像】チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。
ランダム化	ランダム化とは、ランダムに風の線を配置することです。 風の線がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。これにより、フィルタを適用するたびに風のラインが変化します。特定のランダムシードを定義して同じ風のラインを生成できます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム化】をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

特殊効果: カスタム (ユーザー定義の特殊効果)

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成して画像に適用することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

「カスタム」フィルタを作成するには:

1. [編集] モードの [追加] グループで、**【特殊効果】** を選択します。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **【特殊効果】** メニューにアクセスすることもできます。

2. **【カスタム】** をクリックします。
3. [カスタム] パネルで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
 - 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。

カスタム オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 【コンボリューション マトリックス】 のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 【分割係数】 のフィールドに値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 【バイアス】 フィールドに値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルのRGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルター ドロップダウン メニュー	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



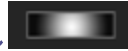
【グラデーション】ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ブレンド モードについて

ブレンドモードは、[テキストの追加] ツールを使用する際、画像に追加されたテキストの外観を変更するためのフィルタです。以下の表は、[テキストの追加] ツールで使用可能なブレンドモードと、その簡単な説明を示しています。

ブレンド モード

標準	指定された色で、画像上にテキストを追加します。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	画像レイヤーの逆の色とテキストの色を混ぜ合わせるため、似たようなあるいは軽めの色に仕上がります。
乗算	画像のレイヤーの色とテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	画像のレイヤーのピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、明るい色に仕上げます。
書き込む	画像のピクセルとテキストの色を混ぜ合わせて、暗い色に仕上げます。
オーバーレイ	下にあるレイヤーの影やハイライトを保ったまま、画像レイヤーの色によって乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	画像のレイヤーの色からテキストの色を減算します。テキストに含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較 (暗)	テキストに画像のレイヤーよりも暗いピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも明るい場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています)
比較 (明)	テキストに画像のレイヤーよりも明るいピクセルを適用します。テキストのピクセルがレイヤーよりも暗い場合には、効果が見られません。(RGB 値を基準にしています)
ハードライト	強調したハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたは影を加え、画像レイヤーの色によって暗くまたは明るく仕上げます。
色相	テキストツールの色相値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
彩度	テキストツールの彩度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
カラー	テキストの色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはレイヤーの明度に影響しません。
明度	テキストツールの明度値を画像レイヤーの領域の色に適用します。
ディゾルブ	任意のピクセル位置の不透明度に応じて、ピクセルを画像 (ベース) またはテキスト (ブレンド) にランダムに変更します。
除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からテキスト (ブレンド) 色を減算します。テキストに含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のテキスト (ブレンド) 色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態に残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態に残ります。
リニアライト	テキスト (ブレンド) 色に応じて輝度値を明るくする、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	テキスト (ブレンド) 色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からテキスト色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からテキスト色を除算します。
暗色	テキスト色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	テキスト色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。



編集ブラシ



を使用すると、画像の一部に効果を描画し、ブレンドモードと透明度スライダを設定して効果の度合いを変更することができます。

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **【回転】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【回転】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを選択します:

- 既定の方向オプションを選択します。
- **【傾きを直す】** スライダーを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
- **【左右】** または **【上下】** ボタンをクリックして、以下で解説されているツールを使用します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、**【まっすぐに調整された画像のトリミング】** を選択します。
- 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、**【まっすぐに調整された画像を保持する】** を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、**【塗りつぶしの色】** ドロップダウンから選択します。
- **【グリッドのオーバーレイを表示する】** を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

回転 アイコン

左右: アイコンをクリックしてから、カーソルを使って左右の線として使用する線を画像上に描きます。



上下: アイコンをクリックしてから、カーソルを使って上下の線として使用する線を画像上に描きます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下左右に反転することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像を反転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **【反転】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【反転】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかまたは両方を実行します:

- **【上下に反転】** チェックボックスを選択します。
- **【左右に反転】** チェックボックスを選択します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】**をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

画像をトリミングする

編集モードの **【トリミング】** ツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、特定のサイズに縮小したりすることができます。

また、現在のオプションを **プリセット** として保存することも可能です。



画像を縮小するには **スペースバー** を押したまま画面をパンします。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は 3 通りあります:

1. **【編集】** モードで、**【ジオメトリ】** グループから **【トリミング】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【トリミング】** ツールにアクセスすることもできます。

2. トリミング ウィンドウの **サイズを変更** して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、**【トリミング範囲外を暗くする】** スライダーを左にドラッグします。スライダーを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. **【新規ファイルの予想サイズ】** をクリックして、トリミング後の画像ファイルの大きさを確認します。
5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用して **【トリミング】** ツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずに **【トリミング】** ツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

- トリミング ウィンドウのエッジをドラッグして希望するサイズに変更する方法。
- ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミングウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミング ウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミングウィンドウのサイズを指定するには:

1. **【幅】**と**【高さ】** スピンボックスに希望するトリミング ウィンドウのサイズを入力します。
2. **【単位】** ドロップダウン リストから、使用する単位を選択します。
3. **【ドット / インチ】** スピンボックスで、解像度を指定します。

縦横比を指定してトリミングウィンドウのサイズを変更するには:

1. **【トリミング縦横比の設定】** チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから比率を選択し、トリミング ウィンドウを横にする場合は**【横】** チェックボックスをオンにします。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - トリミング ウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせ、ポインタが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
 - **【幅】** または **【高さ】** スピンボックスを使用して、トリミング ウィンドウの縦または横のサイズを指定します。ACDSee 設定された比率に基づいて、自動的に縦または横のサイズが変更されます。

透視歪みの補正

[透視補正] ツールを使用して、デジタル撮影に見られがちな透視歪みを補正することができます。透視歪みは、ワイドアングルや望遠レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見える現象を指します。例えば、高層ビルを撮影した場合、通常、ビルの上部ほど幅が狭く見えます。

透視歪みを補正するには:

1. **【編集】** モードで、[ジオメトリ] グループから**【透視の補正】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから**【透視の補正】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 画像の周りにアウトラインが表示されます。輪郭の4つの角すべてとそれぞれの辺の中心にはハンドルが表示されます。ハンドルをドラッグしてパースを変更します。ハンドルをドラッグしてパースを変更します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】**をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から**【現像済みに戻す】**を選択します。

透視補正 オプション

背景色	歪み補正を行うと、画像の角が膨張あるいは縮小してしまうことがあります。 【背景色】 オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます。
	• 透明度: 歪み補正時に、グリッドを表示して補正したい場合にこのオプションを選択します。
グリッドの表示	歪み補正時に、グリッドを表示して補正したい場合にこのオプションを選択します。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。

歪みの補正

【レンズの歪み補正】ツールを使用して、デジタル撮影で発生しがちなパーレル、魚眼、ピンクッションの歪みを補正することができます。パーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

パーレル、魚眼、ピンクッションの歪みは、ワイドアングルやズームレンズを用いて撮影した画像でよく見られます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

レンズの歪みを補正するには:

1. 【編集】モードで、[ジオメトリ] グループから **【レンズの歪み補正】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【レンズの歪み補正】** ツールにアクセスすることもできます。

2. **【歪みの種類】** セクションから、**パーレル**、**ピンクッション**、またはのいずれかを選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

レンズの歪み補正 オプション

左右の位置	スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下の位置	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
補正の強度	画像が真っ直ぐに見えるまで、スライダを右にドラッグして調整します。
ズーム	スライダを左右にドラッグして、画像の倍率を調整します。
背景色	歪み補正を行うと、画像の角が膨張あるいは縮小してしまうことがあります。 【背景色】 オプションを使用して、修正後の画像にできた隙間を埋めます: • 画像: 未補正の画像を背景に置いて、修正後の画像にできた隙間を埋めたい場合にこのオプションを選択します。隙間が比較的小さい場合に便利です。
グリッドの表示	歪み補正時に、グリッドを表示して補正したい場合にこのオプションを選択します。画像のオブジェクトが真っ直ぐかどうかを調べる場合に便利です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

レンズの歪みを自動補正する

デジタル写真の樽形ひずみと糸巻き形ひずみを修正することができます。パーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。樽形ひずみと糸巻き形ひずみは、ワイドアングルやズームレンズで撮影された画像で頻繁に発生します。

ACDSee では、**【手動補正】** スライダーで手動補正を行うことができます。また、レンズプロファイルからレンズ補正を有効化することもできます。実行するには、画像の撮影に使用されたカメラのメーカー、モデル、レンズを選択します。レンズ補正ツールによって、使用されたレンズ固有のひずみに基づいた自動調整が行われます。それぞれの画像に対して手動でレンズ補正を有効にすることもできます。**【レンズ補正】** ツールには、カメラのメーカー、モデル、対応するレンズのデータベースが含まれています。選択されたカメラに対応するレンズは **【レンズ】** ドロップダウンメニューから選択できます。ただし対応するレンズが 1 種類しかない場合、あらかじめそのレンズが選択されています。

使用されたレンズの名前は画像の[現在のレンズの情報]セクションで確認できます。ただしサードパーティ製レンズの場合、カメラ自体がID番号としてしか認識しない場合があるため、EXIFに表示されるレンズ値の信頼性が低いことがあります。可能な場合は、[編集]モードの[情報]パレットから正確なレンズ値を復元して(ただし[レンズ補正]ツールの外部)、[レンズ]ドロップダウンメニューからその値を選択します([レンズ補正]ツールの内部)。

[手動補正]スライダは自動補正後に使用して追加の調整を加えることも、単独で使用することもできます。

使用できる場合は、レンズプロファイルを用いて色収差を補正することもできます。



使用できるレンズプロファイルは、[こちら](#)からすぐに確認できます。

レンズプロファイルを使用してレンズのひずみを修正するには:

1. [編集]モードで、[ジオメトリ]グループから**[レンズ補正]**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから[レンズ補正]ツールにアクセスすることもできます。

2. **[レンズプロファイルを有効にする]**チェックボックスを選択します。
3. 表示されているカメラのメーカーとモデルが正しくない場合は、[メーカー]と[モデル]ドロップダウンメニューから正しいものを選択します。
4. [レンズ]ドロップダウンメニューから、画像の撮影に使用されたレンズを選択します。この情報は[現在のレンズの情報]セクションに表示されます。補正は自動的に行われます。
5. 追加で調整を行いたい場合は、[手動補正]セクションの**[強度]**スライダを左に動かすと膨張効果が適用され、右に動かすと画像のエッジが引き延ばされます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



画像にグリッドを表示するには、**[グリッドの表示]**チェックボックスを有効にします。このツールは、画像の配列を修正する場合に便利です。

プロファイルを使用して色収差を修正するには:

色収差は特定のレンズのプロパティが原因で発生します。そのため、レンズプロファイルを使用して自動的にこれを補正することができます。選択したレンズに対応する自動色収差補正が利用できる場合、[色収差]チェックボックスが有効になります。

1. [編集]モードで、[ジオメトリ]グループから**[レンズ補正]**を選択します。
2. **[レンズプロファイルを有効にする]**チェックボックスを選択します。
3. **[色収差]**チェックボックスを選択します。

手動補正した画像のエッジを塗りつぶすには:

手動調整は画像のエッジに影響を与えることがあります。レンズ補正により生じた差異を塗りつぶす色を選ぶことができます。あるいは、この領域を透明にすることもできます。

[透過]チェックボックスを無効にして、[背景色]のドロップダウンメニューから色を選択します。

画像のサイズを変更する

[サイズ変更]ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプリングフィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像のサイズを変更するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[サイズ変更]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[サイズ変更]** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのサイズ変更オプションを選択します:

- **特定のピクセル サイズ**に合わせて、画像のサイズを変更します。
- **パーセント**: 元のサイズに対するパーセントで、画像のサイズを変更します。
- **実寸 / 印刷サイズ**: 特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。

3. 特定の幅や高さを保持したい場合、チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します:

- **オリジナル**: 元の画像の幅と高さの比率を保持します。
- **1 x 1**: 幅と高さを等しくします。
- **2 x 3: 2 x 3**: 幅と高さの比率を 2:3 にします。
- **3 x 2: 3 x 2**: 幅と高さの比率を 3:2 にします。
- **3 x 5: 3 x 5**: 幅と高さの比率を 3:5 にします。
- **5 x 3: 5 x 3**: 幅と高さの比率を 5:3 にします。
- **カスタマイズ**: ご自身で定義する比率を適用します。**[縦横比のカスタマイズ]**ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。

4. **[フィルタのサイズ変更]**ドロップダウン リストから、フィルタを選択します。

5. 手順 3 で選択したサイズ変更オプションの **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに、画像の新規サイズを入力します。**[実寸 / 印刷サイズ]** を選択した場合、**[解像度]** ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット / インチ)を選択します。

6. 出力画像の予想サイズを確認するには、**[新規ファイルの予想サイズ]** ボタンをクリックします。

7. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用して **[サイズ変更]** ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには 33%、50% または 66% で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足のいく結果でなかった場合には、**[元に戻す]** ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

サイズ変更オプション

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの複数の画像を拡大 / 縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報につきましては、[画像のサイズを変更する](#) あるいは [複数の画像サイズを変更する](#) をご覧ください。



画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げるようになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようにお勧めします。

サイズ変更 オプション	オプション	操作
拡大のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

歪みツールを使用して歪み処理とリタッチ処理を実行する

歪みツールを使うと、ピクセルを変更することなく移動させることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像を歪めるには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **【歪み】** を選択します。
2. [歪みツール] セクションで、適用するゆがみ処理の種類を選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。

4. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用して歪みツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

歪み処理のオプション

歪みツール	画像を歪めるにはカーソルを移動させます。歪み効果をブラシで施すにはピクセルを押して画像の近くまで引き寄せます。	
シフト		シフトツールを使うと画像にピクセルを押し込むことができます。
ピンチ		ピンチツールを使うとピクセルを中心点に向かって凝縮させることができます。
膨張		膨張ツールを使うとピクセルを外に向かって広げることができます。
復元		復元ツールを使うと、ピクセルをブラシで元の位置に戻すことができます。
 別の歪みツールを使用している時にマウスの右ボタンを押すと、復元ツールを有効にすることができます。		
ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してペン先の幅を変更するか、ペン先の幅スライダを使用します。	
密度	対象の領域のサイズを調整します。ペン先の内円の範囲内で、効果が90%以上で適用されています。内円と外円間の領域では、外側のエッジで効果が90%～0%で遷移しています。	
	 SHIFT + マウスホイール を使用して密度を調整します。	
強度	全体的な効果の強度を設定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。	
塗りつぶし	場合によっては、画像の端を引っ張って画像を歪めることができます。その場合には、画像の背景に入れる色を選ぶことができます。	
透過	場合によっては、画像の端を引っ張って画像を歪めることができます。その場合には、画面の背景に生じた差異に対して[透過]チェックボックスを選択することができます。	

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像の露出を調整するには:

- [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**【露出】**を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [露出] ツールにアクセスすることもできます。

- 下の表を参考にして、オプションを設定します。

- 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**【適用】**をクリックします。
- 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。

- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】**をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

画像の露出 オプション

露出	スライダを右に移動して露出の量を増やすか、左に移動して露出の量を減らします。
自動	【自動】 ボタンをクリックして、露出レベルを自動調整します。
コントラスト	スライダを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。
フィルライト	スライダを右に移動して画像の暗い領域に入れるライト(光)の量を増やすか、左に移動してライトの量を減らします。フィルライトは、画像の暗い領域を明るくするためのオプションです。
露出警告を表示する 	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。 【プレビュー】 に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。使用されていない時にはこのアイコンはグレーに、使用している時にはこのアイコンはイエローで表示されます。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像のレベルを調整する

【露出】 ツールの **【レベル調整】** タブでは、画像のコントラストや明るさのレベルを細かく調整することができます。

使用した設定は **【プリセット】** として保存し、後で再利用することができます。

画像のレベル調整を行うには:

1. **【編集】** モードで、**【露出/ライティング】** グループから、**【レベル調整】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【レベル調整】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下のいずれかの操作を行います:

- 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよびライトのレベルを手動で調整します。
- **【自動...】** をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- **【適用】** をクリックして設定を適用します。
- 変更を適用して **【レベル調整】** ツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。矢印上をクリックして、画像のブラックポイントの開始点を自動設定することも可能です。
中間調	画像のミッドポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに値を入力して、ミッドポイントを指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。矢印上をクリックして、画像のミッドポイントを自動設定することも可能です。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。矢印上をクリックして、画像のハイライトの開始点を自動設定することも可能です。
自動	次のいずれかのオプションを選択します： • コントラストの調整：自動分析して、画像のコントラストを調整します。 • 色とコントラストの調整：自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 • 色と明るさの調整：自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 • トレンス：[トレンスの設定] ダイアログボックスが開かれます。ブラックとホワイトレベルの最大クリッピング率を指定し、[OK] をクリックします。ACDSeeは画像のレベルを自動調整します。
ブラックポイント ピッカー 	[ブラックポイント] ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー 	[ミッドポイント] ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー 	[ホワイトポイント] ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。



ピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、カーソルがスポイトになります。ステータスバーを見ると、スポイトを動かすたびに RGB の値が変わるのを確認することができます。これらの数字は、スポイトの下にあるピクセルの RGB 値を表しています。RGB 値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

レベルを自動調整する

[自動レベル] タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像の露出レベルを自動調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**【自動レベル】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [自動レベル] ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかのオプションを選択します:

- **自動コントラストと自動カラー:** 色の違い、明るさ、RGB チャンネルのバランスを調整します。
- **自動コントラスト:** 色の違いと明るさのみを自動調整します。
- **自動カラー:** 色の違いまたはコントラストを変更せずに、画像の RGB チャンネルのバランスを調整します。

3. **【強度】** スライダーを使って、適用する露出の量を微調整します。

4. **【露出警告を表示する】** をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。

5. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から **【現像済みに戻す】** を選択します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 をを使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。

**【グラデーション】ツール**

を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

**【放射状グラデーション】ツール**

を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

トーンカーブを調整する

[編集] モードの [露出] ツールにある [トーンカーブ] タブでは、画像の色合いを細かく調整することができます。RGB チャンネルを選択または特定の色を選択して、画像全体の明るさを調整します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。



このツールを使用して行った変更は、すべてピクセルベースの編集です。そのため、画像にファイナル タッチを加えたい場合にもみ使用するようにお勧めします。非破壊編集処理を行う場合は、現像モードの [トーンカーブ](#) ツールを使用します。

トーンカーブを調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[トーンカーブ]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [トーンカーブ] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- **[適用]** をクリックして設定を適用します。
- 変更を適用して [トーンカーブ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ズーム固定のオンとオフを切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたび、新しいノードが追加されます。ノードをカードの上下にドラッグして調整します。ノードを削除するには、グラフ外の上または下の領域に向かってクリック & ドラッグします。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ライティングを調整する

[ライト EQ™] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域を調整することができます。また同時に暗すぎる領域の暗さを明るく、明るすぎる領域の明るさを暗くすることができます。例として、海や

窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くはつきりと顔が見られないけれども背景の明るさは調整しなくても大丈夫な写真、が挙げられます。実際には、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されます。そのため、シャドウとハイライトを使用して微調整をすることで出来上がりに大きな差が出ます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

[ライト EQ™] はとても多機能なツールです。4 つのタブから選択することができ、各タブの設定によって結果が変わります。また、画像の特定領域を調整するためのキーボードとマウスのショートカットもご利用いただけます。

- **1-ステップ** タブ: 簡単な露出調整が瞬時に完了します。
- **ベーシック** タブ: 2 つのスライダを使用するだけのクイック修整用タブです。ACDSeeは画像を分析してから、画像全体に必要な調整を施します。例えば、暗い画像は明るく仕上がります。**【自動】** ボタンをクリックすると、ACDSee は画像を分析し、スライダの位置を自動設定します。画像のある領域 (通常は画像の被写体) を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。
- **標準** タブ: サウンドのイコライザのように見えますが、ライトをコントロールするためのイコライザです。画像の異なるトーンバンド (相対的に明るいまたは暗い領域) の明るさとコントラストを、該当するトーンバンドのスライダを使用して個別に調整します。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングや詳細が失われないために表示されています。赤い領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。
- **アドバンス** タブ: 画像の明るさとコントラストを完全にコントロールすることができます。スライダを使用して基本的なカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接クリック&ドラッグしてカーブを手動調整します。

ライト EQ™ ツールを開くには:

[編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[Light EQ™]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [Light EQ] ツールにアクセスすることもできます。

[1-ステップ] タブを使用する

ライト EQ™ ツールで画像を開くと、開かれた 1-ステップタブで画像の露出が自動で調整されます。さらに調整するときは、度合のスライダを使用して変更します。1-ステップで自動で調整された露出に戻すには、**リセット** ボタンをクリックします。

[ベーシック] タブを使用する

暗い領域に明るさを加えるには:

1. **【ハイライト】** スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域にハイライトを追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには:

1. **【シャドウ】** スライダを右にドラッグして明るくし、暗い領域のディテールを引き出します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

暗すぎるまたは明るすぎるミッドトーンを調整するには:

1. **【ミッドトーン】** スライダを右にドラッグして明るくし、暗い領域のディテールを引き出します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

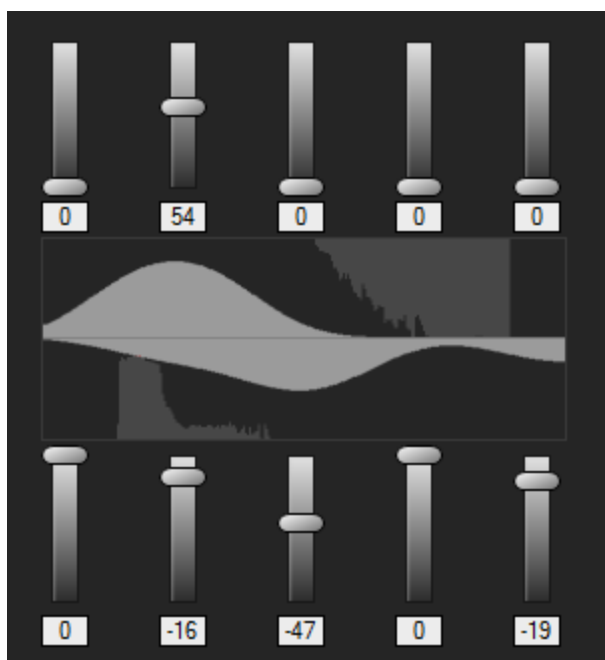
ライト EQ™ のコントロール

スライダ上を右クリックする	スライダ上を右クリックしてリセットします。
露出警告を表示する 	[露出警告] をクリックすると、露出オーバーまたは露出アンダーのエリアがすべて見えるようになります。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。] キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。
自動	クリックして、画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい領域はあまり変更されず、暗い領域が明るく設定されます。
完了	変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
キャンセル	変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、[リセット] をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から [現像済みに戻す] を選択します。

[標準] タブを使用する



「標準」タブには 2 セットのスライダがあります。上部のセットは明るさで、下部のセットは暗さ用です。各スライダのグラデーションはそのトーンバンドの明るさを示します。上部セットのトーンバンドのスライダを上動かすと明るく、下部セットのトーンバンドのスライダを下動かすと暗くなります。

2 つのセットの間には、ブラックとホワイトにグラデーションのかかった 2 つの水平軸があります。これらのバーは、左側のスライダほど、暗いトーンバンドに反映されることを示しています。右側のスライダは明るいトーンバンドに反映されます。スライダを動かして、特定トーンバンド内の明るさを変更します。

バンド間には 2 つのグラフがあり、スライダを調整するにつれ変更されます。このグラフは、画像のトーンレンジの明るさや暗さの量を表しています。2 つのグレイのグラフは、クリッピングを発生させずに適用できる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。スライダを大幅に移動すると、クリッピングが明るいピンクで表示されます。

トーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部セットのトーンバンドを上、下部セットのトーンバンドを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

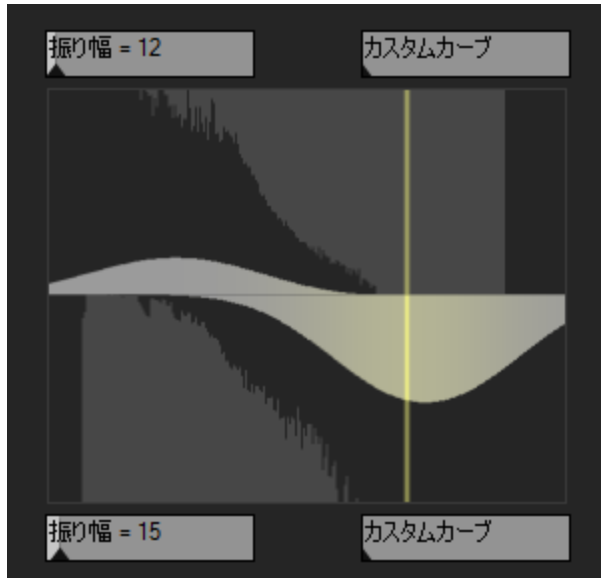
[標準] タブを使用するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:

- 調整したいトーンバンドのスライダを上下に移動します。
- ボックスに数値を直接入力、または数値を増分して、精確な調整を行います。
- [トーンバンド数] のドロップダウン リストをクリックして、トーンバンドの数を選択します。
-  をクリック、あるいは <E> キーを押して 露出オーバーまたはアンダーのピクセルを表示します。
- [自動] ボタンをクリックして、設定を自動的に適用します。
- [暗くする] スライダをドラッグして、画像の明るい領域を暗くします。
- [コントラスト] スライダをドラッグして、画像のコントラストを増やします。

- **【フィルライト】** スライダをドラッグして、画像の明るい領域を暗くします。
 - 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
2. 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

[アドバンス] タブを使用する



スライダ

アドバンス タブには、明るくするためのスライダと暗くするためのスライダが各 2 つずつ備えられています。**【明るくする】**および**【暗くする】**の各スライダは明カーブの形をコントロールする一方、**【振幅】**スライダはカーブの高さをコントロールします。

明るくするあるいは暗くする量を増やすほど、画像内の明るい領域に対する暗さのバランスを増やすことになります。**【振幅】**スライダは明るくする、または暗くする効果の強さを増やします。

ツールの下に位置する**【スケール】**スライダは、どのくらいの度合いで全体の調整を行うかを指定するためのものです。スライダを左に移動すると、より細かい調整を行うことができますが、ほとんどの画像では、既定値の位置のままにしておくことと最良の結果を得ることができます。しかしほとんどの画像では、スライダをデフォルト位置のままにしておくことで最良の結果が得られます。**【コントラスト】**スライダを調整してコントラストを増減したり、**【フィルライト】**スライダを使用して画像の暗いエリアを明るくしたりすることもできます。

グラフ

【明るくする】と**【暗くする】**コントロールの間にある 2 つのグレーのグラフは、クリッピング(明るいピンクで表示されます)が発生させずに適用することができる最大の明るさまたは暗さの量を示しています。

【明るくする】、**【暗くする】**および**【振幅】**のスライダをドラッグするにつれ、2 つのオレンジ色のカーブが変更されます。これらのカーブは、画像のトーンレンジに適用された明るさと暗さの量を示しています。暗いトーンの領域は左手に、明るいトーンの領域は右手に位置します。画像上にカーソルを移動するにつれ、グラフの垂直線は、そのトーンレンジ内のカーソルの下にある領域のトーンレベルを示していることが理解できます。カーソルの移動では、通常 2 つのトーンレベルが表示されます。これは、明るさと暗さのトーンレベルが必ずしも同じではないためです。また、明るさが最大カラー値を区別するのに対し、暗さが最小カラー値を区別することからも発生します。

「アドバンス」タブは、グラフ自体、あるいは実際の画像上で、カーブを手動調整できるという点が独特です。写真に加えた調整はグラフのカーブに反映されます。グラフに加えた調整は写真に反映されます。

明るさを変更せずにトーンバンド内のコントラストを増やしたい場合は、同量で上部のカーブを上、下部のカーブを下に移動させ、明るさと暗さを同時に適用します。増加したコントラストの量が、上部グラフの上部と下部グラフの下部に表示されます。

[アドバンス] タブを使用するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - **【明るくする】**または**【暗くする】**スライダをドラッグして、明るいまたは暗いピクセルを調整します。スライダをドラッグするにつれ、調整を示すグレーのカーブが表示されます。
 - 左クリックして上に向かってドラッグすると、画像の暗い領域が明るくなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。

- 右クリックして下に向かってドラッグすると、画像の明るい領域が暗くなります。クリッピング(グラフ内では明るいピンク色で表示されます)が発生しないように、気をつけながら調整します。
 - **【スケール】** スライダーを右にドラッグして、より細かい領域を調整するか指定します。
 - **【コントラスト】** スライダーをドラッグして、画像のコントラストを増減します。
 - **【フィルライト】** スライダーをドラッグして、画像の暗い領域にライトを加えます。
 - 以下の表に示されたあらゆるオプションを使用して、必要な調整を行います。
2. 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。変更を破棄してツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

調整オプション - [アドバンス] タブ

領域	操作	結果
スライダ	【明るくする】をドラッグ	右に移動する: 暗い領域に適用されるライトの量を増やします。 左に移動する: 画像のすべての領域に、明るさが一様に増加します。 (カーブを手動で変更する、あるいは画像上で調整を行うと、スライダの名前が 【カスタムカーブ】 に変わります。
	【暗くする】をドラッグ	右に移動する: 画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する: 画像のすべての領域に、暗さが一様に増加します。
	【明るくする】の【振振幅】をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 明るさとカーブの高さの強度が減少します。 [振振幅] スライダが 0 に設定されると、明るさは全く適用されません。 [振振幅] が 100 ~ 200 の間に設定されると、クリッピングの量が増加します。 ほとんどの場合、振振幅を調整する必要はありません。
	【暗くする】の【振振幅】をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される暗さの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 暗さとカーブの高さの強度が減少します。
	【スケール】をドラッグ	左に移動する: ツールが明るさに対して、より細かい領域を調整するように設定します。 これで、より小さな領域を個別に調整することができます。通常、既定スケール値 10 で最良の結果になりますが、明るくするべき領域に詳細が含まれているような場合には、スケール値を小さくするとよりよい結果になります。
グラフ	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を左クリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさのレベルを表します。(トーンは左がブラックで、右に向かうほどホワイトになります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」のスライダが、自動的に 【カスタムカーブ】 に変わります。この時点でスライダのポジションを変更すると、グラフまたは画像上で直接調整された変更はすべて破棄されますのでご注意ください。 グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振振幅」のスライダが、現在のカーブの振振幅を示した値に変わります。
	グラフ(上部)をドラッグ	グラフ上を右クリックして下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフは、クリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。
	以下のショートカットはすべて、画像およびグラフ用に使用することができます。	グラフのトーンバンドを変更すると、画像にその変更が反映されるため、特定のトーンバンドを微調整する場合に便利です。
画像	左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「明るくする」の値を自動設定します。顔などの明るい領域をダブルクリックすると、最良の結果になります。
	右マウスボタンを押した状態でダブルクリック	画像のその領域に最適な「暗くする」の値を自動設定します。
	<SHIFT>キー + 左マウスボタンを押した状態でダブルクリック	そのトーンレベルの周りがある明るさの量を増やし、それ以外の画像領域を暗くします。

領域	操作	結果
		特定のサブジェクトを素早く明るくする、または特定のサブジェクトを画像から浮き立たせたい場合に使用します。
	<CTRL>キー + 右マウスボタンを押した状態でダブルクリック	そのトーンレベルの周りにある暗さの量を増やし、それ以外の画像領域に見られる暗さの量を減らします。
	画像上をマウスホイールでスクロールアップまたはダウン	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。
	<SHIFT>キー + 画像上をマウスホイールでスクロール	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。
	<A>キーを押しながら + スクロールする、あるいは + 左マウスボタンを押した状態でドラッグ	[明るくする] の [振幅] スライダーを直接設定します。
	<A>キーを押しながら + スクロールする、あるいは + 右マウスボタンを押した状態でドラッグ	[暗くする] の [振幅] スライダーを直接設定します。
	左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される明るさの量が増減します。画像とグラフの両方に、変更が反映されます。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)
	<SHIFT>キー + 左マウスボタンを押した状態で画像を上下にクリック & ドラッグ	画像のそのトーンレベルに適用される暗さの量が増減します。 (画像が実寸の場合にのみ - ズームなし)



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

霞みを除去する

かすみ除去ツールを使用して、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元することができます。このツールは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。

画像のかすみを除去するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[かすみ除去]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[かすみ除去]** ツールにアクセスすることもできます。

2. **[量]** スライダーをドラッグして補正の強度を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してパネルを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を破棄してパネルを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



【グラデーション】 ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

覆い焼きと焼きこみ

選択した領域の明るさや彩度を調整して写真品質を向上させることができます。覆い焼き、焼きこみ、飽和、不飽和の4種類が用意されています。

覆い焼きと焼きこみツールを使用すると、写真の一部を明るくしたり暗くしたりすることができます。たの部分には影響を与えません。このツールは、露出不足の部分明るく、露出過多の部分暗くする場合にしばしば使用されます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像の一部に覆い焼き、焼きこみを適用する

写真の一部を明るく、暗くするには:

1. **【編集】** モードで、**【露出/ライティング】** グループから、一部を明るくするには **【覆い焼き】** ツールを、暗くするには **【焼きこみ】** ツールを選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【覆い焼きと焼きこみ】** ツールにアクセスすることもできます。

2. **【ツールの設定】** で次のいずれかを選択します: **シャドウ**、**中間調**、**ハイライト**。
3. **範囲** スライダーを調整してシャドウまたはハイライトの対象領域を微調整します。範囲を増やすと対象となる色域を広げ、減らすと範囲を狭めます。
4. **【ブラシの設定】** で次の設定を行います:
 - **【ペン先の幅】** スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - **【フェザリング】** スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
 - **【強度】** スライダーでストロークの強度を調整します。
5. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。
6. **【完了】** をクリックします。



範囲 スライダーを調整すると、ブラシの影響を受ける領域がプレビューでグレースケール画像として表示されます。プレビュー画像でピクセルが明るいほど、ブラシストロークの影響を受けやすくなります。白い領域は強く影響を受け、黒い領域は影響を受けません。覆い焼き、焼きこみの効果を適用したい部分が白く、そうでない部分が黒くなるように **範囲** スライダーを動かしてください。



SHIFT キーを押しながらスクロールするとフェザリングを調整できます。

写真の彩度を上げる、下げるには:

1. 色の彩度を上げるには【**飽和**】ツールを、彩度を下げるには【**不飽和**】ツールを選択します。
[ツールの設定] で次のいずれかを選択します:
 - [標準] を選択すると、写真のすべての領域を対象とします。
2.
 - [自然な彩度] を選択すると、彩度の低い色を対象とし、肌の彩度が極端に上がることはありません。
3. [ブラシの設定] で次の設定を行います:
 - [ペン先の幅] スライダーでブラシのサイズを選択します。
 - [フェザリング] スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
 - [強度] スライダーでストロークの強度を調整します。
4. 画像の明るくしたい、暗くしたい領域をドラッグします。
5. 【完了】をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

ホワイトバランスを調整する

[ホワイトバランス] ツールを使用して、画像から不要な色合いを削除することができます。例えば、夕焼けを撮影した写真に赤みがかっている場合、[ホワイトバランス] ツールを設定して、赤みを取り除くことができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からカラーキャストを削除するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、【**ホワイトバランス**】を選択します。
2.  フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ホワイトバランス] ツールにアクセスすることもできます。
3. 画像で白またはグレーであるべき部分をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
4. [色温度] スライダーを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
5. [ティント] スライダーを左にドラッグ(マゼンタの増加)、または右にドラッグ(グリーンの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
6. ホワイトバランス調整の強度を指定するには、[強度] スライダーを動かします。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
7. 【完了】をクリックして変更を保存するか、【キャンセル】をクリックして変更を破棄しツールを終了します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラーを調整する

[カラー EQ (色相、彩度、明るさ)] ツールを使用して、画像全体の色または個別の色を調整することができます。アドバンス カラー ツールは微調整やカラーの強調を行うために、あるいは画像に見られる各カラーを大幅に変更するために使用します。

カラー EQ は画像内の単一の色を変更するのに便利です。黄色い車の画像では、[彩度] タブを使って黄色の色味を強調したり、[明るさ] タブを使って黄色の色味を明るくすることができます。[色相] タブでは、黄色い車をピンクやブルーに変更することができます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。



黄色い車と背景に黄色の建物がある画像では、**[選択範囲]** ツールを使って黄色い車の色だけを変更することが可能です。まず **[選択範囲]** ツールを使って車の領域を選択してから、色相を変更します。

カラーを調整するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、**[カラー EQ]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **[カラー EQ]** ツールにアクセスすることもできます。

2. [彩度]、[明るさ]、[色相] タブをクリックして、以下の表で解説されているオプションを調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:

- **[適用]** をクリックして設定を適用します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラー EQ オプション

[高品質] モードまたは[標準] モードをカラー EQ ペインの一番上から選択します。個々の色を調整するには、画像の色を左クリックしてマウスを上下にドラッグします。高品質モードではカラー-sliderが、標準モードではグラフがそれぞれマウスの動きに合わせて変化します。彩度、明るさ、色相タブ、共に同様です。

高品質 画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。



個々の色 slider を右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動し、双方向矢印アイコンを表示して細かい調整を行うこともできます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダが自動調整されるのを確認します。

自然な彩度

[自然な彩度] スライダーをドラッグして、トーンを変えずに画像の明るさを調整します。

彩度

スライダーをドラッグして、画像の彩度を指定します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか全体的な調整を行います。

縦のスライダ

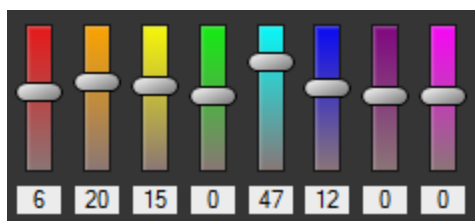
画像全体に調整を適用します。左手にあるスライダの効果は、各タブによって次のように異なります：

- **彩度:** 飽和 (スライダ上) からグレースケール (スライダ下) まで調整することができます。
- **明るさ:** 画像の明るさ (スライダ上) から暗さ (スライダ下) まで調整することができます。
- **色相:** 別の色に変更します。

各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

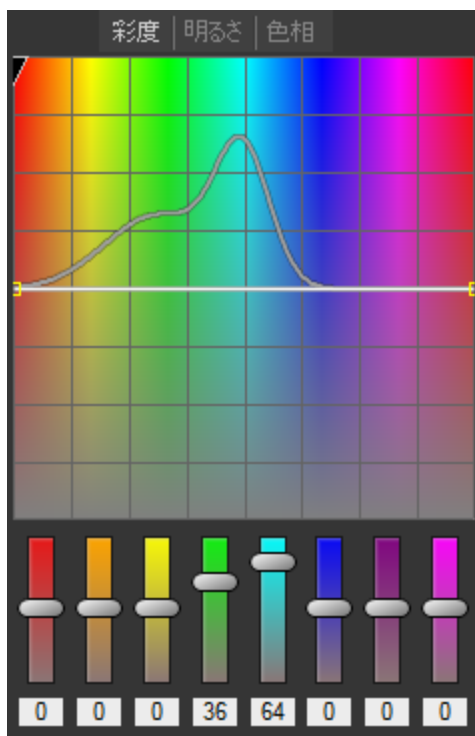


各カラー スライダー



スライダを動かして各カラーを調整します。調整したいカラーを選択し、そのスライダをクリック & ドラッグします。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

画像を直接調整する



画像の上にカーソルを置いて、双方向矢印のアイコンが表示されるまで待ちます。クリック & ドラッグで双方向矢印アイコンを上下、左右に移動してカラーを調整します。カーソルを動かすにつれ、カーブと対応するカラーのスライダが自動調整されるのを確認します。グラフのホワイトカーブの下にブラックカーブが表示されます。

このブラックカーブは、画像で調整されているカラーを示します。このブラックカーブは、グラフ内で直接ドラッグすることはできませんのでご注意ください。より大幅な調整を行うには、ホワイトカーブを直接変更します。ホワイトカーブを調整すると、ブラックカーブもそれと一緒に変更されます。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。

自然な彩度

[自然な彩度] スライダをドラッグして、トーンを変えずに画像の明るさを調整します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはフィルム写真に元からある技術で、ハイライトとシャドウに薄い色をつけます。

[スプリットトーン] ツールは、ハイライトとシャドウの色相と彩度を調整して創造的な作品を可能にします。スライダーを使用してハイライトとシャドウの色相、彩度を調整します。スプリットトーンは ACDSee での RAW 現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. **【編集】** モードの **【カラー】** グループで **【スプリットトーン】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [スプリットトーン] ツールにアクセスすることもできます。

2. スライダーをドラッグして、下表で説明されているハイライトおよびシャドウの調整を行います。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

調整オプション

ハイライト	
色相	スライダーを右にドラッグしてハイライトの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。
シャドウ	
色相	スライダーを右にドラッグしてシャドウの色を選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。
バランス	スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。 例えば、スライダーが最大値 50 に設定されている場合、ハイライト色が最も強調され、スライダーが最小値 -50 に設定されている場合は、シャドウ色が最も強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず [アドバンスカラー] ツールで写真の彩度を落とした後、[スプリットトーン] ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけた白黒写真を作成することもできます。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

カラーバランスを調整する

[カラーバランス] ツールを使用して、画像の色の値を調整することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像のカラーを調整するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、**[カラーバランス]** をクリックします。



フィルターのドロップダウンメニューやツールバーから **[カラーバランス]** メニューにアクセスすることもできます。

2. 下の表で解説されているようにスライダを調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **[適用]** をクリックして設定を適用します。
 - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**[ファイル]** から **[現像済みに戻す]** を選択します。

カラーバランス オプション

自然な彩度	全体のムードを変えずに、画像のカラーを鮮やかにします。
彩度	画像の彩度を調整します。スライダを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
色相	画像の色相を調整します。スライダを右に移動して色相の量を増やすか、左に移動して色相の量を減らします。
輝度	画像の明るさを調整します。スライダを右に移動して明るさの量を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。
レッド	画像のレッドチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のレッドトーンの量を増やすか、左に移動してレッドトーンの量を減らします。
グリーン	画像のグリーンチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のグリーントーンの量を増やすか、左に移動してグリーントーンの量を減らします。
ブルー	画像のブルーチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のブルートーンの量を増やすか、左に移動してブルートーンの量を減らします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



[編集ブラシ] を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



[グラデーション] ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



[放射状グラデーション] ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

グレースケールの画像を作成する

レッド、グリーン、ブルーの各チャンネル、および全体の輝度を調整して、リッチなグレースケールの画像を作成することができます。[モノクロ] ツールを使用して、領域や写真のアスペクトを強調したり、ムードやトーンを変更したりすることができます。

各スライダの上にマウスを移動すると、スライダの下に位置する小さなプレビューウィンドウが変わるのを確認できます。各チャンネルによって画像のどの部分が変更されるのかを示します。画像における各スライダの効果を確認するために便利です。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

グレースケールの画像を作成するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから **【モノクロに変換】** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから **【モノクロに変換】** ツールにアクセスすることもできます。

2. 次のいずれかを実行します:

- **【レッドのパーセント】** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにレッドが多いほど、レッドスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるレッドの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **【グリーンのパーセント】** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにグリーンが多いほど、グリーンスライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるグリーンの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **【ブルーのパーセント】** スライダーを左または右にドラッグします。
ピクセルにブルーが多いほど、ブルースライダーの及ぼす影響が大きくなります。そのため、画像に見られるブルーの領域が、その他のカラーの領域よりも明るくまたは暗くなります。
- **【輝度のパーセント】** スライダーを左または右にドラッグすると、画像全体が明るくまたは暗くなります。



スライダーを右クリックすると値をゼロに戻します。

3. **【完了】** をクリックして変更を保存するか、**【キャンセル】** をクリックして変更を破棄し、フィルタメニューに戻ります。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア

にこの効果をペイントできます。



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像の明るさと各カラーチャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. 表示モードまたは編集モードで、**【ペイン】** から **【ヒストグラム】** をクリックします。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします:
 - **R:** レッド チャンネルを表示または非表示にします。
 - **G:** グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
 - **B:** ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
 - **L:** 画像の明るさを表示または非表示にします。

画像の色深度を変更する

表示モードで、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の数のことです。

画像の色深度を変更するには:

表示モードの【ツール】メニューから【修正】、【色深度の変更】を選択し、下記で説明されているオプションの1つを選択します。

色深度 オプション

モノクロ	白と黒の2色を使用します。
16 色 グレースケール	16 色のグレースケールパレットを使用します。
256 色 グレースケール	256 色のグレースケールパレットを使用します。
16 色	16 色のパレットを使用します。
256 色	(GIF フォーマットでは、既定値として 256 色が使用されています。)
High Color	32,768 色のパレットを使用します。
True Color	人間の目で認識可能なすべての色を含む 16,777,216 色のカラーパレットを使用します。
16 bit グレースケール	16 ビットのグレースケールを使用します。
48 bit カラー	48 ビットのカラーパレットを使用します。

ACDSeeでは、これらの色深度に画像を変換することができます。しかし、特定の画像編集ツール、フィルタ、ブレンド、調整オプションを使用するには、画像が High Color または True Color である必要があります。画像を編集するには、画像を High Color または True Color に変更し、編集後に画像を元の色深度に戻してください。

色の設定 ダイアログボックスを使用する

【編集】モードで色を選択または適用する場合、さまざまな場所に【色】ダイアログボックスが表示されます。「色の設定」ダイアログボックスを使用して、様々な方法でカラーを選択したり、異なる編集ツールでカラーを調整したりします。



標準タブ

最初のタブの下部にはグレー、黒、白を含む基本色がハチの巣状に表示されていて、ここから色を選択できます。その下にはカスタムまたはお気に入りの色がグリッド状に表示されます。色を選択してグリッドのボックスを右クリックすることで、その色を適用することができます。カスタム色を作成するには [カスタム] タブをクリックします。

カスタムタブ

第2のタブにはカラーパレットが表示されています。右端にあるカラー滑り台を使用してカラーグループに移動し、スペクトルの任意の色またはすべての色を利用することができます。パレットの色を選択してグリッドのボックスを右クリックすれば、カスタムカラーに色が追加されます。

カラーを選択する/調整する

色を選択するには、カスタムカラーのグリッドで四角をクリックするか、カラーパレットをクリックします。カラーパレット上ではドラッグすることも可能です。色をクリックすると [新規] ボックスにその色が表示され、すべての数値（色相、彩度、明度、RGB 値）が [カスタム] タブの各フィールドに表示されます。

色相、彩度、明度の値を変更して色を調整することもできます。厳密に色を選択したい場合には、その色の値を入力します。色の調整は RGB それぞれの値を使用しても可能です。

画像をシャープにする

【シャープネス】ツールを使用して、画像のミディアムおよびハイコントラスト エッジを強調することで、画像をシャープにすることができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. 【編集】モードの【ディテール】グループで、【シャープネス】をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【シャープネス】ツールにアクセスすることもできます。

2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用してツールを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【リセット】をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、【ファイル】から【現像済みに戻す】を選択します。

シャープネス オプション

度合い	エッジの各サイドにライトを増減することで、適用するシャープネスの量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が荒く仕上がりが、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細かく仕上がります。
マスク	ノイズやテクスチャのシャープネスを抑えながらエッジを対象にします。マスクの適用領域を表示するには、マスクスライダーを動かしている時にキーを押します。シャープネスの効果が適用される領域は白く見えます。
詳細	強度を減らすことにより光輪（極端なシャープネスを適用したエッジの周囲に現れる光の境界線）を抑えます。大きな値ほど、減らす度合いが強くなります。
しきい値	エッジ内のピクセルをシャープする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすことになります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。



【グラデーション】ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

画像をぼかす

ぼかしツールを使用すると画像にさまざまな種類のぼかし効果を適用することができます。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像をぼかすには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、**[ぼかし]** をクリックします。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ぼかし] ツールにアクセスすることもできます。

2. **[ぼかしの種類]** セクションで、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用して [ぼかし] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**[リセット]** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、[ファイル] から **[現像済みに戻す]** を選択します。

ぼかしの種類

 ガウス	画像全体を均等にスムーズにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 リニア	画像に動きをつけてぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 放射状	角度	ぼかし効果が適用される方向を指定します。
	画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	時計回り	時計回りにぼかします。
	反時計回り	反時計回りにぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
 スプレッド	画像全体を曇ガラスのようにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 ズーム	画像の中心から外に向かって、または外から画像の中心に向かってぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	拡大	画像の中心に向かってぼかします。
	ズームアウト	画像の中心から外に向かってぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。
 スマートぼかし	エッジを検出して無効化することでぼかし効果を生み、しきい値の設定に基づいて詳細を保持します。この効果は通常肌を滑らかにするために使用します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
 レンズ	しきい値	ぼかしを適用する境界を指定します。
	カメラの絞りのぼかし効果に似たぼかしを生成します。	
	ぼかしパネルのオプションからぼけの形状を選択します。これらの形状はハイライトで集中的に示されます。	
	度合い	ぼかしの強度を調整します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	ぼけ頻度	ぼかしの形状が現れる頻度を指定します。
	ぼけ明度	ぼかしの形状がどれだけ強く現れるかを指定します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の一部にこの効果を描画することができます。



【グラデーション】ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール



を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズとノイズ除去について

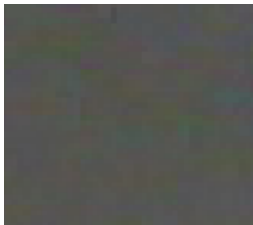
ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因をいくつか挙げてみましょう。ISO 設定が例えば ISO 800 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。)しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。似たような状況では、カメラのレンズやスキャナベッドについたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

画像には一般に2種類のノイズが含まれています: ルミナンスとカラーです。ルミナンスノイズは、特にグレーなど無地の領域に見られる明るさの違いによるノイズで



カラーノイズは、カラーの違いによってランダムに発生するノイズです。



ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを気にしすぎるとシャープネスが失われてしまいます。[ノイズ除去] ツールを使用して、ルミナンスとカラーの両方のノイズを削除することができます。

ノイズを除去する

[ノイズ除去] ツールを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。



CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去ツールを使います。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、**[ノイズ]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ノイズ] ツールにアクセスすることもできます。

2. **ノイズ除去** タブを選択します。
3. [ノイズ タイプ] セクションからオプションを選択します。
4. 下の表を参考にして、オプションを設定します。



画像上の効果のプレビューを見るには、**Alt** キーを押したままスライダを動かします。

5. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、**【完了】** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】** をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、**【リセット】** をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、**【ファイル】** から **【現像済みに戻す】** を選択します。

ノイズ除去 オプション

ノイズ タイプ

カメラ ノイズ除去



デジタルカメラのノイズを削除します。より細かくノイズを削除するために設定された、以下のスライダを使用して調整します。

明るさ	明るさに見られるノイズをランダムに除去します。
強度	[明るさ] スライダの強度をコントロールします。
カラー	カラーに見られるノイズをランダムに除去します。
詳細を保存	強力ノイズ除去により失われたディテールを復元します。スライダを使って、復元するディテールの程度を調整してください。
詳細保存の閾値	[詳細を保存] スライダの調整に含める必要があるディテールのレベルを決定します。

メジアン ノイズ除去



正方形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。

X	X 形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	形の 3 × 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使用します。

ノイズ除去



ノイズを除去します。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】 を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】 ツール  を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】 ツール  を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

ノイズを追加する

【ノイズ追加】ツールを使用して、画像に粒状のノイズを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかな欠点が目立たなくなります。

使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像にノイズを追加するには:

1. 【編集】モードで、【詳細】グループから、【ノイズ】を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから【ノイズ】ツールにアクセスすることもできます。

2. 【ノイズ追加】タブを選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 変更を適用して【ノイズ】ツールを閉じるには、【完了】をクリックします。
 - 変更を適用せずにツールを閉じるには、【キャンセル】をクリックします。



変更をクリアして既定の設定にリセットするには、【リセット】をクリックします。変更を保存した場合は、設定をリセットすることはできません。編集設定のみを破棄したい場合は、【ファイル】から[\[現像済みに戻す\]](#)を選択します。

ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します: • ランダム: ランダムにノイズの色を選択します。 • モノクロ: 白黒のノイズが追加されます。 • 調整: ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。【カラーピッカー】をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、【色の設定】チェックボックスをオンにします。【カラーピッカー】をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム化	画像のノイズをランダムに配置します。 【ノイズ追加】ツールを使用する際、ACDSee はランダム表に基づいてノイズピクセルを追加します。そのため、ツールを使用する度に追加されるノイズが変化します。ランダム表を作成して、同じように画像ノイズを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、【ランダム化】をクリックします。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



【編集ブラシ】を使用して、画像の特定エリアにこの効果をペイントできます。
にこの効果をペイントできます。



を使用して、画像の特定エリア



【グラデーション】ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。

ディテールを調整する

写真の重要な詳細（ディテール）をハイライトし、その他を削除するには、詳細ブラシを使用することができます。ディテールブラシの効果は累積されます。例えば、特定のエリアでぼかし効果を使ってブラシをかける場合、ブラシをかければかけるほどエリアはぼやけてゆきます。

ディテールを調整するには:

1. [編集] モードで、[詳細] グループから、**[ディテールブラシ]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [ディテールブラシ] ツールにアクセスすることもできます。

2. 下の表を参考にして、設定を調整します。

3. 以下のいずれかの操作を行います:

- 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

詳細ブラシのオプション

操作	実行したい操作を選択します:	
	• ぼかし • シャープネス	
ツール設定	シャープネスを選択した場合は、下記を設定します:	
	半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため詳細が荒く仕上がり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため詳細が細かく仕上がります。
	しきい値	エッジ内のピクセルをシャープする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、 ノイズ を増やすこととなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
ブラシ設定	ペン先の幅	スライダーでブラシのサイズを選択します。
	フェザリング	スライダーでストロークのエッジをソフトにします。
	強度	スライダをドラッグして、シャープネスやぼかしの強度を決定します。



ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

透明度を調整する

透明度ツールは画像の詳細に鮮明度を追加します。明瞭度ツールは影とハイライトを強調せずに画像の中間調のコントラストを高めます。

使用した設定は **プリセット** として保存し、後で再利用することができます。

画像の透明度を調整するには:

1. [編集] モードで、**[詳細]** グループから、**[透明度]** を選択します。



フィルタのドロップダウンメニューやツールバーから [透明度] ツールにアクセスすることもできます。

2. **強度** スライダーを右に移動すると明瞭度が上がり、左に移動すると下がります。

3. 以下のいずれかの操作を行います：

- 変更を適用してツールを閉じるには、**【完了】**をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。



ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



編集ブラシ



を使用して、画像の一部にこの効果を描画することができます。



【グラデーション】ツール



を使用して、画像の特定エリアでこの効果をトランジションすることができます。



【放射状グラデーション】ツール



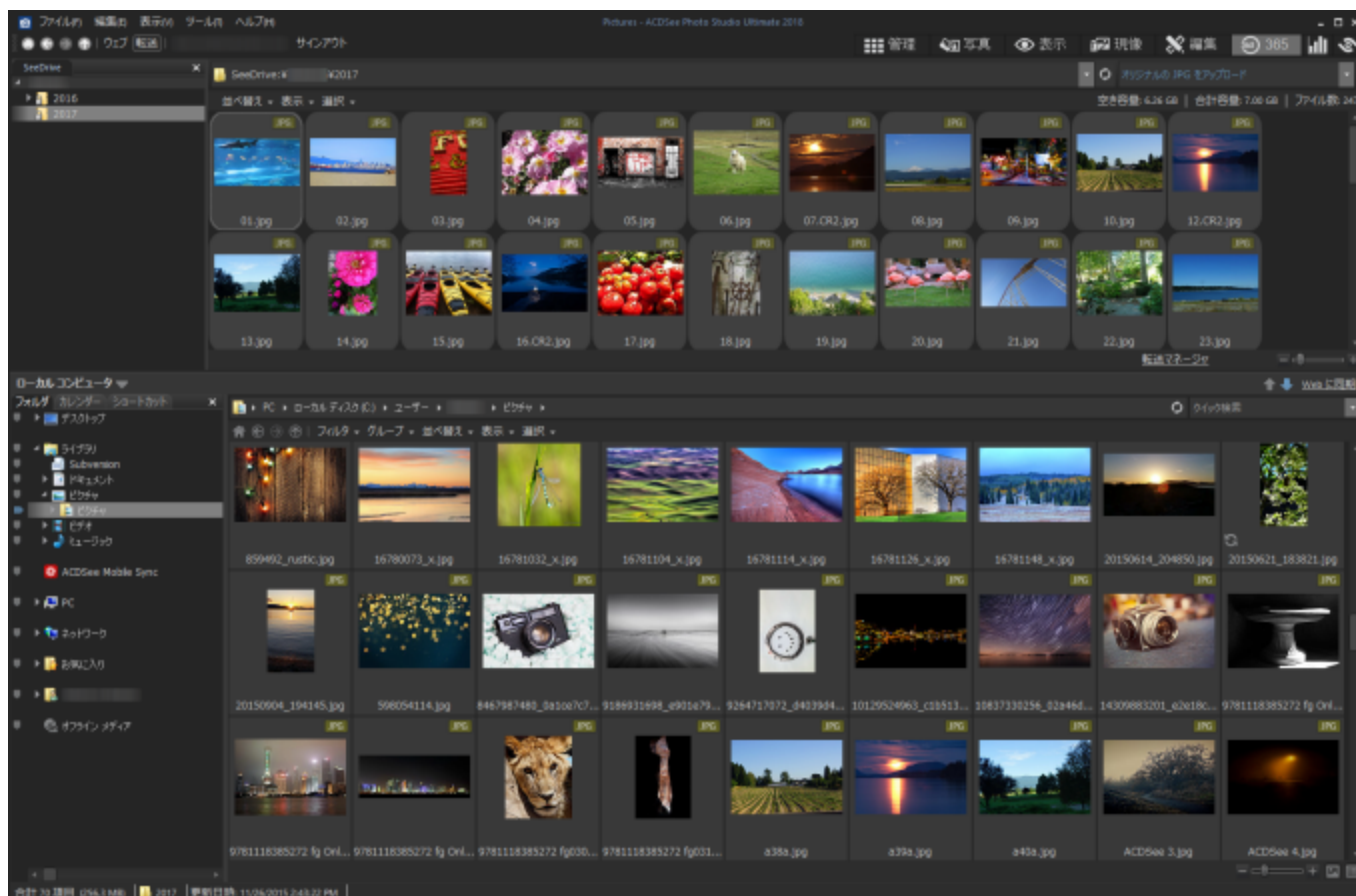
を使用して、中心点の周辺、または中心点に直接効果を適用できます。

Chapter 8: 365 モード



365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

365 モードを使用して、365.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。365.acdsee.com は ACDSee ユーザーを対象にした画像共有 + 画像保存サービスです。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。まず 365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。



365.acdsee.com を使用して、次のような操作を行うことができます。

- [365.acdsee.com アカウントの作成](#)
- [画像をアップロードする](#)
- [画像フォルダのプライバシー設定](#)

365 モードを使用する



365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

365 モードを使用して、365.acdsee.com に画像をアップロードすることができます。365.acdsee.com は ACDSee ユーザーを対象にした画像共有 + 画像保存サービスです。365 モードと 365.acdsee.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネット

トサービス プロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。あるいは、はご利用になっているインターネット ブラウザから直接 365.acdsee.com にアクセスすることも可能です

365 モードには次の 2 つがあります: 365.acdsee.com と転送 です。



[365.acdsee.com] と [転送] タブを有効にするには 365.acdsee.com のアカウントを作成する必要があります。

365.acdsee.com	[365.acdsee.com] タブをクリックすると 365.acdsee.com にアクセスすることができます。365.acdsee.com には次の 4 つのメニューがあります。 • 管理: 画像をフォルダに入れて管理します。 • アップロード: [アップロード] をクリックして画像のアップロードが可能な [転送] に切り替えます。 • プロフィール: プロファイルを変更したり、特定の情報を「公開」、「非公開」に設定したりします。 • サポート: 365.acdsee.com のサポートが必要な場合、「ヘルプ」または「よくある質問」をご覧ください。
転送	転送 モードを使用して、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロードすることができます。[転送] のスクリーンは 2 つに分割されています。画面の下半分にはコンピュータに保存されている画像が表示され、上半分にはお客様の 365.acdsee.com アカウントが表示されます。



365 モードの画像を、「処理」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「処理」モードで開きます。ご注意ください。

365.acdsee.com アカウント の作成

365.acdsee.com に画像をアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。

365.acdsee.com アカウントを作成するには:

1. **[365]** タブをクリックして **[ACDSee 365]** モードを開きます。
2. **今すぐ登録** ボタンをクリックします。
3. 必要な情報を入力して **アカウントの作成** をクリックします。



既にアカウントをお持ちの場合は、**ログイン** ボタンをクリックします。

365.acdsee.com に画像をアップロードする



365.acdsee.com のヘルプについては、**[Web]** タブをクリックした後に **[サポート]** をクリックします。

365.acdsee.com は ACDSee ユーザーを対象にした画像共有 & 画像保存サービスです。まず 365.acdsee.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。365.acdsee.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。



365.acdsee.com アカウントのプランによっては、動画もアップロードできます。

画像をアップロードするには:

1. 365 モードで、**【ログイン】** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **【アップロード】** をクリックして **【転送】** に切り替えます。

スクリーンは上下 2 つの領域に分かれて表示されます。下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。

4. 右上部にあるドロップダウン リストから、次のいずれかを選択します：
 - **関連データを含んだオリジナルをアップロード**：メタデータなどすべての関連ファイルを含んだ状態で、現在のファイル形式で画像をアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。
 - **オリジナルの JPG をアップロード**：JPEG 画像を元のサイズに変換してからアップロードします。元のサイズを変えずに画像を JPG としてアップロードします。
 - **1920 x 1440 のJPGでアップロード**：1920 x 1440 の解像度に設定して、画像を JPEG フォーマットに変換します。画像を JPG に変換してサイズを 1920 x 1440 に設定します。このオプションは高画質の JPG に最適です。
 - **1024 x 768 のJPGでアップロード**：1024 x 768 の解像度に設定して、画像を JPEG フォーマットに変換します。画像を JPG に変換してサイズを 1024 x 768 に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
5. 次のいずれかを実行して、画像をアップロードします：
 - スクリーンの上半分の領域に画像をクリック & ドラッグして、365.acdsee.com アカウントにアップロードします。複数の画像をダウンロードするには、<> キーまたは <> キーを使ってクリックしながら画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することも可能です。
 - スクリーンの上半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
 - 画像を選択してから、**【転送 マネージャ】** の横にある上矢印アイコンをクリックします。

アップロードが完了すると、アップロードされた順番で画像が表示されるようになります。画像が現像または編集済みの場合、ファイルの種類を示すオーバーレイアイコンが表示されます。



サブフォルダを含んだフォルダをアップロードすることも可能です。365 モードでは、365.acdsee.com アカウントにフォルダをアップロードする際、そのフォルダ構造を保ったままアップロードします。

フォルダを設定して自動的にWebに同期する



365.acdsee.com のヘルプについては、**【Web】** タブをクリックした後に **【サポート】** をクリックします。

コンピュータ上のフォルダからすべての画像を 365.acdsee.com にアップロードし、新しい画像が追加される際にそのフォルダと同期したい場合は、そのフォルダを自動的に Web に同期するように設定することができます。同期は、お使いのコンピュータから 365.acdsee.com のアカウントにアップロードするという方向でのみ動作します。選択フォルダを **【Web に同期】** と設定すれば、**【Web に同期】** を選択することで、それらのフォルダに含まれているすべてのファイルを 365.acdsee.com にアップロードすることができます。

フォルダを設定して自動的に「Webに同期」するには：

1. 365 モードで、**【ログイン】** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **【転送】** タブをクリックします。
4. スクリーンの中央下の **【フォルダ】** ペインで、フォルダを右クリックし、**【「Web に同期」フォルダとして設定】** を選択します。
5. **【「Web に同期」フォルダとして設定】** ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
6. **OK** をクリックします。



【ファイル】メニューから【「Web に同期」フォルダの管理】をクリックして設定することも可能です。

Web に同期を実行するには:

1. [転送] で、画面の右側にある【Web に同期】をクリックします。
2. **OK** をクリックします。

フォルダの【Web に同期】設定を編集するには:

1. スクリーンの中央下の [フォルダ] ペインで、Web に同期フォルダを右クリックし、【「Web に同期」フォルダの編集】を選択します。
2. 【「Web に同期」フォルダの編集】ダイアログで、以下で解説されているようにオプションを設定します。
3. **OK** をクリックします。

「Web に同期」フォルダのオプション

アップロードの種類	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを選択します:
	• 関連データを含んだオリジナルをアップロード: メタデータなどすべての関連ファイルを含んだ状態で、現在のファイル形式で画像をアップロードします。このオプションは、アーカイブしたい画像に最適です。 • オリジナルの JPEG をアップロード: JPEG 画像を元のサイズに変換してからアップロードします。元のサイズを変えずに画像を JPEG に変換します。 • 1920 x 1440 のJPEGでアップロード: 1920 x 1440 の解像度に設定して、画像を JPEG フォーマットに変換します。画像を JPEG に変換して解像度を 1920 x 1440 に設定します。このオプションは、高品質の JPEG ファイルに最適です。 • 1024 x 768 のJPEGでアップロード: 1024 x 768 の解像度に設定して、画像を JPEG フォーマットに変換します。画像を JPEG に変換して解像度を 1024 x 768 に設定します。このオプションは、Netbook で表示する、あるいはアップロードの時間を短縮したい場合に最適です。
ローカルフォルダ	選択したフォルダのパスを表示します。【参照】ボタンをクリックして、別のフォルダを選択します。
Online フォルダ	Online フォルダに使用する名前を入力します。既定設定では、「Web と同期」に設定しているコンピュータ上のフォルダと同じ名前に設定されます。
今すぐ「Web に同期」	選択したフォルダ内の画像をすぐにアップロードしたい場合に選択します。このチェックボックスを選択しない場合は、【Web に同期】をクリックして、同期するように選択したすべてのフォルダ内に含まれているすべての画像をアップロードすることができます。

公開または非公開のフォルダを作成する



365.acdsee.com のヘルプについては、【Web】タブをクリックした後に【サポート】をクリックします。

【365.acdsee.com】と【転送】タブでは、フォルダを作成して公開または非公開を指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、友達や家族にその URL を知らせて共有することも可能です。



新規フォルダを作成する際、既定設定としてフォルダは「非公開」に設定されます。

【転送】でフォルダを作成し、公開または非公開に設定するには:

1. 365 モードで【転送】をクリックします。
2. [フォルダ] ペインで ユーザー名を右クリックし、【オンラインフォルダの新規作成】を選択します。

3. [新規の Online フォルダ] ダイアログボックスで、新規フォルダの名 前を入力します。
4. **OK** をクリックします。

既定設定として、新規フォルダは「非公開」に設定されます。

フォルダを「公開」に変更するには、フォルダ上を右クリックし、**【公開する】**を選択します。

公開フォルダの URL を共有するには:

1. 365 モードで**【転送】**をクリックします。
2. [フォルダ] ペイン ウィンドウの左上部から、公開フォルダを右クリックします。
3. **【URL のコピー】**をクリックします。
4. その URL を電子メール、インスタント メッセージやその他のアプリケーションにコピーして、友達や家族と共有します。



公開フォルダ上を右クリックして**【共有】**を選択すると、電子メールで送信、ソーシャルネットワークサイトにアップロード、あるいはウィジェットを作成することができます。

重要度を変更する



365.acdsee.com のヘルプについては、**【Web】** タブをクリックした後に**【サポート】**をクリックします。

[管理] モードで適用した重要度は、[365] モードで星の数として表示されます。ユーザーは、星の数をどのように表示したいかを選択することができます。

重要度の表示方法を変更するには:

1. **【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの**【ACDSee 365】**をクリックします。
3. [重要度] にある**【重要度 1 を 5 に変換】**または**【重要度 1 を 1 に変換】**のいずれかを選択します。
4. **OK** をクリックします。

画像をダウンロードする



365.acdsee.com のヘルプについては、**【Web】** タブをクリックした後に**【サポート】**をクリックします。

365.acdsee.comは、ACDSee ユーザーを対象に画像の保存 サービスを提供しています。365.acdsee.com アカウントからご利用になっているコンピュータへ、いつでも画像をダウンロードすることが可能です。

画像をダウンロードするには:

1. 365 モードで、**【ログイン】**をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **【転送】**タブをクリックします。
 スクリーンは上下 2 つの領域に分かれて表示されます。下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
4. スクリーンの上半分にある [フォルダ] ペインで、365.acdsee.com フォルダをナビゲートしてダウンロードしたい画像を探します。
5. スクリーンの下半分にある [ローカル コンピュータ] ペインで、画像のダウンロード先となるフォルダを選択します。

6. 次のいずれかを実行して、画像をダウンロードします:

- スクリーンの下半分の領域にあるコンピュータのフォルダに向かって、画像をクリック & ドラッグします。複数の画像をダウンロードするには、<> キーまたは <> キーを使ってクリックしながら画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することも可能です。
- スクリーンの下半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
- 画像を選択してから、[転送マネージャ] の横にある下矢印アイコンをクリックします。

転送マネージャを使用する



365.acdsee.com のヘルプについては、[Web] タブをクリックした後に [サポート] をクリックします。

[転送マネージャ] では、365.acdsee.com アカウントに画像をアップロード + ダウンロードする作業を確認したり、転送作業をキャンセルしたり一時停止したりすることが可能です。[転送マネージャ] には 2 つのタブが用意されています。[アップロード] と [ダウンロード] です。これらのタブには、アップロード、ダウンロード、一時停止またはキャンセルされた画像が一覧表示されます。

[転送マネージャ] を開くには:

[ツール]メニューから **[転送マネージャ]** をクリックします。

[転送マネージャ] では次のような操作を行うことができます。

	アップロードまたはダウンロードのキャンセル。
	画像のアップロードとダウンロードを再試行。
	アップロードまたはダウンロードの一時停止。
	画像のアップロードまたはダウンロードを継続。
	一覧のすべての画像を選択します。
	一覧から、アップロード、ダウンロードまたはキャンセルされた画像をクリアします。

Chapter 9: ダッシュボード モード

ダッシュボード モードを使用する

ダッシュボード モードでは、ファイル、カメラ、データベース統計情報にすばやくアクセスして閲覧できます。カメラ統計情報は画像のメタデータから読み出され、ファイル情報は ACDSee データベースから分析されます。そのため、このモードを最大限に活用するには [\[カタログ\]](#) の作成が重要になります。

ファイルのカタログ化

カタログ化を行うには、以下のいずれかの操作を行います：

- [\[ツール\]](#)、[\[データベース\]](#)、[\[ファイルのカタログ化\]](#) の順に選択します。
- 管理モードでフォルダを参照します。

ダッシュボード モード

ダッシュボード モードには、以下のタブがあります：

- **【概要タブ】**：概要タブは、その他のタブに表示される情報のまとめを表示します。月ごとまたは年ごとの写真数詳細を示したグラフも表示します。タブの最上部にある、月を範囲とするか年を範囲とするかの表示を切り替えるドロップダウンメニューが使用できます。前へまたは次へのボタンを使用して、時系列を後ろの方または前の方に移動することができます。
- **【データベース タブ】**：データベース タブは、場所、サイズ、バックアップ情報、アセットの内訳、など、データベースに関するデータを表示します。
- **【カメラ タブ】**：カメラ タブは、最も多く使用したカメラはどれか、よく使う ISO 設定、など、カメラの使用に関するデータを表示します。
- **【ファイル】** タブ：ファイル タブは、最も多く使用したビット深度、画像解像度、など、画像およびビデオファイルに関するデータを表示します。

Chapter 10: PicaView

ACDSee PicaViewについて

ACDSee PicaView とは、Windows/File Explorer™ 向けの、簡単に素早くファイルを表示できる "アドオン" です。RAW ファイル含むファイルや EXIF 情報も、右クリックするだけでさまざまなサイズで表示することができます。ACDSee に対応しているファイルなら、どんなファイルでもプレビュー表示することが可能です。Windows/File Explorer™ にあるファイルを右クリックしても ACDSee PicaView プレビューを表示できます。

プレビューのサイズや表示したい情報など、ACDSee PicaView の詳細はいつでも設定することができます。設定は、**ACDSee PicaView オプション...** をクリックするか、または ACDSee を開き、**ツール | オプション...** をクリックして、オプションダイアログメニューにある ACDSee PicaView をクリックします。

ACDSee PicaView オプションを設定するには:

1. Windows/File Explorer™ にあるファイルを **右クリック** して、ACDSee PicaView のプレビューを開きます。
2. プレビューの上にある **ACDSee PicaView** から**オプション...** をクリックします。
3. ACDSee PicaView オプションダイアログで、以下のオプションを設定・変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee PicaView オプション:

画像の表示

画面の表示 チェックボックスにチェックを入れると、ファイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューにプレビューが表示されます。

表示場所:

- **画像をメインメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、プレビューはメインメニューに表示されます。
- **画像をサブメニューに追加する:** ファイルを右クリックすると、プレビューは **ACDSee PicaView** 右横の矢印をクリックして表示されるサブメニューに表示されます。

サイズ: 右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。

オリジナルの表示 **オリジナルの表示** を選択すると、現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。

EXIF 情報を表示

EXIF 情報を表示 にチェックを入れて、右クリックした画像の EXIF 情報を表示 / 非表示を設定します。

Chapter 11: オプションと設定

全般オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスの設定を調整して、便利なワンポイントの表示、表示する日付フォーマットの設定、自動回転オプション、特定画像表示のコントロールなどを設定することができます。

ACDSee 全般 オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[全般]** をクリックします。
3. 「全般」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

全般 オプション

ガンマ補正を行う	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正値を適用します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像をデスクトップ全体のサイズに合わせて自動拡大し、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	管理モードのプレビューペインおよび表示モードで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF 方向を基準にして、JPEG および TIFF 画像を自動的に回転する	ACDSee で TIFF や JPEG 画像を表示する際、EXIF 方向を基準にして画像を自動回転します。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
日付/時間の出力フォーマット	次のいずれかのオプションを選択します: • 既定のシステム フォーマット: 既定のシステム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。 • カスタム フォーマット: カスタム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。日付と時間のフォーマットを、ドロップダウン リストから選択します。
タスク バーの通知領域にアイコンを表示する	タスク バーの通知領域に ACDSee アイコンを表示します。
モード切り替えにアイコンを表示する	各モード名の左にアイコンを表示します。
OpenCL 画像を処理する	お使いのパソコンのビデオカードドライバが対応している場合、このチェックボックスを有効すると RAW ファイルの処理速度が上がります。このオプションを利用するにはビデオカードのドライバが最新である必要があります。
RAW 表示	次のいずれかを選択します。 • 埋め込みプレビュー: 埋め込み JPEG を使用します • RAW デコード: ハイクオリティのデコードを実行 詳細につきましては、[RAW 画像を表示する] をご覧ください。

モード オプションを設定する

モード ボタンの外観をコントロールして表示スペースを最大化できます。

モード ボタン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. オプション ダイアログボックスで、**【モード設定】** をクリックします。
3. モード設定 ページで、対応するチェックボックスの選択を外すことで、モードを非表示にできます。

 **管理モードは非表示にできません。**

4. モードの対応するドロップダウン メニューを使用することで、アイコンとラベルの両方を表示する、ラベルのみ表示する、アイコンのみ表示するように設定できます。
5. **【モード ボタンの見た目を簡略化する】** をクリックしてモードボタンを小さくすることで、スペースを節約できます。
6. **OK** をクリックします。

管理モード オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダや配色など、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **【管理モード】** をクリックします。
3. 「管理モード」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

管理モード

デフォルトの開始フォルダ	前回のセッションで使用したフォルダ	ACDSee で前回使用したフォルダと同じフォルダを管理モードで開きます。
	開始フォルダ	指定された開始フォルダが、管理モードで常にか開かれます。 【参照】 ボタンをクリックして、ハードディスク上から開始フォルダを指定します。
	開始フォルダが存在しない場合警告を表示する	前回のセッションで使用したフォルダ を有効にしている、そのフォルダまたは開始フォルダが存在しない場合に、警告のメッセージが表示されます。
配色	ACDSee で使用する配色を指定します。	
終了時に履歴パスをクリアする	ACDSee の終了時に、最近使ったフォルダパスを削除します。	
タイトルバーに完全なパスを表示する	画像の完全なパスを ACDSee タイトルバーに表示します。	
タイトルバーにデータベースのファイル名を表示する	ACDSee が実行中のデータベース名を表示します。	
フォルダツリー	表示間隔	フォルダツリーにおけるフォルダとフォルダの間のスペースを調整できます。
	【+】を使用してフォルダツリーを展開	フォルダツリーにある展開可能なフォルダの左には 【+】 マークを表示して、展開できることを表します。
エラー報告	ACDSee にエラーが発生した場合、ログを表示させたくない場合はこのオプションを選択します。	
スキャン保存先	【フォルダの参照】 ボタンをクリックして、スキャンした画像の保存先フォルダを選択します。	

クイック検索 オプションを設定する

検索するファイルのプロパティあるいはデータベース情報を指定することで、クイック検索オプションの検索を絞り込むことができます。

クイック検索オプションを設定するには:

1. [管理] モードで [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [管理 モード] から [クイック検索] をクリックします。
3. 「クイック検索」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

クイック検索 オプション

ファイル名を含む	入力された文字で始まるファイルまたはフォルダ名を検索します。
カテゴリを含む	入力された文字と一致するカテゴリを検索し、それらと関連付けられた全ファイルを検索結果として表示します。サブカテゴリは含まれませんのでご注意ください。
フォルダの内容を含む	入力された文字で始まるフォルダを検索し、それらのフォルダの内容を検索結果として表示します。サブカテゴリは含まれませんのでご注意ください。

ファイル一覧 ペイン オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスを使用して、ファイル一覧 ペインのオプションを設定することでユーザーの好みに合わせたカスタマイズが可能です。例えば、アーカイブ ファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプをハイライトすることができます。また、ファイル一覧 ペインで表示されるファイルの種類やサムネイルをカスタマイズすることも可能です。

ファイル一覧 ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [ファイル一覧] をクリックします。
3. 「ファイル一覧」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧 オプション

ファイル一覧	新規ファイルを自動的に選択する	ファイル一覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。
	アーカイブをフォルダでグループ化する	ファイル一覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブ ファイルをフォルダとして扱います。
	埋め込まれたサムネイルを使用する	RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイル一覧ペインに表示されます。
	高画質のサムネイルを作成する	このオプションが選択されると、まず RAW ファイルに埋め込まれているサムネイルがファイル一覧ペインに表示され、その後高画質のサムネイルに置き換えられます。
	フォルダにサムネイルを表示する	ファイル一覧ペインにあるフォルダアイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。
	各フォルダの並べ替え設定を保存する	ACDSee に特定フォルダで使用した並べ替え設定を記憶させたい場合には、このオプションを選択します。
	<Ctrl> キーでホットトラックを有効にする	<Ctrl> キーをホールドすると、ホットトラックが有効になります。このオプションが選択されると、ファイル一覧ペイン上で <Ctrl> キーをホールドしながらマウスポインタを動かすことで、ホットトラックが有効になります。ホットトラックとは、選択されたファイルを変更せずに、プレビューやプロパティ ペインの内容を更新することを指します。
	アニメーションを使用する	特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループ ヘッダーがあります。
フィルタの設定	すべてのファイルを表示する	ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。
	フィルタ適用の条件	以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。 • 画像ファイルの表示 • フォルダを表示 • メディア ファイルの表示 • アーカイブ ファイルの表示
	隠しファイルとフォルダを表示する	通常隠しファイルとして設定されているシステム ファイルとその他のファイルを表示します。
	THM ファイルを表示する	ファイル一覧に Canon THM ファイルを表示します。
	XMP ファイルを表示する	ファイル一覧に XMP サイドカーファイルを表示します。
画像ファイルのハイライト	画像ファイルをハイライトしない	「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードで画像ファイルをハイライトしません。
	画像ファイルをシングルカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをシングルカラーでハイライトします。
	画像ファイルをマルチカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル+詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをマルチカラーでハイライトします。
ポップアップ	マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する	ファイル一覧にマウスを置いた際、ポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。 以下の設定でポップアップに画像および/またはテキストを含むかを指定することができます。あるいはこのオプションをオフに設定すると、<Shift> キーをホールドしている場合にのみポップアップを有効にすることができます。
	<Shift> キーでポップアップを有効にする	ファイル一覧で、<Shift> キーをホールドしたままマウスキーを移動した場合のみ、ポップアップが有効になります。<Shift> キーでファイルを選択しにくい、という場合には、このオプションをオフに設定します。
	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスが置かれていても、5 秒ポップアップを表示した後、自動的に隠します。

	サムネイルのポップアップを表示する	マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアッププレビューを表示します。
	ポップアップに情報を表示	ポップアップにテキスト情報を表示します。 【ファイル情報の設定...】 ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択し、表示する情報を指定します。
ファイル情報の設定	[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれます。このダイアログで、ファイル一覧のポップアップに表示する情報を選択します。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、ACDSee メタデータEXIF、ファイル、画像、IPTC やマルチメディアなどその他のデータベース情報を選択することも可能です。	
既定の右クリックメニューとして、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示する	ACDSee のコンテキストメニューの代わりに、Windows エクスプローラのコンテキストメニューを表示します。	

サムネイル情報オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧 ペイン内の画像サムネイルと一緒に表示する情報を指定することができます。これらのオプションは、**【ファイル一覧】** の下にある **【サムネイル情報】** で見つけることができます。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. [管理] モードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **【ファイル一覧】** から **【サムネイル情報】** をクリックします。
3. [サムネイル情報] のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

サムネイル情報オプション

情報	ファイル名	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
	サムネイル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
	タイトル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、「タイトル」表示モードで表示される情報を選択します。
	ポイントしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示する	ポイントしたときに、重要度なし、タグなし、ラベルなしのオーバーレイアイコンを表示します。
 オーバーレイアイコン オーバーレイアイコンを表示するには、 ファイル一覧ペインでファイルを参照する をクリックしてください。	重要度	ACDSee データベースで、重要度が適用されているファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイアイコンを表示します。
	埋め込み保留中	メタデータ情報が追加され、ACDSee データベースに保存されているファイルのサムネイル上にデータベースオーバーレイアイコンが表示されますが、まだファイルには書き込まれていません。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。
	アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイルフォーマットのオーバーレイアイコンを表示します。
	カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイアイコンを表示します。
	コレクション	ファイルがコレクションに追加されている場合、サムネイルにコレクションのオーバーレイアイコンが表示されます。
	ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイアイコンを表示します。
	オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイアイコンを表示します。
	除外された項目	ACDSee データベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに除外された項目のアイコンを表示します。
	タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイアイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
	自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイアイコンを表示します。
	編集済み	編集されたファイルのサムネイルに、編集のオーバーレイアイコンを表示します。
	現像済み	現像されたファイルのサムネイルに、現像のオーバーレイアイコンを表示します。
	ジオタグ済み	位置情報が付けられたファイルのサムネイルに、マーカーのオーバーレイアイコンを表示します。
	ラベル	ラベルがつけられたファイルのサムネイルに、カラーラベルのオーバーレイアイコンを表示します。
	スナップショット	ファイルに現像スナップショットが添付されている場合、サムネイルにスナップショットのオーバーレイアイコンが表示されます。

サムネイルのスタイルオプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内の画像サムネイルの表示方法を指定することができます。これらのオプションは、の下にある **[サムネイルのスタイル]** で見つけることができます。

サムネイルのスタイル オプションを設定するには:

1. [管理] モードで [ツール] メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [オプション] ダイアログボックスで、**[ファイル一覧]** から **[サムネイルのスタイル]** をクリックします。

3. 「サムネイル情報」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

サムネイルのスタイルオプション

サムネイルのフレーム	ドロップシャドウの表示	サムネイルに 3D のドロップシャドウを追加します。
	スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
フォルダのスタイル	XP スタイル	Microsoft XP for Windows のスタイルでフォルダを表示します。
	3D スタイル	透明度の付いた 3D スタイルでフォルダを表示します。
サムネイルの比率	カスタム	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
	縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦比率 3:4 を指定します。
	横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦横比率 4:3 を指定します。
サムネイルの間隔	スライダ	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で表示します。	

詳細表示オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示 オプションを変更するには:

1. いずれかのモードで **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[ファイル一覧]** から **[詳細表示]** をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

詳細表示 オプション

グリッドラインを表示する	「詳細」表示モードの行と列を、グリッドラインで区切ります。
行全体を選択する	行のヘッダーをクリックすると、行全体が選択されます。
列幅を自動調整する	内容に合わせて列の幅を自動調整します。
並べ替えに使用された列を ハイライトする	列のタイトルをクリックすると、ファイルの並べ替えに使用された列をハイライトします。
詳細表示の設定	「詳細」表示モードで、ファイルの並べ替えに使用する列を指定します。

プレビュー ペイン オプションを設定する

プレビュー ペインでは、画像の表示方法を指定することができます。また、プレビュー ペインでオーディオやビデオファイルを表示する際、自動再生するように設定することも可能です。

プレビュー オプションを設定するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:

- 管理モードで、**【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**を選択し**【プレビュー】**をクリックします。
- 管理モードで、プレビュー ペイン内の任意の場所を右クリックし、**【プレビュー オプション】**を選択します。

2. 「プレビュー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

3. **【OK】**をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

プレビュー オプション

間隔	ファイル 一覧 ペインで画像を選択した後、プレビュー ペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオ クリップのプレビュー	ファイル 一覧 ペインで選択されたメディア ファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオ クリップの自動再生	プレビュー ペインでオーディオまたはビデオ クリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示します。
画像と情報	次のいずれかのオプションを選択します: 画像の表示: プレビュー ペインに、選択された画像のプレビューを表示します。 情報の表示: プレビュー ペインに、選択された画像の情報を表示します。 ヒストグラムの表示: 選択された画像のヒストグラムを表示します。
プレビュー情報の選択	プレビュー ペインで表示する情報の種類を指定します。詳しくは 画像のプレビュー の項を参照してください。

フォルダ ペイン オプションを設定する

イーजीセレクト バーの表示 / 非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダ ペインをカスタマイズすることができます。

フォルダ ペインをカスタマイズするには:

- いずれかのモードで **【ツール】**メニューから**【ACDSee オプション】**を選択します。
- 【ACDSee オプション】**ダイアログ ボックスで、**【フォルダ】**をクリックします。
- 「フォルダ」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
- 【OK】**をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

フォルダ ペイン オプション

イーजीセレクト	イーजीセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイーजीセレクト バーをフォルダ ペインに表示します。
	イーजीセレクトのワンポイントを有効にする	イーजीセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。
フォルダ表示	フォルダ ペインにアーカイブを表示する	フォルダ ペインにアーカイブ ファイルを一覧表示します。
	フォルダ ペイン内で、ドラッグ & ドロップをする際に確認する	フォルダ ペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
	除外されたフォルダのオーバーレイ アイコンを表示する	ACDSee データベースから除外されたフォルダにオーバーレイ アイコンを表示します。

カタログ ペイン オプションを設定する

カタログ ペインのオプションを使って、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するかを選択や、イージーセレクトバーの表示/非表示などを指定することができます。

カタログ ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【ACDSee オプション】** ダイアログ ボックスで、**【カタログ】** をクリックします。
3. 「カタログ」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **OK** をクリックします。

カタログ オプション

カテゴリの削除	カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する	割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
	カテゴリにサブ カテゴリが含まれているか確認する	サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
ファイルの削除	カテゴリからファイルを削除する際に確認する	カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
イージーセレクト	イージーセレクトを表示する	複数の [カタログ]、[スペシャル アイテム]、[重要度] を選択することができるイージーセレクト バーが、カテゴリ ペインに表示されます。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。
アイコン	カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテム用にアイコンを表示する	カテゴリ、重要度、カラーラベル、スペシャル アイテムのアイコンが表示されるため、これらの適用されたファイルが識別しやすくなります。
	カテゴリ、キーワード、重要度、カラーラベルの設定を有効にする	カタログ ペインでカテゴリ、重要度、カラーラベルを設定可能にします。

カレンダー ペイン オプションを設定する

ACDSee カレンダー ペインでは、各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択したりすることができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【ACDSee オプション】** ダイアログ ボックスの **【カレンダー】** をクリックします。
3. 「カレンダー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

カレンダー ペイン オプション

日付の種類	データベースの日付	ACDSee データベースに保存されている日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	撮影日	各項目の撮影日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイル更新日時	各項目の最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイルの作成日時	各項目がコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
フィルタ	アドバンス ファイラー 一覧フィルタの適用 (フォルダの除外)	ファイラー 一覧ペインで現在選択されている フィルタ設定 に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
	画像とメディア ファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。
週の始まり	カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。	
時計の表示形式	12 時間	カレンダー ペインで 12 時間時計を使用します。
	24 時間	カレンダー ペインで 24 時間時計を使用します。

CD/DVD 管理 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、フォト ディスクの識別方法を設定することができます。

フォト ディスクの識別オプションを変更するには:

1. いずれかのモードで [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [CD/DVD ファイル管理] をクリックします。
3. 「CD/DVD 管理」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

CD/DVD 管理 オプション

フォトディスクのID	ディスクのボリューム ラベルを使用する	ディスクのボリュームラベル別にフォトディスクを識別します。マルチセッションのフォトディスクで作業する場合には、この設定を選択します。
	ディスクのシリアル番号を使用する	ディスクのシリアル番号別にフォトディスクを識別します。シングルセッションフォトディスクで作業する場合、あるいは ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポート/変換する場合には、この設定を選択します。

プロパティ ペイン オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、プロパティ ペインのメタデータ タブに表示する情報をカスタマイズすることができます。

プロパティ ペインにメタデータ タブを追加するには:

1. [管理] モードで [ツール] メニューから [ACDSee オプション] を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [プロパティ ペイン] をクリックします。
3. [プロパティ ペイン] ページから、[タグ、重要度、カラーラベルを表示する] のチェックボックスを無効にします。
4. [カテゴリを表示する] のチェックボックスを無効にします。
5. **メタデータ表示の管理** をクリックして [表示するメタデータの選択] ダイアログボックスを表示します。
6. [+] をクリックしてツリーを展開し、希望する項目を選択します。

7. **OK** をクリックします。
8. [**OK**] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。



プロパティペインのメタデータタブにある[メタデータの表示]ドロップダウンリストをクリックして、**[メタデータ表示の管理]**を選択することも可能です。

ファイル管理 オプションを設定する

ACDSeeでは、名前変更や削除、デスクトップのごみ箱への一時保存など、ファイルおよびフォルダの取扱い方法を既定値として設定することができます。

ファイル管理 オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[ファイル管理]** をクリックします。
3. 「ファイル管理」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [**OK**] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ファイル管理 オプション

重複ファイルの上書き	確認する	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
	名前の変更	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムで使用されるファイル名を分離する文字を [分離文字] フィールドに入力します。
	置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
	スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。
オリジナルの保存	一括編集ツールの1つを使用して編集が行われる際、オリジナルファイルを保存します。そのため、編集を行った後に気が変わり、元のファイルに戻したい、という場合に対応することができます。このオプションをオフに設定すると、一括編集ツールを使用する際、オリジナルファイルが保存されないため、復元不可能となります。ご注意ください。 現像および編集モードでは、このオプションがオフに設定されていても必ずオリジナルファイルが保存されます。	
その他	ファイル名をクリックして変更する	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
	ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハードディスクから完全に削除されます。
	ファイルをコピーするときに、データベース情報を保持する	ファイルを別の場所にコピーしても、そのファイルのデータベース情報が同時に保存されます。



フォルダの削除、ファイルの削除、読み取り専用ファイルの名前変更、削除の確認につきましては、お使いのオペレーティングシステムの設定をご利用ください。

カラーマネージメント オプションを設定する

ACDSee のカラーマネージメント システム (CMS) を使うと、ご使用のコンピュータと、モニタ、プリンタなどの外部デバイスの色の誤差を減らすことができます。ACDSeeはモニターに割り当てられたカラープロファイルを自動的に検出します (オペレーティングシステムで正しく設

定されていることが必要)。カラーマネージメント用ハードウェア、ソフトウェアを使用してモニターのプロファイルを定期的にチェックすることをお勧めします。

カラーマネージメントの設定を変更する前に、各デバイス用のカラープロファイルが正確であるか確認してください。デバイスのソフトウェアにプロファイルが含まれていない場合は、デバイスの製造元、あるいはプロの印刷業者に問い合わせプロファイルを手してください。

 カラーマネージメントは複雑な作業を伴います。カラーマネージメントシステムについてあまり詳しくない方は、オプションを変更せず、ACDSeeの既定の設定をそのまま使用するようにお勧めします。

ファイル管理 オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで【ツール】メニューから【ACDSee オプション】を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの【カラーマネージメント】をクリックします。
3. 「カラーマネージメント」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. [OK] をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

カラーマネージメント オプション

有効	カラーマネージメントを有効にする	ACDSee でカラーマネージメントシステムを有効にし、このダイアログボックスの各フィールドが選択可能になります。
	サムネイルに適用	サムネイルにカラーマネージメントを有効にします。
	カラー マネージメント エンジン	ドロップダウン リストから使用するカラー マネージメント エンジンを選択します。
入力	既定の入力プロファイル:	画像に ICC プロファイルがタグ付けされていない場合に使用する既定のカラー プロファイルを指定します。
	プロファイル詳細	現在コンピュータに格納されている、すべてのカラープロファイルの詳細が表示されます。スクロールして、sRGB など特定の色空間用に指定されているカラープロファイルを探します。
ソフト ブルーフ:	ソフト ブルーフを有効にする	モニターでブルーフをシミュレートしたいデバイスのプロファイルを選択することができます。プリンタのプロファイルをエミュレートするデバイスとして設定し、プリンタから出力されるであろうプレビューをモニターで確認することができます。
	エミュレートされたデバイスのプロファイル	エミュレートするデバイスを選択します。
	レンダリングの方法	すべての色 が出力 デバイスの色空間に適合するわけではない場合の処理方法を選択します。オプションは次の通りです。 • 知覚: 画像全体についてすべての色を圧縮することによって出力色空間外にある色を再マップします。出力色空間の境界では彩度が失われます。 • 彩度: 色相と明るさを犠牲にして色の彩度を保持します。画像鮮やかさが特に重要である場合やコントラストがはっきりしているグラフィックの場合に有効です。 • 相対カラーメトリック: 色域外の色をすべて色域内の使い色に置き換えます。出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、出力デバイスの表示可能内最も近い色に調整されます。 • 絶対カラーメトリック: 出力デバイスのレンダリング可能範囲外の色は、出力デバイスのレンダリング可能な最も近い色に調整されます。ただし、ホワイト ポイントは移動しないため、ホワイト ポイントとの距離は変更されます。



表示および現像モードでは、ショートカット **[]** でソフトブルーフの有効/無効を切り替えます。



一部のソフトブルーフのメニュー項目は、表示、現像、編集モードでのみ利用できます。**[表示 | ソフトブルーフ]** を選択し、レンダリングの方法を選択したり、有効/無効を切り替えます。

データベース オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームを設定したり、データベース情報をコントロールしたり、データベース ファイルやサムネイル キャッシュの保存先を設定したりすることができます。

データベース オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの **[データベース]** をクリックします。
3. 「データベース」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

データベース オプション

データベース ファイル	ACDSee データベース が保存されているハードドライブの場所を表示します。
バックアップ アラームの表示	ACDSee データベースのバックアップをアラームで自動的に知らせます。 [間隔] ドロップダウン リストをクリックして、アラームを表示する間隔を選択します。
除外されたフォルダの管理	[除外されたフォルダ] 一覧のダイアログ ボックスを開き、ACDSee データベースから除外したいフォルダを指定します。
ACDSee メタデータ リマインダーを表示する	ACDSeeメタデータの埋め込みを知らせるリマインダーが表示されます。
EXIF の日付にデータベースの日付を設定する	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee EXIF の日付がデータベースへ自動で追加されます。  注意: データベースの日付が変更された場合は、 埋め込み保留中 のフラッグは表示されません。
カタログ化されたファイルから EXIF と IPTC メタデータをインポートする	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee データベースに EXIF と IPTC 情報を自動的にインポートします。 このオプションが選択されない場合、EXIF と IPTC 情報はインポートされませんが、データベースの履歴内に格納されます。空の履歴を削除するために、定期的に データベースの最適化 を行うようにしてください。
ファイルヘタ格付する時に [埋め込み保留中] を設定する	ファイルがタグ付けされると、データベースのオーバーレイ アイコンを表示しますが、メタデータはまだファイルに書き込みされません。このアイコンはファイルとデータベースが同期されていないことを意味します。このオプションが無効の時は、カタログ ペインのスペシャルアイテムにある [埋め込み保留中] の下にタグ付した画像は表示されません。
IPTC キーワード用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC キーワード ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。
IPTC の補充カテゴリ用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC 補充カテゴリ ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更 / 調整します。

写真モードのオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスで設定を調整して、[写真] モードに表示されるファイルとその表示方法を決定できます。

【写真】モードのオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【オプション】** ダイアログボックスで **【写真モード】** をクリックします。
3. **【管理】** モードのページで次のようにオプションを設定または変更します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

写真モードオプション

写真	データベースのオーファン ファイルを表示する	[データベースのオーファンファイルを表示] を選択して、オーファンとしてフラグ付けされた紛失ファイルを表示します。オーファンはセピア色で表示されます。
	スクロール中にナビゲーション サムネイルを表示する	アニメーションでポップアップ表示されるナビゲーションサムネイルを有効化または無効化します (スクロール中サムネイルに日付が表示されます)。このオプションは、大量の写真コレクションをスクロールするユーザーが現在の位置を把握するのに役立ちます。
		 このオプションは、スクロールバーを使って、必要な写真のエリア/日付範囲で一時的に停止した場合にのみ機能します。
サムネイルの日付を並べ替える	サムネイルを古い順に表示するか新しい順に表示するか選択します。	
ポップアップ	マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する	サムネイル上にマウスを置くと表示されるアニメーションのポップアッププレビューを有効化または無効化します。
	<Shift> キーでポップアップを有効にする	ファイル一覧で、<Shift> キーをホールドしたままマウスキーを移動した場合のみ、ポップアップが有効になります。
	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスが置かれていても、5 秒ポップアップを表示した後、自動的に隠します。
	サムネイルのポップアップを表示する	マウスが置かれると、画像のポップアッププレビューを表示します。
	ポップアップに情報を表示	マウスが置かれたときのポップアップにファイル情報を含めます。[ファイル情報の設定...] ボタンをクリックして必要なポップアップ情報を選択し、表示する情報を指定します。

表示モードのオプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスでは、表示される画像のスピードを向上させたり、ユーザー好みに合わせて表示モードをカスタマイズしたりすることができます。

表示モード オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【ACDSee オプション】** ダイアログボックスの **【表示モード】** をクリックします。
3. 「表示モード」オプションのページで、下の表を参考にして表示モードオプションを変更または設定します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

表示モード オプション

デコード / キャッシュ	次の画像を前もってデコードする	表示モードで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。
	以前の画像をメモリに保存する	表示モードですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。
起動ファイル	一覧の画像を置換する	画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規の表示モード ウィンドウで表示しません。
	画像を新規ウィンドウで表示する	他のアプリケーションで表示されている画像を、新規の表示モード ウィンドウで開きます。
ドロップ ファイル	一覧の画像を置換する	他のアプリケーションから表示モードに移動した画像と、表示モードで表示されている画像の一覧を置き換えます。
	一覧に画像を追加する	他のアプリケーションから表示モードに移動した画像を、表示モードで既に表示されている画像の一覧に追加します。
常に手前に表示する	ACDSee ウィンドウを、重なったウィンドウの手前に常に表示します。	
フルスクリーンにする	表示モードで、画像をフルスクリーン モードで表示します。＜F＞キーを押してフルスクリーン モードを終了します。	
フルスクリーンでマウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。	
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示モードに表示します。	
ACDSeeQuick View を使う	このオプションが選択されると、ACDSee が閉じられている場合、ACDSee Quick View が画像の既定ビューアとして設定されます。	
100% より拡大した場合にビクセルを表示する	100% を超えて拡大した画像にはリサンプリングは適用されません。このオプションが無効の場合、100% を超えて拡大した場合もリサンプリングを行って画像を滑らかにしますが、画像がぼける場合があります。	
常に選択した ACDSee レンズで開く	起動時に、前回 ACDSee を終了した時に選択していた ACDSee レンズで画像を開きます。	
削除 / 移動後に終了する	表示モードの画像を移動 / 削除した後に、自動的に管理モードに戻ります。	
フォルダ内のすべての画像を表示する	フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。	
画像ファイルの完全なパスを表示する	表示モードのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。	
サブサンプル済画像のシャープネス	100% より小さくズームされた画像を、シャープネスを自動的に適用して表示します。	

表示 オプションを設定する

オプション ダイアログボックスを使用して、ウィンドウの背景を変更したり、ズームの方法を指定したりすることができます。

表示 オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【ACDSee オプション】** ダイアログ ボックスの **【表示モード】** から **【表示】** をクリックします。
3. **【表示】** オプションのページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

表示オプション

ズーム オプション	ズームモードの既定値	表示モードで表示される画像用に、 ズームレベル の既定値を指定します。
	画像の変更時に、ズームレベルを既定値にリセットする	表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。
	サイズ変更	設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューに影響するかについての詳細は、 画像を自動的に拡大/縮小する をご覧ください。
パンツール	クリックズームを使う	このオプションが有効の場合、マウスのクリックで、既定の表示サイズと原寸表示を切り替えます。
パニング速度	低速 - 高速	画像をパンする際の速度を指定します。
背景	既定色	表示、現像、編集モードの背景に既定色 ACDSee を使用します。
	カスタム色	表示、現像および編集モードの背景に使用する色を指定します。
	並列画像	表示、現像および編集モードの背景並列画像を使用します。 【参照】 をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。



背景色と並列画像のオプションは、フルスクリーンモードには反映されません。



ACDSee Quick View の背景色を変更するには、[Quick View で画像を開き](#)、**【ツール】**メニューから**【オプション】**をクリックします。

現像および編集モードオプションの設定

オプションダイアログボックスを使用して、現像および編集モードのオプションを設定することができます。

現像および編集モードのオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】**メニューから **【ACDSee オプション】**を選択します。
2. オプション ダイアログボックスで、**【現像モード】**または**【モード設定】**をクリックします。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. **【OK】**をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

現像および編集モードオプション

編集	編集ペインにアイコンを表示	編集で、ツールのそばにアイコンを表示します。
	GPU 選択	最適なパフォーマンスを実現するため、[編集] モードの一部は GPU から実行されます。ACDSee によってシステム内の最高の GPU が自動的に選択されます。このオプション — ACDSee に任せる — はデフォルトで有効になっています。[ACDSee に任せる] が有効になっていると、オプションの隣に GPU モデルのテキストが表示され、[編集] モードをプライマリ GPU で実行するか、ACDSee によって検出された、より高性能な別の GPU で実行するかを指定できます。ほとんどの場合、ACDSee によって検出され、最高の性能を持っていると判断される GPU は、プライマリ GPU です。 • プライマリを使用: ACDSee によって選択された GPU ではなく、プライマリ GPU を使用したい場合は、このオプションを選択します。 • ACDSee に任せる: このオプションを選択して、ACDSee によって検出された高性能な GPU の使用を有効にします。
	記録したアクション フォルダ	アクションスクリプト (記録) が保存されているハードディスク上の場所へのパスが表示されます。[参照] ボタンをクリックしてハードディスクの新しい場所を指定します。
	Adobe® Photoshop® プラグイン パス	Photoshop® プラグインがあるハードディスク上の場所へのパスが表示されます。これによってプラグインがどこにあるかを ACDSee に指示します。できれば、Photoshop® プラグインがすでに保存されている場所のパスを指示するようにしましょう。 場所を変更または追加するには、[追加] を押して場所を参照し、選択して [フォルダを選択] を押します。  ACDSee のウィンドウが複数開いている場合、プラグインのパスを変更することはできません。 場所を削除するには、選択して [削除] を押します。 一覧表示された場所にプラグインを移動するには、場所を選択して [フォルダを開く] を押します。これでプラグインをフォルダにドラッグできます。
現像	現像モードの RAW ファイルは、クイック切り替えを有効にする 現像モードの調整をすべて自動保存する	現像モードで RAW やその他の非エンコードファイルをクイック表示するため、次の画像に切り替える際に処理が終わるまでしばらく待つ必要がありません。現像モードを終了した後もバックグラウンドタスクとして処理され、画像処理をより高速に行うことができます。このオプションを非選択にすると、エンコード不可の画像は一度に 1 枚ずつ処理され、処理の結果を即座に見ることができます。しかし、他の画像に移るごとに、画像処理を待たなくてはなりません。 現像内で画像を自動保存するため、次の画像に切り替える際、現在の画像を保存するかなどのメッセージが表示されません。このオプションによって、多くの画像を迅速に現像し、変更を自動的に保存します。このオプションを非選択にすると、新しい画像に移るごとに、現在の画像を保存するかどうか確認します。現在のファイルに変更を保存するか、画像のコピーを保存するか、変更を破棄するかを選択できます。

ACDSee 365 オプションを設定する

[ACDSee 365 オプション] ダイアログを使って、一時フォルダの場所、ACDSee を閉じる際ダウンロードおよびアップロードの操作をどうするか、などのオプションを設定します。

ACDSee 365 オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. **【ACDSee オプション】** ダイアログ ボックスの **【ACDSee 365】** をクリックします。
3. 「ACDSee 365」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee 365 オプション

フォルダの場所	一時フォルダ	【参照】 ボタンをクリックして、アップロードおよびダウンロード中に ACDSee が一時的にファイルを保持するフォルダの場所を変更します。
アップロード / ダウンロード	シャットダウンする際、すべての転送を一時停止する	ACDSee を閉じる際、転送作業を一時停止します。
	起動する際、一時停止されたすべての転送を再開する	ACDSee を再度起動する際、転送作業を再開します。
	同時アップロード数 (1-10 まで)	同時にアップロードするファイル数を選択します。
	同時ダウンロード数 (1-10 まで)	同時にダウンロードするファイル数を選択します。
重要度	重要度 1 を 5 に変換	重要度 1 を 5 つ星表示に変換します。
	重要度 1 を 1 に変換	重要度 1 を 1 つ星表示に変換します。

ACDSee Showroom オプションを設定する

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、スライドの表示間隔、画像の順序、トランジション、フレームの不透明度、サイズ、フレーム スタイルなどを指定することで、ユーザーの好みに合わせてカスタマイズできます。

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーをカスタマイズするには:

1. 次のいずれかの手順で ACDSee Showroom を起動します:
 - いずれかのモードで、**【ツール】** メニューから **【作成】** を選択し、**【ACDSee Showroom】** をクリックします。
 - **【スタート】** ボタンから **【プログラム】** を選択し、**【ACD Systems】** から **【ACDSee Showroom】** をクリックします。
2. ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**【オプション】** を選択します。
3. 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。
4. 現在選択されているオプションを、次回以降の Showroom ウィンドウの既定値として保存するには、**【既定値として設定】** をクリックします。
5. **【OK】** をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroom オプションを設定する

画像フォルダ	サブフォルダを含む	スライドショーにサブフォルダの画像も含みたい場合には、このオプションを選択します。
	隠しファイルはスキップする	[Originals] フォルダのように、画像処理を実行する際に作成される隠しフォルダをスキップしたい場合には、このオプションを選択します
スライド	長さ	各画像の表示時間を短くするにはスライドを左に、長くするにはスライドを右にドラッグします。
	順序	ドロップダウンから、 【順次】 を選択して画像を順序に表示するか、 【ランダム】 を選択してランダムに表示します。
	トランジション	[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には 【なし】 を、画像を右から左に移動する場合には 【スライド】 を、画像から別の画像へ移動する際に透明度をブレンドさせる場合には 【フェード】 を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、 【すべてに適用】 を選択します。
Showroom ウィンドウ	不透明度	Showroom ウィンドウの不透明度を減らすにはスライドを左に、不透明度を増やすにはスライドを右にドラッグします。
	サイズ	ドロップダウンから、Showroom ウィンドウのフレームサイズを 【スモール】 、 【ミディアム】 、 【ラージ】 のいずれかから選択します。
	フレーム	[フレーム] ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。
	常に手前に表示する	Showroom ウィンドウをその他のアプリケーションの上に表示するには、 【常に手前に表示する】 を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、 【すべてに適用】 を選択します。
起動時に実行する	コンピュータの起動時に、ACDSee Showroom を自動実行するには、 【起動時に実行する】 を選択します。	

ACDSee Quick View オプションを設定する

ACDSee Quick View を開かれているウィンドウの最前面に表示したり、Quick View ウィンドウの背景色を変更するなど、ユーザーの希望に合わせて設定をカスタマイズすることができます。

ACDSee Quick View をカスタマイズする

1. 画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラ内またはメールに添付された画像をダブルクリックします。
2. **【ツール】**メニューから**【オプション】**を選択します。
3. 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。
4. **【OK】**をクリックして変更を適用します。

ACDSee Quick View オプション

ACDSee Quick View を使用する	このオプションが選択されると、ACDSee が閉じられている場合、ACDSee Quick View が画像の既定ビューアとして設定されます。
ガンマ補正	画像を表示する際に、指定されたガンマ補正値を適用します。
アニメーションを無効にする	動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。
常に手前に表示する	Quick View ウィンドウを重ねたウィンドウの手前に常に表示します。
フルスクリーン	Quick View ウィンドウで、画像をフルスクリーン モードで表示します。
マウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。
ズームモードの既定値	画像をフィット: 画像に合わせる: Quick View ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。Quick View ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。 実寸表示: 画像の実寸サイズで表示します。
背景	既定色: ACDSee の背景色を Quick View で使用します。 カスタム色: カスタム色: Quick View ウィンドウの背景に使用する色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

JPEG オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG 画像の画質、エンコードの方法、カラー サブサンプリングの方法、JPEG 画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

JPEG オプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG 画像の画質を指定します。
エンコード	• プログレッシブ: プログレッシブ エンコードを有効にします。 • ハフマン圧縮を使用: ハフマン圧縮を有効にして圧縮率を増やします。
カラー コンポーネント サンプリング	• 2:1 水平方向: 水平軸に 2:1 の割合で、カラー チャンネルをサブサンプルします。 • 2:1 垂直方向: 垂直軸に 2:1 の割合で、カラー チャンネルをサブサンプルします。
埋め込みサムネイル	• 既存のサムネイルのみ更新: 既存の埋め込みサムネイルを更新します。 • 常にサムネイルを追加/更新: 既存の埋め込みサムネイルが存在する場合は更新を、存在しない場合は埋め込みサムネイルを作成します。 • サムネイルを追加/更新しない: 既存の埋め込みサムネイルを更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合を選択します。 • DCF 互換サムネイルの生成: デジタルカメラの LCD でサムネイル表示が可能になります。160 x 120 の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。
これらの設定を既定値として保存する	現在の JPEG 設定を既定値として保存する場合には、このオプションを選択します。

メディア オプションを設定する

ACDSee から起動されたオーディオおよびビデオ ファイルをどのアプリケーションで処理するか、設定を変更することができます。

既定のメディア プレーヤーを変更するには:

1. いずれかのモードで **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスで、**[メディア]** をクリックします。
3. オーディオ、ビデオファイルをお使いのシステムの既定のメディア プレーヤーで開くには、**既定のメディア プレーヤーで音楽、動画ファイルを開く** オプションにチェックを入れます。
4. **[OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee インデクサー オプションを設定する

オプションダイアログボックスで、ACDSee インデクサーの機能を設定します。

ACDSee インデクサーをカスタマイズするには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. オプション ダイアログボックスで、**ACDSee インデクサー** をクリックします。
3. 「フォルダ」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee インデクサー オプション

コンピュータが次の時間以上アイドルした 場合、フォルダまたは画像を自動でインデッ クスする	コンピュータのアイドル中にフォルダまたは画像のインデックスが実行されます。イン デックスが開始されるまでのコンピュータのアイドル時間を、スライダで設定します。
画像ファイルのみをインデックスする	ACDSee が対応しているファイルフォーマットすべての選択を解除します。
現在のデータベース	インデックスされる データベース を表示します。
モニタリングするフォルダ	インデックスされるフォルダを表示します。
フォルダの追加...	フォルダの追加... ボタンをクリックして、インデックスしたいフォルダをさらに追加します。
フォルダの削除	リストでフォルダを選択して、 フォルダの削除 ボタンをクリックして、インデックスされるフォル ダからそのフォルダを削除します。
Microsoft OneDrive を含む	OneDrive フォルダのインデックス作成を有効にします。

ACDSee PicaView オプション:

オプションダイアログにて、ACDSee PicaView の設定を変更したり、PicaView 自体の有効/無効を切り替えます。

ACDSee PicaView オプションを設定するには:

1. **【管理】** モードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. オプション ダイアログボックスで、**ACDSee PicaView** をクリックします。
3. ACDSee PicaView ページで、以下のオプションを設定・変更します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee PicaView オプション:

ACDSee PicaView について	このチェックボックスにチェックを入れると、ACDSee PicaView が有効になります。有効の場合、ハードドライブ内の ACDSee に対応したファイルを右クリックすると ACDSee PicaView が表示されます。ファイルや画像および EXIF 情報のプレビュー表示、または画像ファイルのプレビューだけ、EXIF 情報のプレビュー表示だけ、など選択できます。
画像の表示	画像の表示 チェックボックスにチェックを入れると、右クリックした際にプレビューが表示されます。 場所: • 画像をメインメニューに追加する: ファイルを右クリックすると、画像プレビューはメインメニューに表示されます。 • 画像をサブメニューに追加する: ファイルを右クリックすると、画像プレビューは ACDSee PicaView 右横の矢印をクリックして表示されるサブメニューに表示されます。 サイズ: 右クリック時に表示されるプレビューのサイズを選択します。 オリジナルの表示 オリジナルの表示を選択すると、現像前または編集前の画像が右クリック時に表示されます。
EXIF 情報を表示	EXIF 情報を表示 にチェックを入れて、右クリックした画像の EXIF 情報を表示 / 非表示を設定します。

ACDSee Mobile Sync オプションを設定する

ACDSee Mobile Sync 設定を変更するには、オプション ダイアログボックスを使用します。

ACDSee Mobile Sync オプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. オプション ダイアログボックスで、**【ACDSee Mobile Sync】** をクリックします。
3. ACDSee Mobile Sync のページで、下記のようにオプションを設定します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee Mobile Sync オプション

ルート フォルダ	【フォルダの参照】 ボタンをクリックして、転送した画像とビデオの保存先フォルダを選択します。
サーバー名:	送信先サーバー(PC の ACDSee)の名前をカスタマイズするには、フィールドにテキストを入力してください。この名前が、ACDSee Mobile Sync アプリの送信先一覧に表示されます。
フォルダツリーに ACDSee Mobile Sync のルート フォルダを表示する	フォルダペインに ACDSee Mobile Sync のフォルダを表示します。

ACDSee を複数のモニターで使用する

セカンドモニターを使用したデュアルモニターの場合でも、ACDSee を使えば両方のモニター上で同時に画像を表示、調整が可能です。そうすれば作業の効率が上がります。保存した画像を参照しながらその画像を調整することができます。



ACDSee を表示したいモニターを切り替える時は、ACDSee をそのモニターへドラッグするだけです。

セカンドモニターで ACDSee を使用方法:

管理モード

1. 管理モードで画像を選択します。
2. **【表示】**メニューから**【セカンドモニタ】**をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、フルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

表示モード

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **【表示】**メニューから**【セカンドモニタ】:ファイル一覧**をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。
 - **【表示】**メニューから**【セカンドモニタ】:画像**をクリックします。選択した画像がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

現像および編集モード

1. 画像を現像または編集モードで開いて、次の操作を行ってください：
 - **【表示】**メニューから**【セカンドモニタ】:画像**をクリックします。保存してある選択画像がセカンドモニタで開きます。この画像は現像または編集モードで加工を加える画像のライブプレビューではありません。元の画像と比較しながら加工や処理を進めることができます。
 - **【表示】**メニューから**【セカンドモニタ】:ファイル一覧**をクリックします。フルスクリーンのファイル一覧がセカンドモニタで開きます。



ダブルクリックするだけで、画像またはファイル一覧のフルスクリーン表示と通常の表示を切り替えることができます。

カスタムの作業領域を作成する

ユーザーの好みや ACDSee で頻繁に使用するタスクに基づいて、管理モードの作業領域を作成したり、保存したりすることができます。例えば、編集用、整理用、参照用とタスク別に作業領域を作成し、各レイアウトにユーザーが使いやすいツールとペインを配置したカスタムレイアウトを作成/保存できるわけです。

カスタムの作業領域を作成/保存するには:

1. 特定のペインを表示/非表示したり、ペインのサイズを変更、重ねて表示、移動や固定を行って、管理モードの作業領域を変更します。
2. ペインのレイアウトに満足したら、**【表示】**メニューから**【作業領域】**そして**【作業領域の管理】**をクリックします。
3. **【作業領域の管理】**ダイアログボックスで、**【作業領域の保存】**をクリックします。
4. その作業領域に使用する名前を入力し、**【OK】**をクリックします。
5. **OK**をクリックします。

保存済みの作業領域をロードするには:

1. **【表示】**メニューから**【作業領域】**を選択します。
2. 保存済みの作業領域の名前を選択します。

既定の作業領域に戻すには:

【表示】メニューから**【作業領域】**、**【既定の作業領域】**を選択します。

ペインやパネルを自動非表示にする

自動非表示 ボタンを使用して、ACDSee 内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを移動すると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトル バーに表示されている自動非表示ボタンは、現在の設定を表示します：

-  水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。
-  斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定 / 解除するには：

パネルのタイトル バーにある **【自動非表示】** ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

タスクペインを使用する

タスクペインは、現在の位置や ACDSee で使用された選択範囲をもとに、メニューやツールバーで頻繁に使用されるタスクをまとめて表示します。タスクペインは通常、管理モード ウィンドウの右手に開かれます。

タスク ペインを開くまたは閉じるには：

管理モードで、**【ペイン】** から **【タスクペイン】** をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中の管理モードの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには 1 つの画像またはメディア ファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されます。

また、タスクペイン メニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が **【画像の補正と修整】** メニューに表示されます。

ツールバーをカスタマイズする

どのツールバーを表示するかを指定する、およびツールバーに表示する各ボタンやコマンドを指定することで、管理モードと表示モードのツールバーをカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示 / 非表示する

管理モードと表示モード内では、特定ツールバーの表示 / 非表示を選択することができます。

ツールバーを表示 / 非表示するには：

- 管理モードまたは表示モードで、**【表示】** から **【ツールバー】** をクリックし、表示または非表示するツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次のツールバーをカスタマイズすることができます：

- 管理モード：メインツールバーとファイル一覧ツールバー
- 表示モード：フッター ツールバー

これらのツールバーでは、ボタンを追加、削除、またボタンの表示順序をカスタマイズすることができます。これらのツールバーのボタンについて、テキストラベルやワンポイントも表示 / 非表示することができます。ツールバーのカスタマイズ オプションはすべて、**【カスタマイズ】** ダイアログボックスに表示されます。

【カスタマイズ】 ダイアログボックスを表示するには：

以下のいずれかの操作を行います：

- 管理モードで、**【表示】**メニューから**【ツールバー】**、**【カスタマイズ】**をクリックします。
- 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル 一覧 ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、**【ボタンの追加または削除】**次に**【カスタマイズ】**を選択します。
- 表示モードで、フッター ツールバーの右手にあるドロップダウン矢印をクリックし、**【ボタンの追加または削除】**を選択し、**【カスタマイズ】**を選択します。

ボタンを追加または削除するには：

管理モードのとき：

メイン ツールバー：

1. メイン ツールバーの右にあるドロップダウン 矢印をクリックします。
2. **【ボタンの追加または削除】**から**【メインツールバー】**を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択してください。

【ファイル 一覧 ツールバー】で：

- ボタンを追加するには、カスタマイズ ダイアログボックスを開いた状態で、コマンド タブのコマンド フィールドから項目をツールバーにドラッグします。
- ボタンを削除するには、ツールバーからカスタマイズ ダイアログボックスにドラッグします。

表示モードのとき：

画面下のツールバー：

1. フッター ツールバーの右にあるドロップダウン 矢印をクリックします。
2. **【ボタンの追加または削除】**から**【メインツールバー】**を選択し、追加または削除したいボタンの名前を選択してください。

ツールバー ボタンを再配置するには：

カスタマイズ ダイアログボックスから、配置したいツールバーの位置へボタンをドラッグしてください。

ツールバーボタンの下にラベルを表示 / 非表示するには：

1. **【カスタマイズ】**ダイアログボックスを表示します。
2. **【コマンド】**タブをクリックします。
3. 管理モード：**【ファイル 一覧 ツールバー】** または **【メイン ツールバー】** を選択します。
表示モード：**【フッター ツールバー】** を選択してください。
4. **【テキスト ラベルを表示する】** チェックボックスを選択してラベルを表示するか、**【テキスト ラベルを表示する】** チェックボックスをクリアにしてラベルを非表示に設定します。
5. **【閉じる】**をクリックします。

ツールバーボタンの下にワンポイントを表示 / 非表示するには：

1. **【カスタマイズ】**ダイアログボックスを表示します。
2. **【ACDSee オプション】**タブをクリックします。
3. **【ツールバーにワンポイントを表示する】**を選択してワンポイントを表示するか、**【ツールバーにワンポイントを表示する】**をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、**【ワンポイントにショートカット キーを表示する】**オプションを選択して、ワンポイントにショートカット キーを表示することができます。
4. **【閉じる】**をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには:

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. [ツールバー] タブでをクリックしてから、[すべてリセット] を選択します。
3. [はい] をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. [閉じる] をクリックします。

ツールバーとペインの位置をカスタマイズする

ほとんどのツールバーおよびペインは、好みに合わせて、非表示、サイズ変更、フロート、移動、固定することができます。管理モードで使用方法をカスタマイズするすべての方法を見るには、[\[管理モードを使用する\]](#) を参照してください。

ペインを非表示にする

管理、表示、現像、編集モードの右上部にある表示/非表示ボタンを使用して、スクリーンの左、右、下部にあるペインを表示/非表示することができます。

左側のパネルの表示/非表示



下部のパネルの表示/非表示



右側のパネルの表示/非表示

**表示、現像、編集モードでペインやツールバーを移動する**

ペインやツールバーを、固定位置または現在のフロート位置から、新しい場所に移動することができます。

💡 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを移動するには:

1. 移動したいペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

以下のいずれかの操作を行います:

- ペインまたはツールバーのタブを新しい場所にドラッグします。
- ペインまたはツールバーのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。
- デュアル モニタをご利用の場合、ペインやツールバーをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

表示、現像、編集モードでペインやツールバーを固定する

ペインやツールバーを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

💡 ツールバーには、ドッキングコンパスが有効になっていないものがあります。

ペインまたはツールバーを固定するには:

ペインまたはツールバーのタイトルバーをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、すべてのペインおよびツールバーはサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインまたはツールバーの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが両側に矢印が付いた線になるまで待ちます。
2. ペインまたはツールバーの外枠をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインまたはツールバーの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドして、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。



表示、現像、編集モードで、フォルダ内の参照を手早く片付けるために、フィルムストリップを拡大することができます。フィルムストリップのサイズを変更するには、外枠の一部をドラッグしてください。



ACDSee アクションバー、カラー ペイン、さらに描画および選択 ツールバーは切り離して移動することができます。

カスタム メニューを作成する

カスタマイズしたコマンドに素早くアクセスできるように、管理モードで新規メニューを作成できます。作成した新規メニューの名前や場所をカスタマイズすることもできます。

新規メニューを作成するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います:
 - 管理モードで、**【表示】**メニューから**【ツールバー】**、**【カスタマイズ】**をクリックします。
 - 管理モードで、メイン ツールバーまたはファイル 一覧ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、**【ボタンの追加または削除】**次に**【カスタマイズ】**を選択します。
2. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリ リストから**【新規メニュー】**を選択します。
3. コマンド フィールドで**【新規メニュー】**を選択し、ツールバーの設置したい場所までドラッグします。

新規メニューにコマンドを追加するには:

1. カスタマイズのダイアログ ボックスでコマンドタブをクリックし、カテゴリ リストからいずれかのオプションを選択します。
2. コマンド フィールドで追加したいコマンドを選択し、ツールバーの新規メニューまでドラッグします。新規メニューがドロップされます。メニュー上にコマンドをドロップします。

新規メニューまたはコマンドを削除するには:



新規メニューまたはコマンドを削除するには、カスタマイズ ダイアログボックスを開く必要があります。

新規メニューまたはコマンドを右クリックして、コンテキストメニューから**【削除】**を選択します。

新規メニューの名前を変更するには:



新規メニューの名前を変更するには、カスタマイズ ダイアログボックスを開く必要があります。

1. 新規メニューを右クリックして、コンテキストメニューから**【ボタン表示...】**を選択します。
2. ボタン表示 ダイアログボックスで、**【テキストのみ】**を選択し、ボタンテキスト フィールドに名前を入力します。
3. **【OK】**を押下します。

画像エディタを設定する

Canvas など、市場に出ている多数の画像エディタの中から、ACDSee の既定画像エディタを指定することができます。ACDSee 内から、設定されている画像エディタのいずれかを使って画像を開くことができます。

 外部エディタを設定したら、その外部エディタへのショートカットキーを適用したり、ツールバーにボタンとして設定したりすることができます。

ACDSee で外部エディタを設定するには：

1. 管理モードで、**【ツール】**メニューから**【外部エディタ】**、**【エディタの設定】**をクリックします。
2. **【エディタの設定】**ダイアログボックスにある**【追加】**ボタンをクリックします。
3. ハードディスク上で、画像編集アプリケーションが格納されているフォルダを参照します。
4. 画像編集アプリケーションの実行ファイルを選択します。例：Canvas14.exe
5. **【開く】**をクリックします。
6. **【名前】**フィールドにエディタ名を入力し、**【OK】**をクリックします。

外部エディタへのショートカットを作成するには：

1. ツールバーのドロップダウン矢印 (**【外部エディタ】**メニュー項目のすぐ右) をクリックして、**【ボタンの追加または削除】** | **【カスタマイズ】**を選択します。
2. **【カスタマイズ】**のダイアログボックスで、**【キーボード】**タブをクリックし、**【カテゴリ】**リストから**【外部エディタ】**を選択します。
3. **【新規のショートカットキー】**フィールドに、ショートカットキーを入力します。
4. **【適用】**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

これで新しいキーボードショートカットが設定されたことになります。

管理モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタを追加するには：

1. ツールバーのドロップダウン矢印 (**【外部エディタ】**メニュー項目のすぐ右) をクリックして、**【ボタンの追加または削除】** | **【カスタマイズ】**を選択します。
2. **【カスタマイズ】**のダイアログボックスで、**【コマンド】**タブをクリックし、**【カテゴリ】**リストから**【外部エディタ】**を選択します。
3. ファイル一覧ツールバーに、該当する外部エディタをクリック & ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ファイル一覧のツールバーに追加されます。

表示モード内で、ファイル一覧ツールバーに外部エディタのボタンを追加するには：

1. ツールの横にあるツールバーのドロップダウン矢印をクリックし、**【ボタンの追加または削除】** | **【カスタマイズ】**を選択します。
2. **【カスタマイズ】**のダイアログボックスで、**【コマンド】**タブをクリックし、**【カテゴリ】**リストから**【外部エディタ】**を選択します。
3. ツールバーに、外部エディタをクリック & ドラッグします。
4. ダイアログボックスを閉じます。

外部エディタは、ツールバーに追加されます。

画像エディタを管理するには：

1. [エディタの設定] ダイアログボックスの **【エディタ】** 一覧から、変更したいエディタのアプリケーション名を選択します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - エディタの一覧に表示されている実行ファイルの保存先、またはアプリケーション名を変更するには、**【編集】** をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定し、**【OK】** をクリックします。
 - ACDSee の既定の外部エディタとしてアプリケーションを設定するには、**【既定として設定】** をクリックします。
 - アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、**【複数画像のサポート】** チェックボックスをオンまたはオフにします。
 - リストからアプリケーションを削除するには、**【削除】** をクリックします。
3. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSee に戻ります。

外部イメージエディタで画像を開くには：

1. 管理モードまたは表示モード内で、外部エディタで開きたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **【ツール】 | 【外部エディタ】 | 【既定の外部エディタ】** をクリックするか、エディタの名前を指定します。
 - **<CTRL> + <ALT> + <X>** キーを押して、既定の外部エディタで画像を開きます。

キーボード ショートカットのカスタマイズ

頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボード ショートカットが設定されています。既定のショートカットを使用しやすい組み合わせに変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンドにショートカットを作成したりすることが可能です。カスタマイズ ショートカット ダイアログボックスで設定可能なオプションはモード依存적であり、ダイアログを開いたときのモードに依存します。

キーボード ショートカットのカスタマイズするには：

管理モード：

1. 以下のいずれかの操作を行います：
 - **【表示】** から **【ツールバー】** をクリックし、**【カスタマイズ】** を選択します。
 - メイン ツールバーの右にあるドロップダウン矢印をクリックし、**【ボタンの追加または削除】** 次に **【カスタマイズ】** を選択します。または、ファイル一覧ツールバーで **【カスタマイズ】** を選択します。
2. **【カスタマイズ】** ダイアログボックスで、**【キーボード】** タブをクリックします。
3. **【カテゴリ】** ドロップダウンメニューから、**【ファイル】**、**【編集】**、**【表示】** など最上位のメニューを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、**【コマンド】** 一覧ボックスに表示されます。
4. **【コマンド】** 一覧ボックスから、コマンドを選択します。
 - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットが既に設定されている場合、**【現行キー】** ボックスにその組み合わせが表示されます。
 - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットがまだ設定されていない場合、**【現行キー】** ボックスは空白で表示されます。
5. 既定のキーボード ショートカットを削除するには、**【現行キー】** ボックスからキーボード ショートカットを選択し、**【削除】** をクリックします。

表示、現像、編集モードで：

1. **【ツール】** から **【ショートカットのカスタマイズ】** をクリックします。
2. **【カテゴリ】** ドロップダウンメニューから、**【ファイル】**、**【編集】**、**【表示】** など最上位のメニューを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、**【コマンド】** 一覧ボックスに表示されます。

3. **【コマンド】** 一覧ボックスから、コマンドを選択します。

- 選択されたコマンドにキーボード ショートカットが既に設定されている場合、**【現行キー】** ボックスにその組み合わせが表示されます。
- 選択されたコマンドにキーボード ショートカットがまだ設定されていない場合、**【現行キー】** ボックスは空白で表示されます。

既定のキーボード ショートカットを削除するには、**【現行キー】** ボックスからキーボード ショートカットを選択し、**【削除】** をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには:

1. **【新規のショートカット キーの入力】** テキストボックスをクリックします。
2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。

新規のショートカット キーの入力テキストボックスに、押したキーが表示されます。入力したショートカットに既に割り当てられた機能がある場合、現在の割当フィールドに表示されます。

3. **【適用】** をクリックします。
[現行キー] ボックスに新規のキーボード ショートカットが表示されます。
4. **【閉じる】** をクリックします。

カスタマイズしたキーボード ショートカットを削除して、既定のショートカットに戻すには、**【リセット】** をクリックします。

表示テーマの変更

ACDSeeでは、表示テーマを変更して、ペインやツールバーの背景色を変更することができます。

表示テーマの変更手順:

1. [管理] モードで **【ツール】** メニューから **【ACDSee オプション】** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **【管理モード】** をクリックします。
3. **表示テーマ** ドロップダウンリストからテーマを選択します。
4. **【OK】** をクリックして変更内容を適用し、ACDSeeに戻ります。

Chapter 12: ショートカット

管理モードのキーボードショートカット

管理モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。[カレンダー ペイン](#) 内でも使用可能なショートカットもあります。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSee を閉じる。
Ctrl + W	
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く。
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
ENTER	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
Delete	現在選択されている画像を削除する。
管理モードを使用する	
\ (円記号)	画像にタグをつける、またはタグ付けを外す。
` (アクサングラフ)	画像オーディオの切り替え。
Alt + 0 to 5	選択されている項目にカラーラベルを割り当てる。 Alt + 0 でカラーラベルを削除します。
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする。
Alt + ,(コンマ)	プロパティ ペイン内で最後に使用したタブを開く。
Alt + . (ピリオド)	プロパティ ペイン内の次のタブを開く。
Alt + Enter	プロパティ ペインを開く/閉じる。
Alt + G	[インポート] ダイアログ ボックスを開く。
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインに表示するファイルタイプを指定する。
Alt + K	プロパティペインの [メタデータ] タブの IPTC グループのキーワード セクションにカーソルを置く。
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する。
Alt + Shift + F	ファイル一覧ペインを最大化する。
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する。
Alt + W	ACDSee の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する。
Alt + X	画像バスケットから、現在表示されている項目を削除する。
BACKSPACE	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する。
Ctrl + 0 to 5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。 Ctrl + 0 で重要度を削除します。
Ctrl + \ (円記号)	タグの付けられている画像を選択する。
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する。
Ctrl + B	選択された項目を画像バスケットに追加する。
Ctrl + D	現在の画像を現像モードで開く。
Ctrl + E	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + G	ファイル一覧をテキスト ドキュメントに作成する。
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + K	プロパティ ペイン内にあるカテゴリ タブのキーワード フィールドにカーソルを置く。
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + N	ファイル一覧ペインに新しいフォルダを作成する。

Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで表示する画像を1つ以上選択する。
Ctrl + P	ACDSee 印刷ユーティリティで現在選択されている画像を開く。
Ctrl + Tab	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する。
Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C Ctrl + Insert	選択された項目をクリップボードにコピーする。
Ctrl + V Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける。
F5	管理モードの内容を更新する。
F3	検索ペインを開く。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
F4	コンテンツ バーを表示する。
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード。
F7	「ファイル一覧」から「フィルム ストリップ」表示モードに切り替える。
F8	「サムネイル」表示モード。
F9	「タイル」表示モード。
F10	「アイコン」表示モード。
F11	「ファイル一覧」表示モード。
F12	「詳細」表示モード。
Shift + Delete	選択された項目をハードディスクから削除する。
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する。
Ctrl + Tab	管理モードで以前フォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Tab	管理モードで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する。
Ctrl + Alt + R	画像の比較ビューに選択された画像を表示する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。
Ctrl + Shift + 1	フォルダペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 2	カタログペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 3	検索ペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 4	カレンダーペインを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + 5	画像バスケットを開く/閉じる。
Ctrl + Shift + A	現行フォルダ内にあるすべてのファイルを選択します。
Ctrl + Shift + B	ステータスバーを表示/非表示にする。
Ctrl + Shift + C	現在選択されている画像をクリップボードにコピーする。
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除する。

	Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く / アプリケーションを選択 することのできるダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示 とファイルー 覧ペインを切り替える。
	Ctrl + Shift + I	現在 選択されている項目 以外を選択する。
	Ctrl + Shift + L	ブラウズ検索 パネルを開く/閉じる。
	Ctrl + Shift + M	マップ ペインを開く/閉じる。
	Ctrl + Shift + N	ACDSee の新しいウィンドウを開く。
	Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子 と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く。
	Ctrl + Shift + T	管理モードの既定 ツールバーを表示 / 非表示にする。
	Ctrl + Shift + Tab	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する。
	Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する。
	Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。
表示		
	Alt + 左矢印	ファイルー 覧ペインで最後に表示されたフォルダを表示する。
	Alt + 右矢印	ファイルー 覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る。
	Ctrl + S	現在 選択されている画像を使ってスライドショーを作成する。
	Ctrl + Shift + P	プレビュー ペインを開く/閉じる。
一括編集		
	Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + Alt + B	[編集の一括処理] ダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + J	[画像の回転/反転] ダイアログ ボックスを開く。
	Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く。
モード切り替え		
	Ctrl + F2	写真モードに切り替える。
	Ctrl + F3	表示モードで画像を開く。
	Ctrl + F4	画像を現像モードで開く。
	Ctrl + F5	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスが開いて、選択した画像のキャプションを追加または編集することができます。
	Ctrl + F6	365 モードに切り替える。
	Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える。

管理モードのマウス ショートカット

管理モードで、次のキーボード ショートカットを使用して効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードで画像を開く。
右クリック	管理モードのコンテキストメニューを開く。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択する。
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択する画像グループの周囲に選択ボックスを描けるように、画像やフォルダではなく必ず画面の空白エリアをクリックしてからドラッグします。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択する。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキストメニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	サムネイルの拡大。
Ctrl + ホイールダウン	サムネイルの縮小。

表示モードのキーボードショートカット

表示モードで作業中にキーボードショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + F4	ACDSee を閉じる。
Ctrl + W	
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示 / 非表示を切り替えます。
ENTER	前のモードに切り替える。
Esc	
Shift + ESC	表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く。
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
ファイル メニュー	
Ctrl + O	ファイルを開くダイアログボックスを開きます。
Insert	
Shift + F4	現在の項目を閉じる。
Ctrl + Shift + F4	すべての画像を閉じる。
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを開き、画像名の変更 / ファイル フォーマットの変更をする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
Shift + L	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く。
Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く / アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + P	ACDSee の印刷ユーティリティで現在の画像を開く。
Ctrl + Shift + P	現在選択されているすべての画像 / 現在のフォルダ内のすべての画像を印刷する。
Alt + F	Facebook アップローダー ダイアログボックスを開く。
Alt + L	Flickr アップローダー ダイアログボックスを開く。
Alt + U	SmugMug アップローダー ダイアログボックスを開く。
Alt + Z	Zenfolio アップローダー ダイアログボックスを開く。
インターフェースをカスタマイズする	

Ctrl + Shift + A	アクション ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + M	虫めがね ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + プラス(+) キー	虫めがねペインで拡大する。
Ctrl + マイナス(-) キー	虫めがねペインで縮小する。
Ctrl + Shift + S	ナビゲーター ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティ ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + ,	プロパティ ペインで左側のタブに移動する。
Alt + .	プロパティ ペインで右側のタブに移動する。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報パレットを開く/閉じるを切り替える。
T	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + T	
B	ステータス バーを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + B	
Ctrl + Shift + V	ページ表示パネルを開く/閉じるを切り替える。
管理する	

Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする。
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする。
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける。
Alt + C	フォルダにコピー ダイアログボックスを開く。
Alt + M	フォルダに移動 ダイアログボックスを開く。
Delete	選択された画像を削除する。
F2	[ファイル名の変更] ダイアログボックスを開く。
Alt + R	
Ctrl + B	選択された画像を画像バスケットに追加する。
Alt + X	バスケットから選択された画像を削除する。
Alt + D	ショートカットの追加 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く。
\ (バックスラッシュ)	画像にタグをつける、またはタグ付けを外す。
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + K	プロパティ ペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティ ペインのメタデータ タブを選択する。
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する。
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する。
Ctrl + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として拡大して設定する。
Alt + W	ACDSee の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する。

表示

ページ右矢印	次の画像を表示する。
PgDn	
3 (テンキー)	
Spacebar	
ページ右矢印	前の画像を表示する。
PgUp	
9 (テンキー)	
BACKSPACE	

End

フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。

Home

フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。

Ctrl + 右クリック

Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。

+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
Shift + Z	選択したエリアに拡大する。
/ (スラッシュ)	原寸表示。
* (テンキーのアスタリスク)	画像を表示領域に合わせて調整する。
Shift + 8	
Alt + ページ右矢印	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + \	ズーム固定のオンとオフを切り替え。
L	[パンの固定] の切り替え。
Z	[ズームレベルの設定] ダイアログボックスを開く。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
PgDn	画像を拡大した時に、下にパンする。
PgUp	画像を拡大した時に、上にパンする。
F	フルスクリーンモードの切り替え。
Ctrl + ページ右矢印	右ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
O	画像の保存されたバージョンを表示する。
E	露出警告のオンとオフを切り替え。
R	RAW デコード/埋め込みプレビューのオン/オフを切り替える。
Shift + F1	ズームツールで拡大した後ハンドツールを有効にする。
Shift + F2	選択ツールを有効にする。
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する。
Shift + F3	ズームツールを有効にする。
F5	表示モードウィンドウを更新し、現在の画像を再ロードする。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
1	自動レンズをなしに設定する。
2	自動レンズをモノクロに設定する。
3	自動レンズをオートンに設定する。
4	自動レンズをロモに設定する。
5	自動レンズをセピアに設定する。
6	ライト EQ ボタンのオンとオフを切り替える。
Alt + S	1 ~ 2 秒ごとに、自動的に次の画像に進む。
Ctrl + Alt + X	スライドショーを開始する。
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示 / 非表示にする。
Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー/フッターの編集] ダイアログボックスを開き、表示モードで画像上に表示するテキストを編集する。

Alt + Ctrl + S	画像の自動表示 (スライドショー) を開始 / 停止する。
Shift + ページ下矢印	マルチページ画像の次のページを表示する。
Shift + ページ上矢印	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + Home	マルチページ画像の最初のページを表示する。
Shift + End	マルチページ画像の最後のページを表示する。

編集

Ctrl + Shift + ページ左矢印	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する。
Ctrl + Shift + ページ右矢印	現在の画像を時計回りに 90 度回転する。
Alt + E	画像を既定の画像エディタで開く。
Shift + R	編集した画像を現像したバージョンに復元する (画像が最初に現像されてから編集された場合)。
Shift + O	編集した画像を元のバージョンに復元する。
Shift + S	変更を確定する。
Shift + C	現像された画像に対してコピー設定ダイアログボックスを開く。
Shift + V	コピーした現像設定を画像にペーストする。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + N	[現像の一括処理] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + B	[編集の一括処理] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + F	[ファイルフォーマットの変換] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + J	[画像の回転/反転] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + R	[名前変更の一括処理] ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Shift + 1	色深度をモノクロに変更する。
Ctrl + Shift + 2	色深度を 16 色グレースケールに変更する。
Ctrl + Shift + 3	色深度を 256 色グレースケールに変更する。
Ctrl + Shift + 4	色深度を 16 色に変更する。
Ctrl + Shift + 5	色深度を 256 色に変更する。
Ctrl + Shift + 6	色深度を Hi Color に変更する。
Ctrl + Shift + 7	色深度を True Color に変更する。
Ctrl + Shift + 8	画像を 16 ビットのグレースケールに変換する。
Ctrl + Shift + 9	画像を 48 ビットのカラーパレットに変換する。

モード切り替え

Ctrl + F4	現在選択されている画像を現像モードで開く。
Ctrl + F5	現在選択されている画像を編集モードで開く。
Ctrl + F1	管理モードに切り替える。
Ctrl + F2	写真モードに切り替える。
Ctrl + F6	365 モードに切り替える。
Ctrl + F7	ダッシュボードモードに切り替える。

表示モードのマウス ショートカット

表示モードで作業中にマウス ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードを閉じて、前のモードに戻る。
右クリック	表示モードのコンテキスト メニューを開く。
中央ボタン クリック	フルスクリーン モードの切り替え(3 つボタンのマウス)。
ホイール クリック	フルスクリーン モードの切り替え。
ホイールを上げる	前の項目を表示する。
ホイールを下げる	次の項目を表示する。
Ctrl + 右クリック	Windows エクスプローラのコンテキスト メニューを開く。
Ctrl + ホイールアップ	画像の拡大。
Ctrl + ホイールダウン	画像の縮小。
Shift + ホイールアップ	マルチページ画像の前のページを表示する。
Shift + ホイールダウン	マルチページ画像の次のページを表示する。

カレンダー ペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします：

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わります。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わります。
- 月モードで、週の日を示す文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、「**金曜日**」をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで「**AM**」または「**PM**」をクリックして、その日の午前または午後を選択します。
- イベントモードで、**<Ctrl>** キーをホールドしながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

現像/編集モードのキーボードショートカット

現像および編集モードでは、次のキーボード ショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボード ショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボード ショートカットのカスタマイズ](#) をお読みください。

編集モードのキーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + ESC	表示、現像、編集モードで ACDSee を最小化表示します。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサングラフ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示/非表示を切り替えます。
ファイル メニュー	
ページ右矢印 PgDn 3 (テンキー)	次の画像を開きます。
ページ右矢印 PgUp 9 (テンキー)	前の画像を開く
Ctrl + S	画像を保存する。
Ctrl + Alt + X	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く。
Ctrl + D	現像モードに切り替える。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc ENTER	前のモードに切り替える。
メニューの編集	
Ctrl + Y	やり直す。
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Shift + Z	すべてを元に戻す。
Ctrl + C	コピーする。
Ctrl + V	ペーストする。
Delete	削除する。
管理する	

Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティ ペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティ ペインのメタデータ タブを選択する。
\ (バックスラッシュ)	写真にタグ付けする。
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
表示	
[	ソフト プルーフを有効にする。
Ctrl + ページ右矢印	右 ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ左矢印	左 ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下 ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示
Shift + 8	画像を表示領域に合わせて調整する。
* (テンキーのアスタリスク)	
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	画像をフルスクリーンで表示する。
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ左矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
PgDn	画像を拡大した時に、下にパンする。
PgUp	画像を拡大した時に、上にパンする。
インターフェースをカスタマイズする	

F2	フィルタ メニューを開く/閉じるを切り替える。
F3	アクション ペインを開く/閉じるを切り替える。
F4	プロパティ ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	
F5	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
F6	情報 パレットを開く/閉じるを切り替える。
F7	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + H	
F8	レイヤー ペインを開く/閉じるを切り替える。
F9	元に戻す履歴 ペインを開く/閉じるを切り替える。
F10	カラー ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F1	ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F2	フィルタ ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F3	アクション ツールバーを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
選択	
Alt + A	すべて選択する。
Alt + D	選択解除する。
Alt + I	選択範囲を反転する。
Alt + DEL	選択したピクセルを消去する。
Alt + Shift + F	選択範囲にスマート削除を適用する。
Alt + Shift + P	特定のカラーおよび/またはトーンを対象として選択するPixel Targeting パネルを開く。
Alt + Shift + S	選択範囲を保存する。
Alt + Shift + L	読み込み選択ダイアログ ボックスを開く
Alt + Shift + M	管理選択ダイアログ ボックスを開く
Alt + Shift + O	オーバーレイ オプション ダイアログ ボックスを開く
フィルタ	

Y	赤目補正ツールを開く。
Alt + P	修復ツールを開く。
K	スキントーン フィルタを開く。
X	テキスト ツールを開く。
Alt + Y	色収差ツールを開く。
Alt + W	透かしツールを開く。
Alt + B	ボーダー ツールを開く。
V	ヴィネット効果ツールを開く。
Alt + S	特殊効果パネルを開く。
T	チルトシフト ツールを開く。
Alt + G	グレイン ツールを開く。
Alt + R	回転ツールを開く。
Alt + F	反転ツールを開く。
C	トリミングツールを開く。
P	透視補正ツールを開く。
Alt + Z	レンズの歪み補正ツールを開く。
J	サイズ変更ツールを開く。
Alt + X	露出ツールを開く。
L	レベル ツールを開く。
Alt + L	自動レベル ツールを開く。
U	トーンカーブ ツールを開く。
Q	ライト EQ ツールを開く。
H	かすみ除去ツールを開く。
D	覆い焼きと焼きこみツールを開く。
A	ホワイトバランス ツールを開く。
O	カラー EQ ツールを開く。
Alt + H	カラーバランス ツールを開く。
W	モノクロに変換ツールを開く。
Alt + T	スプリット トーン ツールを開く。
Alt + N	シャープ化 ツールを開く。
Alt + U	ぼかしツールを開く。
N	ノイズ除去ツールを開く。
Alt + C	明瞭度 ツールを開く。
I	詳細 ブラシ ツールを開く。
フィルタ内部で機能する。	
B	ブラシ コントロールを開く/閉じるを切り替える。
S	フィルタの内部で機能する際のブラシ ストローク表示を切り替える。
G	グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
Spacebar	フィルタ内部で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。
E	露出ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。

レイヤーエディタ

Ctrl + Alt + I	インポート画像をレイヤー ダイアログボックスとして開く。
Ctrl + Alt + N	新規の空のレイヤーを追加する。
Ctrl + Alt + A	選択されたレイヤーを複製する。
Ctrl + DELETE	選択されたレイヤーを削除する。
Ctrl + Alt + R	レイヤーの名前変更ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	レイヤー表示/非表示のオンとオフを切り替える。
Ctrl + Alt + C	クリッピング ボタンのオンとオフを切り替える。
Ctrl + Alt + PgDn	選択されたレイヤーを下のレイヤーと結合する。
Ctrl + Alt + F	すべてのレイヤーをひとつの画像に結合する。

レイヤーマスク

Ctrl + Alt + W	ホワイトマスクを追加する。
Ctrl + Alt + B	ブラックマスクを追加する。
Ctrl + Alt + ,	マスクを選択範囲に追加する。
Ctrl + Alt + -	選択範囲からマスクを差し引く。
Ctrl + Alt + =	マスクと選択範囲の共通領域を選択する。
Ctrl + Alt + .	現在の選択範囲からマスクを作成する。
Ctrl + Alt + J	マスクを反転する。
Ctrl + Shift + DEL	マスクを削除する。
Ctrl + Alt + P	特定のカラーおよび/またはトーンを対象としてマスクするPixel Targeting パネルを開く。

調整レイヤー

Shift + E	露出調整レイヤーを追加する。
Shift + B	ぼかし調整レイヤーを追加する。
Shift + Z	ポストライズ調整レイヤーを追加する。
Shift + U	カーブ調整レイヤーを追加する。
Shift + I	ネガ調整レイヤーを追加する。
Shift + F	色の調整レイヤーを追加する。
Shift + W	モノクロ調整レイヤーを追加する。
Shift + T	しきい値調整レイヤーを追加する。
Shift + G	RGB調整レイヤーを追加する。
Shift + R	明瞭度調整レイヤーを追加する。
Shift + L	レベル調整レイヤーを追加する。
Shift + X	バイバランス調整レイヤーを追加する。
Shift + V	ヴェネット効果調整レイヤーを追加する。
Shift + S	シャープネス調整レイヤーを追加する。
Shift + O	カラーEQ調整レイヤーを追加する。
Shift + Q	ライトEQ調整レイヤーを追加する。
Shift + M	グラデーションマップ調整レイヤーを追加する。
Shift + K	スキントーン調整レイヤーを追加する。
Shift + P	写真効果調整レイヤーを追加する。
Shift + A	ホワイトバランス調整レイヤーを追加する。
Shift + H	かすみ除去調整レイヤーを追加する。
Shift + C	スプリットトーン調整レイヤーを追加する。
Shift + N	ノイズ除去調整レイヤーを追加する。
ツール	
Ctrl + Q	ハンドツールを起動する。
M	移動ツールを起動する。
Ctrl + Shift + R	長方形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + E	楕円形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + L	直線ツールを起動する。
Ctrl + A	矢印ツールを起動する。
Ctrl + Shift + P	多角形ツールを起動する。
Ctrl + Shift + B	曲線ツールを起動する。
B	ブラシツールを起動する。
Ctrl + F	塗りつぶしツールを起動する。
Ctrl + G	グラデーションツールを起動する。
Alt + E	消しゴムツールを起動する。
Ctrl + E	スマート削除ツールを起動する。
Ctrl + Shift + I	スポイトツールを起動する。
カラーツールを使用する	
Ctrl + [	前面色の設定ダイアログボックスを開く。
Ctrl +]	背景色の設定ダイアログボックスを開く。
Ctrl + X	前面色と背景色を入れ替える。

選択ツール		
	Ctrl + B	ブラシ選択ツールを起動する。
	Ctrl + R	長方形選択ツールを起動する。
	Ctrl + I	楕円形選択ツールを起動する。
	Ctrl + L	投げなわ選択ツールを起動する。
	Ctrl + W	自動選択ツールを起動する。
アクション		
	Ctrl + Shift + S	記録を停止する。
	Alt + Shift + R	記録を開始する。
モード切り替え		
	Ctrl + F1	管理モードに切り替える。
	Ctrl + F2	写真モードに切り替える
	Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
	Ctrl + F4	画像を現像モードで開く
	Ctrl + F6	365 モードに切り替える
	Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

現像モード キーボードショートカット

ショートカット	操作
Alt + F4	すべてのモードで ACDSee を終了します。
Shift + ESC	すべてのモードで ACDSee を最小化する。
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
F1	ヘルプ ファイルを開きます。
` (アクサング ラープ)	ステータス バーへの完全なファイルパスの表示 / 非表示を切り替えます。
ファイル メニュー	
ページ右矢 印 PgDn 3 (テンキー)	次の画像を表示する。
ページ右矢 印 PgUp 9 (テンキー)	前の画像を表示する
Ctrl + S	画像を保存する。
Ctrl + Alt + X	コピーを保存する。
Ctrl + Alt + E	[エクスポート] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	編集モードに切り替える。
End	フィルム ストリップの最後の画像に切り替える。
Home	フィルム ストリップの最初の画像に切り替える。
Esc	前のモードに切り替える。
ENTER	
メニューの編集	
Ctrl + Y	やり直す。
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Alt + C	コピー設定 ダイアログボックスを開く。
Ctrl + Alt + V	コピーされた情報をペーストする。
Delete	削除する。
管理する	

Ctrl + B	選択された画像を画像バスケットに追加する。
Alt + X	選択された画像を画像バスケットから削除する。
Alt + 0	カラーラベルをクリアする。
Alt + 1	赤のカラーラベルを指定する。
Alt + 2	黄色のカラーラベルを指定する。
Alt + 3	緑のカラーラベルを指定する。
Alt + 4	青のカラーラベルを指定する。
Alt + 5	紫のカラーラベルを指定する。
Ctrl + 0	重要度をクリアする。
Ctrl + 1	重要度 1 を割り当てる。
Ctrl + 2	重要度 2 を割り当てる。
Ctrl + 3	重要度 3 を割り当てる。
Ctrl + 4	重要度 4 を割り当てる。
Ctrl + 5	重要度 5 を割り当てる。
Ctrl + K	プロパティ ペインのキーワード セクションを開く。
Alt + K	プロパティ ペインのメタデータ タブを選択する。
\ (ボックス ラッシュ)	画像にタグ付けするか、タグ付けを外す。
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
表示	

[	ソフト ブルーフを有効にする。
Ctrl + ページ左矢印	左ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + ページ下矢印	下ペインを開く/閉じるを切り替える。
/ (スラッシュ)	原寸表示
Shift + 8	画像を拡大した時に、上にスクロールする。 次の画像を開きます。
Alt + ページ右矢印	画像を幅に合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
Alt + PgDn	画像を高さに合わせて表示領域に合わせてサイズ変更する。
+ (テンキーのプラス)	拡大する。
- (テンキーのマイナス)	縮小する。
F	フルスクリーン モードの切り替え
'	画像を拡大した時に、ナビゲーターの開く/閉じるを切り替える。
Z	画像の保存されたバージョンを表示する。
ページ右矢印	画像を拡大した時に、右にパンする。
ページ左矢印	画像を拡大した時に、左にパンする。
PgDn	画像を拡大した時に、下にパンする。
PgUp	画像を拡大した時に、上にパンする。
Alt + E	すべてのツールグループを拡張表示する。
Alt + C	すべてのツールグループを折りたたむ。
Alt + D	ツールグループで、他のツールグループが開いた際にスクロールバーを使えないようにするために閉じる設定を切り替える。
V	プレビューを開く/閉じるを切り替える。
H	ヒストグラムを開く/閉じるを切り替える。
Alt + Enter	プロパティ ペインを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + F	フィルム ストリップを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + I	情報パレットを開く/閉じるを切り替える。
Ctrl + Shift + D	現像ツールを開く/閉じるを切り替える。
P	スナップショット ペインを開く/閉じるを切り替える。
Alt + F5	第二スクリーンの画像の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
Alt + F6	第二スクリーンのファイル一覧の全画面表示を開く/閉じるを切り替える。
モード切り替え	

Ctrl + F3	表示モードで画像を開く
Ctrl + E	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスが開いて、選択した画像のキャプションを追加または編集することができます。
Shift + E	
Ctrl + F5	
Ctrl + F1	管理モードに切り替える。
Ctrl + F2	写真モードに切り替える
Ctrl + F6	365 モードに切り替える
Ctrl + F7	ダッシュボード モードに切り替える

現像モードを使用する

B	ブラシ コントロールを開く/閉じるを切り替える。
I	ブラシストロークを反転する。
1	最初のブラシを選択する。
2	2 番目のブラシを選択する。
3	3 番目のブラシを選択する。
4	4 番目のブラシを選択する。
5	5 番目のブラシを選択する。
6	6 番目のブラシを選択する。
7	7 番目のブラシを選択する。
Shift + 1	最初のブラシを有効にする。
Shift + 2	2 番目のブラシを有効にする。
Shift + 3	3 番目のブラシを有効にする。
Shift + 4	4 番目のブラシを有効にする。
Shift + 5	5 番目のブラシを有効にする。
Shift + 6	6 番目のブラシを有効にする。
Shift + 7	7 番目のブラシを有効にする。
G	グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
R	放射状グラデーション コントロールを開く/閉じるを切り替える。
Spacebar	拡大した状態で、ブラシまたはグラデーションと共に機能する際に、ハンドツールを切り替える。画像をパンするためにハンドツールが使用できます。
E	露出ツールで、露出警告のオンとオフを切り替える。
Alt + I	トリミングツールで、グリッドのオンとオフを切り替える。
C	トリミングツールで、トリミング画像 プレビューのオンとオフを切り替える。
Ctrl + T	調整タブに切り替える。
Ctrl + D	ディテール タブに切り替える。
Ctrl + G	ジオメトリ タブに切り替える。
Ctrl + R	修復タブに切り替える。
Ctrl + P	新規スナップショット ダイアログボックスを開く。

現像/編集モードのマウス ショートカット

現像および編集モードで次のマウス ショートカットを使用して、画像作業の効率アップを図ることができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
Shift + 左クリック	ペイン内で、グループの自動折りたたみ機能をオフに設定。
Shift + マウス ホイール	スライダに大きな調整を行う。現像ペインでスクロールがアクティブの場合、ホイールはペインをスクロールします。
Spacebar + クリック + ドラッグ	マウスをドラッグして画像をスクロール。現像で画像を拡大表示して、ツールを使用している場合に使用します。
右クリック	すべてのスライダを既定値にリセット。
スライダ上でマウス ホイール	スライダに細かい調整を行う。スライダ上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンします。
画像上でマウス ホイール	ブラシのサイズを変更します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてペン先の幅を調整します。
Shift + マウス ホイール	フェザリングを調整します。画像上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンしてフェザリングを調整します。

365 モードのキーボードショートカット

転送モードでは、次のキーボードショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして **[印刷...]** を選択します。



キーボードショートカットをカスタマイズしたい場合は、[キーボードショートカットのカスタマイズ](#)をお読みください。

ショートカット	操作
Alt + A	選択されたフォルダを同期フォルダとして設定する。
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする。
Alt + Enter	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティペインを表示する。
Alt + テンキーの +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順。
Alt + テンキーの -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順。
Alt + O	オプションダイアログを開く。
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする。
Alt + X	バスケットからファイルを削除する。
Alt + Shift + U	すべてのファイルを同期する。
Ctrl + \	タグの付いているファイルを選択する。
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する。
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する。
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する。
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア。
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転。
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダペインを表示する。
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カタログペインを表示する。
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索ペインを表示する。
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダーペインを表示する。
Ctrl + Shift + 5	バスケットを表示する。
Ctrl + W	ACDSeeを終了する。
Delete	ファイルまたはフォルダを削除する。
ENTER	現在選択されている画像を [表示] モードで開く。
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更。
F5	表示を更新する。
F6	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルと詳細を表示する。
F7	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのフィルムストリップを表示する。
F8	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルを表示する。
F9	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのタイルを表示する。
F10	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのアイコンを表示する。
F11	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの一覧を表示する。
F12	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの詳細を表示する。
テンキー +	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを昇順に並べ替え。
テンキー -	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを降順に並べ替え。
Shift + Alt + A	365.acdsee.com モードを表示する。
Shift + Alt + C	URL のコピー。
Shift + Alt + T	転送モードを表示する。

365 モードのマウスショートカット

転送モードでは、次のマウスショートカットを使用することができます。



このページを印刷して簡単に参照できるようにするには、右クリックして [印刷...] を選択します。

ショートカット	操作
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択する。
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択する。
Shift + 左クリック	複数の画像を選択する。

ACDSee PicaView のキーボードショートカット

ACDSee PicaView では、次のキーボードショートカットを使用して効率アップを図ることができます。

ショートカット	操作
画像を Shift + 右クリック	• プレビューを有効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されません。 • プレビューを無効にしている場合：メインのコンテキストメニューに画像が表示されます。

Chapter 13: ファイルフォーマット

RAW ファイルについて

RAW 画像ファイルは、カメラのネガティブに似ています。画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが収集した全データが含まれているという点で、ネガフィルムに似ています。RAW 画像の処理を行わずに画像を表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、画像として表示させるには RAW 画像ファイルを処理する必要があります。

ACDSee は新たな RAW 処理エンジンを搭載し、色、コントラストおよび露出の修整が可能です。ACDSee はまた、Pro 3 以前のバージョンで現像された RAW 画像用に Pro 3 のパイプラインをエミュレートできます。

現像および編集モードを使って、RAW 画像ファイルの露出、カラー、シャープネスを設定することができます。各 RAW ファイル特有の設定を選択/保存したり、一般的な設定をプリセットとして選択/保存することができます。頻繁に使用するような一般設定をプリセットとして保存おけば、管理モードの【ツール】メニューの【処理】、【プリセットの適用】からプリセットを選択し、大量の RAW ファイルにそれらの設定を一括して適用することができるので大変便利です。

オリジナルの RAW ファイルを完全に変更することはできません。RAW ファイルは RAW 処理後もオリジナルの設定を変更しないため、カメラで撮影した全データが保存されたままになります。特定の RAW 画像用に選択した処理設定は、その RAW ファイルの XMP ファイルに保存され、データベース内のその画像と関連付けられます。

RAW ファイルへの変更を保存したい場合には、別のファイル形式、例えば JPEG や TIFF ファイルなどのフォーマットを使って保存する必要があります。処理済みのファイルを同時に複数のフォーマットで保存したい場合は、現像モードの複数のフォーマットオプションを使用します。画像の現像が完了したら、【保存】ボタンをクリックして【エクスポート】を選択します。【エクスポート】ダイアログボックスで、エクスポートの設定を選択し、**OK** をクリックします。



ACDSee はジオメトリの歪みを修正するタグを含む DNG ファイルに、自動でジオメトリの修正を適用します。Adobe DNG Converter© はマイクロ 4/3rds カメラに自動でジオメトリ修正タグを生成することがあります。

ファイルの関連付け

ACDSee はさまざまなファイルフォーマットに対応しています。ACDSee を、特定のファイルタイプを開くデフォルトのアプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。ファイルの種類を関連付けると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとして ACDSee を設定することになります。

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. 【ツール】 | 【ファイルの関連付け設定】をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマットに対して ACDSee に関連付けたいファイルフォーマットのチェックボックスを選択します。
3. 【保存】をクリックします。

ファイルタイプと ACDSee の関連付けを解除するには:

1. 【ツール】 | 【ファイルの関連付け設定】をクリックします。
2. 4 つのフォーマットセクションで、画像フォーマット、RAW フォーマット、メディアフォーマット、アーカイブフォーマットに対して ACDSee と関連付けを解除したいファイルフォーマットのチェックボックスを選択解除します。
3. 【保存】をクリックします。

用語集

A

絶対カラーメトリック

一般的に校正に用いられるレンタリングの方法。デバイスに依存しない色空間情報に基づき、利用可能な色域の範囲内で色を再現したり、色味を減らして色域外の利用可能な色の中から一番近い色相を再現すること(ただし、彩度は落ちます)。

アクション、ACDSee アクション

ACDSee アクションは、編集モードの調整を記録します。そして、それらの調整を「再生」して他の画像に適用することができます。これは一括編集を効率的に行う方法です。

【取り込み】

スキャナーやデジタルカメラなどの周辺機器内の画像を認識し、パソコンのハードドライブへ移したり追加したりする処理のこと。パソコンの画面をキャプチャすることを表すこともあります。[インポート](#)を参照してください。

【アルバム】

画像の集まり。テーマやイベントごとに管理されていることが多い。ACDSee ではハードドライブの画像が保存されているディレクトリへのショートカットをアルバム内に入れることができます。

エイリアス

ピクセルが原因で生じた画像の端のギザギザ。低解像度の画像や、拡大された画像で最も頻繁に起こります。[\[ジャギー\]](#)を参照してください。

アンカー

スクリーンやページ、画像の場所などにオブジェクトを固定する方法。

アンチエイリアシング、アンチ・エイリアシング

ぎざぎざの線、または「ジャギー」を軽減するソフトウェア技術。グレーとカラーの色合いを使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。

【縦横比】

画像の横と縦の比率。たとえば、縦横比 3:1 の画像は、横が縦よりも 3 倍長くなっています。

【アジマス】

画像のエッジから伸びる影の方向。ACDSeeでは、画像にエンボス効果を適用する際に、アジマスをコントロールできます。

B

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしで起動するタスクまたはプログラムのこと。

帯域

特定の時間の間に、ネットワーク接続を通じて送信できるデータの量。バンド幅の単位はキロビット/秒 (Kbps)で測定されます。

バーレル (樽形) 歪み

バーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

一括処理

サイズ変更、変換、名前変更などの何らかの処理またはツールで、複数の画像またはファイルを調整するために同時に使用できるもの。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のこと。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに 65,536 の異なる値を格納することができます。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

ブレンドモード

ツールの効果や選択されたオブジェクトの外観を変更するフィルタ。

明るさ

画像に見られる光の強度。明るさを調整することで、画像の外観を明るくまたは暗くできます。

ブラシ

編集モードまたは現像モードで、効果または調整を適用したいピクセルを分離または指定するために使用するツール。描画ツール内のブラシは、画像にカラーで描画するために使用できます。[\[スマート ブラシ\]](#)を参照してください。

C

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACDSee のデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

カタログ化

ファイル情報を ACDSee のデータベースに追加すること。

カテゴリ

カテゴリを指定することによって、画像の並べ替えや管理がより簡単になります。

色収差

写真のハイコントラスト領域に見られがちな、レンズの使用によって派生する不自然な色の収差。

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック (キー) を原色とするカラーモデル。

カラーキャスト

彩度と輝度を保ったまま、画像の色相を変更すること。たとえば、ほとんどのデジタルカメラはわずかに青みがかった色相で画像を撮影します。ACDSee には、希望しないカラーキャストを削除するツールが含まれています。

カラーチャンネル値

単一カラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には 1 つのチャンネル、RGB 画像には 3 つ (赤、緑、青) のチャンネルがあります。カラーを編集する際、RGB の値で調整することができます。

色域

プリンタやモニタなどのデバイスが再現または表示することのできる色の範囲。

カラーマネージメント

プリンタで印刷される色と、モニタで表示される色がマッチするようにコンピュータを調整することを指します。

色空間

色空間には、デバイス独立 (デバイス・インディペンデント)、デバイス依存 (デバイス・ディペンデント) の 2 種類があります。RGB を代表とするデバイス独立 (デバイス・インディペンデント) 色空間では、すべての可能な色を使って表示されます。デバイス依存 (デバイス・ディペンデント) 色空間は、特定のデバイスで再現することができる、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。デバイス依存 (デバイス・ディペンデント) 色空間は、通常モニタやプリンタ間のように複数のデバイス間をマップし、色が忠実に再現されているかを確認するために使用されます。

圧縮

オリジナルのデータよりも、サイズの小さい保存用のフォーマットにデータを変換すること。

コンタクト シート

複数の小さい画像をまとめたページのことで、通常縦横に並べられます。

コントラスト

画像のカラーと輝度の違い。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変更すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ(.bmp)をJPEG(.jpg)に変換することを指します。

トリミング

画像の不必要な領域を削除すること。

D

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。ACDSee データベースは、キャッシュされたサムネイル ファイルと情報ファイルの 2 つから構成されています。キャッシュされたサムネイル ファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル)を含んでいます。情報ファイルは、システム上のファイルに関する詳細情報(説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど)を含んでいます。

データベースの日付

ファイルのプロパティに適用されている日付で、ACDSee データベースに保存されます。

説明

ACDSee は説明を descript.ion という名前の隠しファイルに保存します。ファイル名やキャプションなどの説明は、この descript.ion ファイルに含まれます。

ドッキング

別の領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペインなどを固定すること。

DPI (ドット/インチ)

画像の解像度を示す単位。例えば、92 DPI = 横 92 ドット x 縦 92 ドット = 8,464 ドット/スクエアインチとなります。スクエアインチあたりのドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、シャドウまたはハイライトのクリッピングを発生させず、最も暗い影と最も明るいハイライトを同時にキャプチャすることができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。)画像のトーン範囲を調整すると、モニターあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

E

明るさ

画像における想像上の光源の高さ。光源の高さと方向が一緒になって 3D のエンボス効果を生み出します。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

暗号化

データを保護されたフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

EXIF (Exchangeable Image File)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

露出

画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが光に露出された時間の量を指します。

F

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

ファイル一覧

ACDSeeでは、管理モードで現在表示されているファイルの一覧を指します。

ファイルフォーマット

ファイルの情報をエンコードするための方法。ファイルの種類ごとに、情報の管理方法を指定する異なったファイルフォーマットが含まれています。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

魚眼歪み

魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

G

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正すると、光のスペクトルの強さが増減します。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

H

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表したグラフ。

HSL

色相 (H)、彩度 (S)、明るさ (L) の頭文語。

色相

画像内に見られる優勢な (主となる) 色。

I

画像エディタ

画像を作成したり、編集したりするために使うプログラムのこと。ACDSeeは画像エディタです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSeeは画像ビューアです。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準の方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

J-K

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルが大きく表示されるために、画像に線や曲線が加わって見えます。

L

レンズのヴィネット

画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。

可逆圧縮

画像のデータとクオリティのすべてを保持する圧縮の方法。

可逆回転と反転

JPEG 画像の回転方法で、画質が劣化しません。8 または 16 の倍数のサイズの画像を回転する際に最も適しています。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

M

マーキー

画像の選択範囲を示す破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、下にある画像に変化を加えて、あるいは加えることなく、マーキーのサイズを変更したり移動することができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

単一カラー（白黒）の画像。

N

ノイズ

同系色の範囲内で、様々なピクセルカラーが使用されている場合に生じます。ノイズは、ISO の感度を高く設定したり、スローなシャッタースピードで撮影される場合に発生します。

O

不透明度

画像または選択範囲に効果を適用する場合、どの程度見えるようにするかを決定します。不透明度の値を上げると目で確認できるような効果が得られますが、値が下げすぎるとほとんど変化がわからないという結果になります。

露出オーバー

ハイライト過多によって、画像がぼやけたり粗く見える状態を指します。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出しすぎることによって引き起こされます。

P-Q

パンニング

拡大された画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分を表示すること。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法。色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

透視の歪み

ワイドアングルや望遠レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見える現象を指します。例えば、高層ビルを撮影した場合、通常、ビルの上部ほど幅が狭く見えます。

フォトアルバム

[\[アルバム\]](#) を参照してください。

写真エディタ

[画像エディタ](#) を参照してください。

ピンクッション（糸巻き）歪み

ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。

ピクセル（画素）

縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のこと。

プラグイン

比較的大きなプログラムに機能を追加するソフトウェアモジュール。

PPI（インチ毎ピクセル）

画像の解像度を示す単位。スクエアインチあたりのピクセル数が増えるほど、高画質になります。

プリセット

プリセットには画像の設定が含まれています。同じ変更や設定をすべての画像に適用する場合には、プリセットを作成すると便利です。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例えば、RGB カラーモデルでは、赤 (R)、緑 (G)、青 (B) が原色となります。

R

ラスタ画像

長方形のピクセルグリッドで構成された画像。各ピクセルに、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、サイズ変更すると画質に影響を与えます。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索がより簡単になります。

RAW

画像ファイルフォーマット。RAW ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。RAW ファイルはカメラによって処理されないため、RAW 処理機能を搭載している ACDSee のようなプログラムを使用して処理する必要があります。

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

赤目補正

デジタルカメラのフラッシュが、被写体の目に反射されることによって起こります。被写体の実際の目の色ではなく、赤く見えます。

相対カラーメトリック

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色の範囲外にある色は単色としてマップされることがあるため、単色または色に限界のある画像に適しています。

レンダー

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲から別の色の範囲へ、色をマップするために使用される方法。レンダリングには次の4つの方法があります：[知覚](#)、[相対比色](#)、[彩度](#)、[絶対比色](#)

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch) で測定され、画像の質とクラリティを示します。

RGB

赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の3色を原色として使用するカラーモデル。

不自然な結果

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

S

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーの色味が強くなります。

彩度 (レンダリングの方法)

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

選択

選択範囲ツールを使って定義した画像の領域。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。ACDSee ACD Photo Editor は選択範囲ツールを搭載しています。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

シャープネス

[シャープ化] ツールは画像をシャープにするために使用します。オリジナル画像はわずかにぼかされます。オリジナルの画像から、ぼかしのついたバージョンの画像が取り除かれるため、エッジがはっきり表示されるようになります。コントラストを増やすことで、エッジをよりシャープにすることが可能です。

シャープネス

画像のシャープネスは、主にデジタルカメラのレンズとセンサーによって特定されます。画像のエッジ間にあるコントラストを増やすことで、シャープネスを加えることが可能です。

ショートカット メニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキストメニュー、またはショートカットメニューとも呼ばれます。

スライドショー

画像を連続して表示すること。ACDSee のようなスライドショー ソフトウェアを使用して、画像 グループをスライドショーとして表示することができます。

スマート ブラシ

スマート ブラシを使うと、ブラシ処理の対象を、特定の色、輝度値、または色と輝度の組み合わせに絞ることができます。スマート ブラシは、ピクセル値がブラシ ストロークの中央と同じ部分にのみ有効で、調整をこれらのピクセルにのみ適用することができます。

ソフト プルーフ:

コンピュータのモニタをプルーフ デバイスとして使用します。プリンタで実際どのような色で印刷されるかをシミュレーションしてモニタに表示します。

T

タグ

カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。クリック 1 回で写真にタグを付けることができます。同様に、タグ付けされたすべての画像をクリック 1 回で表示することができます。

サムネイル

フル サイズ画像の縮小版プレビュー。

タイムスタンプ

ファイルに付随する日付と時間。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、ビデオ内の画像またはビデオ間に使われる特殊効果のこと。

U

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサー光に露出する時間が足りないとこの現象が起こります。

V

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画像のクラリティと画質に影響はありません。

W

透かし

画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのことで、通常、著作権保護を目的として使用されます。

【ホワイトバランス】

カラーキャストを削除して、画像に適切な光を与えます。撮影する前にカメラの設定を適切なホワイトバランスに設定するか、撮影後に ACDSee を使用してホワイトバランスを補正します。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

X-Z

XML (拡張可能マークアップ言語)

Web ドキュメントに使用される標準言語。

ズーム

ACDSee では、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセス。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。

索引

3

365 モード	26
アカウントの作成	366
フォルダの作成	368
フォルダを公開または非公開にする	368
プライバシー設定	368
画像のアップロード	26
重要度	369

A

ACDSee	
データベース	137
ユーザーインターフェース	15
画像のインポート	29
ACDSee Mobile Sync	38
ACDSee アクション	229
ACDSee とファイルに関連付ける	431
acquiring	
インポート	29

C

CD	
CD/DVD 管理 オプションを設定する	382
フォトディスク	160
写真の取得	34-35

D

D アイコン	41, 378
descript.ion ファイル	142
Develop	
Perspective group	216
DVD	
CD/DVD 管理 オプションを設定する	382

E

E アイコン	41, 378
Edit	
presets	225
editing	
presets	225
EXIF	
EXIF 情報を追加する	71, 74
一括セット情報	71
表示	69

H

Hi Color	355
HSL	349
HTML アルバム	101

I

IPTC	
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する	82
IPTC 情報を追加する	71, 74
表示	69

J

JPEG オプション	392

L

LCE	340, 347

M

mobile sync	38

P

PDF	100
PicaView	372

R

RAW 画像	
参照する	46
現像する	172
現像の設定を削除する	178
表示する	157
RGB	352

T

True Color	355

U

USB 大容量ストレージ デバイス	
概要	30

W

Web と同期	367

あ

アクション	229
アドバンスカラー	349
アングル効果	315
アンティーク効果	302

い

イメージ ウェル	91

インポート	
写真	30
インポートする	
画像や写真	29
う	
ヴィネット効果	208, 278
ウォータードロップ効果	322
ウォーター効果	321
え	
エッジ検出効果	293
エンボス効果	293
お	
オイルペイント効果	302
オートン効果	303
オプション	
ACDSee Quick View	160
カタログ ペイン	381
カレンダー ペイン	381
コンタクトシート	109
データベース	385
ファイル管理	383
フォルダ	380
プレビュー ペイン	379
全般	373
管理モード	374
表示モード	386
オリジナル	
表示する	168
オリジナル画像の復元	226
お気に入りペイン	45
か	
カスタマイズ	
カタログ ペイン	381
カレンダー ペイン	381
キーボードショートカット	401
ツールバー	396
データベース	385
ファイルの管理	383
ファイル一覧 ペイン	375
フォルダ ペイン	380

プレビュー ペイン	379
ペインを移動する	19
管理モード作業領域	395
表示モード	386
カタログ ペイン	
カスタマイズ	381
カタログ化	
ファイル	55
重要度の割り当て	59
カテゴリ	
カテゴリのない画像の検索	91
割り当てる	59
管理	58
カテゴリとカラー ラベルを設定する	62
カテゴリと重要度を設定する	59
カラー	
カラープロファイルを変更する	120
カラーマネージメント オプションを設定する	383
色深度を変更する	355
カラースキーム	374, 402
カラーラベル	62
カレンダー ペイン	43
き	
キーボード ショートカット	
カスタマイズ	401
管理モード	403
表示モード	407
く	
グラナイト	238
グラナイト効果	297
グループ化	
処理済み状態	48
グレースケール	355
クレヨン画効果	290
クロスハッチ効果	291
こ	
コピー	
ファイル	76
画像	77

コンタクトシート	
作成	104
印刷	109
さ	
サイズ変更	
1枚の画像	333
複数画像	116
サウンド	
画像に追加	165
録音	165
サムネイル	
再構築	147
縦横比オプションを設定する	378
表示オプションを設定する	377
表示する	47
し	
ジオメトリタブ	212
しきい値効果	320
シフト効果	314
シャープネス	357
ショートカット	
マウス	416
管理モード	403
表示モード	407
す	
ズームする	
レベルの設定	169
自動	169
スクリーン キャプチャ	92
スクリーンセーバー	
作成	94
共有	98
ステンドグラス	318
スライドショー	
共有	98
自動表示	158
設定	96
せ	
セカンドモニタ	
ペインの移動	19

セピア効果	312
そ	
ソーベル効果	316
ソフト フォーカスを調整 する	204
ソフトフォーカス	204
ソラリゼーション効果	316
た	
タイムスタンプ	82
タイムスタンプを付 ける	82
ダウンロード	
ACDSee から	29
CD から	34-35
デジカメから	30
つ	
ツールバー	396
て	
ディテール タブ	209
データベース	
descript.ion ファイル	142
インポート	141
エクスポート	143
オプション	385
キーワード	75
サムネイルの再 構築	147
ドライブをマップする	146
バックアップする	144
ヒント	145
ファイルのカタログ化	139
ファイルを隔離 する	147
フォルダを除外 する	139
メンテナンス	145
変換	141
復元 する	145
情報を追加 する	71, 74
最適化 する	146
概要	137
データベースからフォルダを除外 する	139
データベースを最適化 する	146
データベース情報 の復元	145
データベース情報 をインポートする	141

データベース情報をエクスポートする	143
テーマ	
カラー	374, 402
テーマを表示	374, 402
テキスト	
ファイル一覧	143
ブレンドモード	327
ページに追加する (印刷)	109
画像に追加する	266, 268
表示モードで画像に表示する	158
デジタルカメラ	
プラグイン	30
画像の取得	30
デュアル モニタ	
ペインの移動	19
と	
トリミング	216, 330
な	
ナビゲーター	170
ね	
ネオン効果	296
ネガティブ効果	301
の	
ノイズ	
概要	360
画像から削除	360
画像に追加	362
は	
バーレルの歪み	332
ハイライト	340, 347
バックアップ	
データベース	144
バックアップのヒント	145
ひ	
ピクセル サイズ変更オプション	334
ピクセルターゲット	235
ピクセル爆発効果	306
ヒストグラム	157, 354
ビデオファイル	
フレームを抽出する	164

ふ

ファイル

ACDSee と関連付ける	431
カタログ化	55
コピーまたは移動する	76
データベースでカタログ化 する	139
フォルダを同期する	83
プロパティ	68
マップ座標	70
リストにする	143
並べ替える	50
入れ替える	78
名前の変更	78
圧縮する	105
日付を変更する	82
管理 オプション	383
詳細	47
貼り付ける	78
選択する	51
重複を検索する	90
隔離する	147
ファイルにフィルタを適用する	48
ファイルのカタログ化	139
ファイルの上書き	78
ファイルの入れ替え	78
ファイルを一覧表示する	143
ファイルを並べ替える	50
ファイルを圧縮する	105
ファイルを隔離する	147
ファイル一覧 ペイン	
カスタマイズする	375
サムネイル表示 オプションを設定する	377
ファイルにフィルタを適用する	48
ファイル一覧 オプションを設定する	375
フルスクリーン	42
使用する	39
表示	47
詳細表示 オプションを設定する	379
フォーカス	204
フォトディスク	160

フォルダ	
データベースから除外する	139
ファイルの同期	83
参照する	42
名前の変更	78
表示モードで同期する	159
貼り付ける	78
フォルダ ペイン	
オプション	380
使用する	42
フッター	
ページに印刷	109
表示モード	158
ブラウズ検索	88
プラグイン	
プロパティを表示する	148
概要	147
管理する	148
ブラシ	236
フルスクリーン モード	22
プレビュー ペイン	
カスタマイズする	379
使用する	51
ブレンドモード	327
プロパティ ペイン	
オプション	382
使用する	68
へ	
ペイン	
既定のレイアウトにリセットする	17
移動	18
自動非表示	396
ヘッダー	
ページに印刷する	109
表示モード	158
ペンキ画効果	291
ほ	
ぼかし	358
ポスタライズ効果	307
ポラロイド	288

ホワイトバランス	348
ま	
マウス ショートカット	416
マップ ペイン	
使用する	70
み	
ミラー効果	300
め	
メールで送信する	93-94
メタデータ	
メタデータの削除	81
も	
モード	
モードの切り替え	17
モザイク効果	307
モノクロ	355
ゆ	
ユーザーインターフェース	15
ら	
ライティングの調整	196
ライト EQ™	196, 340
ラベル	
割り当てる	62
り	
リムーバブル デバイス	30
れ	
レトロ効果	300
わ	
ワイルドカード	88
漢字	
一括エクスポート	
方法	110
一括処理	
概要	110
一括編集	
カラープロファイル	120
サイズ変更	116
一括処理	121
反転	114
名前の変更	119

回転	114
露出	117
元に戻す/やり直し	226
光線ぼかし効果	308
共有	347
ACDSee で共有	92
HTML アルバム	101
PDF	100
アーカイブ	105
コンタクトシート	104
スクリーンセーバー	98
スライドショー	98
メールで送信する	93-94
写真	288
テンプレートの名前を変更する	35
写真をインポートする	
CD から	34
ディスクから	35
デジカメから	30
写真を取り込む	29
写真修復ツール	220, 263
処理モード	
現像	172
処理済み状態	
グループ化	48
切り抜き後の周辺光量補正を調整する	208
切り替える	
モード	17
削除	
メタデータ	81
印刷	
コンタクトシート オプション	109
サイズと位置を設定する	108
ページのテキスト	109
反転	
編集で	329
複数の画像	114
同期	
画像のアップロード	367

同期する	
フォルダ間のファイル	83
表示モードとフォルダ	159
名前の変更	
ファイルまたはフォルダ	78
写真の取得	35
複数のファイル	119
回転	
現像モードで	215
管理および表示モードで	52, 157
編集モードで	328
複数の画像	114
地形図効果	321
壁紙	162
変換	
descript.ion ファイル	142
グレースケールへ	355
データベース	141
画像を他のファイルフォーマットへ	114
変更の確定	168
太陽スポット効果	318
整理する	
カテゴリを割り当てる	59
カテゴリを管理する	58
カラーラベルを割り当てる	62
画像をすばやく検索する	91
日付	
複数ファイルを変更	82
明るさ	336
明るさレベル	337
明瞭度	363
曲がった写真	215
曲がった写真を真っ直ぐにする	215
枠	274
柔毛エッジ効果	294
検索	
ワイルドカード	88
検索 ペイン	86
検索する	
ACDSee で	84

イメージ ウェル	91
クイック検索オプションを設定する	374
クイック検索バー	85
ファイル名のパターン	88
検索ペインで	86
重複ファイル	90
波効果	323
波紋効果	310
消去する	81
渦巻き効果	319
特殊効果	
アングル	315
アンティーク	302
ヴィネット	278
ウォーター	321
ウォータードロップ	322
エッジ検出	293
エンボス	293
オイルペイント	302
カラーエッジ	289
グラナイト	297
クレヨン画	290
クロスハッチ	291
コラージュ	288
しきい値	320
シフト	314
スタンドグラス	318
セピア	312
ソーベル	316
ソラリゼーション	316
ネオン	296
ネガティブ	301
ピクセル爆発	306
ブラインド	282
ペンキ画	291
ぼかし	303
ポスタライズ	307
ミラー	300
モザイク	307
ユーザー定義	326

光線ぼかし	308
地形図	321
太陽スポット	318
曇ガラス	281
柔毛エッジ	294
概要	281
波	323
波紋	310
渦巻き	319
等高線	289
織り	324
膨張	285
色ずれ	300
輪郭	304
金属シート	313
鉛筆画	305
雨	309
風	325
飛散タイル	311
現像	172, 196
アドバンスカラーグループ	199
ジオメトリタブ	212
シャープネスグループ	210
スプリットトーン	207, 352
ソフトフォーカスグループ	204
ディテールタブ	209
トーンカーブグループ	204
トリミンググループ	216
ノイズ除去グループ	210
プリセット	181
ホワイトバランスグループ	195
ライティンググループ	196
レンズの歪みグループ	213
全般グループ	194
出力色空間グループ	208
切り抜き後の周辺光量補正グループ	208
回転 & 傾きを直すグループ	215
調整タブ	193
赤目補正	219

現像について

カラーを調整する	199
ソフトフォーカス	204
トーンカーブを調整する	204
ノイズ除去	210
ハイライト、シャドウ、色相、彩度	207, 352
ホワイトバランスを調整する	195
レンズの歪みを補正する	213
全般調整を使用する	194
切り抜き後の周辺光量補正	208
回転と傾きを直す	215
画像をシャープにする	210
画像をトリミングする	216
色出力空間を選択する	208

現像の詳細

プリセットの管理	181

現像モード

24

画像

アップロード	367
インポート	30
インポートする	29
オーディオを追加する	165
コピーする	77
すばやく検索する	91
ダウンロード	29
パンニング	171
ビデオファイルから抽出する	164
メールで送信する	93-94
別のフォーマットに変換する	114
比較する	53
現像する	175
現像設定を共有する	178, 186
表示する	22
複数の画像をまとめて現像する	134
画像にタグを付ける	80
画像のオーディオを録音する	165
画像の自動表示	158
画像バスケット	55
画像を比較する	53

移動する	
ファイル	76
管理モード ペイン	17
管理モード	
RAW ファイル	46
オプション	374
お気に入り ペイン	45
キーボードショートカット	403
クイック検索 バー	85
ツールバーをカスタマイズする	396
ファイルー 覧 ペイン	39
フォルダ ペイン	42
ブラウズ検索 ペイン	88
プロパティ ペイン	68
マップ ペイン	70
作業領域をカスタマイズする	395
使用する	17
検索 ペイン	86
画像バスケット	55
表示する	47
編集	222
アドバンスカラー	349
ヴィネット	278
カラーバランス	352
サイズ変更	333
シャープネス	357
テキスト	266, 268
トーンカーブ	340
トリミング	330
ノイズの除去	360
ノイズを追加する	362
ぼかし	358
モノクロに変換	353
レンズの歪み補正	332
修復ツール	263
反転する	329
回転	328
明瞭度	363
枠	274
自動レベル	339

赤目補正	263
透かし	273
透視補正	331
選択ツール	255
編集する	
HSL 値	349
RGB 値	352
エディタの設定	400
クローン	220, 264
サイズ変更	333
シャープネス	357
シャドウとハイライトを補正する	340, 347
ツールバー	396
テキストを追加する	266, 268
トーンカーブ	340
トリミング	330
ノイズを追加する	362
ノイズ除去	360
パレルの歪みを補正する	332
ぼかし	358
ライトのレベル	337
修復する	263
反転する	329
回転	328
明るさ	336
明瞭度	363
特殊効果	281
赤目を補正する	219, 263
透視の歪みを補正する	331
針山の歪みを補正する	332
露出	339
魚眼の歪みを補正する	332
編集ブラシ	236
編集モード	24
編集モード、現像モード	24
織り効果	324
美肌効果ツール	263
自然な彩度	194, 349
虫めがね	171

表示する	
ファイルのプロパティ	167
ファイル一覧のファイルの種類	48
フルスクリーン	22
別のアプリケーションの画像	162
画像	21
表示モードでテキストを画像に表示	158
表示モード	
カスタマイズ	386
キーボードショートカット	407
ズームレベルを設定する	169
テキスト表示	158
ナビゲーター	170
パンニング	171
ヒストグラム	157, 354
フォルダを同期する	160
フルスクリーンモード	22
マウスショートカット	416
使用する	21
画像をズームする	168
自動ズーム	169
自動表示	158
虫めがね	171
表示オプションの設定	387
複数画像	
サイズの変更	116
名前の変更	119
露出の調整	117
詳細表示	47
詳細表示 オプション	379
調整タブについて	193
赤目補正	219, 263
輪郭効果	304
透かし	273
透明度を調整する	363
透視の歪み	331
選択する	
ファイル	51
画像の一部	166
選択ツール	255

重複検索	90
重要度	
割り当てる	59
金属シート効果	313
針山の歪み	332
鉛筆画効果	305
開始フォルダ	374
既定	374
雨効果	309
露出	
自動で調整	339
複数の画像を調整する	117
音声	
画像に追加する	165
画像に録音する	165
風効果	325
飛散タイル効果	311
魚眼の歪み	332